

佐久市埋蔵文化財報告書 第175集

まちづくり交付金事業 都市計画道路3.3.3号 原東1号線
埋蔵文化財発掘調査報告書

—長野県佐久市岩村田弥生時代環濠集落・古墳・中世集落の調査—

第2分冊

き たい っ ぽ ん や な ぎ

岩村田遺跡群

北一本柳遺跡Ⅲ

2010.3

佐 久 市
佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財報告書 第175集

まちづくり交付金事業 都市計画道路3.3.3号 原東1号線
埋蔵文化財発掘調査報告書

—長野県佐久市岩村田弥生時代栗塚集落・古墳・中世集落の調査—

第2分冊
きたいつぼんやなぎ
岩村田遺跡群 北一本柳遺跡Ⅲ

2010.3

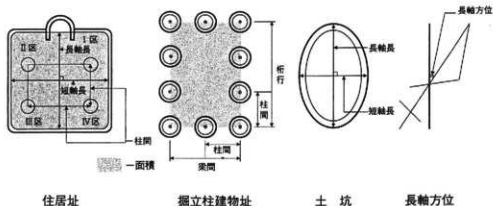
佐 久 市
佐久市教育委員会

例 言

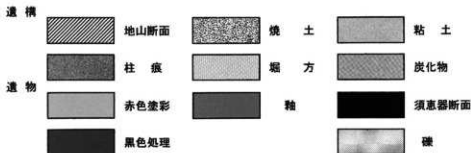
1. 本書は佐久市都市計画課が行うまちづくり交付金事業都市計画道路3.3.3.号 原東1号線造成工事に伴う発掘調査報告書である。全長約1kmにおよび、西より西一本柳遺跡XIV・北一本柳遺跡Ⅲ・東大門先遺跡Ⅱ・西八日町遺跡Ⅲとして調査した。その第2分冊『北一本柳遺跡Ⅲ』の報告書である。
2. 調査原因者 佐久市都市計画課
3. 調査主体者 佐久市教育委員会文化財課
4. 遺跡名および所在地
岩村田遺跡群 北一本柳遺跡Ⅲ (IKPⅢ) 佐久市岩村田字北一本柳
5. 調査期間及面積
発掘調査 平成18年(2006)5月23日～平成21年(2009)11月20日
整理期間 平成18年(2006)5月23日～平成22年(2010)3月31日
調査面積 北一本柳遺跡Ⅲ 7,700㎡
6. 発掘調査の担当は以下の通りである。
北一本柳遺跡Ⅲ 森泉かよ子・小林良寿
7. 本遺跡の整理調査は、森泉が行い、石器については須藤が担当した。編集・執筆は森泉が行った。なお、陶磁器類は(財)長野県埋蔵文化財センター 市川隆之氏に、漆製品については同じく(財)長野県埋蔵文化財センター白沢勝彦氏・国立歴史民俗博物館長嶋正春氏にご教示いただいた。ここに記して御礼申し上げます。
8. 本遺跡の出土遺物の保存処理・鑑定の委託は以下の通りである。
金属製品・漆製品保存処理 株式会社 東都文化財研究所
樹種・種実鑑定、骨鑑定 バリノ・サーヴェイ株式会社
9. 本書及び本遺跡の出土遺物の資料は佐久市教育委員会の責任下に保管されている。

凡 例

1. 遺構の略号は以下の通りである。
 竪穴住居址・竪穴状遺構 (T a) - H 掘立柱建物址 - F 土坑 - D 単独ピット - P
 溝址 - M
2. 挿図の縮尺は原則として以下の通りである。
 遺構 - 1/80 遺物 - 1/4 但し、石器は玉類・石鏃 - 原寸・打製石斧 - 1/3、
 敲石・磨石 - 1/4、大型品 - 1/6・1/8、鉄製品 - 1/2
3. 遺構の海拔標高は各遺構ごとに統一し、水系標高を「標高」とした。
4. 土層の色調は1988年版『新版 標準土色帖』に基づいて示した。
5. 写真図版中の遺物番号と挿図の遺物番号は同一である。図版中の縮尺はほぼ挿図と同じであるが、異なるものもある。
6. 遺構の計測は下図に示した測定値である。
 竪穴住居の面積は床面積で、長軸長×短軸長である。
 壁残高は最大長である。
 長軸長と短軸長の差が1割を超えたものを長方形とした。



7. 遺物一覧表の () は推定値、〈 〉 残存値、- は測定不可能であることを示す。
8. 本報告書挿図中のスクリーントーンは以下のことを示す。



目 次

例 言
凡 例
口 次

第 I 章 北・本柳遺跡Ⅲ 遺構と遺物

第1節 竪穴住居址	3
1. 弥生時代後期	3
2. 古墳時代後期	108
3. 中世(竪穴建物址(Ta))	124
第2節 堀立柱建物址	163
第3節 横列・単段ピット	167
第4節 土坑	175
1. 弥生時代後期	175
2. 中世	175
第5節 溝址	206
第6節 グリッド	253
第II章 北・本柳遺跡Ⅲ まとめ	
1. 弥生時代後期	259
2. 古墳時代後期	262
3. 中世	262
引用参考文献	264
遺構一覧表	265
遺物一覧表	287
図版	339

北・本柳遺跡Ⅲ 挿図目次

竪穴住居址(竪穴)

第 1 図 北一・本柳遺跡Ⅲ全体図	1	第 16 図 H5号住居址(2)	17
第 2 図 北一・本柳遺跡Ⅲ周辺遺跡竪穴住居址変遷図	2	第 17 図 H5号住居址(3)	18
第 3 図 H1号住居址(1)	4	第 18 図 H5号住居址(4)	19
第 4 図 H1号住居址(2)	5	第 19 図 H6号住居址(1)	21
第 5 図 H1号住居址(3)	6	第 20 図 H6号住居址(2)	22
第 6 図 H1号住居址(4)	7	第 21 図 H6号住居址(3)	23
第 7 図 H2号住居址(1)	8	第 22 図 H7号住居址	24
第 8 図 H2号住居址(2)	9	第 23 図 H9号住居址	25
第 9 図 H2号住居址(3)	10	第 24 図 H18号住居址(1)	26
第 10 図 H2号住居址(4)	11	第 25 図 H18号住居址(2)	27
第 11 図 H3・H8号住居址(1)	12	第 26 図 H19号住居址(1)	28
第 12 図 H3・H8号住居址(2)	13	第 27 図 H19号住居址(2)	29
第 13 図 H3号住居址(3)	14	第 28 図 H19号住居址(3)	30
第 14 図 H3(4)・H8(3)号住居址	15	第 29 図 H20号住居址(1)	31
第 15 図 H5号住居址(1)	16	第 30 図 H20号住居址(2)	32

第 31 图	I120号住居址(3)	33	第 79 图	I153号住居址(2)	82
第 32 图	H21号住居址	34	第 80 图	H54号住居址	83
第 33 图	H23号住居址	35	第 81 图	H55号住居址	84
第 34 图	I125号住居址	36	第 82 图	I156号住居址(1)	85
第 35 图	H26号住居址	37	第 83 图	H56号住居址(2)	86
第 36 图	I127号住居址	38	第 84 图	I156号住居址(3)	87
第 37 图	H29号住居址(1)	39	第 85 图	H57号住居址(1)	88
第 38 图	I129号住居址(2)	40	第 86 图	I157号住居址(2)	89
第 39 图	H30号住居址(1)	41	第 87 图	H58号住居址(1)	90
第 40 图	I130号住居址(2)	42	第 88 图	H58号住居址(2)	91
第 41 图	H30号住居址(3)	43	第 89 图	H59号住居址	92
第 42 图	H30号床下住居址	44	第 90 图	H61号住居址(1)	93
第 43 图	H31号住居址(1)	45	第 91 图	H61号住居址(2)	94
第 44 图	H31号住居址(2)	46	第 92 图	H61号住居址(3)	95
第 45 图	I131号住居址(3)	47	第 93 图	H62号住居址	96
第 46 图	H31号住居址(4)	48	第 94 图	H63号住居址	97
第 47 图	I131号住居址(5)	49	第 95 图	I164号住居址(1)	98
第 48 图	H31号住居址(6)	50	第 96 图	H64号住居址(2)	99
第 49 图	I132号住居址(1)	51	第 97 图	H65号住居址(1)	100
第 50 图	I132号住居址(2)	52	第 98 图	I165号住居址(2)	101
第 51 图	I133号住居址(1)、D259土坑	54	第 99 图	I166号住居址	102
第 52 图	H33号住居址(2)	55	第 100 图	H67号住居址	103
第 53 图	I135号住居址(1)	56	第 101 图	H69号住居址	104
第 54 图	H35号住居址(2)	57	土坑(葬车)		
第 55 图	H36号住居址(1)	58	第 102 图	D261号土坑	105
第 56 图	I136号住居址(2)	59	第 103 图	D263·D274·D285号土坑	106
第 57 图	H37号住居址	60	第 104 图	D295·D307号土坑	107
第 58 图	I138号住居址(1)	61	竖穴住居址(占坑)		
第 59 图	H38号住居址(2)	62	第 105 图	H4号住居址	108
第 60 图	H39号住居址	63	第 106 图	H24号住居址	109
第 61 图	I141号住居址	64	第 107 图	I1102号住居址	110
第 62 图	H42号住居址	65	第 108 图	H28号住居址	111
第 63 图	I143号住居址	66	第 109 图	I134号住居址(1)	112
第 64 图	H45号住居址(1)	67	第 110 图	H34(2)·H71号住居址	113
第 65 图	I145号住居址(2)	68	第 111 图	I140号住居址	114
第 66 图	H46号住居址	69	第 112 图	I150号住居址(1)	115
第 67 图	H47号住居址	70	第 113 图	H50号住居址(2)	116
第 68 图	H48号住居址	71	第 114 图	H60号住居址(1)	117
第 69 图	I149号住居址(1)	72	第 115 图	I160号住居址(2)	118
第 70 图	H49号住居址(2)	73	第 116 图	H68号住居址	119
第 71 图	H51号住居址(1)	74	第 117 图	H70号住居址(1)	120
第 72 图	I151号住居址(2)	75	第 118 图	H70号住居址(2)	121
第 73 图	H51号住居址(3)	76	第 119 图	H70号住居址(3)	122
第 74 图	H51号住居址(4)	77	第 120 图	H70号住居址(4)	123
第 75 图	I151号住居址(5)	78	竖穴建物址(中阶)		
第 76 图	H52号住居址(1)	79	第 121 图	H10号住居址	124
第 77 图	H52号住居址(2)	80	第 122 图	H11号住居址	125
第 78 图	H53号住居址(1)	81	第 123 图	I112号住居址	125

第 124 図	H13号住居址	126
第 125 図	H14号住居址	127
第 126 図	H15号住居址	127
第 127 図	H16号住居址	128
第 128 図	H17号住居址	129
第 129 図	H22号住居址	129
第 130 図	H101号住居址(1)	130
第 131 図	H101号住居址(2)	131
第 132 図	H44・H103号住居址	133
第 133 図	H104・H105号住居址	134
第 134 図	H106・H107号住居址	135
第 135 図	H108・H109号住居址	136
第 136 図	H110・H112号住居址	137
第 137 図	H111号住居址	138
第 138 図	H113号住居址(1)	139
第 139 図	H113号住居址(2)	140
第 140 図	H114号住居址	141
第 141 図	H115・H116号住居址	142
第 142 図	H117号住居址・D184号土坑	144
第 143 図	H118・H119号住居址	145
第 144 図	H120・H121号住居址	147
第 145 図	H122～H125号住居址	148
第 146 図	H126・H128・H129号住居址	149
第 147 図	H130・H131号住居址	151
第 148 図	H132・H133号住居址	152
第 149 図	H134・H135号住居址	153
第 150 図	H136・H137号住居址	154
第 151 図	H138・H140号住居址	156
第 152 図	H139号住居址	157
第 153 図	H141・H142号住居址	158
第 154 図	H143・H144号住居址	159
第 155 図	H145・H146号住居址	160
第 156 図	H147号住居址	161
第 157 図	H149・H150号住居址	162
第 158 図	F1・F2号孤立柱建物址。単独ピット	164
第 159 図	F3・F4号孤立柱建物址	165
第 160 図	F5・F7・F8号孤立柱建物址	166
第 161 図	F9号孤立柱建物址	167
第 162 図	F11～F15号孤立柱建物址	168
第 163 図	横列1・2・3	169
第 164 図	単独ピット(1)	170
第 165 図	単独ピット(2)	171
第 166 図	単独ピット(3)	172
第 167 図	単独ピット(4)	173
第 168 図	単独ピット(5)	174
土坑(グリッド73～99)		
第 169 図	D(IA3・IA4・IA5)	177
第 170 図	D(IB3)	178

第 171 図	D(IB4・IB5)	179
第 172 図	D(IC5・IC3・IC4)	180
第 173 図	D(IC4・IC5)	181
第 174 図	D(IC5・ID4・ID5)	182
第 175 図	D(I(方形)分類不能)	183
第 176 図	D(IIA2・IIA3・IIA4・IIB3・II(円形)分類不能)	184
第 177 図	D(III不整形)	185
第 178 図	D70号土坑	186
第 179 図	D21・40・41・50・53・54・56～58・71号土坑 出土遺物	187
第 180 図	D62・78・83・87・90～92・94・96・98・ 100・102・103・108・114・124・135・151号 土坑出土遺物	188
土坑(グリッド1～72)		
第 181 図	D(IA2・IA3・IB4)	191
第 182 図	D(IA4・IB2・IB3)	192
第 183 図	D(IB3)	193
第 184 図	D(IB4)	194
第 185 図	D(IB5・IC3・IC4)	195
第 186 図	D(IC4・IC5)	196
第 187 図	D(ID3・ID4・I(方形)分類不能)	197
第 188 図	D(I(方形)分類不能)	198
第 189 図	D(IIA2・IIA3・IIB2・IIB3)	199
第 190 図	D(IIB3・IIB5・IIC3・IID3)	200
第 191 図	D(II(円形)分類不能・III不整形)	201
第 192 図	D156・158・164・167～169・175～177・ 179・186～191号土坑出土遺物	202
第 193 図	D192～194・196・198・200～204・207・209・ 210・214・218・223号土坑出土遺物	203
第 194 図	D224・226～229・232・239～241・247・ 267・269・270・273(1)号 土坑出土遺物	204
第 195 図	D199・273(2)・281・282・287号 土坑出土遺物	205
第 196 図	M1号溝址(1)	207
第 197 図	M1号溝址(2)	208
第 198 図	M1号溝址(3)	209
第 199 図	M1号溝址(4)	210
第 200 図	M1(5)・M3・M41号溝址	211
第 201 図	M2号溝址	212
第 202 図	M4号溝址	213
第 203 図	M5号溝址(1)	214
第 204 図	M5(2)・M6号溝址	215
第 205 図	M7～M10・M12号溝址	216
第 206 図	M11号溝址	217
第 207 図	M13～M15・M18・M19・ M21～M23号溝址	218

第 208 図	M24・M25号溝址(1)	219
第 209 図	M24・M25号溝址(2)	220
第 210 図	M26・M27号溝址(1)	221
第 211 図	M26・M27号溝址(2)	222
第 212 図	M28～M31号溝址	223
第 213～222 図	M16号溝址(1)～(10)	224
第 223～230 図	M17号溝址(1)～(8)	234
第 231～241 図	M20号溝址(1)～(11)	242
第 242 図	グリッド(73～90グリッド)・表採(1)	254
第 243 図	グリッド(73～90グリッド)・表採(2)	255
第 244 図	グリッド(73～90グリッド)・表採(3)	256
第 245 図	グリッド(1～90グリッド)・表採(4)	257
第 246 図	グリッド(1～72グリッド)・表採(5)	258

北一本柳遺跡Ⅲ 付表目次

第 1 表	竪穴住居址遺構一覽表(1)	265
第 2 表	竪穴住居址遺構一覽表(2)	266
第 3 表	竪穴住居址遺構一覽表(3)	267
第 4 表	掘立住居址遺構一覽表	267
第 5 表	土坑一覽表(1)	268
第 6 表	土坑一覽表(2)	269
第 7 表	土坑一覽表(3)	270
第 8 表	土坑一覽表(4)	271
第 9 表	土坑一覽表(5)	272
第 10 表	溝址一覽表	273
第 11 表	単独ビット一覽表(1)	274
第 12 表	単独ビット一覽表(2)	275
第 13 表	単独ビット一覽表(3)	276
第 14 表	単独ビット一覽表(4)	277
第 15 表	単独ビット一覽表(5)	278
第 16 表	単独ビット一覽表(6)	279
第 17 表	単独ビット一覽表(7)	280
第 18 表	単独ビット一覽表(8)	281
第 19 表	単独ビット一覽表(9)	282
第 20 表	単独ビット一覽表(10)	283
第 21 表	単独ビット一覽表(11)	284
第 22 表	単独ビット一覽表(12)	285
第 23 表	単独ビット一覽表(13)	286
第 24 表	I11(1)遺物一覽表	287
第 25 表	H1(2)・H2(1)遺物一覽表	288
第 26 表	H2(2)遺物一覽表	289
第 27 表	I12(3)・I13(1)遺物一覽表	290
第 28 表	H3(2)遺物一覽表	291
第 29 表	H3(3)～H5(1)遺物一覽表	292
第 30 表	H5(2)・H6(1)遺物一覽表	293
第 31 表	H6(2)～H10・H14・H16～H18(1)遺物一覽表	294
第 32 表	H18(2)・H19(1)遺物一覽表	295
第 33 表	H19(2)・H20(1)遺物一覽表	296
第 34 表	I120(2)～I125・I128(1)遺物一覽表	297
第 35 表	H28(2)～H30(1)遺物一覽表	298
第 36 表	H30(2)・H31(1)遺物一覽表	299
第 37 表	I131(2)遺物一覽表	300
第 38 表	H31(3)～H34(1)遺物一覽表	301
第 39 表	I134(2)～I138(1)遺物一覽表	302
第 40 表	H38(2)～H41・H43～H48遺物一覽表	303
第 41 表	H49～H51(1)遺物一覽表	304
第 42 表	H51(2)・H52(1)遺物一覽表	305
第 43 表	I152(2)～I156(1)遺物一覽表	306
第 44 表	H56(2)～H58(1)遺物一覽表	307
第 45 表	I158(2)～I161(1)遺物一覽表	308
第 46 表	H61(2)～H63(1)遺物一覽表	309
第 47 表	H63(2)～H66(1)遺物一覽表	310
第 48 表	I166(2)・I168～I170(1)遺物一覽表	311
第 49 表	H70(2)・H101～H103(1)遺物一覽表	312
第 50 表	I1103(2)～H111・H113(1)遺物一覽表	313
第 51 表	H113(2)～H115・H117～H122・H129(1)遺物一覽表	314
第 52 表	H129(2)～H131・H133～H140・H142・H143・H145・H149遺物一覽表	315
第 53 表	F2, 単独ビット, D21・40・41・50・53・54(1)遺物一覽表	316
第 54 表	D54(2)・56～58・62・70・71・78・83・87・90～92・94・96・98・100・102・103・108・114・124遺物一覽表	317
第 55 表	D135・151・156・158・164・167～169・175～177・179・186～194・196・198～204・207(1)遺物一覽表	318
第 56 表	D207(2)・209・210・214・218・223・224・226～229・232・239～241・247・261・263・267・269(1)遺物一覽表	319
第 57 表	D269(2)・270・273・274・281・282・285・287・295・307, M1(1)遺物一覽表	320
第 58 表	M1(2)遺物一覽表	321
第 59 表	M1(3)・M2(1)遺物一覽表	322
第 60 表	M2(2)・M4・M5・M7・M8・M11・M16(1)遺物一覽表	323
第 61 表	M16(2)遺物一覽表	324
第 62 表	M16(3)遺物一覽表	325
第 63 表	M16(4)遺物一覽表	326
第 64 表	M16(5)・M17(1)遺物一覽表	327
第 65 表	M17(2)遺物一覽表	328
第 66 表	M17(3)遺物一覽表	329
第 67 表	M17(4)・M18・M20(1)遺物一覽表	330
第 68 表	M20(2)遺物一覽表	331
第 69 表	M20(3)遺物一覽表	332
第 70 表	M20(4)・M23～M26(1)遺物一覽表	333

第 71 表	M26(2)~M29・M41、グリッド(1)	
	遺物一覧表	334
第 72 表	グリッド(2)遺物一覧表	335
第 73 表	グリッド(3)遺物一覧表	336
第 74 表	グリッド(4)遺物一覧表	337
第 75 表	グリッド(5)遺物一覧表	338

北一本柳遺跡Ⅲ 図版目次

図版 1	全景、H1~3・5・6号住居址	339	図版 36	D265~273・299号土坑	374
図版 2	H6・7・9・18・19号住居址	340	図版 37	D273・275~282・284号土坑	375
図版 3	H20・21・23・25号住居址、M1号溝址	341	図版 38	D283・284・286~289・291~294号土坑	376
図版 4	H10・16・22・24・101・102号住居址、M1・4・5号溝址	342	図版 39	D294・296~302・304・305・409・410号土坑	377
図版 5	I128・30・41・48・50号住居址	343	図版 40	D306・308~315号土坑	378
図版 6	H51~54号住居址	344	図版 41	M16・M17・M20号溝址	379
図版 7	I156~58・60号住居址	345	図版 42	H1(1)出土遺物	380
図版 8	H60・61・63・65号住居址	346	図版 43	H1(2)出土遺物	381
図版 9	I166・111~115・117号住居址	347	図版 44	H1(3)・I12(1)出土遺物	382
図版 10	H119・129~131・133・134・138~140・143号住居址	348	図版 45	I12(2)出土遺物	383
図版 11	H143・146号住居址、単独ピット、M24・26・27号溝址	349	図版 46	H2(3)出土遺物	384
図版 12	D1~4・8・9・15・16・19・21~23・31・33・46・54・66・68号土坑	350	図版 47	I13(1)出土遺物	385
図版 13	D55~65号土坑	351	図版 48	H3(2)・I18出土遺物	386
図版 14	D19・65~69・71~73・75・76号土坑	352	図版 49	H5(1)出土遺物	387
図版 15	D77~79・81~85号土坑	353	図版 50	I15(2)出土遺物	388
図版 16	D79・85~96・98・101号土坑	354	図版 51	H5(3)・I16(1)出土遺物	389
図版 17	D97・98・100~105・107・108・121・403号土坑	355	図版 52	I16(2)出土遺物	390
図版 18	D108~117・135号土坑	356	図版 53	H7・H9・I118(1)出土遺物	391
図版 19	D117~124号土坑	357	図版 54	I118(2)・H19(1)出土遺物	392
図版 20	D101・102・125~128・130~134・407号土坑	358	図版 55	H19(2)出土遺物	393
図版 21	D124・134~144号土坑	359	図版 56	I120(1)出土遺物	394
図版 22	D143~152号土坑	360	図版 57	H20(2)・I121・H23・H25、M1(1)出土遺物	395
図版 23	D152~157・404~406号土坑	361	図版 58	I128・H29・H30(1)出土遺物	396
図版 24	D155・157~165号土坑	362	図版 59	H30(2)・H31(1)出土遺物	397
図版 25	D166~175号土坑	363	図版 60	H31(2)出土遺物	398
図版 26	D175~177・179~184号土坑	364	図版 61	I131(3)出土遺物	399
図版 27	D180・184~191・193号土坑	365	図版 62	H32・I133出土遺物	400
図版 28	D193~200・208号土坑	366	図版 63	I134~H36出土遺物	401
図版 29	D201~207・209・210号土坑	367	図版 64	H37~I141(1)出土遺物	402
図版 30	D210~219号土坑	368	図版 65	H41(2)・H43・H45~I149(1)出土遺物	403
図版 31	D219~227・233号土坑	369	図版 66	H49(2)~I151(1)出土遺物	404
図版 32	D227~232・234~236号土坑	370	図版 67	H51(2)出土遺物	405
図版 33	D236~245号土坑	371	図版 68	H51(3)・H52出土遺物	406
図版 34	D245~253号土坑	372	図版 69	I153~H56(1)出土遺物	407
図版 35	D251・253~258・262・264・265号土坑	373	図版 70	H56(2)~I158(1)出土遺物	408
			図版 71	H58(2)~H60(1)出土遺物	409
			図版 72	I160(2)・H61(1)出土遺物	410
			図版 73	H61(2)~H64(1)出土遺物	411
			図版 74	H64(2)~I166(1)出土遺物	412
			図版 75	H66(2)・H68~H70(1)出土遺物	413
			図版 76	H70(2)・F2、単独ピット(1)出土遺物	414
			図版 77	H4・H10・I114・H16・H17・I122・H24・H101・H102出土遺物	415
			図版 78	I144・H103~I1109(1)出土遺物	416
			図版 79	H109(2)~H111・H113(1)出土遺物	417
			図版 80	H113(2)~H115・H117~H120(1)出土遺物	418
			図版 81	I120(2)~H122・I1129~H131・I1133~H135・I1137・H140出土遺物	419

図版 82	H113・H115・H117・H139・H142・H143・H145・H149出土遺物	420
図版 83	単狭ビット(2)、D21・70・40(1)出土遺物	421
図版 84	D40(2)・41・50・53・54・56～58・62・71・78・83・87・90・91(1)出土遺物	422
図版 85	D91(2)・92・94・96・98・100・102・108・114・124・135・151、グリッド(1)出土遺物	423
図版 86	D167～169・175～177・186～193・198 出土遺物	424
図版 87	D191(2)・200・201(1)・203・204・207・210・218・224・226(1)出土遺物	425
図版 88	D156・158・164・194・199・201(2)・226(2)・232・261・274・285・295・307出土遺物	426
図版 89	D214・227～229・239～241・247・267・269・270・273(1)出土遺物	427
図版 90	D273(2)・281・282・287出土遺物	428
図版 91	M1(2)出土遺物	429
図版 92	M1(3)出土遺物	430
図版 93	M1(4)出土遺物	431
図版 94	M2・4・5出土遺物	432
図版 95	M7・8・11・18・23～26(1)出土遺物	433
図版 96	M16(1)・17(1)・20(1)・26(2)～29・41出土遺物	434
図版 97	M16(2)出土遺物	435
図版 98	M16(3)出土遺物	436
図版 99	M16(4)出土遺物	437
図版 100	M16(5)出土遺物	438
図版 101	M16(6)出土遺物	439
図版 102	M16(7)・17(2)出土遺物	440
図版 103	M17(3)出土遺物	441
図版 104	M17(4)出土遺物	442
図版 105	M17(5)出土遺物	443
図版 106	M17(6)出土遺物	444
図版 107	M17(7)・20(2)出土遺物	445
図版 108	M20(3)出土遺物	446
図版 109	M20(4)出土遺物	447
図版 110	M20(5)出土遺物	448
図版 111	M20(6)出土遺物	449
図版 112	M20(7)出土遺物	450
図版 113	M20(8)出土遺物	451
図版 114	M20(9)出土遺物	452
図版 115	グリッド(2)出土遺物	453
図版 116	グリッド(3)出土遺物	454
図版 117	グリッド(4)出土遺物	455
図版 118	グリッド(5)出土遺物	456
図版 119	グリッド(6)出土遺物	457





- 居住用地
- 公共绿地
- 道路用地
- 水域
- 其他
- 未定
- 其他

第一居民区 北木街建设区住宅区规划图 (1:2,000)

第I章 北一本柳遺跡Ⅲ 遺構と遺物

第1節 竪穴住居址

1. 弥生時代後期

(1) H1号住居址

お83グリッドにあり、D42、D43、D51に切られる。南北長444cm、東西長600cm、壁高は31～44cmを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方位はN-64°-Eを指す東西棟である。4本主柱穴で、西の主柱穴間にかががある。炉は土器を敷く埋燵炉である。主柱穴は南北200cm、東西360cmに配され東西の柱穴間が少し広い。主柱穴の深さ45～58cmを測る。P1の底には57の甕が逆位に入っていた。東壁下には出入り口ピットP6・P7があり、その南にはP5の貯蔵穴があり、径58cm深さ32cmの円形である。

床面はロームブロックと黒褐色土ブロックの混在土が貼られ、締まっている。D1は床下土坑で径110cm、深さ60cmの円形、断面はフラスコ型である。ロームで貼床され、下層にはロームに黒褐色ブロックを含む上が見られる。

出土遺物には弥生土器があり、杯、鉢、高杯、甕、壺、甕、台付甕、土製円板、敲石、凹石、磨石、石核、鉄鏃がある。

1の高杯は赤色塗彩され、鈎が外方に平らに長く延び、外面の頸部に櫛描簾状文を施す。2の高杯は口縁が外反気味に折れている。1・2とも口縁に突起が付く。10の高杯は大型品の脚で、裾部が広がる。13は三角錐形で、裾は直線的である。15は小型の脚で、三角透しがある。18は重量のある杯で400g、19の杯は160gと器の大・小を越える重量差がある。器形は口縁上部が内湾する。20・21の杯は小型の杯である。杯類は全面ミガキで、底部以外は赤色塗彩される。

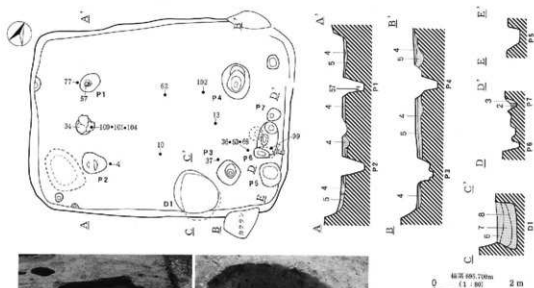
28の壺は口縁外反する単純口縁で赤色塗彩され、頸部櫛描簾状文、櫛描横線文が施される。29は無彩色の壺で、頸部に櫛描簾状文を施す。31の壺は受け口状口縁で、口縁外面に櫛描波状文、他は赤色塗彩され、口縁中位に焼成後の小孔がある。頸部文様には33の櫛描T字文、35の櫛描波状文、34の櫛描簾状文+赤色塗彩帯+櫛描波状文など文様が胴上部にまで幅広く施文される。

甕は50が折り返し口縁で、櫛描波状文が施文される。53は櫛描波状文が施文され、胴部の肩は張らず、中位で張るが細い。54の甕は直線に近い櫛描波状文を施文している。60は頸部に櫛描簾状文が施文されず、これは頸部の文様が意識されていない。57はP1の底から出土したもので、口縁が大きく外反し、胴部は張らない。櫛描波状文と櫛描簾状文である。55は斜走文が一方方向に施文される。49は折り返し口縁の甕で、口縁胴部櫛描斜走文、頸部櫛描簾状文である。77は台付甕の脚で、裾が外反気味に開く。鉄鏃は無茎の三角形で下が抉れ、中央に1穴が開いている。

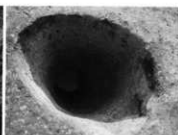
杯類や壺類が赤色塗彩され、壺の文様が幅広く、文様を組み合わせている。54の甕の文様に斜走文か波状文か判別しがたいものがあるなど弥生後期後葉の土器である。

(2) H2号住居址(図版44～46、第1分冊巻頭図版12)

え79グリッドにあり、北は調査区域外で、掲載図はS46年調査と合わせている。D7が中央で床面まで壊し、さらにD1・D6・D49・D52、M41を切る。南北長708cm、東西長524cm、壁高は12～40cmで、隅丸長方形を呈す。主軸方位はN-2°-Wでほぼ北を指す。主柱穴は4本で、炉は北の主柱穴間に持つ。埋燵かで甕の胴下部を利用している。主柱穴はP4が円形で他は楕円形である。東西260cm、南北400cmに配され、深さは50・63cmを測る。P5は貯蔵穴で、径60cmの円形を呈し、深さ92cmの断面はフラスコ型である。地盤のずれで断面に凹凸がある。貯蔵穴の底からは19の高杯



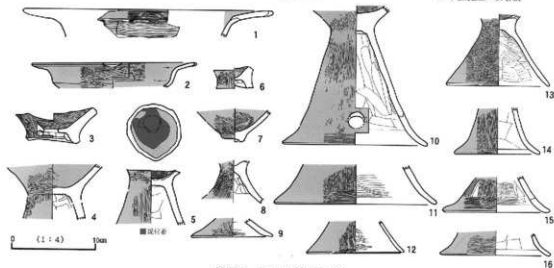
H1 完掘(東より)



H1 P1 57奥(東より)

H1 土層説明

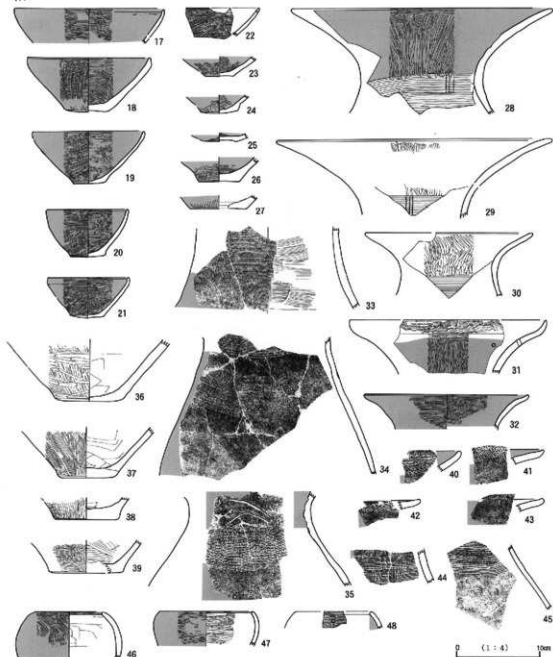
1. 層土
2. 濃い赤褐色土層(IVB4/2) 柱版
3. 褐色土層(IVB10/0) ローム土体
4. 褐色土層(IVB10/0) ロームブロック主体に黒褐色土ブロック含む(埋戻)
5. におい褐色土層(IVB5/0) ローム主体
6. におい赤褐色土層(IVB6/2) ローム主体
7. におい褐色土層(IVB7/0) ロームと黒褐色土ブロック含む
8. におい褐色土層(IVB5/0) ロームと黒褐色土ブロック含む



第3図 H1号住居(1)

脚が出土する。P6・P7の出入り口のピットは、南から北に斜めに入り込んでいる。壁際には壁柱穴があり、円形で径15~20cm、深さ15~22cmを測る。南西と南東にあるP10・P11は円形プランで径35cm、56・31cmと深いピットである。床面は黒褐色土ブロックとロームブロックの混在土を貼り、締まっている。周溝は全周しないものの、南壁下と、西壁から北壁にある。

H1

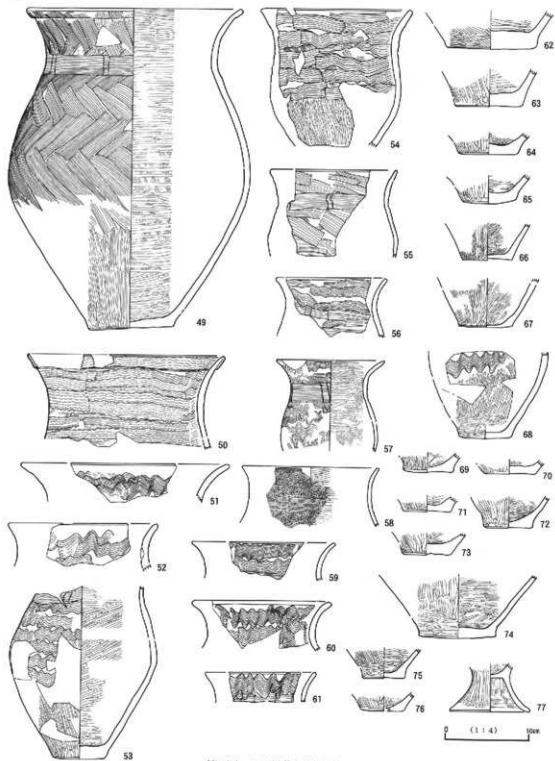


第4図 H1号住居址(2)

堀方では南壁下の東側に床下土坑があり、長径120cm、短径103cm、深さ48cmを測る。覆土中間に砂質土があることから、水が堆積したことが窺える。中位から25・36の壺と56の甕が出土する。また東側の床下は100cmほど内周するプランが見られ、壁柱穴を伴っている。

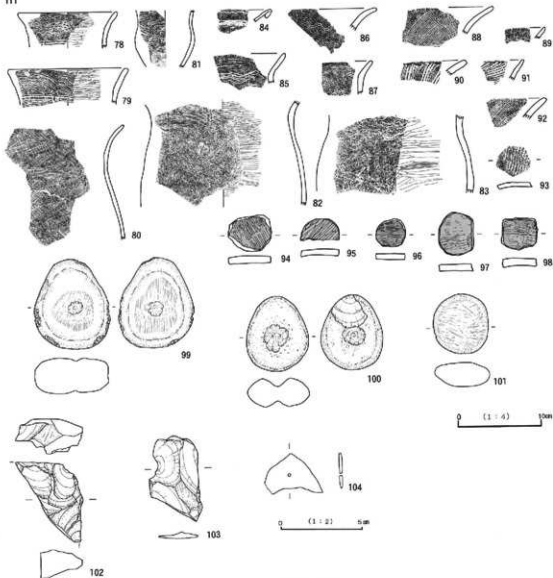
出土遺物には弥生土器とガラス小玉、紡錘車、台石と戴石がある。混入品としては刀子・波来銭がある。

H1



第5圖 H1号住居址(3)

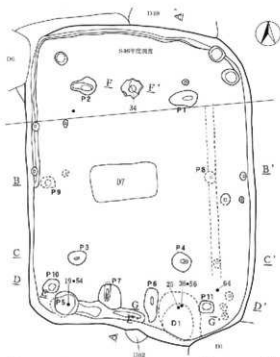
H1



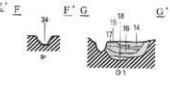
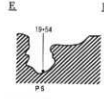
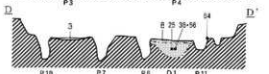
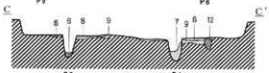
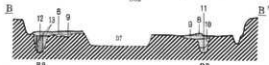
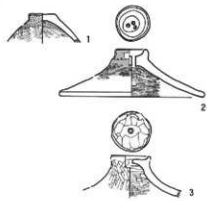
第6図 H1号住居址(4)

弥生土器は蓋、杯、鉢、高杯、壺、甕、台付甕、土製円板がある。2の蓋は天井に焼成前穿孔3孔がなされ、内面ミガキ、外面は上部のみ赤色塗彩される。杯は台状の底部から直線的に外傾し、上部で内湾する器形で、ミガキ赤色塗彩される。4は厚手で重く、他は軽量である。18の高杯は杯部全体が内湾する。19・20の脚は裾部が外反して開くもので、20には三角透しがある。壺の28は胴部が球形を呈し、胴下部はいくらか屈曲している。34は炉に使用されていた壺の下部であるが、外反気味である。24・25の壺は赤色塗彩され、口縁が外反して上部で内湾する壺である。口縁外面は櫛描波状文。26は口縁が頸部から強く外反し、頸部に櫛描横線文、赤色塗彩される。27は小型の壺で、胴肩部は張っている。頸部には櫛描簾状文が施される。

54の甕は口縁が強く外反し、胴上部は張っている。櫛描波状文に櫛描簾状文が施文されるが、最



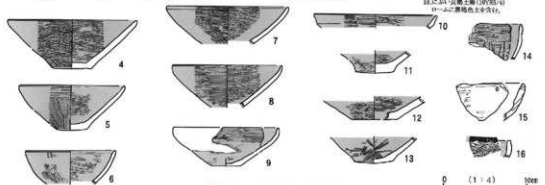
112 縦方(南より)



- 112 土層説明
 1. 赤色土層
 2. 褐色土層
 3. 暗褐色土層
 4. 褐色土層
 5. 赤色土層
 6. 12.5A-黄褐色土層(10YR4/3) 軽灰
 7. 褐色土層(10YR6/4) コーン土状
 8. 12.5C-褐色土層(10YR5/4) 黄褐色土
 プロップ、ロームブロック散在
 9. 黄褐色土層(10YR5/4) コーン土層に
 褐色土ブロック散在を含む
 10. 黄褐色土層(10YR5/4) コーン土層
 11. 暗褐色土層(10YR3/3)
 ロームブロック散在

標高 693.700m
 (1:100) 2m

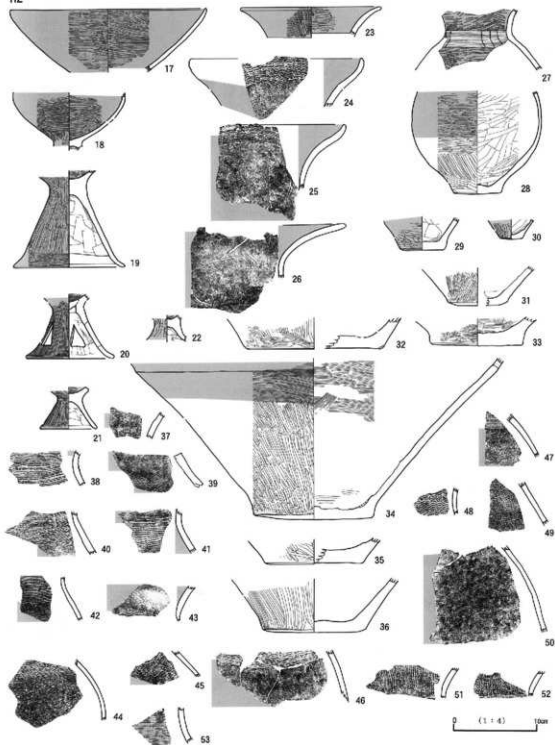
12. 暗褐色土層(10YR3/4) 軽灰
 13. 12.5C-黄褐色土層(10YR5/4)
 コーン土状
 14. 12.5B-褐色土層(7.5YR5/4) コーン土状
 15. 暗褐色土層(10YR3/4)
 褐色土、ロームブロック散在
 16. 12.5A-黄褐色土層(10YR4/3)
 コーン土層
 17. 暗褐色土層(7.5YR3/4)
 シルクストーン
 18. 12.5A-黄褐色土層(10YR4/3)
 コーン土に黄褐色土を散在



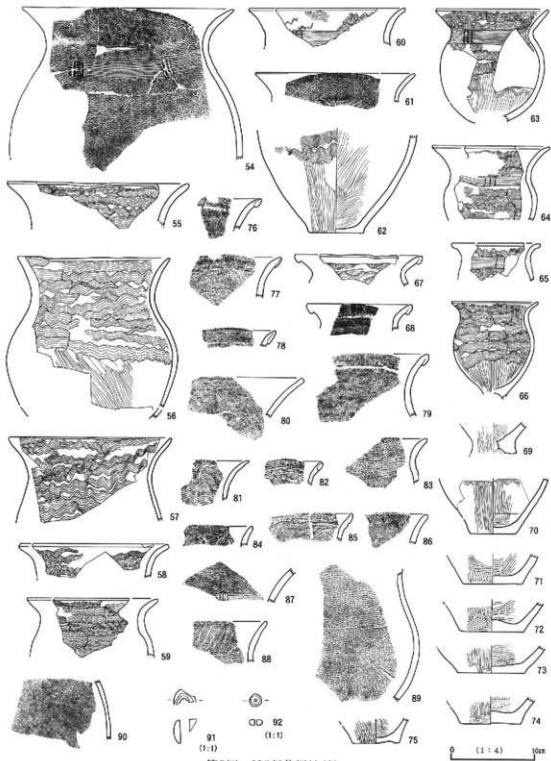
第7図 H2号住居址(1)

(1:4) 10cm

H2

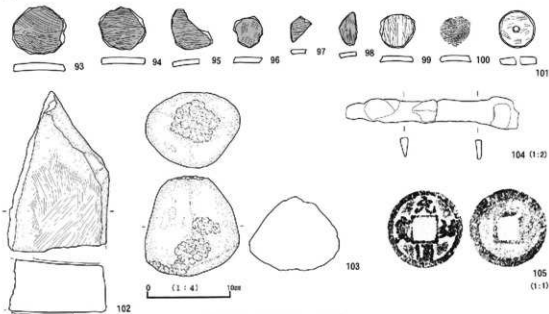


第8图 H2号住居址(2)



第9图 H2号住居址(3)

H2



第10図 H2号住居址(4)

もくびれている頭部より、施文位置が下がり胴部寄りである。56の甕は櫛描波状文が横走するが、直線文に近い。63・66は台付甕で、口縁が大きく外反し最大径をもち、胴部は球形形を呈す。波状文を施文し、頸部に篋状文を施さないものと両者ある。

91のガラス小玉は、7mm大でブルー、92の青緑色のガラス小玉は、巾4mm、厚さ2mm大である。土製紡錘車は、径4.6cm、厚さ1.0cmを測る。

杯・壺類の大半が赤色塗彩され、壺の胴部が球形形を呈す。甕は口縁の外反が強く、胴部球形形を呈し、施文は頭部を意識せず、篋状文を施さない波状文のみのものが多い。これらより、弥生後期後葉の土器群である。

(3) H3・8号住居址

H3はお77グリッドにあり、D12～D14、D45に切られ、H8を切る。南北長760cm、東西長476cm、壁高27～33cmを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方位はN-2°-Wを指す。床下に南北(708)cm、東西長464cmの隅丸長方形のプランがあり、H8とした。

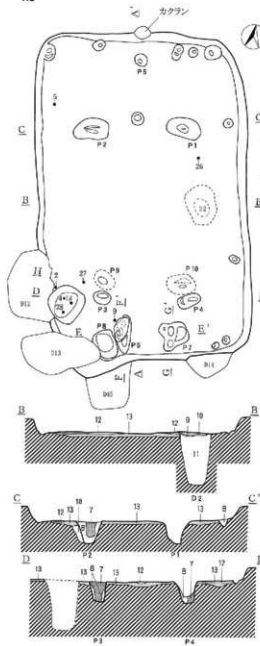
H3は4本主柱穴で、北は長径84・88cm、短径54・53cm、深さ40・46cmの楕円形を呈す。南は楕円形ではあるが、長径43・58cm、短径36・30cm深さ50・52cmと小振りである。P5は棟持柱であろうか、径32cm、深さ37cmを測る。P6・P7が出入り口ピット、その西脇に隅丸方形のP8の貯蔵穴があって、長径72cm、深さ26cmを測る。東壁と北壁には径22～36cm、深さ16～36cmの円形の壁柱穴がある。床面はロームを貼って良く締まっている。北の柱穴間にある径32cm、深さ20cmの掘り込みは埋甕炉の痕跡であろうが、土器は分らない。

床下からはP3・P4の40cmほど北に、旧ピットP9・P10が検出される。出入り口のピットも内側に床下ピットがあり、拡張されたようである。

D2は東床面中央にあり、長径98cm、短径69cm、深さ122cmを測る床下土坑である。ロームを主体に黒褐色土層が縮状に堆積する。遺物はない。

H8はH3の床下にあつて、8～12cm内周する。床下住居ともいえるが周溝があり、柱穴は北にある。

H3



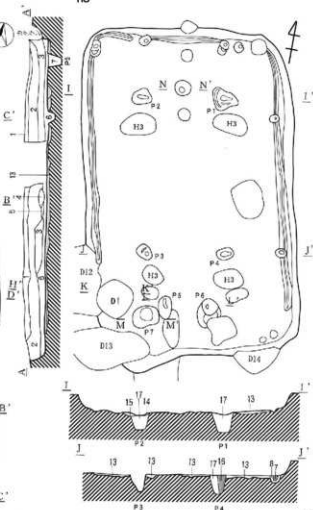
H3 土層説明

1. 黒色土層
2. 褐色土層
3. 緑褐色土層
4. 灰色土
5. ローム
6. 褐色土 (0V13/2) 柱礎
7. 黒褐色土層 (0V13/2) 柱礎
8. 褐色土層 (0V13/4) ローム土塊

9. 灰褐色土層 (0V13/3)

- ロームブロックによる柱礎。
10. 褐色土層 (0V12/1) 黒色の土。
11. L.S. 灰褐色土層 (0V13/4)
ローム土塊に埋め込まれた褐色土土塊。
12. 灰褐色土層 (0V13/3) (基床)
13. 褐色土層 (0V13/3)
ローム土塊、褐色土ブロック含む。

H8



H3・H8 断面(南より)

14. 褐色土層 (0V13/4) ローム土塊。
P5 褐色土層 (0V12/2)。
D1 黒褐色土層 (0V13/2) 高部分、
床下石室。
15. 黒褐色土層 (0V13/2) (基床)
16. 緑褐色土層 (0V13/2) (基床)
17. 緑褐色土層 (0V13/3) 柱礎。
17.L.S. 灰褐色土層 (0V13/4)
ローム土塊。

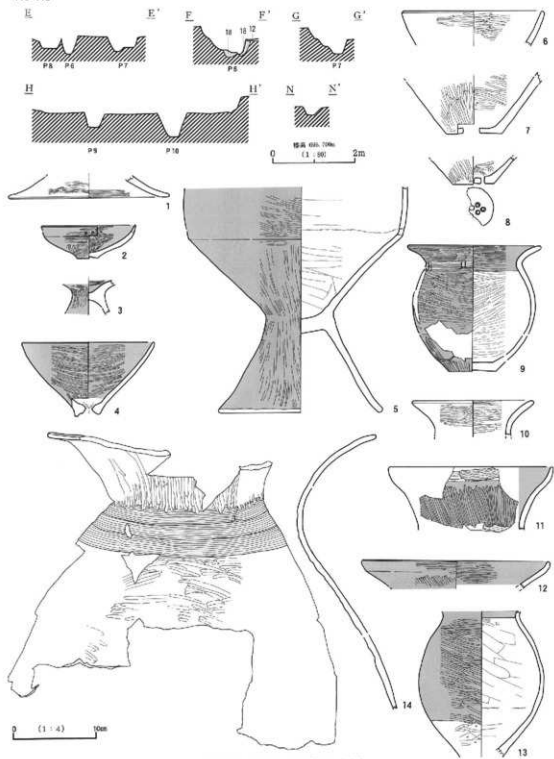
108 土層説明

13. 褐色土層 (0V13/4)
ローム土塊、褐色土ブロック含む。
14. 黒褐色土層 (0V13/2) (基床)
15. 緑褐色土層 (0V13/2) (基床)
16. 緑褐色土層 (0V13/3) 柱礎。
- 17.L.S. 灰褐色土層 (0V13/4)
ローム土塊。

0 1m 2m
縮尺 0.5:1 (1:80)

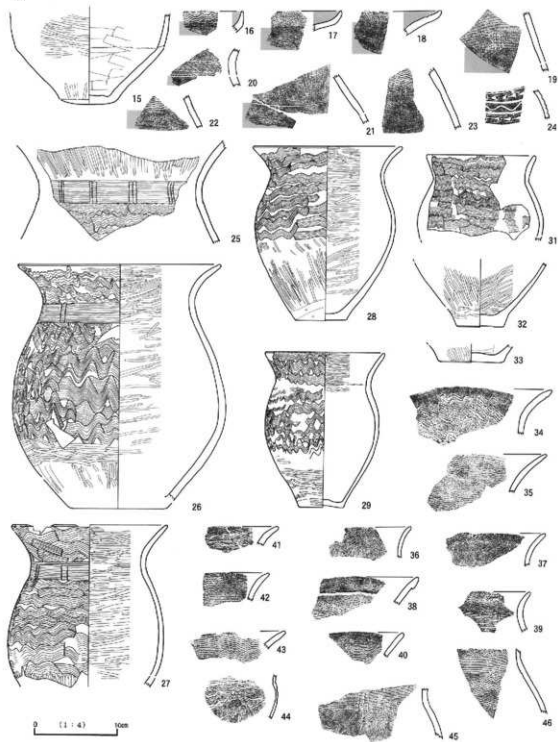
第11図 H3・H8号住居址(1)

H3·H8

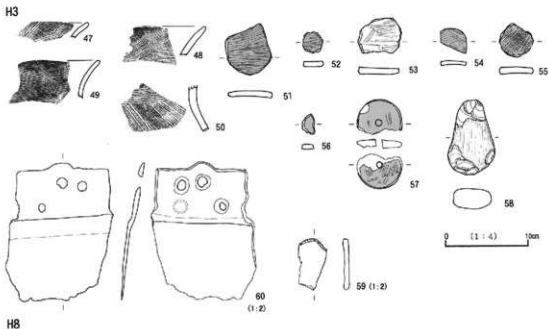


第12图 H3·H8号住居址(2)

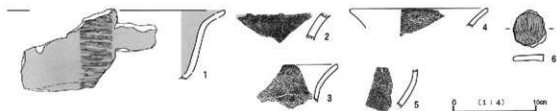
H3



第13图 H3号住居址(3)



H8



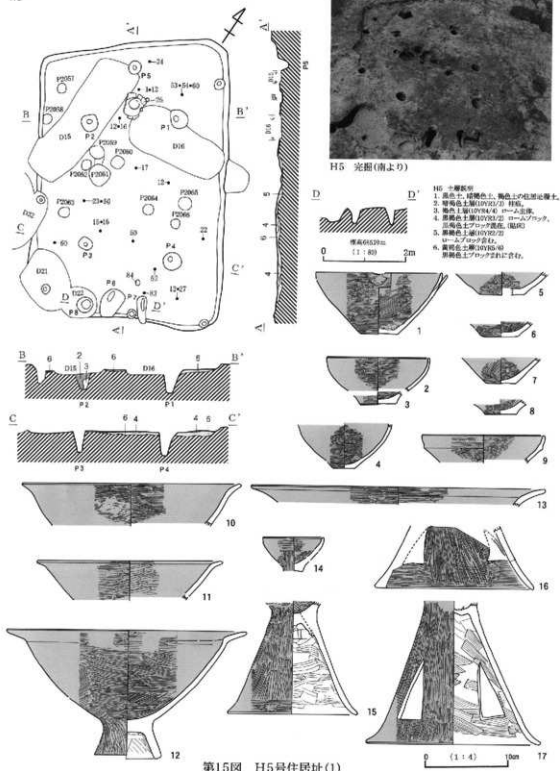
第14図 H3(4)・H8(3)号住居址

H3 D1は当初H8に伴った土坑であろう。主柱穴は東西に長く長径44~59cm、短径30~55cm、深さ42~56cmを測る。炉は北の主柱穴間よりやや北に落ち込みが残る。P5・P6は出入りロビットで、南北に長く長径60・75cm、短径35・40cm、深さ45・26cmを測る。D1は南西隅にあり、径89cm、深さ122cmの円形土坑である。4の高杯、13~15の壺、28の甕が出土している。深い土坑である。

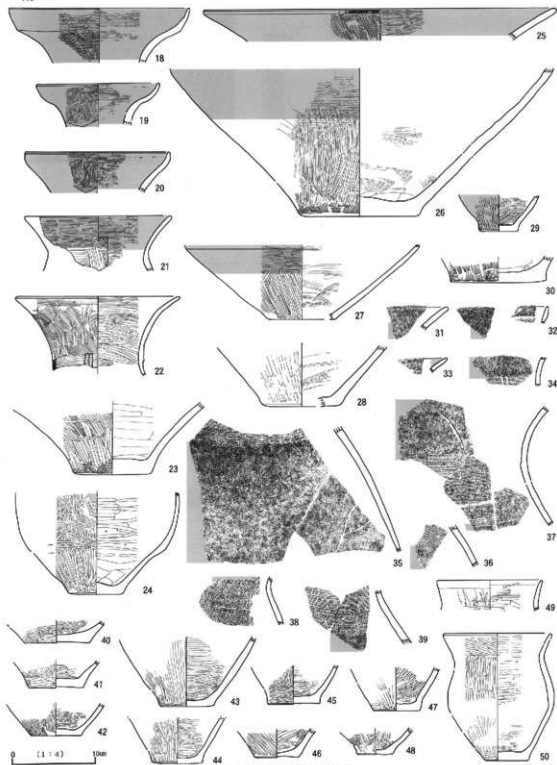
H3の出土遺物には弥生土器、敲石、土製紡錘車、混入品として鉄製の鍋がある。2の杯は器高が浅く、口縁が大きく開き外縁をもち赤色塗彩され、口縁に焼成前穿孔の小孔が2個ある。5は胴付の壺である。胴部・脚部内面はヘラナデされ、外面ミガキ赤色塗彩される。9は深鉢で、口縁は強く外反し、胴部は球胴形を呈す。頸部に櫛描篋状文、口縁内外と胴下部までミガキ赤色塗彩され、胴最下部と底部、胴部内面はミガキ調整される。14は赤色顔料の付着により黒色を呈す部分があるが無彩色で、頸部櫛描横線文。25も無彩色の壺であるが頸部櫛描篋状文・櫛描波状文が施文される。28・29の甕は口縁が大きく外反し最大径をもち、頸部はくびれ中位で張る。口縁から胴中位まで櫛描波状文である。27の器形は同様であるが、口縁の波状文は斜走し頸部に篋状文が施文される。26は大型で厚手もので、櫛描波状文、篋状文の甕である。球胴形で、胴中位下に最大径をもつ。

H8は弥生土器の高杯、壺、甕の破片と土製円板が出土する。高杯は口縁が内縁をもって外反し、下部に外縁をもっている。内外ミガキ赤色塗彩である。

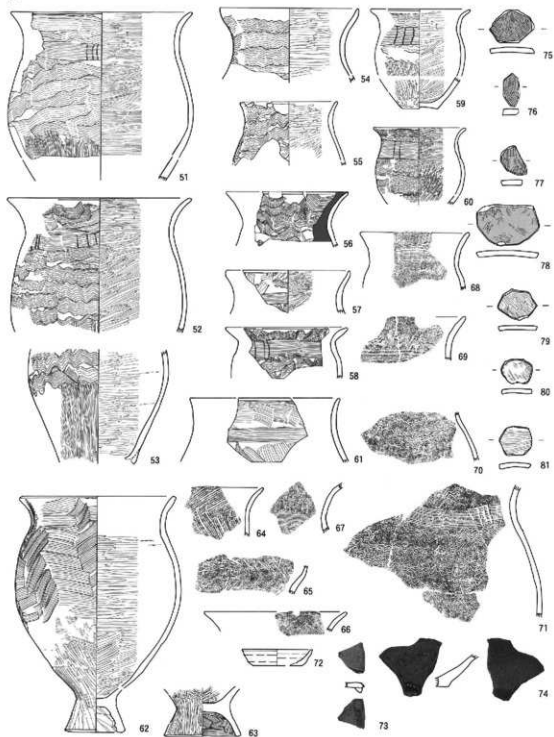
これらよりH3は口縁の外反が強く、球胴形の胴部、甕は頸部がくびれて大きく外反する口縁、斜走する櫛描波状文など、弥生後期後葉の様相を呈する。H8はH3より古いが、高杯の杯部に外縁が



H5

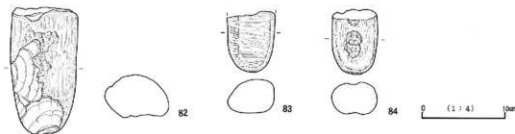


第16图 H5号住居址(2)



第17图 H5号住居址(3)

H5



第18図 H5号住居址(4)

付きやはり後期後葉に位置づけられよう。

(4) H5号住居址

お80グリッドにあり、D15・D16・D21・D22・D32、単P2057～P2066に床面の一部を切られる。長軸長648cm、短軸長432cm、壁高8～14cmを測る。隅丸長方形を呈し、主軸方位はN-33°-Wを指す。主柱穴4本は、南東が飛びだすが東西200cm、南北300・340cmに配される。ピットは円形で、長径35～47cm、短径30～40cm、深さ42～58cmを測る。P2に柱痕が残り、32×18cmの楕円形を呈す。炉は北の主柱穴間より北にあって、26の壺の下部を埋設している。炉の北にあるP5は棒持柱で、円形の径34cm、深さ40cmを測る。南壁下中央には南北に長く、北に傾斜する深い出入り口ピットがあり、深さは45・47cmを測る。壁際には5個の円形の壁柱穴が見られる。P8は貯蔵穴であろうか径38cm、深さ36cmを測る。

床面はロームに黒褐色土ブロックを含み締まっている。床下には特別な遺構はない。

出土遺物には弥生土器と、葎石がある。弥生土器は杯、鉢、高杯、壺、甕、台付甕、土製円板がある。72のかわらけは重複する中世遺構からの混入である。1の鉢は片口鉢、軽量で薄手、赤色塗彩される。高杯は口縁が折れて鈎状に伸び下部は内湾する。15・17は高杯の脚で、裾部で外反する。17は大型品で三角透しが設けられる。16は「ハ」字形で、正三角形の透しがある。

18の壺は受け口状口縁で、外面の施文はなく赤色塗彩される。21は赤色塗彩され、口縁が外反する単純口縁の壺である。頸部に櫛描T字文が施される。22は無彩色の壺で、口縁が外反し、頸部に櫛描簾状文を施す。弥生後期前葉のもので、器台として再利用しているのであろうか。壺の文様は35は櫛描波状文、37は頸部に櫛描簾状文、櫛描横線文を施す。

甕の51は口縁が外反し、胴部球形を呈し、外面口縁の櫛描波状文は横線文状になり、胴下部は乱れた波状文になっている。62の台付甕は最大径を胸部にもち、球胴形を呈す。口縁から胴中位まで櫛描斜走文が縦羽状に施文される。50の小型の甕は口縁が直線的に外傾し、胴中位で張る。外面はミガキ調整のみである。

これらより、壺の頸部文様の櫛描簾状文と波状文の組み合わせ、甕の櫛描波状文の斜走文化などが弥生後期後葉の様相をもっている。

(5) H6号住居址

き78グリッドにあり、H10・H13・H15、F13・F15、D17・D25～D30・D53・D57・D58・D60、単P35・P54～P57・P85・P2025～P2053の中世の竪穴建物址、単独ピットに切られる。南北長832cm、東西長712cm、壁高4～28cmを測る。主軸方位はN-15°-Wを指し、隅丸長方形を呈す。4本主柱穴で、東西280cm、南北412cmの長方形に配される。主柱穴のピット形は東西に長く、堀方では長軸80～100cm、深さ42～74cmを測る。柱痕はP3で楕円形を呈し、長径46cmが計測される。

南壁下には出入り口のビットP5・P6があり、Eセクションに示した南北に細長い堀方に径10cmほどの円形柱痕が48cm斜めに入り込んでいる。

南西にはD1があり、長径190cm、短径136cm、深さ226cmの楕円形を呈する。下層はロームが堆積し、土器片を含み、中間に炭化物層があり、その上にまたローム主体の薄層、その上の褐色土層に3・4の杯・鉢、9の高杯、14の深鉢、20・21・22の壺、34・35の甕などの土器を含んでいる。壁下には周溝が廻る。P7～20の円形プランの壁柱穴13個が壁下にある。貼り床は暗褐色土ブロックを埋入するロームが貼られ縮まっている。南の床下からは、P21・P22の径41～46cmの円形ビットが出土した。

出土遺物には弥生土器、上製紡錘車がある。D1から出土した9の高杯は杯部が浅く、内湾して開き、口縁が折れて水平に伸びて鈿となる。脚は太く、裾が少し外反気味になる。20の壺は球胴形の胴部形で、胴中位下まで赤色塗彩される。胴中位下の外稜から底部への屈曲はない。14の深鉢は焼け込んで赤色塗彩が剥離している。頸部に焼成前穿孔2個が対にある。21の壺は大型の太頭壺、胴部下端が揃い、器台として再利用されているであろうか。赤色塗彩され、単純口縁は強く外反し端部は水平に伸びる。頸部に、櫛描簾状文、櫛描波状文が施文される。22は21と同器形同法量である。文様も同じである。17は口縁が外反し上部が内湾する壺、赤色塗彩のみで外面の施文はない。34の甕は口縁の外反がわずかで、胴部形が球形を呈す。櫛描波状文を施文する。35は口縁が長く大きく外反する甕で、最大径は口縁にある。櫛描波状文、簾状文が施文される。

I区から出土する24の壺胴下部には屈曲が見られ、33の甕は頸部文様に櫛描横線文、赤色塗彩帯、櫛描横線文、櫛描簾状文を多段に施文している。23の壺は無彩色で、頸部は櫛描簾状文と横線文である。南西隅から出土した10の高杯脚は中製品で、裾部が外反して開く脚に三角透しの大小が組み込まれている。これらより箱清水式土器、弥生後期後葉であろう。

(6) H7号住居址

け80グリッドにあり、南は調査区域外である。D31・D55・D56・D62～D64・D89・D405・D406、単独ビットP2002～P2013、攪乱に切られる。南北(532)cm、東西長448cm、壁高11～14cmを測る。主軸方位はN-14°-Wを指し、隅丸長方形を呈すであろう。

4本主柱穴は、東西220cm、南北300・320cmの長方形にある。主柱穴は径82～95cm、深さ70～86cmで、底面には柱痕に当たる部分なのだろうか径12～16cmの円形の落ち込みがある。4は北の主柱穴より少し北にあり、壺の胴部片を敷いて火床としている。床面は重複造構が床面まで及んでおり、中央部は縮まっていたが他はそれほど縮まっていない。周溝、壁柱穴はみられない。

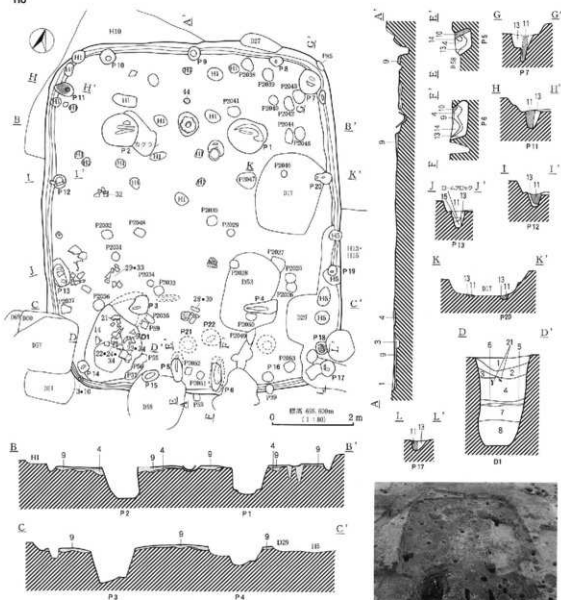
出土遺物には弥生土器の杯と鉢、壺がある。杯は赤色塗彩される。3は鉢ない瓶で、ミガキのみである。4は4に使用された壺胴下部で、屈曲はなく直線的である。5の甕は口縁が短く外反する。口縁胴部櫛描波状文、頸部櫛描簾状文である。これらより、弥生後期後葉箱清水式土器とみられる。

(7) H9号住居址

え81グリッドにあり、北は調査区域外、D86に切られ、M41を切る。南北(184)cmを調査し、東西長720cm、壁高7～23cmを測る。住居の南端のみ調査である。住居の形態は矩形の強いものである。主軸方位はN-83°-Eの東西棟であろう。P1・P2が主柱穴で、径43・44cm、深さ32・50cmを測る。P3は出入り口のビットであろう。覆上は黒褐色上で、床面は端であるためそれほどの縮まりはなかった。南東隅の床面から3の壺口縁と5の甕が出土する。

出土遺物には弥生土器と、台石がある。1の壺は受け口状の口縁で、赤色塗彩される。口縁外面に施文されない。頸部は櫛描簾状文が施文される。5の甕は大型品で、器高43cmを測る。口縁は短く外反し、胴中位下が最大径をもつ。施文は口縁胴部櫛描斜走文(横羽状)、頸部櫛描簾状文である。甕の櫛描文が整っており、壺の口縁の高さがあるなど弥生後期中葉の箱清水式土器である。

H6

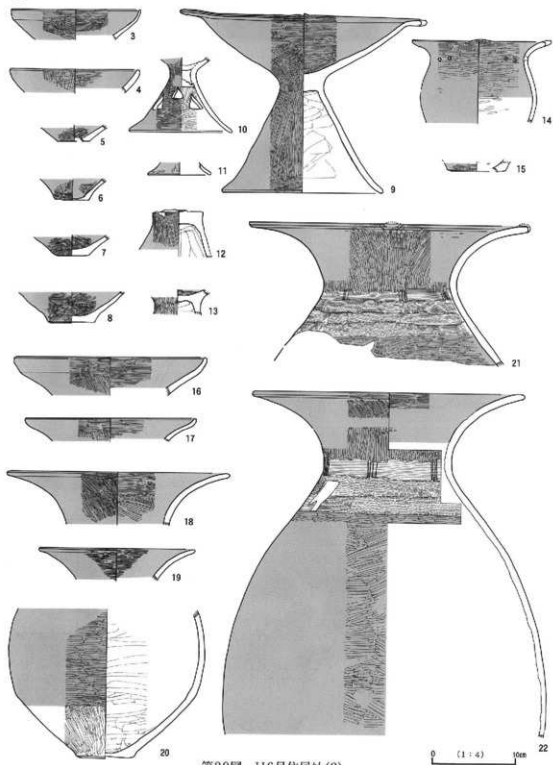


H6 土層説明

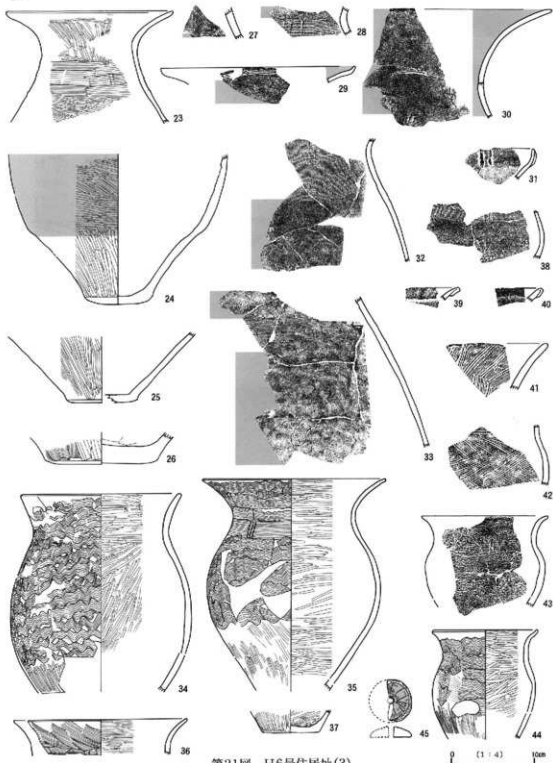
1. 黒褐色土層(10930/2)
ローム粒子、バミス含む。
2. 灰色土層(10911/1) バミス含む。
3. 黒褐色土層(10932/2)
ローム粒子、バミス含む。
4. 褐色土層(10914/2) 炭褐色含む。
5. 黒褐色土層(10925/0)
ローム土層(土層含む)。
6. 灰色土層(10922/2)
滑石粉層(土層含む)。
7. 灰い褐色土層(10918/0)
ローム土層(土層含む)。
8. 灰褐色土層(10917/2)
ローム土層(土層含む)。
9. 暗褐色土層(10933/2) (30cm)
ロームコアック、黒褐色土コアック含む。
10. 茶褐色土層(10922/2) 砂質。
11. 暗褐色土層(10932/2) 砂質。
12. 黒褐色土層(10932/2)
ローム粒子、バミス含む。
13. 褐色土層(10914/0) ローム土層。
14. 黒褐色土層(10930/1) ローム粒子、バミス含む。
15. 灰褐色土層(10938/4) ロームコアック。

第19図 H6号住居址(1) H6 完照(南より)・H6 D1完照(北より)

H6

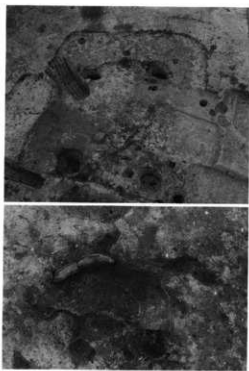
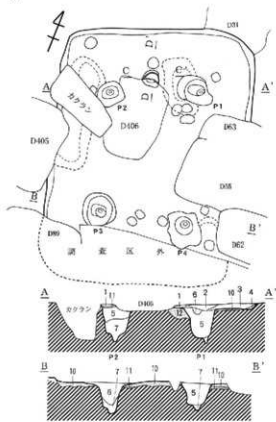


第20图 H6号住居址(2)

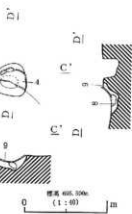
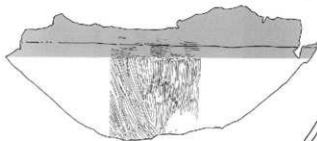
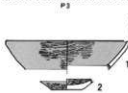
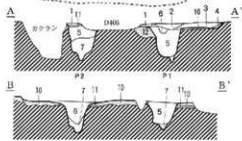


第21图 H6号住居址(3)

H7



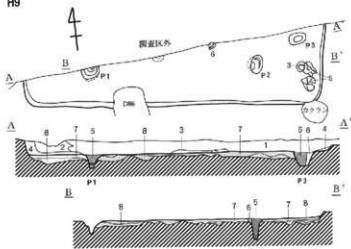
117 元棺・副棺(南より)



- H7 土層説明
1. 黒褐色土層(IVR2/2) パリスダキ含む。
 2. 黄褐色土層(IVR1/4) ローム・ブロック、紫褐色土ブロック面在。
 3. 暗褐色土層(IVR3/3) 砂-土砂子、パリスダキ。
 4. 紫褐色土層(IVR2/3) ローム配子、パリスダキ。
 5. 紫褐色土層(IVR2/2) パリスダキ含む。
 6. 褐色土層(IVR1/4) ロームブロック主体。
 7. 鮮黄色土層(IVR1/4) ローム配子多く含む。
 8. 黄褐色土層(IVR2/2) 黄土の平を含む。
 9. 紫褐色土層C(IVR3/3) ローム・ブロック、紫褐色土層。
 10. 暗褐色土層(IVR3/3) ローム・ブロックに黒褐色土含む。(疑)
 11. 褐色土層(IVR1/4) ローム主体。
 12. 黒色土層(IVR1/2/1) 腐敗土?

第22図 H7号住居址

H9



H9 土層説明

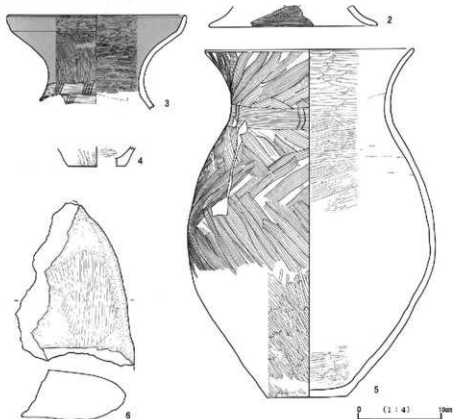
1. 黒褐色土層(10YR5/2) ローム粒子、パリス多量を含む。
2. 濃い黄褐色土層(10YR5/6) ローム粒子、パリス多量を含む。
3. 黒褐色土層(10YR5/2) ローム粒子、パリス含む。
4. 暗褐色土層(10YR5/4) ローム粒子、パリス含む。
5. 褐色土層(10YR4/6) 粒状。
6. 暗褐色土層(10YR5/2) ローム主体。
7. 褐色土層(10YR4/6) ロームブロックに黒褐色土ブロック含む。
8. 黄褐色土層(10YR5/6) ロームに少量の黒褐色土ブロック含む。
9. 濃い黄褐色土層(10YR5/4) ロームブロック、黒褐色土ブロック含む。

P2 標高 400.05m

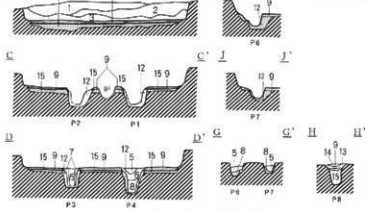
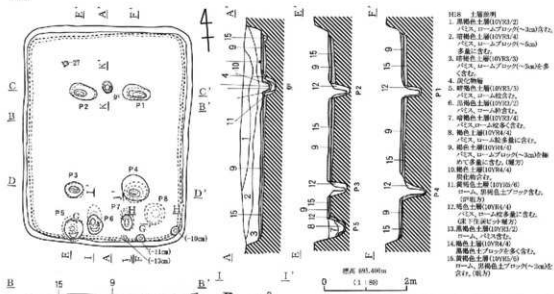
0 (1:60) 2m



H9 完割(東より)・遺物出土状況(東より)



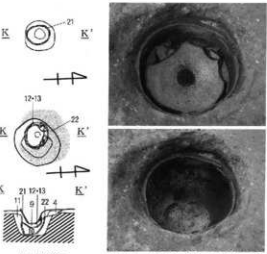
第23図 H9号住居址



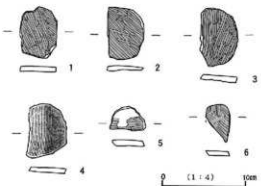
H18 左からP1・P2(北より)



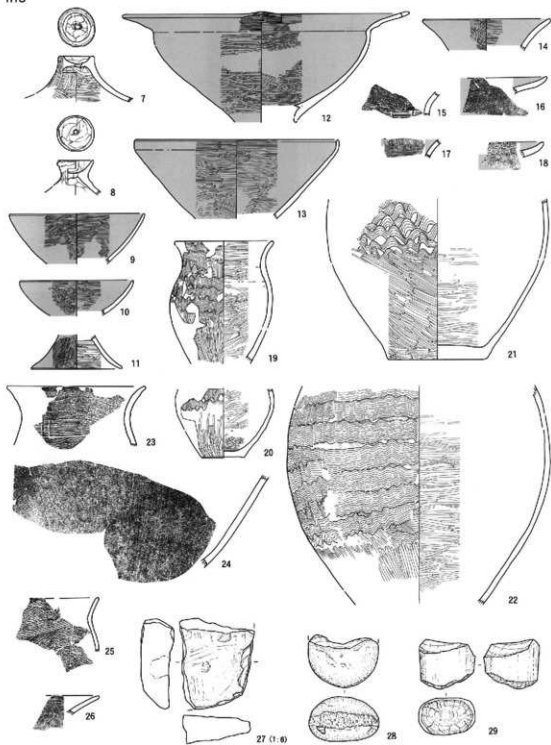
H18 側方(南より)



上H18 径12・13高杯、22裏(南より)
 下H18 径22裏(南より)



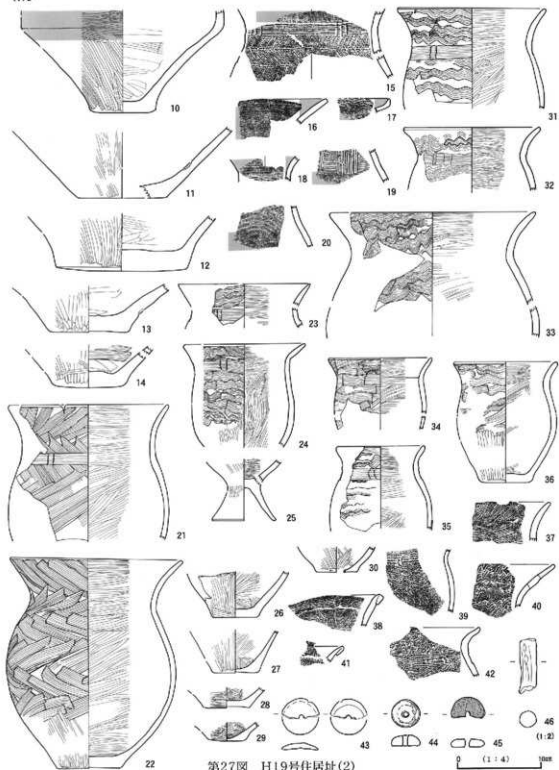
第24図 H18号住居址(1)



第25图 H18号住居址(2)

0 (1:4) 10cm

H19



第27图 H19号住居址(2)

H19



第28図 H19号住居址(3)

(8) H18号住居址

け94グリッドにあり、重複関係はない。弥生後期の集落は西一本柳遺跡XIVの東で途切れており、北一本柳遺跡Ⅲの西端にあたる1棟である。

南北長513cm、東西長384cmの矩形の強い隅丸長方形を呈する。壁高は21~43cmを測り、主軸方位はN-5°-Eを指す。主柱穴は4本で、東西に長い楕円形を呈する。長径44~72cm、短径38~62cm、深さ44~62cmを測る。東西間は140cm、南北240cmに配され、東西間は狭い。今は北の柱穴間にあり、床下住居の床面には炭化物層が広がっている。埋裏がで21の裏下部を埋設している。さらに下には12・13の高杯・鉢を22の底部欠損の裏の中に敷いて火床としている。

南壁下には出入り口のビットP6・P7があり、その西にある径58cm、深さ44cmの円形ビットは貯蔵穴であろうか。床面はローンプロックを貼り、堀方ではやや内側に出入り口ビットと東に、径52cm、深さ50cmのP8の貯蔵穴がある。

床下の住居は、南北長494cm、東西長360cm、上の床面より8cmほど下がる。旧主柱穴は新住居と同位置である。

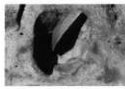
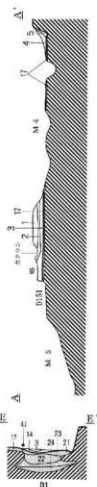
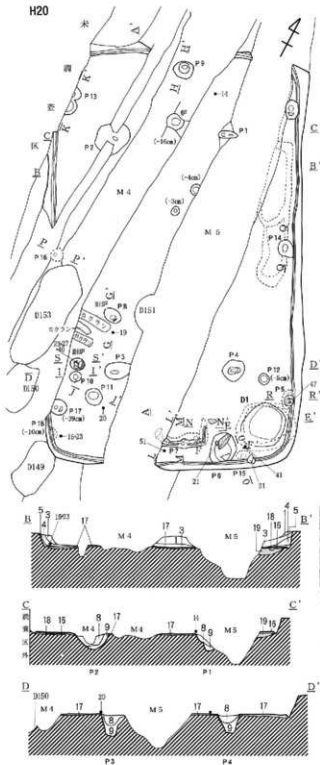
出土遺物には弥生土器、石皿、敲石がある。弥生土器は蓋、杯、鉢、高杯、壺、甕、土製円板がある。蓋は天井に焼成前穿孔がある。9の鉢は薄手の軽量品である。11は高杯の杯部であれば上下が逆となる。12の炉に使用された高杯は大型品で薄手、杯部は内湾して外傾、屈曲して内縁をもち、鈎は外反気味に長く延びる。口唇部に突起が付く。19の甕は口縁と胴部最大径が同じもので口縁から胴中位まで波状文を施す。床下の炉に使用された22の甕は胴径32cmを測る大型品で、中位下まで櫛描波状文が施される。21の炉上位に使用された甕は中位まで櫛描波状文が施される。29の敲石は大型蛤刃石斧の転用品である。

これらより弥生後期後葉箱清水式土器である。

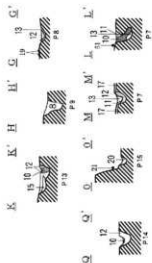
(9) H19号住居址

き85グリッドにあり、F1、D146、攪乱に切られる。H23を切る。南北長526cm、東西長410cmの隅丸長方形を呈す。壁高は44~61cmを測り、主軸方位はN-27°-Wを指す。主柱穴4本で、東西212cm、南北240cmの長方形に配され、柱穴は円形基調で長径41~59cm、短径29~60cm、深さ39~62cmを測る。南壁下にあるP7・P9は出入り口ビットで、P7は斜めに柱痕をもち、P9は28

H20



H20 P6完照(南より)

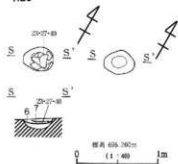


- H20 土層説明
1. 野地上層(IV92/3) ローム層?、パイス多量を含む。
 2. 赤褐色土層(IV92/2) ローム層?、パイス含む。
 3. 野地上層(IV92/2) 1層上?、赤褐色土。
 4. 赤褐色土層(IV92/2) ローム層?、パイス含む。
 5. 野地上層(IV92/2) ローム層?、パイス含む。
 6. 下に赤い腐化物層あり、(P7)
 7. 赤褐色土層(IV92/2) 4層
 8. 赤褐色土層(IV93/3) 柱礎。
 9. 赤い腐化土層(IV92/4) ローム土層、パイス層?
 10. 赤褐色土層(IV94/4) 柱礎。
 11. 赤褐色土層(IV92/3) ローム層?、パイス含む。
 12. 赤い腐化土層(IV92/4) ローム。
 13. 赤褐色土層(IV92/3) 赤褐色土を含む。
 14. 赤褐色土層(IV93/1/1) 赤褐色土層?、パイス含む。
 15. パイスを含む。
 16. 赤褐色土層(IV92/2) ロームブロック、赤褐色土ブロック含む。
- (参考)
17. 同色土層(IV94/4) ロームブロック、赤褐色土ブロック含む。(参考)
 18. 同色土層(IV94/4) ロームブロック含む。
 19. 同色土層(IV94/4) ローム土塊。
 20. 同色土層(IV94/4) ローム。
 21. 赤褐色土層(IV92/3) パイスを含む。(参考)
 22. 赤い腐化土層(IV93/3) ロームブロック含む。
 23. 赤い腐化土層(IV95/4) ローム土塊。
 24. 赤褐色土層(IV92/2) レッドパイス。



第29図 H20号住居址(1)

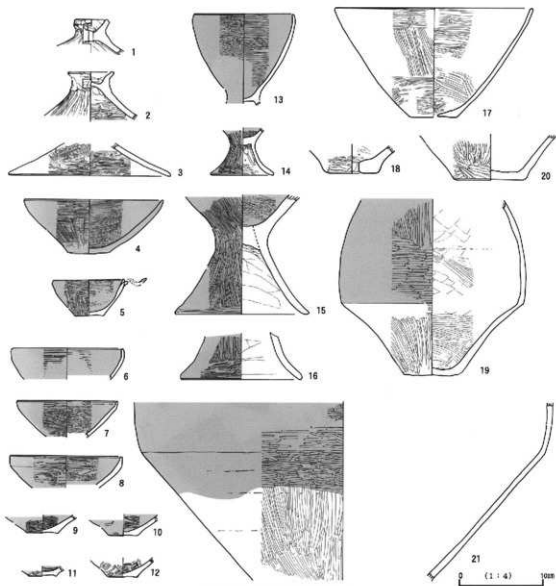
H20



H20 副型・P10完屈(南より)

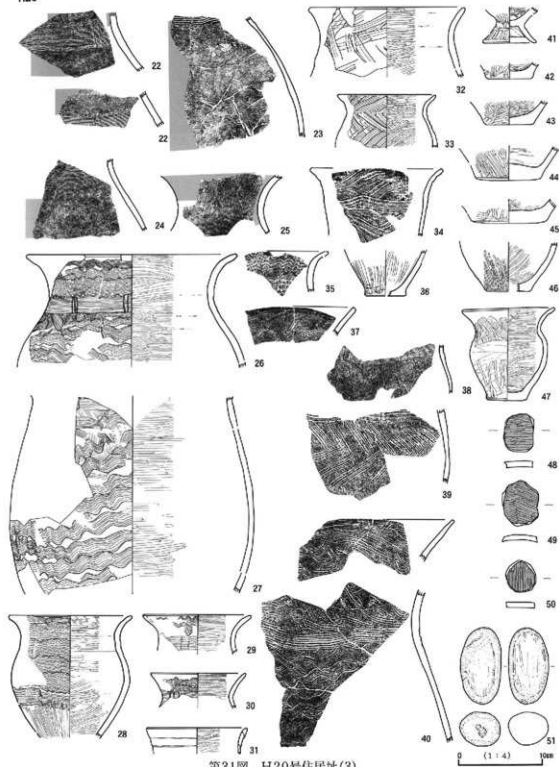


H20 完屈(南より)

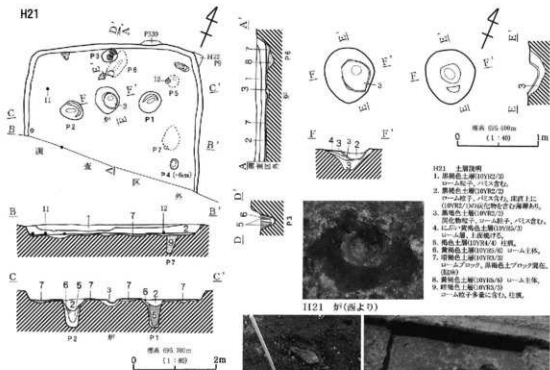


第30図 H20号住居址(2)

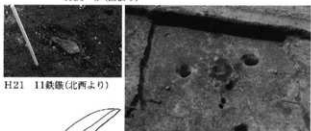
H20



第31图 H20号住居址(3)

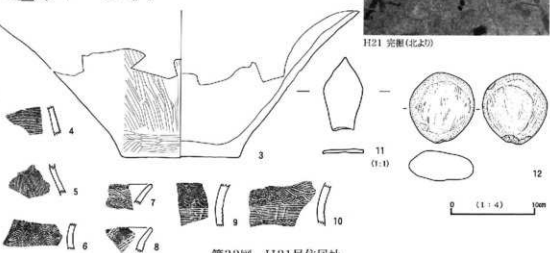


H21 が(西より)



H21 11鉄篋(北西より)

H21 完相(北より)

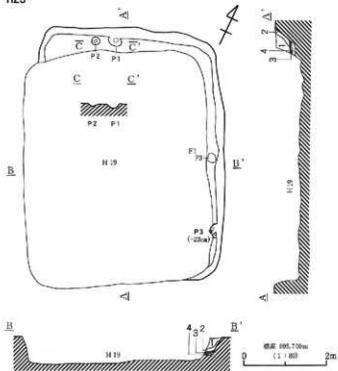


第32図 H21号住居址

×8cmの長方形を呈す五平柱(ごひらはしら)状の柱痕である。(2007, 村田文夫) 南西の隅には径74cmの円形土坑があり、底面から24の甕が出土している。出入口ピットの東脇には径44cm、深さ31cmの貯蔵穴がある。堀方では西脇にも径53cm、深さ18cmの浅い落ち込みがある。南の支柱穴間に床より10cm浮いたところに長径36cm範囲に炭化物・灰層があり、骨と土偶の腕状のものが出土している。骨は獣類の四肢骨と鑑定されている。住居が埋もれた段階で祭祀が行われたようである。

炉は10の壺下半を埋設して火床としている。床はロームブロックと黒褐色土ブロックの混在土を

H23



第33図 H23号住居址



H23 I区セクション(北より)・完極南より

H23 土層説明

1. 赤褐色土層(0.019/0.2)
ローム多量、バミ灰含む。
2. 黒褐色土層(0.019/0.2)
ローム多量に含む、バミ灰含む。
3. 褐色土層(0.019/0.4)
ロームブロック、黒褐色土ブロックを含む。
4. 濃い黄褐色土層(0.019/0.4)
ロームブロック多量。



0 (1:4) 10cm

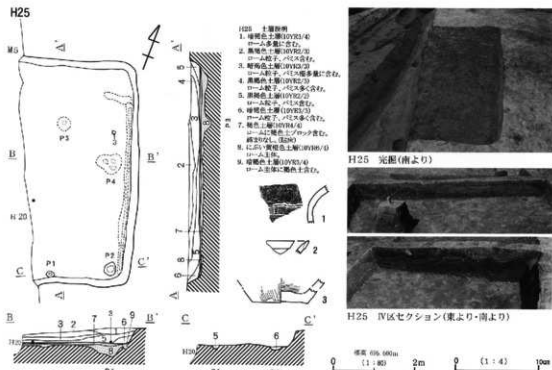
貼り、良く締まっている。

出土遺物には弥生土器、土製紡錘車、土偶、石製品がある。弥生土器は蓋、杯、高杯、壺、甕がある。3の杯ないし高杯は口径が小さく、器高の深いものである。8は台付の鉢で、胴部内面ヘラナゲ、脚内面ハケ目、裾部・外面ミガキで、赤色塗彩される。4の高杯は杯下部に稜線をもち口縁が上部で、外方に折れる。9の壺は頭部に櫛溝T字文、口縁・胴部赤色塗彩される。10のかに使用した壺下部は外反屈曲して開いている。22の甕は口縁が大きく外反して開き、最大径をもっている。口縁から胴中位下まで櫛溝斜走文(横羽状)である。21は口縁と胴部最大径がほぼ同じで、櫛溝斜走文に頭部櫛溝状文がある。24の甕は口縁が大きく外傾し開く。口縁から胴部は櫛溝波状文が施される乱れた波長である。33の甕は口縁が強く外反し、頭部がくびれる。櫛溝波状文だけが施される。これらより弥生後期後葉箱清水式土器である。

46は径1cmほどで残長5.7cmの紐状のものである。端部に湾曲がある。土偶の手足の一部と推定される。石製品は打製石斧、敲石、磨石、石鏃がある。47の打製石斧は堀方から出土する。

(10) H20号住居址

か89グリッドにあり、北西は道路、D149・D151・D153、M4・M5に切られ、H25を切る。南北長993cm、東西長592cmの矩形の強い隅丸長方形を呈す。壁高は0～57cm、主軸方位N-29°-Wを測る。溝2本が北東から南西にかけて斜めに横断している。主柱穴は4本柱でP1・P2は溝に上面を棲される。P3・P4は長径62・55cm、短径40・54cm、深さ56・41cmを測り、東西に長い楕円形である。南壁下には出入り口ピットP7があり、南北に細長い柱穴を溝が東西に連結し、中央に小ピットをもつ。P7の東柱穴は長径65cm、短径20cm、深さ51cmの堀方に長方形の6×42cmの五平柱状柱痕が確認される。出入り口ピットの東脇には腰を伴うP6の貯蔵穴がある。長径78cm、短径60cm、



第34図 H25号住居址

深さ34cmである。南東には貼床されたほぼ円形の土坑があり、径114cm、深さ60cmを測る。

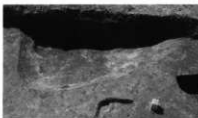
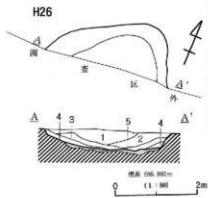
炉は北の主柱穴間にあり、径42cm、深さ16cmの円形の落ち込みがある。南西床面に副炉であろう径34×28×14cmの楕円形の落ち込みに、土器を敷いて炉底としている。壁下にはP5・9・13～15・17の壁柱穴がある。壁柱穴は径40cm前後の円形で、深さ23～47cmと深いものである。柱痕は円形で径24cmである。床面はロームと黒褐色土ブロック混生土を貼っている。

出土遺物には弥生土器、土製円板、磨石がある。弥生土器は蓋、杯、鉢、高杯、甕、壺、甕がある。4は鉢で比較的厚手、5は小型の杯で片口が付く。杯類は赤色塗彩される。13の高杯は口径の小さな器高の深いものである。15の高杯は脚が「ハ」字型に開き、杯部は分厚い。17は甕で、底部に1孔がある。ミガキ調整される。19の甕胴上部は張り、外縁をもって胴下部が外反して底部に窄まる。21は胴径が50cmを測る大型品で外縁をもって直線的に窄まる。外縁の下1/3位まで赤色塗彩される。26は口縁が短く外反して、胴部に最大径をもつ甕で、櫛描波状文、頸部に櫛描簾状文がある。27は炉に使用された甕である。28は口縁と胴最大径がほぼ同じで、施文される波状文の波長が小刻みである。47は小型の甕で、口縁が大きく開き最大径をもつ。外面は無文である。

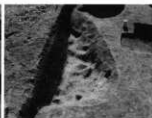
これらより弥生後期後葉箱清水式土器である。

(11) H21号住居址

け86グリッドにあり、南は調査区域外、H22、単P330に切られる。南北(292)cmを調査し、東西長408cm、壁高18～29cmを測る。隅丸長方形を呈すとみられ、主軸方位はN-22°-Wを指す。北側の主柱穴とが、棟持柱を検出した。主柱穴は長径58・56cm、短径49・45cm、深さ70・68cmを測り、東西に長い楕円形を呈す。主柱穴間に炉があり、3の壺下部を置いて炉底としている。北壁中央にあるP3は、径38×30×28cmのピットに径16cmほどの柱痕が2個ある。床面はロームブロックと黒褐色土の混生土を貼り、締まっている。床下で、検出されたP7は柱痕状であるが堀方がないこと



H26 完壁(北より)



H26 塙方(東より)

- H26 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/7)
ローム粘土、パリス多量を含む。
 2. 黒褐色土層(10YR2/7)
ローム粘土、パリス多量。
 3. 暗褐色土層(10YR3/7)
ローム粘土、パリス多量を含む。
 4. 灰色土層(10YR1.3/1)
灰化動物を含まない。
*層は10YR2/7である。
 5. 濃い黄褐色土層(10YR5/4)
ロームブロック主体に黒褐色土ブロックを含む。(見取)

第35図 H26号住居址

から、柱穴ではないのであろうか。

出土遺物には弥生土器、磨石、鉄製の鉄がある。弥生土器は如に使用された壺下部があり、外反気味に底部に窄まる。破片では壺は頸部柳描簾状文、甕は柳描波状文に頸部柳描簾状文、柳描斜走文がある。鉄製は有茎の柳葉型で、残長(22)mm、幅12mm厚さ1mmを測る。基部は欠損する。敲石は両面に磨面をもつ。

これらより弥生後期後葉箱清水式土器である。

(12) H23号住居址

か85グリッドにあり、H19に大半を切られる。南北長526cm、東西長406cm、壁高20~40cmを測る。主軸はN-24°-Wで、H19とあまり変わらない。住居の北と東の壁と床面をわずかに調査し、壁柱穴が検出された。本址に伴う新たな主柱穴は検出されていない。

遺物は弥生土器甕の破片で、柳描斜走文の頸部に柳描簾状文が施文される。弥生時代後期で、H19より古い住居である。

(13) H25号住居址

お89グリッドにあり、H20とM5に切られる。南北長516cm、東西(259)cmを測り、壁高は19~38cm、主軸方位はN-22°-Wをさす。床面はそれほどの締まりはないが、わずかな硬質面を確認した。床面からは主柱穴などのピットが見当たらず、南壁下に壁柱穴なのか浅いピットがある。P1は径20×16×9cm、P2は径33×29×8cmを測る。

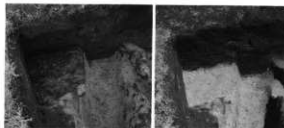
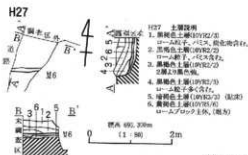
出土遺物には弥生土器3点がある。いずれも破片で、頸部柳描簾状文、折り返し口縁、底部である。床面があるので、使用したことは間違いないが、火処や主柱穴がないなど居住する目的とは異なった性格の堅穴であろう。

(14) H26号住居址

け84グリッドにあり、南は調査区域外で、北端を調査している。単P319に切られる。セクション面での断面形は底辺は平坦ではなく、堅穴住居の箱形とは異なっている。貼り床面があることから住居としたが、確定的ではない。弥生後期の土器片が出土する。弥生後期である根拠はないが、住居の塙方の浅さなどからは弥生の住居と言える。

(15) H27号住居址

お90グリッドにあり、北は道路、西は道路で未調査、東はM6に切られている。南北(78)cm、東



H27 完照(南より)

H27 壁方(南より)

第36図 H27号住居址

西(84)cmを調査した。壁高は15~26cmを測る。出土遺物は弥生土器の壺の胴下部と土師器杯の破片があり、弥生後期の根拠ない。

(16) H29号住居址

く70グリッドにあり、西側は道路、南は調査区域外で住居の北東を調査している。古墳後期のH28、中世のP346~349・984・1023・1024に切られ、電柱の攪乱に壊される。南北(444)cm、東西(376)cmを調査し、壁高2~11cmを測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。主柱穴は4本で、南側はH28に上面を切られている。P1・P2は円形で、径55・63cm、深さ64・63cmを測る。炉は北の柱穴間にあり、埋裏炉で新旧が見られる。新炉は16の甕の底を炉底とし、径21.6cm、深さ12cmを測る。旧炉は15の甕を置き、径56cm深さ28cmを測る。壁下には周溝が廻る。

出土遺物には弥生土器がある。弥生土器は炉に使用された、5の壺胴下部は屈曲が見られ、赤色塗彩される。炉に使用された15の甕は櫛描波状文が施される。これらより弥生後期後葉箱清水式土器である。

(17) H30号住居址

お70グリッドにあり、西側は道路で、一部未調査。中世のD173・D257、P462~464・476・1001・1015に切られる。拡張した新住居と、床下には規模の小さな旧住居ある。旧住居の床下にもう一面ある。新しい順に、A面・B面・C面とする

新住居A面は、南北長716cm、東西長478cm、壁高16~39cmを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方位はN-14°-Eを指す。主柱穴は4本で、東西228cm、南北404cmの長方形に配される。ピットは東西に長い隅丸長方形ないし円形を呈し、長径48~60cm、深さ37~55cmを測る。南壁下中央には出入口ピットP5(42×27×43cm)・P6(44×24×42cm)があり、南北に長い楕円の柱痕がある。P5とP6の中間は高くなっている。東にはP7の円形で径49cm、深さ40cmの貯蔵穴がある。

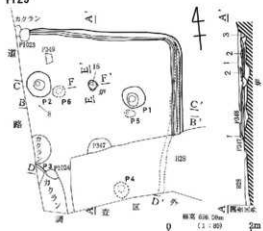
炉は北の主柱穴間にあって、14の壺を炉底として埋設する。炉の北側に炭化物範囲が床に広がっている。壁下には北と東に周溝が廻り、壁柱穴がある。P8~P12の壁柱穴は円形を呈し、径19~30cm、深さ30~46cmと深い。P12は11cmと浅い。P11は柱痕が検出され一辺20cm、深さ46cmで方形を呈す。東の壁下床面からは粘土の薄層が見られる。

床面はロームブロックを含み締まる。

旧住居B面は2mほど北に小さくなり、60cmほど東に小さくなっている。最下のC面はさらに東西20cmほど東に内周し、12cmほど下にある。都合3回の拡張がなされている。

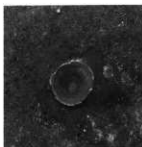
旧住居B床面は南北520cm東西440cmを測り、主軸は2°新住居より東に傾いている。主柱穴は4本で、北はA面のP1・P2と同位置にあり、16cm深くなっている。南の主柱穴はP19・P20で、長径56cm、短径31cm、深さ51・52cmを測り、ピットの底部の形は五平状柱形態である。出入口ピットP21・P22、その西にはP15(59×41×19cm)の浅い貯蔵穴。A面で、床下ピットとしたP16(47×37×33cm)はほぼ円形で、B面の出入口ピット脇東の小貯蔵穴であろうか。さらに東には

H29

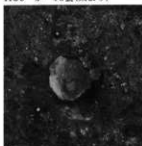


H29 土層図可

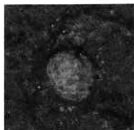
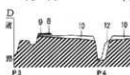
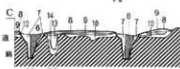
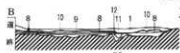
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・バクシを含む。
2. 黒色土層 (10YR1/3) 炭化植物粒子を多量に含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子・バクシを含む。
4. 黒色土層 (10YR2/1) 炭化植物粒子を含む。
5. (伊能方)
6. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱礎
7. 暗褐色土層 (10YR3/3) ローム粒子を含む。
8. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームブロック・黒褐色土ブロック混在。下層に黒色土層あり。やや締まる。(結床)
9. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームブロック・黒褐色土ブロック混在。よく締まる。(結床)
10. 褐色土層 (10YR4/6) まれに褐色土ブロックを含む。
11. 暗褐色土層 (10YR3/3) 茶褐色土ブロックを含む。
12. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
13. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームブロック・黒褐色土ブロックを含む。
14. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロックを1層より多く含む。



H29 10號(東より)



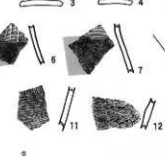
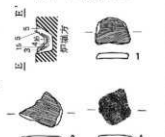
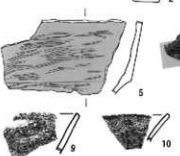
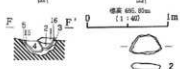
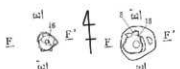
H29 15號(東より)



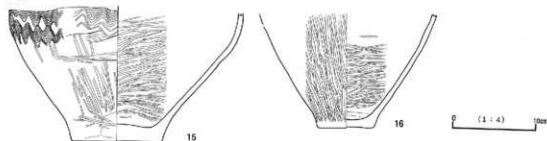
H29 15號(東より)



H29 完掘(北より)・掘方(東より)



第37図 H29号住居址(1)



第38図 H29号住居址(2)

円形の径69cm、深さ62cmの貯蔵穴、南西隅には径92cm、深さ69cmのD1土坑がある。調査時は水が湧いている。炉はA面と同じ位置にあるのか新たに検出されていない。

さらに下にあるC面は東西420cmで20cmほどB面より東に内周する。P2の内側にあるP34が主柱穴であろう。楕円形の径40×30×42cmを測る。P22・P35の床下ビットがC面の出入り口ビットで、P26(49×47×20cm)がB面のP15と同じ性格の貯蔵穴であろう。C面の壁下には壁柱穴がある。

A面住居からの出土遺物は弥生土器、土製円板、石皿、磨石がある。弥生土器は蓋、杯または鉢、壺、甕がある。蓋は赤色塗彩されず、天井に焼成前穿孔される。4は頸の広い壺で、深鉢形である。口縁は強く外反し、口唇部は面取りされ、突起が付く。頸部に櫛描籐文が2段施文され、口縁・胴部は赤色塗彩される。6の壺の体部はスリムで、頸部に櫛描籐文と波状文を施文、胴部は赤色塗彩される。8は口縁が単純に外反する。13は球胴形の胴部で、14の壺下部は外反している。壺類は赤色塗彩される。24は櫛描斜走文の甕であるが、斜走文が羽状を呈さない。頸部の籐文はない。22・30の甕は口縁が比較的直線的に短く外反し、胴部は球胴形で、最大径をもち、施文は波状文のみである。これらより弥生後期後葉の箱清水式土器である。

床下の旧住居B面からは弥生土器が出土する。土器は高杯、壺、甕である。43の高杯は小型で、直線的に外傾し、端部で内湾する。47の甕は大きく外反して口縁に最大径をもち、施文は波状文のみである。A面より古い、弥生時代後期後葉の土器である。

(18) H31号住居址

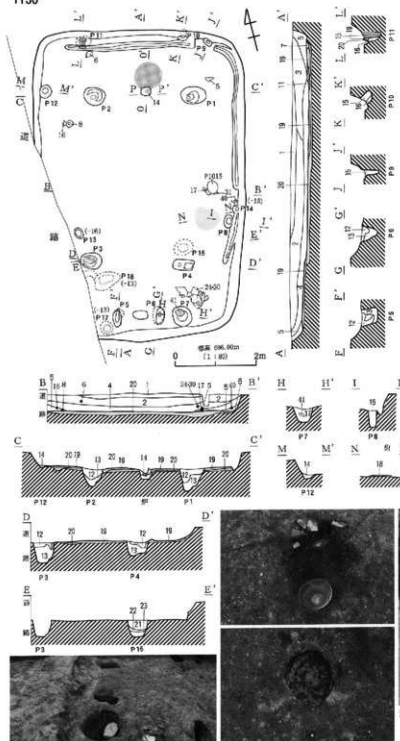
か68グリッドにあり、F3、D154・165、M14、単独ビットに切られる。床下に住居が重なるため、新住居をA面、床下住居をB面、床下住居の堀方のプランをC面とする。

A面は、南北長672cm、東西長516cm、壁高7～32cmを測る。主軸方位N-9°-Eを測る。主柱穴は4本で、ビットは東西方向に長く、長方形の五平状柱痕を残している。幅8cm、長さ36・44・42・28cm角の長方形である。ビット堀方は長径66～90cm、短径58～76cm、深さは堀方面から75～88cmを測る。南壁の中央には出入り口ビットP8・P9があり、柱痕がある。両脇にP5・P6があり、径66・58cm、深さ34・29cmを測る。貯蔵穴であろうか。炉は北の主柱穴間より少し北にあり、胴径40cmを測る32の壺頸～胴部を逆位に置き、その中に43・76の壺と甕の底部を入れ炉底としている。85・86の蔽石が縁にあり、炉の周囲に炭化物範囲がある。周溝は南壁と東壁の所々にある。

遺物は南西隅に集中し、8個体の壺・甕がある。これらの土器は口縁・底部が欠けており、器台として置かれているようである。床面はロームブロックを含み、締まっている。

床下のB面は30cmほど内周し、A面から8～12cm下がって検出される。主柱穴と炉はA面の住居と同じ位置であり、新たな痕跡はない。出入り口ビットP8(39×35×22cm)・P9(22×20×12cm)と東脇にP23(44×36×21cm)の貯蔵穴がある。南東隅にあるD1は長径154cm、短径106cm、深さ119cmを測る。壁下に円形基調の壁柱穴が廻っている。

H30



H30 土層説明

1. 黒色土層 (10YR2/1)
ローム粒子・パミスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パミスを含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ローム粒子・パミスを含む。
4. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パミスを含む。
5. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パミスを含む。
6. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ローム粒子・パミスを含む。
7. (新築)
8. 灰色土層 (10YR2/1)
炭化物粒子を含む。
9. 黒褐色土層 (10YR2/2)
炭化物粒子を含む。
10. 赤褐色土層 (10YR2/3)
焼土粒子を含む。
11. 褐色土層 (10YR1.7/1)
炭化物を多量に含む。
12. 赤褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子を含む。
13. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロックを多く含む。
14. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ローム粒子を多く含む。
15. 黒褐色土層 (10YR2/3)
碎瓦
16. 暗褐色土層 (10YR2/3)
ローム粒子を多く含む。
17. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子をわずかに含む。
18. 灰黄褐色土層 (10Y5/2)
灰黄褐色粘土
ブロック多量に含む。
19. 赤褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロック・パミスを含む。
焼まりあり。
20. 褐色土層 (10YR4/6)
ロームブロック主体。焼まりあり。
(新築)
21. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロックを多量に含む。
22. 黒色土層 (10YR2/1)
ロームブロックを多量に含む。
23. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロック主体

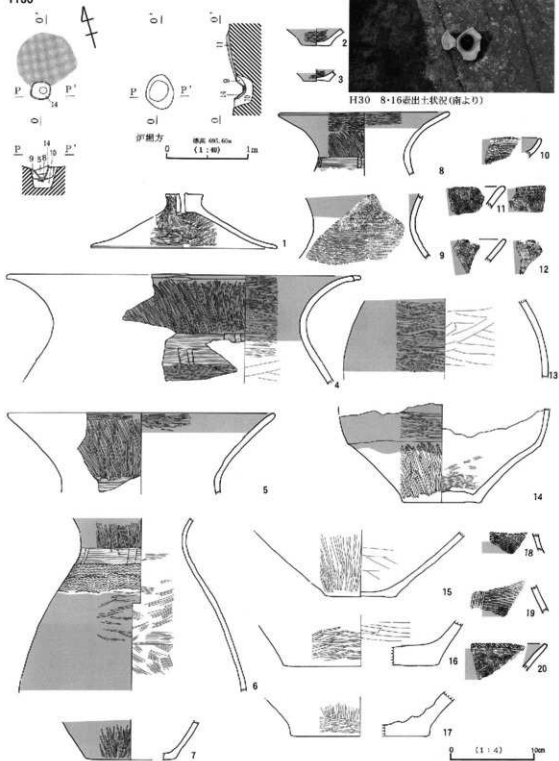
H30 出入口付近(東より)

H30 炉(南より)・炉型方(南より)

第39図 H30号住居址(1)

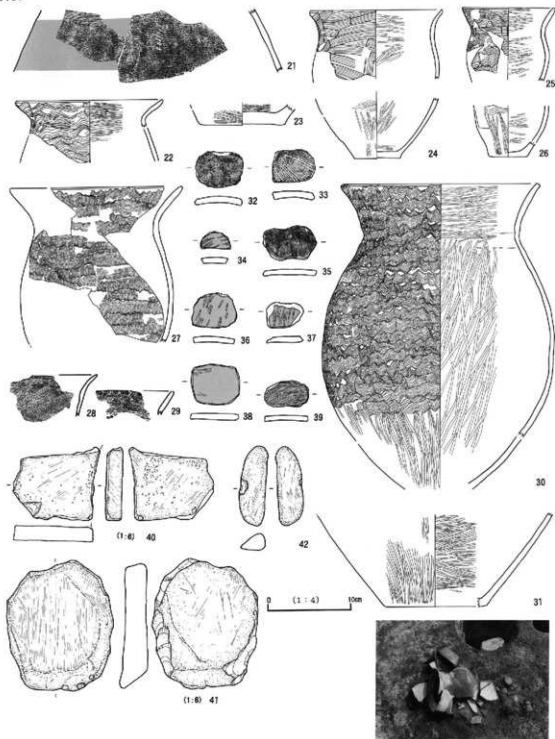
H30 完履(南より)

H30



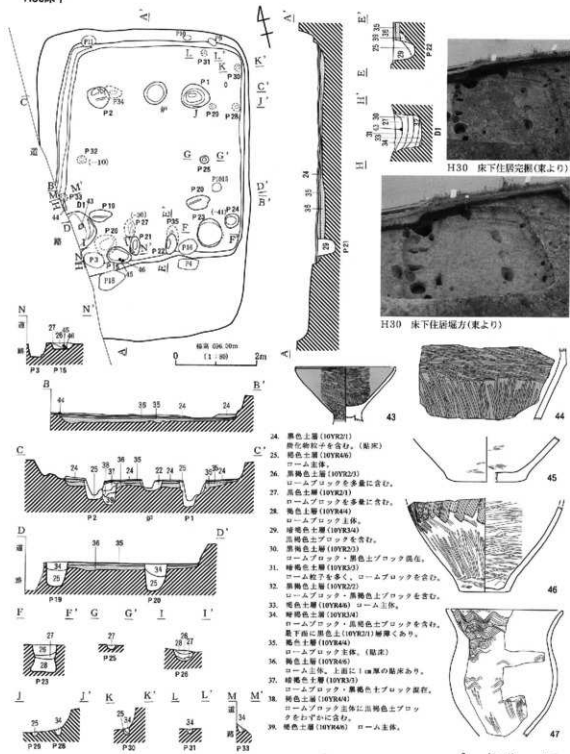
第40図 H30号住居址(2)

H30



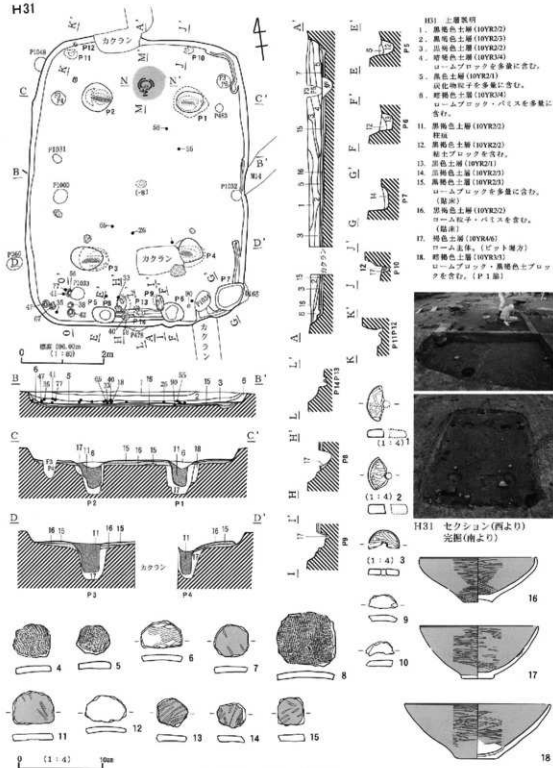
第41図 H30号住居址(3)

H30床下



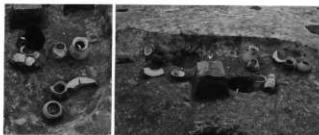
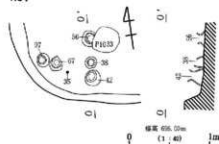
第42図 H30号床下住居址

H31

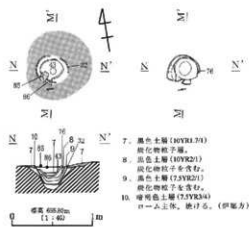


第43図 H31号住居址(1)

H31

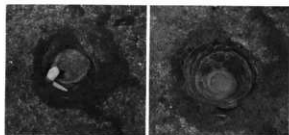


H31 遺物出土状況(西より) H31 遺物出土状況(北より)



7. 黒色土層(10YR3.7/3)
炭化物粒子層。
8. 黒色土層(10YR2/1)
炭化物粒子を含む。
9. 黒色土層(7.5YR2/1)
炭化物粒子を含む。
10. 暗褐色土層(7.5YR3/4)
ローム主体。焼ける。(伊羅方)

H31 炉頭方(南より)



H31 炉内(南より)

H31 炉 43壺除去後(南より)

第44図 H31号住居址(2)

B面の床下からは南北長512cm、東西長408cmのC面プランがある。P17(36×33×54cm)・P18(27×27×46cm)は主柱穴で、P20(67×34×26cm)・P21(26×15×8cm)は出入り口ピットである。

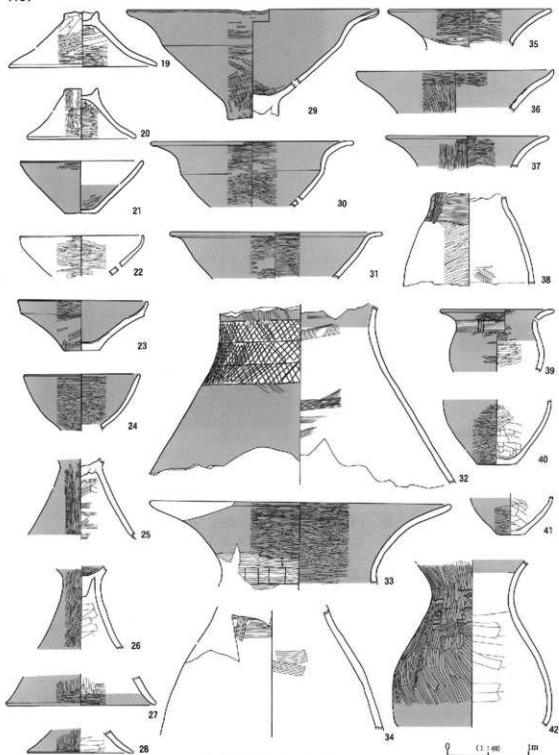
A面の出土遺物には弥生土器、土製紡錘車、土製円板、敲石、砥石、削器がある。

弥生土器は蓋、杯、鉢、高杯、壺、甕がある。19・20の蓋はミガキ調整され、20が丁寧にミガキ調整される。天井部の穿孔はない。16の杯は器高が低く、口縁が内湾外傾し、底部は上底である。23の鉢は下部が外反して外傾、上部で外縁をもって直立する。壺の受け口口縁と同じ形態である。他の杯は内湾気味に開いている。29の高杯は直線的に開き、外縁をもって口縁上部が外反する。内面はゆるやかな内縁をもって外に開く。31の口縁が短く折れる高杯は杯部に外縁がない。杯類は赤色塗彩される。炉に使用した32の壺頭部は大型品で、頭部文様はヘラ描斜走文を格子に施文する。33は口縁が単純に外反して開く太頭の壺で、頭部文様は櫛描簾状文。34・38は無彩色の壺で、頭部に櫛描T字文を施す。42は頭部に櫛描波状文を施しながら、施文を無視して、外面全体をミガキ赤色塗彩をしている。炉に使用された43の壺は胴下部がこけている。

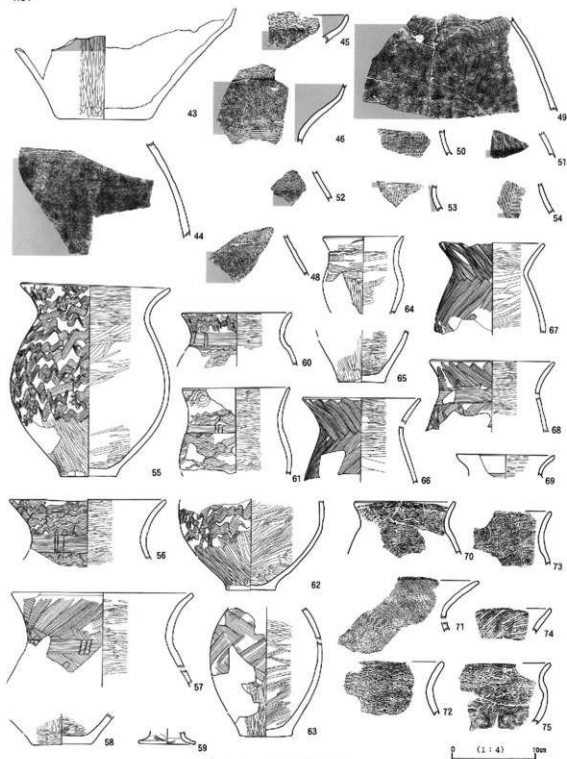
甕の55は口縁が外反し、胴部は球形を呈す。外面に櫛描波状文を施す。62も同器形で同じ施文である。底部が台状に突出する。67と66は口縁が直線的に外傾し、頭部でくびれ胴肩部はあまり張らず、中位下が張る。櫛描斜走文を横羽状に施し、頭部に簾状文がない。床下出土の97も同器形であろう。

これらより弥生後期後葉箱清水式土器である。本住居は南西に転用器台が集中し、杯・高杯類が多

H31

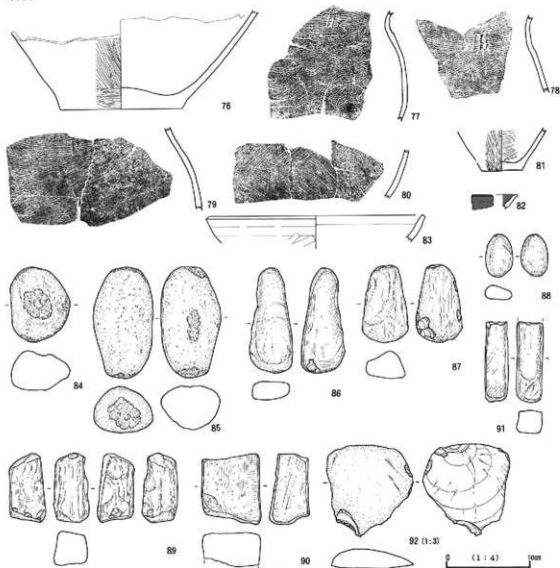


第45图 H31号住居址(3)



第46图 H31号住居址(4)

H31



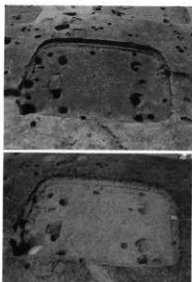
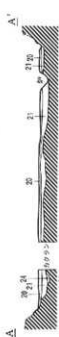
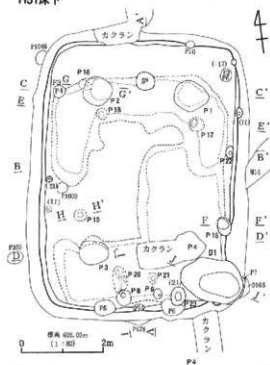
第47図 H31号住居址(5)

い。祭祀的な空間とも考えられる。主柱穴の4本が五平状の柱痕であり、他の住居とは様相が異なる。B面からは弥生土器が出土する。D1からは93~96の鉢、高杯、壺、甕が出土する。鉢と壺は赤色塗彩され、甕は楕円斜走文である。66・67の甕と同器形である。A面ではP7としたがD1により窪んだとも考えられ、D1はA面での使用もありうる。

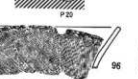
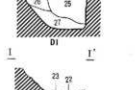
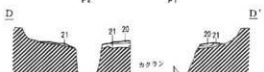
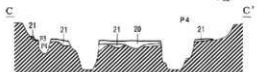
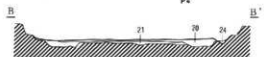
(19) H32号住居址

え68グリッドにあり、北は調査区域外である。M7・M9、単独ピットP452~456に切られる。南北(532)cmを調査し、東西長511cm、壁高5~34cmを測る。隅丸長方形を呈するものとみられ、主軸方位N-7°-Wである。P1(86×54×54cm)・P2(106×72×53cm)は南の主柱穴で、柱痕はない。東西に長く、底面の形は五平柱状である。南壁下のP3(42×27×22cm)・P4(41×26×31cm)

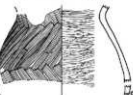
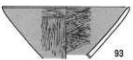
H31床下



H31 床下住居完備(東より)・榎方(西より)

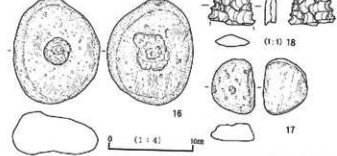
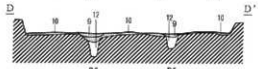
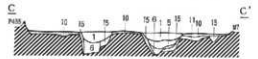
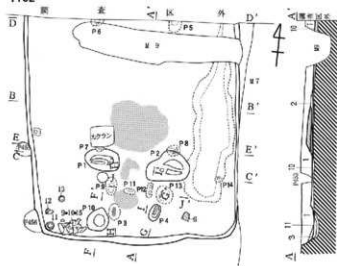


- H31 床下住居
19. 黒褐色土層 (10YR3/3)
住居
 20. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロック・黒褐色土ブロック混在。(隠床)
 21. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロック主体。まれに黒褐色土ブロックを含む。
 22. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームを多数に含む。
 23. 暗褐色土層 (10YR3/4)
黒色土・ローム混在。
 24. 褐色土層 (10YR4/6)
ローム主体。
 25. に近い黄褐色土層 (10YR5/4)
ローム主体。
 26. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロックと黒褐色土ブロック混在。
 27. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。

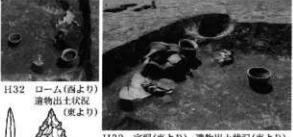
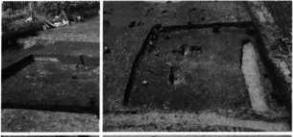


第48図 H31号住居址(6)

H32

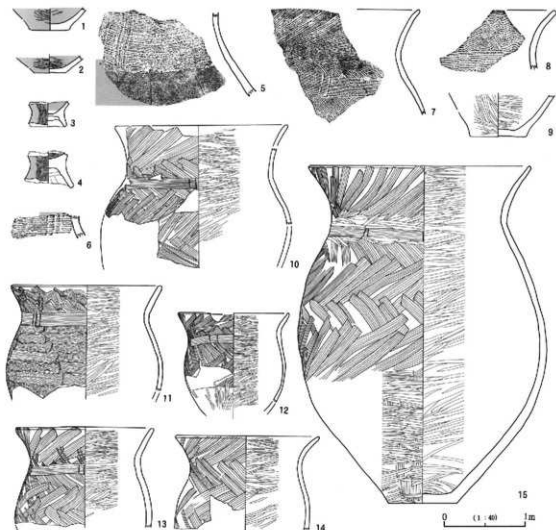


- H32 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ローム粒子・パリスを含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR1/2)
ローム粒子・パリスを含む。
 3. 黒色土層 (10YR2/1)
ローム粒子・パリスを含む。
 4. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ローム粒子・パリスを含む。
 5. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。
 6. に近い黒褐色土層 (10YR4/3)
ローム主体。(柱状)
 7. 黒褐色土層 (10YR2/3)
柱状
 8. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロックを含む。
 9. 黒褐色土層 (10YR2/3)
細ロームブロック・パリスを含む。
(柱状)
 10. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロック・黒褐色土ブロック
混在。あまり硬まらなし。(基床)
 11. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体に黒褐色土ブロックを含む。
(遺方)
 12. 褐色土層 (10YR4/6)
ローム主体。(掘下ビット)
 13. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。(P 8)
 14. 黒褐色土層 (10YR2/3)
(P 9)
 15. に近い黒褐色土層 (10YR4/3)
ローム主体。(ビット遺方)



第49図 H32号住居址(1)

H32



第50図 H32号住居址(2)

の出入り口ピットは、セクションにあるようにP3の柱痕は 10×24 cmの長方形の五平状柱で、直立している。P4は斜めに入る柱痕である。P10(円形、径56cm、深さ27cm)はその西脇にあり、貯蔵穴であろう。床面中央にはロームが薄く見られ、量的にP1の上部、P2の柱穴を掘り起こしたものであろうか。南西の床面に土器が集中している。貼床面はロームブロックと黒褐色土ブロックの混在土であるがそれほど締まっていない。

堀方からは床下住居の主柱穴P5～P8の円形ピットがあり、径19～34cm、深さ36～55cmを測る。P9・P11・P12は出入り口ピットであろう。

出土遺物には弥生土器と凹石、磨石、石鎌がある。南西隅にある土器の9～15はいずれも甕である。大型品の15は底部があるが他はみな底部を欠いている。11は口縁部の波状文が斜走文状に斜めに、胴下部は横位に振幅のない波状文を施す。他は櫛描斜走文を横羽状に施文する。14のみが頭部に篋状文がないが他はある。器形は口縁の外反はそれほど強くなく、直線的である。胴部形は極端な球胴

形ではない。5の壺は頸部櫛描T字文である。高杯の頸部は端部が整えられ、器台として転用している。これらは、弥生後期後葉箱清水式土器である。17の軽石製磨石は磨面が顕著である。

(20) H33号住居址

く65グリッドにあり、南側は調査区域外であり、住居の北側を調査する。中世の竪穴建物址H104・H106・H129、D171・D262、P1016~1022・1025・1026~1028の中世遺構に切られ、床面にあるD259はH33の廃絶時の土坑であろう。床下に旧プランがあるので、新しい住居面をA面、床下の旧住居面をB面とする。

A面は南北(365)cmを調査し、東西長747cmを測る。東西長は本調査では最大の規模である。壁高は0~26cmを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方位N-2°-Wを指す。主柱穴は北東のP1(73×56×56cm)で、北西のP2はD259に壊される。H33の床面にはD259を掘ったローム土D層が、周囲42~80cmの環状範囲に見られ、4~10cm厚で堆積していた。炉はその中間にあり、単Pに壊されるが4の壺が埋設されている。壁下には周溝が廻る。壁柱穴はP11・P14・P3・P4・P6(43×16×35cm)・P21がある。P2(46×32×48cm)の隅丸長方形のピットは棟持ち柱であろう。

床下のB面の住居は南北(326)cmを調査、東西長562cmを測る。ほぼ同じ主軸方位である。P10は北東の主柱穴で、北西の主柱穴は単独ピットと重複し壊されたようである。柱間にあるP9は炭化物を含んでおり、B面の炉であろう。壁柱穴は隅丸長方形で、P22・P12・P15・P16・P17・P8・P23がある。また内周するP18~P20の壁柱穴があり、B面より80cmほど西に内周するC面の存在もあるようである。P19のピットは重複する中世のH129に関連するピットであろうか。

出土遺物には弥生土器と鉄製品がある。弥生土器は杯、高杯、壺、甕がある。4の壺は炉に使用されたもので、胴下部の屈曲はない。3の壺頸部片は櫛描横線が施文される。5の甕は櫛描波状文が施される。これより弥生後期後葉箱清水式土器である。

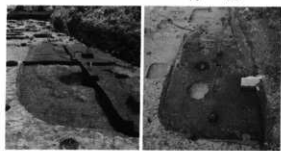
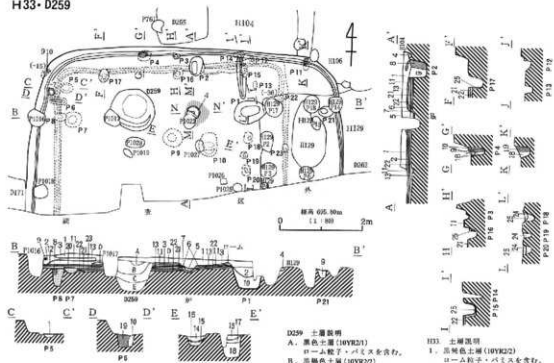
住居の北西隅の壁中に鉄製品が2点重なって出土する。板状斧とみられ(註1989。岡村秀典[鉄製工具])、9は長さ18.6cm、幅4.6cm厚さ1.0cm、10は長さ13.2cm、幅4.6cm、厚さ1.0cmの扁平な長方形の鉄板である。板状斧は一短辺に刃部を設けている両刃の斧である。10は刃部先端の片側が少し欠けている。袋状鉄斧は大陸から伝播した形態、磨製石斧に通じる板状鉄斧は在来の系譜だという。

(21) H35号住居址

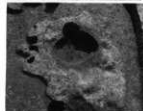
お65グリッドにあり、中世の土坑・単独ピットに切られ、弥生後期の土坑D260に切られ、弥生後期のH41・H36、D263を切る。南北長384cm、東西長520cmの隅丸長方形を呈す。主軸方位N-86°-Wをさす東西棟である。主柱穴は4本で、柱痕が検出される。P1は楕円形の柱痕で、37×22×39cm、他は円形で径23~27cm、深さ39~44cmを測る。東壁下に入り口ピットP5・P6があり浅い。その南脇に貯蔵穴のP7(53×39×16cm)がある。炉は西の主柱穴間にある。円形の径56cm深さ28cmの掘り込みに11の甕が埋設される。西壁の一部には周溝がある。床面は締まっている。

床下には内周するプランがあり、西壁が40cmほど東に寄る。また東の柱穴間にあるP8は円形を呈し、径48cm深さ17cmの穴に礫が敷き詰めである。焼けた痕跡はない。P8から出土した礫は、安山岩の河床礫である。いずれも扁平でS19は長さ6.5cm、幅4.0cm、厚さ1.5cm、S17は長さ17cm、幅8.3cm、厚さ2.0cmを測る。S3・S8・S14・S17・S18・S19は磨面があり、19は端部も摩耗し、赤色顔料が付着している。S3・S8・S14は端部に敲打痕をもつ。編物石状の括れをS17はもつ。編物石、組紐石、磨石などP8の用途は推測し兼ねるが、使用した石が貯蔵されている。堀方の壁際の落ち込みは重複遺構による落ち込みである。

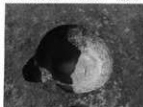
出土遺物は弥生土器がある。蓋、壺、甕があり、混入品としては須恵器甕片と角釘がある。2の壺は口縁が外反し、上部で内湾、その外面に櫛描波状文、頸部に櫛描塵状文3段を施文する。赤色塗彩品である。4は口縁が単純に大きく外反し、内面端部に櫛描波状文、外面頸部に櫛描波状文を施す。口縁は内外ミガキ赤色塗彩される。5は大型の壺胴部で胴最大径の推定径は45cmを測る。胴部形は



H33 完掘(西より)



D259 土坑周辺・ローム(西より)・(南より)



D259 完掘(南より)



H33 床下住居完掘(西より)



H33 床下住居部方(西より)

D259 土層説明

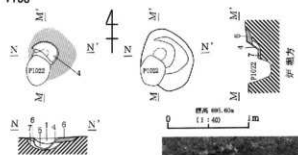
- A. 黒色土層(10YR2/1)
ローム粒子・バミスを含む。
- B. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム粒子・バミスを含む。
- C. 黒色土層(10YR2/1)
まれにロームブロックを含む。
- D. 暗褐色土層(10YR2/3)
ローム粒子を多く含む。
- E. 褐色土層(10YR4/6)
ローム主体。
- 21. 褐色土層(10YR4/6)
ロームブロック主体。黒褐色土
ブロック散在。腐りあり。
(鉛床)
- 22. 褐色土層(10YR4/6)
ローム主体。
- 23. 暗褐色土層(10YR2/3)
ロームブロックに褐色土を含む。
- 24. 暗褐色土層(10YR3/4)
(東方ピット)
- 25. 褐色土層(10YR4/6)
(西方ピット)

H33 土層説明

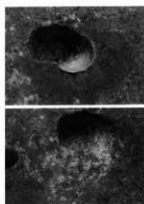
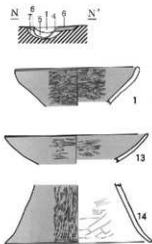
- 1. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム粒子・バミスを含む。
- 2. 黒色土層(10YR2/1)
ローム粒子・バミスを含む。
- 3. 暗褐色土層(10YR2/3)
ローム粒子・バミスを含む。
- 4. 黄褐色
- 5. 黒色土層(10YR2/1)
炭化物粒子を含む。
- 6. 黒色土層(10YR1/2)
炭化物粒子を多量に含む。
- 7. 暗褐色土層(7.5YR2/5)
ローム粒子を含む。
- 8. 褐色土層(10YR2/1)
柱状
- 9. 黒褐色土層(10YR2/2)
ロームブロックを多量に含む。
- 10. 褐色土層(10YR4/6)
ローム主体。
- 11. 灰・北方土層
※. 黒褐色土層(10YR2/1)
ロームブロックを含む。
腐りあり。(鉛床)
- 上. 暗褐色土層(10YR2/3)
ロームブロックを多量に含
む。
- 下. 黒褐色土層(10YR2/2)
B層よりロームブロックを
多量に含む。
- 14. 黒褐色土層(10YR2/2)
ボヤ状炭化物・大ロームブ
ロックを含む。
- 15. 黒色土層(10YR2/1)
炭化物を含む。
- 16. 褐色土層(10YR4/6)
ローム主体。(ピット東方)
- 17. 褐色土層(10YR4/6)
黒色土層ブロックを含む。
- 18. 暗褐色土層(10YR2/3)
ロームに炭化物ブロックを含
む。
- 19. 暗褐色土層(10YR2/3) 砂。
付着
- 20. 黒褐色土層(10YR2/2)
暗ロームブロックを含む。

第51図 H33号住居址(1)、D259土坑

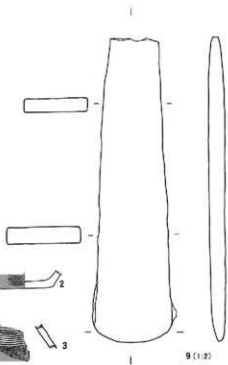
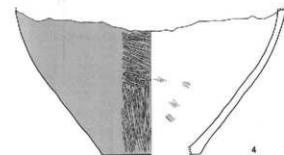
H33



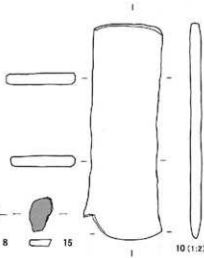
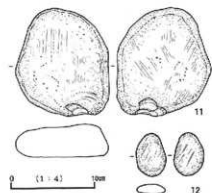
H33 9鉄斧出土状況(東より)



H33 11(東より)・12(東より)



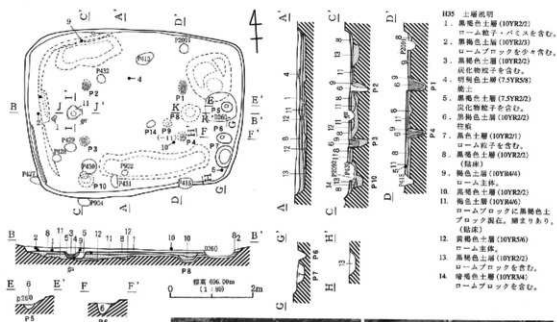
9 (1:2)



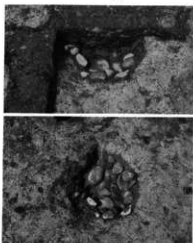
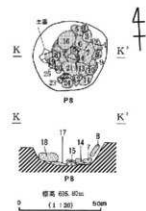
10 (1:2)

第52図 H33号住居址(2)

H35



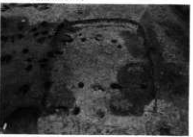
- H35 土層説明
1. 黄褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パミスを含む。
 2. 赤褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロックを少々含む。
 3. 黄褐色土層 (10YR2/2)
炭化物粒子を含む。
 4. 明褐色土層 (7.5YR5/8)
焼土。
 5. 黄褐色土層 (7.5YR2/2)
炭化物粒子を含む。
 6. 赤褐色土層 (10YR2/2)
焼土。
 7. 黄褐色土層 (10YR2/1)
ローム粒子を含む。
 8. 黄褐色土層 (10YR2/2)
(粘土)
 9. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。
 10. 黄褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロックに黄褐色土
ブロック混在。燻りあり。
 11. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロックに黄褐色土
ブロック混在。燻りあり。
 12. 黄褐色土層 (10YR5/4)
ローム主体。
 13. 黄褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロックを含む。
 14. 黄褐色土層 (10YR3/4)
ロームブロックを含む。



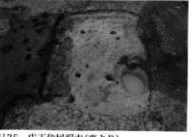
H35 P8セクション(南より)・P8(南より)



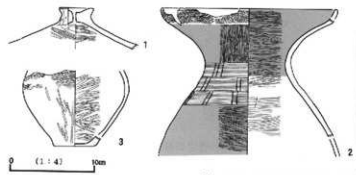
H35 完圖(東より)



H35 床下住居(東より)

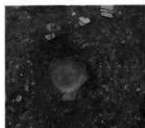
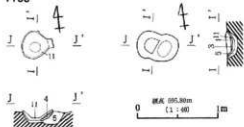


H35 床下住居場(東より)

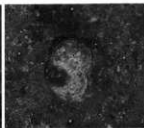


第53図 H35号住居址(1)

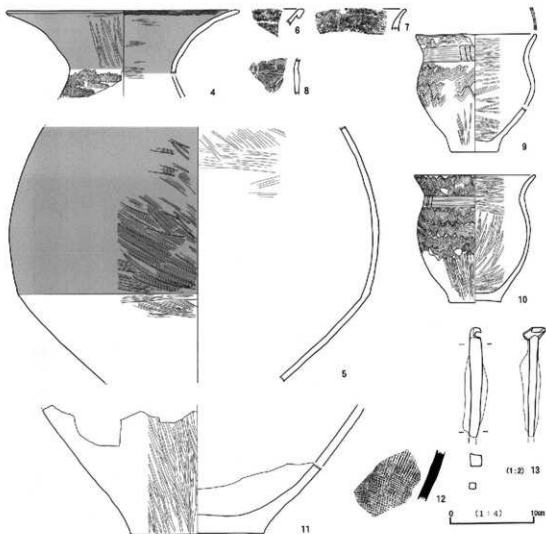
H35



H35 竈(東より)



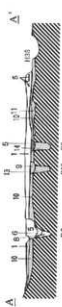
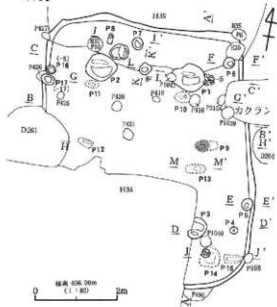
H35 竈(東より)



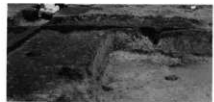
第54図 H35号住居址(2)

球形である。11の竈に使用された甕も大型品である。9・10甕は口縁が短く外反し、胴部は張っている。頸部の括れが少ない。施文は柳描波状文、頸部に柳描簾状文である。これらは弥生後期後葉の箱清水式土器である。

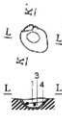
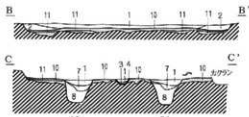
H36



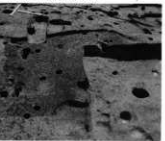
- 106 土層説明
1. 淡褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・バミスを含む。
 2. 灰色土層 (10YR2/1) ローム粒子・バミスを含む。
 3. 黒色土層 (10YR2/1) 炭化物粒子を含む。
 4. 暗褐色土層 (10YR3/3) ローム粒子を含む。
 5. 黒色土層 (10YR2/1) 柱状。
 6. 暗褐色土層 (10YR3/4) ローム主体。
 7. 暗褐色土層 (10YR3/3) ローム粒子を多く含む。
 8. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。所々に暗褐色土を含む。
 9. 褐色土層 (10YR4/4) ロームブロックに暗褐色土ブロックを含む。(黒灰)
 10. 暗褐色土層 (10YR3/4) ロームブロック主体。暗褐色土ブロックを含む。
 11. 淡褐色土層 (10YR5/6) ローム主体。
 12. 淡褐色土層 (10YR2/3) 柱状。
 13. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。所々に黒褐色土を含む。
 14. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。13層より深い。
 15. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。



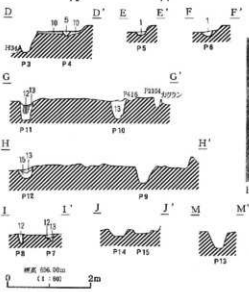
H36 セクション(西より)



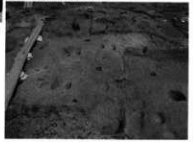
H36 炉場方(南より)



H36 完掘(西より)



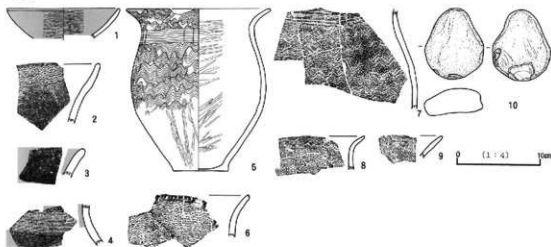
H36 5号出土状況(北より)



H36 堀方(西より)

第55図 H36号住居址(1)

H36



第56図 H36号住居址(2)

(22) H36号住居址

お65グリッドにあり、古墳後期のH34、弥生後期のH35、D261に切られ、中世の単独ピットに切られる。南北長604cm、東西長459cmの隅丸長方形を呈し、壁高3~19cmを測る。主軸方位N-9°-Wを指す。主柱穴は3本あり、南西の主柱穴はH34に壊される。P1(86×66×63cm)・P2(77×66×57cm)は東西に長い。柱痕はない。炉は北の主柱間にあり、やや楕円で、長径37cm、短径30cm、深さ20cmを測る。H35に上部が影響され、下部が残っている。土器を敷いており、土器片と炭化物層がある。壁下には円形の壁柱穴P5~P7・P17があり、径29cm、深さ8~19cmを測る。

床面は縮まっている。床下からは内周する壁柱穴P10~P13が検出され、長径32~48cm、幅18~26cm、深さ27~49cmを測る。P9(56×23×41cm)などは主柱穴と思われる、6本主柱穴の中間ピットに当たる可能性もある。

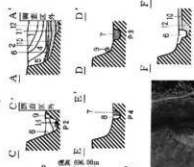
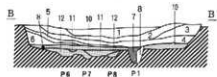
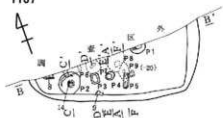
出土遺物には弥生土器、燧石がある。弥生土器は杯、壺、甕がある。2の壺は無彩色で、口縁外面に櫛描波状文を施す。他に頸部は櫛描横線文、外反口縁の口唇部にササラ状刺突がなされる。5の甕は口縁が強く外反し、最大径をもつ。胴部はやや球圓形を呈す。櫛描波状文と簾状文が施される。これらより弥生後期後葉の箱清水式土器である。

(23) H37号住居址

え66グリッドにあり、北側は調査区域外である。H41を切る。住居址南側の(134)cmを調査し、東西長は365cmを測る。壁高は37~47cm、主軸方位N-20°-Eを測る。P1(37×(16)×37cm)は南東の主柱穴である。出入り口のピットはP3(26×20×18cm)・P4(23×20×19cm)・P5(37×10×12cm)で、その西脇にある貯蔵穴のP2(56×52×35cm)は円形を呈す。底から土製紡錘車が出土する。

出土遺物は鉢、壺、甕、台付甕、土製円板、土製紡錘車がある。7は無彩色の壺で、頸部櫛描T字文である。壺の頸部文様は3の櫛描横線文+赤色塗彩帯+櫛描横線文、4のヘラ描斜走文がある。8の甕は口縁が大きく外反し最大径をもち、頸部でくびれ胴部は球形を呈す。口縁内面はミガキ赤色塗彩である。外面櫛描波状文、頸部櫛描簾状文を施す。9は台付甕で口縁が短く外反し、口径と胴最大径が同じで脚の裾は開く。これらは弥生後期後葉箱清水式土器である。

H37



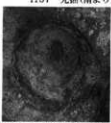
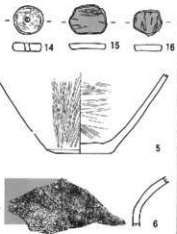
H37 セクション(東より)



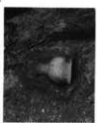
H37 完相(南より)

H37 土層説明

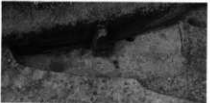
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロック・パミス・炭化物を含む。
2. 土褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロック・パミスを含む。
3. にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) ローム主体。
4. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ローム粒子を多量に含む。
5. 棕色土層 (10YR2/3)
炭化物層、土器を多量に含む。
6. 黒褐色土層 (10YR3/2)
ローム粒子・パミスを多く含む。
7. 暗褐色土層 (10YR3/3)
柱状ロームブロックを含む。
8. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ロームブロックを多く含む。
9. 暗オリーブ褐色土層 (2.5Y3/3)
粘土粒子を含む。
10. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロック・パミス・黒褐色土ブロック混在。締まる。(粘厚)
11. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロック・黒褐色土ブロック混在。
12. 黒褐色土層 (10YR3/2)
(狭アピット) (狭アピット) (狭アピット)



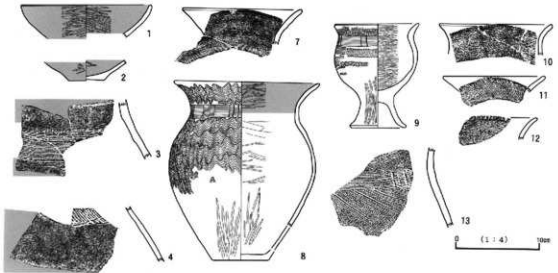
H37 P2土製紡績車(東より)



H37 9台付費(北より)

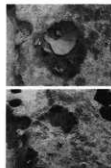
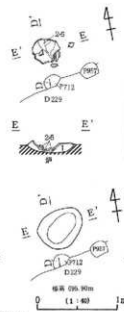
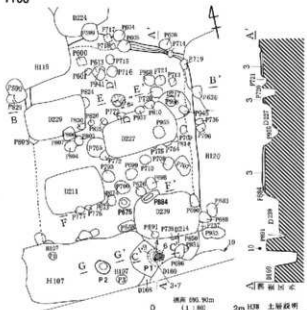


H37 堀方(南より)

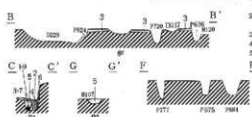


第57図 H37号住居址

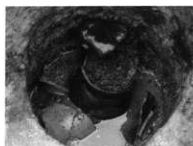
H38



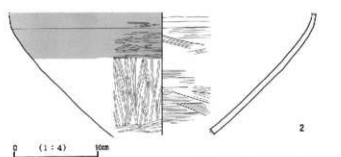
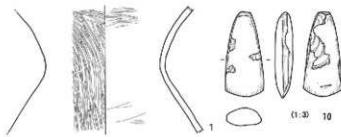
H38 P1(東より)
P1堀方(東より)



- H38 土層説明
1. 赤褐色土層 (10VR2/2)
黄化粉砂土を含む。
 2. 褐色土層 (10VR2/1)
軽硬
 3. (堀方)
 4. (ローム泥炭)
 5. 黄褐色土層 (10VR2/2)
P' ローム粒子を含む。

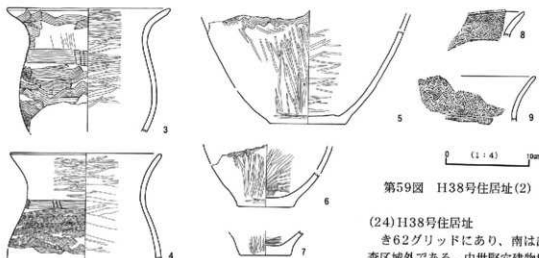


H38 P1遺物出土状況(西より)



H38 完照(南より)・堀方(東より)

第58図 H38号住居址(1)



第59図 H38号住居址(2)

(24)H38号住居址

き62グリッドにあり、南は調査区域外である。中世竪穴建物址、土坑、単独ピットに切れ、弥の土坑D245を切る。南北(570)

cm、東西(378) cmを測るが浅いため推定値であり、プランは明確ではない。また重複遺構が多いため、炬は確認できたが北の主柱穴は確定できなかった。炬底に、2の壺を敷いている。南東にあるP1(42×40×77cm)・P2は南の主柱穴であろうか、P1は遺物が多く、4の底部を欠く裏の中が柱痕となっている。堀方からは1・3・4・9の土器が出土する。

出土遺物には弥生土器、小型の太型始刃石斧がある。1の壺は頸部に文様がなく、赤色顔料付着の痕跡はあるが無彩色である。3の裏は口縁が大きく外反し、口縁に最大径をもつ。波状文は波長が乱れ、頸部より下に櫛描横線文を施す。4の裏は口縁が外反し、口径と胴最大径が同じある。口縁に施文はなく、胴部櫛描波状文、頸部櫛描簾状文である。本住居の土器は施文の省略化が目立つ。これらより弥生後期後葉箱清水式土器である。

(25)H39号住居址

お62グリッドにあり、中世の竪穴建物址、土坑、単独ピットに切れ、単P967を切る。壁高1~6cmと浅く、重複が激しいため、住居址全体の形態はつかめていない。主柱穴はP1・P2であるが、南のピットは確定できない。P2の南に炬があり、楕円形で、長径32cm、短径24cm、深さ20cmの掘り込みで1の壺を敷いてが底としている。

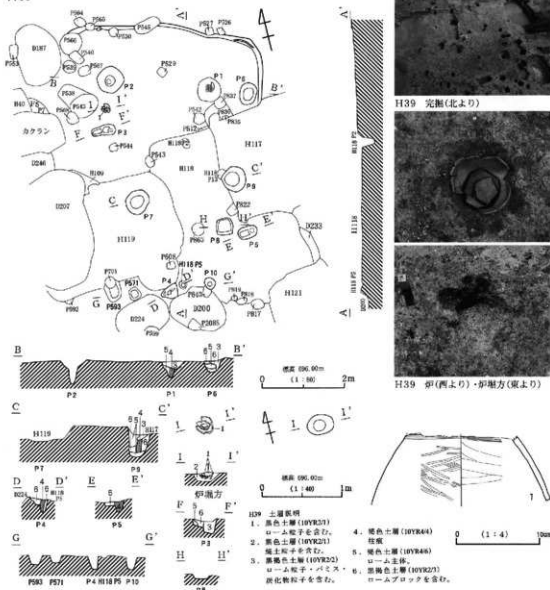
炬の位置から本住居は東西棟で、主軸方位はN-77°-Wであろうか。円形のP6(54×41×32cm)・P9(64×57×72cm)は貯蔵穴であろうか。P9には柱痕がある。重複する遺構の柱痕が偶々重なっているのであろうか。

出土遺物は炬から出土する弥生土器の壺である。無彩色で、頸部に櫛描横線文を施す。無彩色ではあるが、櫛描横線文が確で、胴部が張っていることから弥生後期後葉の箱清水式土器であろう。

(26)H41号住居址

え65グリッドにあり、北は調査区域外である。弥生時代のH35・H37、D263、中世のピットP1042に切られる。南北(332)cm、東西(496)cmを調査し、壁高は8~32cmを測る。主軸方位はN-26°-Eを指す。南の主柱穴2本を検出する。P1(47×31×52cm)・P2(58×24×49cm)は楕円形のピットである。南壁下には出入り口ピットP5(44×24×24cm)・P7(33×19×27cm)があり、柱痕が確認される。P3(45×38×20cm)は貯蔵穴であろう。P4は円形で、径50cm、深さ80cmと深い。

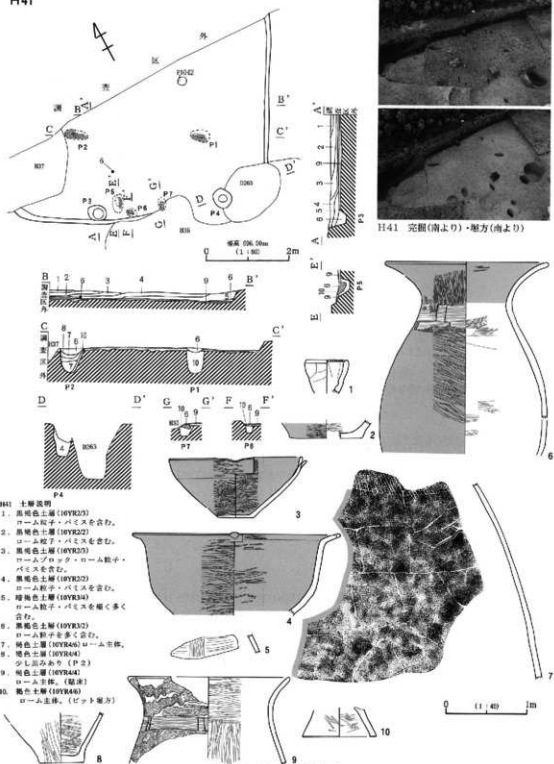
H39



第60図 H39号住居址

出土遺物には弥生土器がある。手捏、鉢、壺、甕があり、1の手捏は口径5.4cm高さ4cmほどの小品で、口唇部に細い刻み目を施す。3の鉢は外方に開き外面上部で緩やかな稜をもって内湾し片口が付く。4の高杯は杯下部に緩やかな稜をもち、直立し、口縁上部に内稜をもって口縁が外に折れ、鈔を作る。3・4は赤色塗彩される。6は大きく外反する単純口縁壺で、胴上部は張っていない。頭部の文様は櫛描糜状文であるが施文幅は比較的狭い。7の壺頭部はヘラ描斜走文である。9の甕は口縁が短く外反し、櫛描波状文、櫛描糜状文である。これらより弥生後期後葉箱清水式土器である。

H41

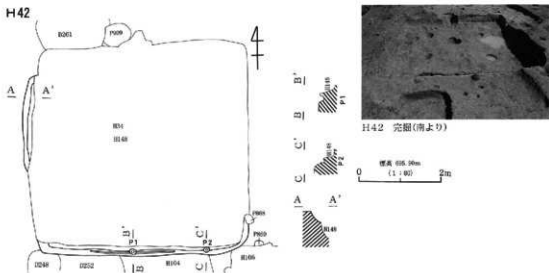


H41 完掘(南より)・壁方(南より)

H41 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ローム粒子・バミスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・バミスを含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロック・ローム粒子・バミスを含む。
4. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・バミスを含む。
5. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ローム粒子・バミスを多く含む。
6. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子を多く含む。
7. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
8. 褐色土層 (10YR4/4)
9. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。(壁方)
10. 褐色土層 (10YR4/6)
ローム主体。(ピット壁方)

第61図 H41号住居址



第62図 H42号住居址

(27) H42号住居址

き65グリッドにあり、古墳時代後期のH34に大半を壊される。南北は大よそ(400)cm、東西(480)cmである。壁高は1~24cmを測る。

遺物はH34に混入する弥生土器とみられる。赤色塗彩の鉢や壺、櫛描波状文の甕などがある。北でH36の弥生の住居を切るなのでそちらの混入品もあり、確定はできない。重複関係と遺物からは弥生後期とされる。

(28) H43号住居址(中世?)

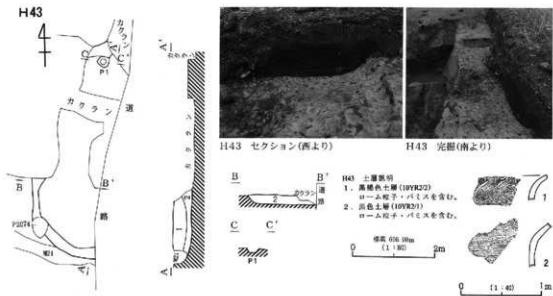
か50グリッドにあり、東は道路で未調査、M21に南壁の上部、攪乱により大半を壊される。南西の床面を検出し、隅は丸味をもっている。主柱穴はなく、北壁にP1(28×28×14cm)を検出したのみである。

出土遺物は弥生土器の甕2片で、櫛描波状文と、斜走文の甕である。いずれも弥生後期の箱清水土器である。しかし、住居の形態からは中世の竪穴建物址と類似し、H43が弥生後期であるかどうかは分からない。

(29) H45号住居址

か57グリッドにあり、中世の竪穴建物址H130・H137~H139・H144、中世の土坑、単独ピットと重複し切られる。南北長1096cm、東西長580cmの隅丸長方形を呈す。壁高は2~14cmを測り、主軸方位はN-9°-Wを指す。南は重複が激しくプランは明確ではない。主柱穴は北のP1(71×36×51cm)・P2(72×70×58cm)を検出したが、南は重複遺構に壊される。主柱穴の柱痕セクションは東西に長い五平状柱のセクションである。主柱穴間には径48cm、深さ20cmの下層に灰を含む地床炉がある。壁下には周溝が廻り、壁柱穴P3~P7・P11・P12は楕円形ないし隅丸長方形を呈する。長径29~43cm、短径21~27cm、深さ33~54cmを測り、深い柱痕をもっている。床はロームブロックを含む土を貼り、非常に締まっている。南壁のP9(40×29×30cm)は貯蔵穴であろう。床下には他に遺構はみられない。

出土遺物には弥生土器、土製紡錘車、土製円板、叢石がある。弥生器は高杯、壺、甕があるが完形品はない。1・2の高杯は口縁が緩やかな内稜をもって外に折れ、鈎を作り、赤色塗彩される。



第63図 H43号住居址

5の壺の頸部には文様がなく赤色塗彩される。6の小型甕の口縁は櫛描波状文が施文されるが、波状文は小刻みで、乱れている。これらより弥生後期後葉箱清水式土器である。

(30) H46号住居址

か60グリッドにあり、中世のH111・H142に切られる。床面は、南北(48)cm、東西(236)cmを調査する。住居の北西隅に当たり、周溝とP1(25×19×34cm)・P2の壁柱穴がある。床面は北端であるが良く締まっている。H111の床下に主柱穴の痕跡を残す(第137図参照)。H142D1は貯蔵穴であろうか(第153図参照)。

出土遺物には弥生土器の杯と高杯がある。1は厚手の杯で底はことに厚い。内外と底部が赤色塗彩される。2の高杯は赤色塗彩され、口縁外面に外稜をもち、上部で内稜をもって口縁が外にのびる。端部に突起が付く。これらは、弥生後期後葉箱清水式土器である。

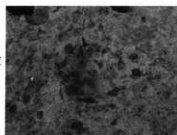
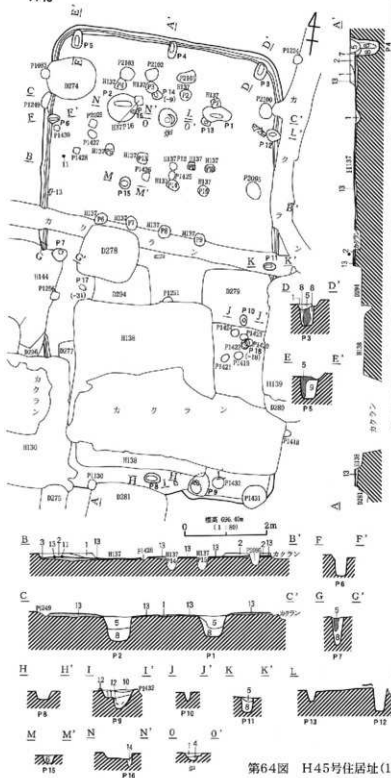
(31) H47号住居址

き52グリッドにあり、中世の竪穴建物址H141・H145・H146、中世の土坑、単独ピット、攪乱に切られ、壁高も2cmと浅く、南側のプランは不明である。南北(558)cm、東西長435cmの隅丸長方形を呈す。主軸方位はN-7°-Eである。

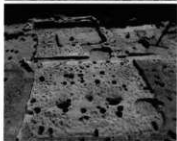
主柱穴はP1~P4で、東西に長い楕円形を呈す。長径43~77cm、短径23~45cm、深さ37~62cmを測る。柱痕は円形を呈す。北の主柱穴間に炉があり、1の高杯杯部を埋設して炉底としている。P7・P9は出入り口のピットで、柱痕は直立している。P11(24×23×33cm)・P5(34×21×11cm)は壁柱穴であろうか。床面はローム主体の土を貼るが、浅いため硬質面が削平され、それほど締まっていない。床下には中央付近にP12があり、黒色土を含み、56×36×30cmを測る。

出土遺物には弥生土器がある。1の高杯は直線的に外傾し、上部緩やかな内稜をもって、口縁が外反し鈎となっている。端部に突起が付く。2の壺頸部は櫛描T字文である。3の甕は口縁と胴最大径が同じ器形だが、頸部はくびれ、胴中位下が張り球胴形を呈す。櫛描波状文、頸部櫛描簾状文で、実測面はことに波状が乱れる。これらは、弥生後期後葉箱清水式土器である。

H45



H45 削(南より)



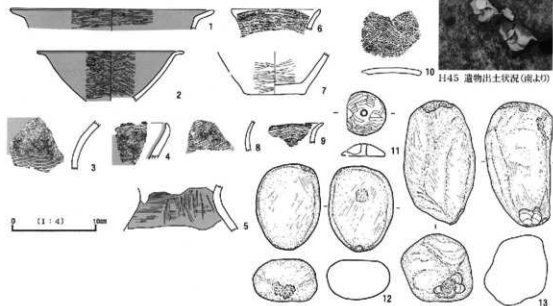
H45 完掘(北より)・堀方(北より)

H45 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・バミス・炭化物を含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・バミスを含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/5)
黒腐土
4. 暗褐色土層 (10YR3/4)
灰を含む。(SP)
5. 暗褐色土層 (10YR2/5)
炭灰
6. 褐色土層 (10YR4/4)
柱礎
7. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。
8. 褐色土層 (10YR4/6)
ローム主体。
9. 赤褐色土層 (10YR2/3)
ローム粒子を含む。(ピット堀方)
10. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロック主体。(堀溝?)
11. 黒褐色土層 (10YR2/5)
ロームブロックを含む。
12. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・バミスを含む。
13. 褐色土層 (10YR4/4)
黒色・ロームブロック炭灰。
腐土層。(堀溝)
14. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。(堀方ピット)

第64図 H45号住居址(1)

H45



H45 遺物出土状況(南より)

第65図 H45号住居址(2)

(32) H48号住居址

え40グリッドにあり、北側は耕作による攪乱が顕状に入る。南北長588cm、東西長440cmの隅丸長方形を呈し、壁高4~18cmを測り、主軸方位N-5°-Wを測る。4本主柱穴で、東西160cm、南北268cmの長方形に配され、北のP1(55×46×78cm)・P2(31×24×70cm)円形、南のP3(63×48×86cm)・P4(66×44×75cm)は楕円形を呈す。南壁下中央にP5・P6の出入り口ビットがあり、その東脇のP7(42×35×32cm)が貯蔵穴であろう。炉は北の主柱穴間にあって、円形で径68cm、深さ7cmを測る。床面はロームブロック・黒褐色土ブロックの貼床である。床下には少し内に寄って、P2の下から床下ビット(37×26×68cm)が検出される。出入り口のビットも44cm内側にある。住居址は拡張されている。

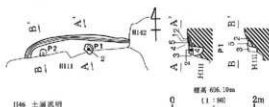
出土遺物には弥生土器・土製紡錘車がある。弥生土器は蓋、壺、甕がある。5~7の甕は口縁が外反し、口縁に最大径をもつものである。5は櫛播波状文、頸部に麁状文、6・9は波状文のみ施文される。これらは、弥生後期後葉の箱清水式土器である。

(33) H49号住居址

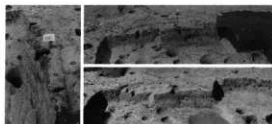
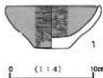
お42グリッドにあり、F7・F8、P1516~1520に切られる。南北長514cm、東西長359cmの隅丸長方形を呈し、壁高8~29cmを測り、主軸方位N-17°-Wを指す。主柱穴は4本で東西長208cm、南北長280cmの長方形に配され、柱痕が看取される。P2の柱痕は長径30cm、短径20cm、楕円形で、他は円形を呈し、径20~26cmを測る。ビット堀方は円形で、径32~36cm、深さ58~70cmを測る。出入り口ビットはP5(長径24cm、短径16cm)・P6(長径38cm、短径13cm)で、南北に長い長方形の柱痕である。五平柱状の柱痕である。南壁中央にはP7(42×32×19cm)の浅いビットがある。出入り口ビットの床面には幅20cm、高さ4cmの周堤に囲まれてP8(円形、径48cm、深さ48cm)がある。P8は黒褐色土層を含む。

炉は北の主柱穴間にあり、長径77cm、短径57cm、深さ19cmの楕円形の落ち込みである。下面に焼

H46



- H46 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。
 2. 褐色土層 (10YR4/4)
(河床)
 3. 黒褐色土層 (10YR2/2)
柱痕
 4. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。
 5. 褐色土層 (10YR4/4)
(埋土)



H46 セクション(東より) H46 断面(南より)・堀方(南より)



第66図 H46号住居址

土があり、土器の埋設後抜き取られたようである。

床面はロームブロックを含む土を貼り、良く締まっている。床下からはD1の円形で、径79cm、深さ18cmの土坑がある。偶然であるのか、上面の床からは長さ50cmの台石があり、上面に磨面がある。堀方は北壁を除いて中央が高く、周辺部が低い。

出土遺物には弥生土器、打製石斧、磨石がある。弥生土器は蓋、甌、壺、甕、台付甕がある。5の甕は頸部櫛描菱状文を施す。9・10は同個体で、口縁が反外し胴部は球形を呈す。施文は櫛描菱状文を施す。これらは、弥生後期後葉箱清水式土器である。

(34) H51号住居址

え45グリッドにあり、D311、単独ピット、攪乱に切られ、D305、P1594を切る。南北長1123cm、東西長614cmの長方形を呈す。壁高は26～53cmを測り、主軸方位N-12°-Wを指す。本調査住居址の中で最大規模の住居址である。因みにH49の面積の3倍以上である。

主柱穴は4本で南北の間に小ピットを設けている。主柱穴はP1～P4で、東西240cm、南北720cmの長方形にある。柱穴は長径78～96cm、短径56～13cm、深さ67～79cmの楕円形基調の堀方形を呈す。平面で柱痕形は確認できなかったがセクションとピット底面形からは五平柱状とみられる。中間ピットP11(径26cm、深さ32cm)は円形ピットである。南壁下中央に出入り口のピットが4本あり、深さのあるP5(55×20×63cm)・P9(48×23×62cm)と内側の浅いP6(16×12×21cm)・P8(27×22×21cm)がセットになり、さらに壁下にP6とP8をつなぐP7(114×33×25cm)の細長い穴がある。東脇にはP10(54×44×28cm)の貯蔵穴があり、北に周堤をもつ。壁下にはP12～P15・P17～P20の壁柱穴が廻っている。P16(40×28×36cm)は棟持柱である。

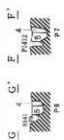
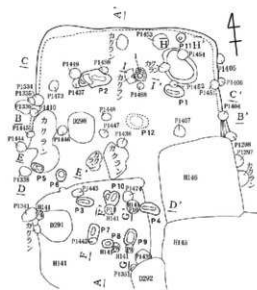
炬は攪乱に壊されて無い。

D1が南の床中央にあって、隅丸方形(100×93×35cm)を呈す。

床下にはP23のセクションにみられるように、2回に渡る建て替えの柱痕が検出される。P23～P26が床下主柱穴、P27・P28が出入り口、P29～P36・P39が床下の壁柱穴である。床上プランより40cmほど内周している。柱痕の形状は平面プランは確認できていないがセクションからはP1～P4の主柱穴の柱痕は五平柱状を呈し、壁柱穴のP29・P31・P32は長方形を呈し、五平柱状の柱痕である。

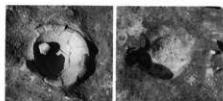
出土遺物は弥生土器と土師器、叢石、凹石、鉄剣がある。68の土師器甕と66・67の杯は1層中より出土する。65の鉄剣の土層は2層中となるがいずれ上層からの出土である。

H47

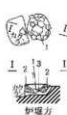


H47 土層説明

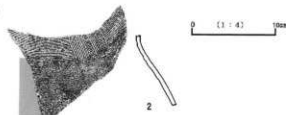
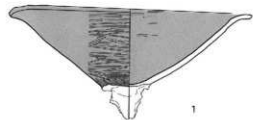
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。
2. 褐色土層 (10YR4/3) 粘土。
3. 褐色土層 (10YR4/3) ローム。
4. 暗褐色土層 (10YR3/3) 柱状。
5. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。
6. 高褐色土層 (10YR2/3) 柱状。
7. 高褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子を含む。
8. 褐色土層 (10YR4/4) 柱状。
9. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
10. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
原色ロームブロック遺存。
11. 高褐色土層 (10YR2/3)
12. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。
13. 黒色土層 (10YR1/1)
わずかにパリスを含む。
14. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロックを多数に含む。



H47 和(南より) H47 和(北より)



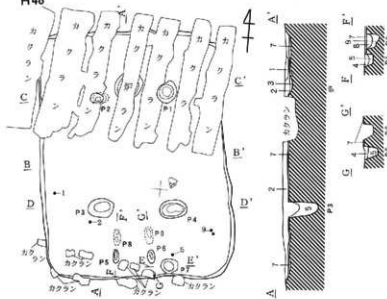
0 2m (1:80)



0 10cm (1:4)

第67図 H47号住居址

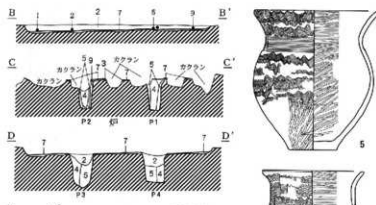
H48



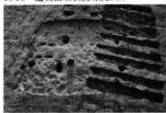
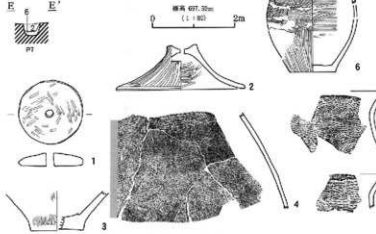
- H48 土層説明
1. 黒褐色土層 (7.5YR2/2) 炭土粒子を含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・パミスを含む。
 3. 砂
 4. 褐色土層 (10YR4/4) 軽石
 5. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
 6. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
 7. 暗褐色土層 (10YR3/4) ロームブロック・黒褐色土ブロックの基層。(1m) 下面は褐色 (10YR4/6) ローム主体層。
 8. 暗褐色土層 (10YR3/5) ロームブロック・黒褐色土ブロックの底。
 9. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。



H48 完図(南より)



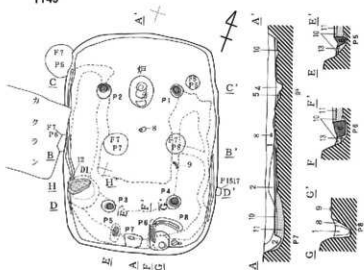
H48 遺物出土状況(南より)



H48 堀方(東より)

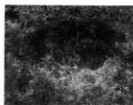
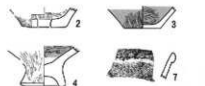
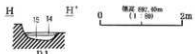
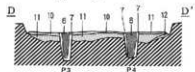
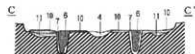
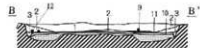
第68図 H48号住居址

H49



H49 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR3/2)
ローム粒子・パミス粒子・ロームブロックを少々含む。
2. 灰色土層 (10YR2/1)
ローム粒子・パミス粒子・炭化物粒子を含む。
3. (黄褐色)
4. 黒褐色土層 (7.5YR3/2) 遮土粒子を含む
5. (黄土)
6. 赤褐色土層 (10YR3/3) 砂層
7. に近い黄褐色土層 (10YR4/3)
ロームブロック主体。
8. 黄褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロック・パミスを含む。
9. 黄褐色土層 (10YR2/2)
細ロームブロックを含む。
10. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロック・褐色土ブロック混在。非常に細くあり。
11. 黄褐色土 (10YR5/6) ロームブロック
黒褐色土 (10YR2/2) ブロック混在層。
12. に近い黄褐色土層 (10YR5/4) ローム主体
13. に近い黄褐色土層 (10YR4/3)
ロームブロック主体。
14. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ロームブロック (暗褐色砂層)
15. 明黄褐色 (10YR6/6)
暗褐色 (10YR3/4) ロームブロック混在。



H49 掘場方(東より)



H49 出入口ピット(東より)



H49 床下土坑D1(南より)

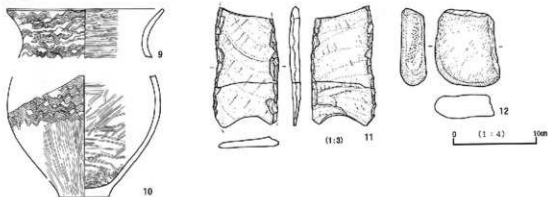


H49 完顔(南より)・壱方(南より)



0 [1:4] 10m

第69図 H49号住居址(1)



第70図 H49号住居址(2)

弥生土器は蓋、鉢、高杯、壺、甕、土製円板、土製紡錘車がある。6の赤色塗彩の鉢の底部には布疋痕がある。壺は17~21まで受け口の壺で、口縁外面はササラ刺突、ミガキ調整、櫛描波状文、櫛描横線文、ミガキ赤色塗彩と多様である。頸部の文様は19の櫛描横線文の間に赤色塗彩帯をもつもの、20の櫛描籠状文の幅広い施文がある。35の器形は壺であるが施文は甕の文様で、口縁櫛描波状文、頸部櫛描籠状文である。36の甕は口縁が直線的に外傾し、胴部は球形を呈す。頸部の括れが大きく、最大径を胴部にもつ。櫛描斜走文を施文する。これらより、弥生後期後葉の箱清水土器である。

剣は刃先から残長10.8cm、刃幅2.2cm、厚さ0.7cmを測る。五里田遺跡(注:1999「五里田遺跡」)の鉄剣は刃幅2.8cm・2.9cmである。これらは、弥生中期の住居から出土する。刃幅が本址のものは狭い。

(35) H52号住居址

お47グリッドにあり、単独ピットに切られ、D306を切る。南北長680cm、東西長418cmの隅丸長方形を呈し、壁高6~19cm 主軸方位N-4°-Wを測る。主柱穴はP1~P4で楕円形を呈し、長径43~56cm、短径24~34cm、深さ67~74cmを測る。南には出入り口ピットP6・P7、右脇にはP8(48×36×24cm)の貯蔵穴、南西にはP5(64×58×27cm)の貯蔵穴があり、住居側に周堤が付く。

炉は北の主柱穴間より北にあつて5の壺を埋設している。炉壁方は円形で径59cm、深さ15cmを測る。床面は締まっている。堀方には東壁側が20cmほど内側に入っているプランがある。

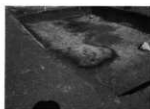
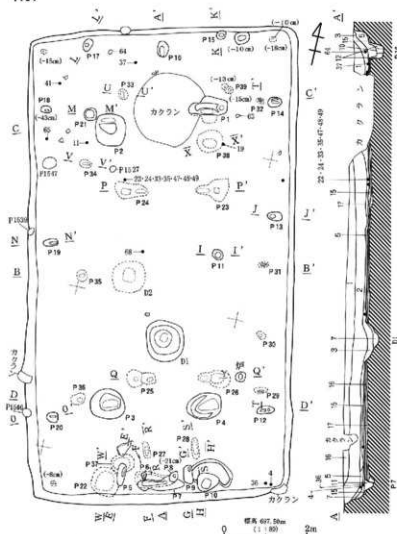
出土遺物は弥生土器と土製品がある。弥生土器は杯、高杯、壺、無頸壺、甕があり、壺の頸部文様は櫛描T字文がある。8の甕は口縁が外反し、胴上部が球形を呈す。櫛描斜走文、頸部櫛描籠状文を施す。9は無文の甕で、胴上部に最大径をもつ。土製品は穿孔が途中までの直径3.7cmのミガキ調整される土製の玉がある。これらは弥生後期後葉箱清水式土器である。

(36) H53号住居址

か39グリッドにあり、H50、攪乱に切られる。南北長364cm、東西長382cmの方形を呈し、壁高は22~33cmを測り、N-88°-Eを指す。主柱穴はP1~P3の3個で、東と西の壁中にある。北西の柱穴はH50に壊されてない。柱穴は長方形を呈し、長辺30~39cm、短辺20~26cm、深さ71~74cmを測る。西壁の主柱穴脇には方形のP5(38×34×31cm)があり、北にわずかな周堤をもつ。床面のP6~P8も柱痕をもっている。

炉は東側床面中央にあり、隅丸方形の一辺46cm、深さ13cmの掘り込みに、3の壺底部を埋設し、

H51



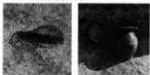
H51 焼土(南より)



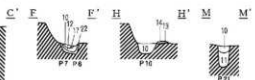
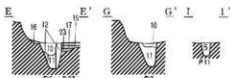
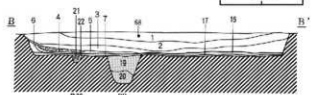
H51 完照(南より)



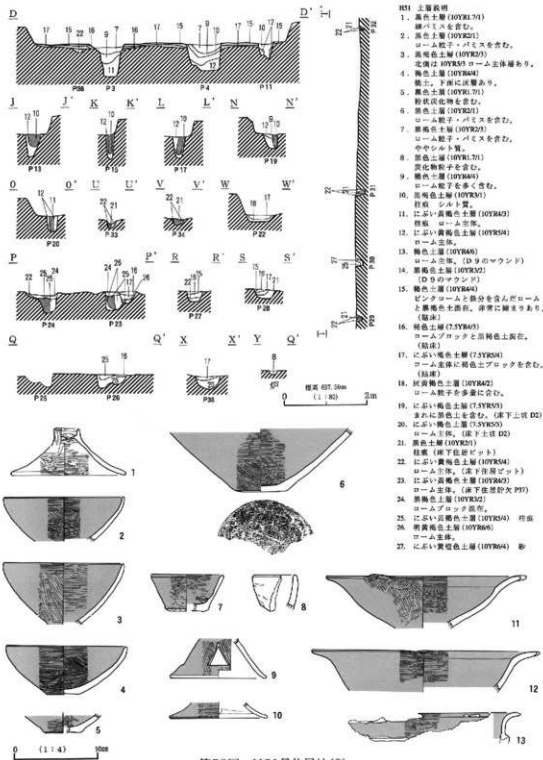
H51 場方(南より)



H51 床下礎柱穴 P29の柱礎と場方
出土状況(北より)
プラン(北より)



第71図 H51号住居址(1)

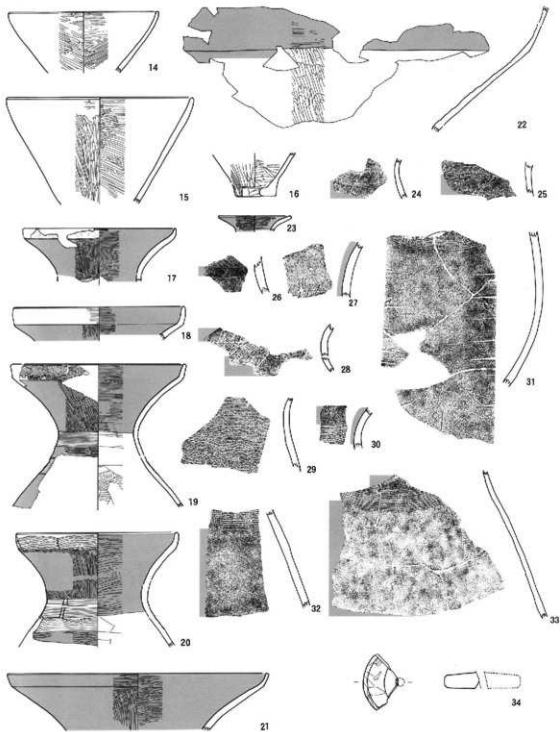


H51 土層説明

1. 黒色土層 (10YR1.7/1)
練パミスを含む。
2. 黒色土層 (10YR2/1)
ローム粒子・パミスを含む。
3. 黒褐色土層 (10YR3/3)
北面は 10YR3/5 ローム主体層あり。
4. 褐色土層 (10YR4/4)
粘土、下部に炭層あり。
5. 黒色土層 (10YR1.7/1)
粒状灰化物を含む。
6. 黒色土層 (10YR2/1)
ローム粒子・パミスを含む。
7. 黒褐色土層 (10YR3/3)
ローム粒子・パミスを含む。
ややシルト質。
8. 褐色土層 (10YR4.7/1)
灰化物粒子を含む。
9. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム粒子を多く含む。
10. 黒褐色土層 (10YR3/1)
粒状シルト質。
11. にぶい黒褐色土層 (10YR4/3)
粒状ローム主体。
12. にぶい黄褐色土層 (10YR5/4)
ローム主体。
13. 褐色土層 (10YR4/6)
ローム主体。(D9のワウンド)
14. 黒褐色土層 (10YR3/2)
(D9のワウンド)
15. 褐色土層 (10YR4/4)
ピンタロームと鉄分を含んだロームと黒褐色土質粒。非常に練りあり。(粘土)
16. 褐色土層 (7.5YR6/3)
ロームブロックと黒褐色土質粒。
(粘土)
17. にぶい褐色土層 (7.5YR5/4)
ローム主体に褐色土ブロックを含む。
(粘土)
18. 黄褐色土層 (10YR4/2)
ローム粒子を多量に含む。
19. にぶい褐色土層 (7.5YR5/5)
まれに褐色土を含む。(床下土状 D2)
20. にぶい褐色土層 (7.5YR5/5)
ローム主体。(床下土状 D2)
21. 褐色土層 (10YR2/1)
粒状(床下土状ピット)
22. にぶい黄褐色土層 (10YR5/4)
ローム主体。(床下土状ピット)
23. にぶい黒褐色土層 (10YR4/3)
ローム主体。(床下土状ピット P37)
24. 黒褐色土層 (10YR3/2)
ロームブロック散布。
25. にぶい黄褐色土層 (10YR5/4) 粒状
26. 黄褐色土層 (10YR6/6)
ローム主体。
27. にぶい黄褐色土層 (10YR6/4) 粒

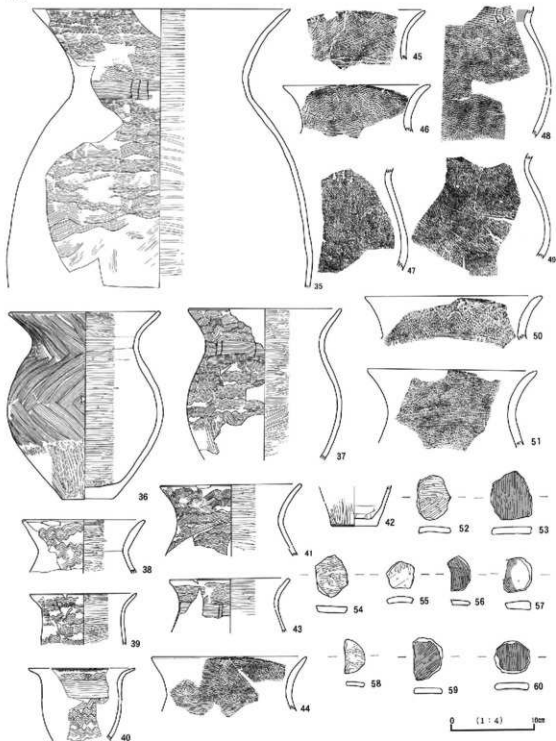
第72図 H51号住居址(2)

H51



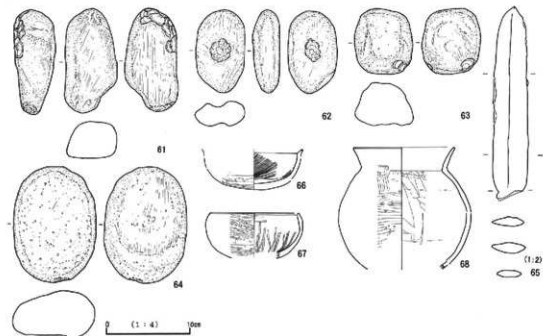
第73图 H51号住居址(3)

H51



第74图 H51号住居址(4)

H51



第75図 H51号住居址(5)

炉底としている。床面はロームを含む土を貼り、縮まっている。

出土遺物には弥生土器と燧石がある。弥生土器は壺・甕がある。1の壺口縁は外反する単純口縁であるが、端部でわずかに内湾気味となる。2は受け口の壺口縁で外面は赤色塗彩される。12の甕は口縁が直線的に外傾し、胴部が球形を呈す。施文は櫛描波状文、頸部篋状文である。これらより弥生後期後葉箱清水式土器である。

(37) H54号住居址

き41グリッドにあり、南は調査区域外、単独ビット、攪乱に壊される。南北(224)cmを調査し、東西長684cmを測る。隅丸長方形を呈し、壁高は18~35cmを測る。主軸方位はN-75°-Eを指す。主柱穴は北側の2本のP1(58×42×71cm)・P2(56×28×62cm)で柱穴形は南北方向に長い方形基調である。東壁下にはP3(52×21×15cm)、その床下からは傾斜するビットP4がある。炉は東側床面にあり、径17cm、深さ16cmの掘り込みに2の壺の口縁を埋設して、炉壁としている。

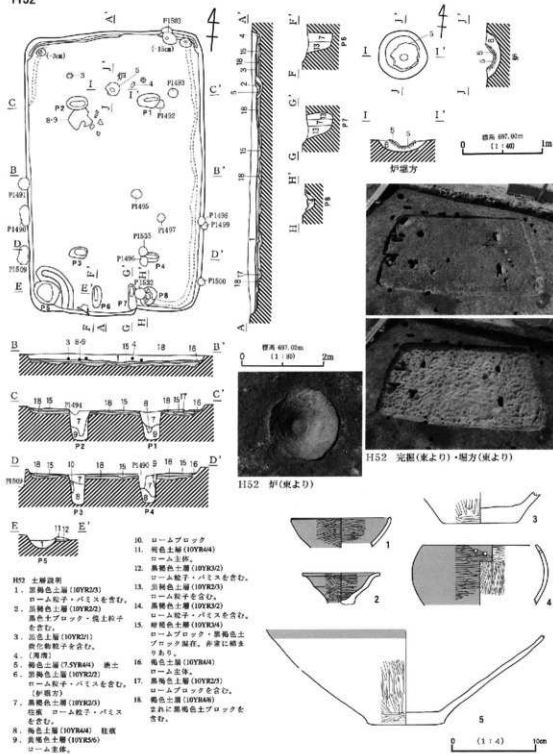
床面はロームブロックを含む土を貼り、縮まっている。堀方にもビットがあり、プランはつかめないうが建て替えが行われたようである。

出土遺物には弥生土器と燧石がある。弥生土器は杯・壺・甕がある。壺は受け口口縁である。口縁帯の幅が広く、櫛描波状文が施される。3の大型の壺は単純に外反する口縁で、上端が強く外反する。

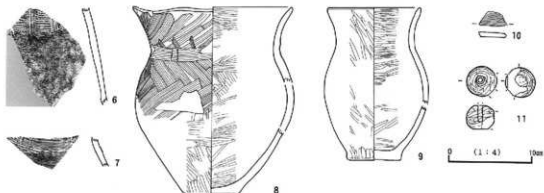
これらは、弥生後期後葉の箱清水土器である。

(38) H55号住居址

く46グリッドにあり、南は調査区域外である。南北(75)cmを調査し、東西長669cm、壁高52~66cmを測る。矩形に近い形態をしている。住居の北端のみで、主柱穴は検出されていないが、北壁中央にP4があり、円形の径45cm、深さ41cmのビットに、長さ34cm、幅14cmの五平柱状の柱痕が



第76図 H52号住居址(1)



第77図 H52号住居址(2)

検出される。壁柱穴はP1・P3・P5がある。P2の周囲は周堤状の貼り床がある。床面からは胴中位端部を整えた甕が逆位に出土している。

出土遺物は、弥生土器の壺と甕がある。1の壺は受け口口縁で、口縁外面はミガキのみで赤色塗彩をしていない。4の甕は大型品で、口縁は直立気味で短く外反し、胴部に最大径をもつ。これらは弥生後期後葉箱清水式土器である。

(39) H56号住居址

か34グリッドにあり、D312、単独ビット、攪乱に切られる。南北長530cm、東西長512cmの方形を呈す。壁高は43～54cmを測り、主軸方位N-5°-Wを測る。焼失家屋で、多量の炭化材が出土している。主柱穴はP1～P4の4本で東西240cm、南北260cmに配される。柱穴はやや楕円形を呈し、長径39～55cm、短径33～39cm、深さ71～77cmを測る。南壁下には出入り口ビットP7・P8がある。炉は北の柱穴間にあり、長径46cm、深さ5cmの楕円形を呈す。位置から炉としたが炭化物を含んではいるが、焼失家屋なので炉と特定できるものはない。南西に貯蔵穴のP5があり、やや円形の長径65cm、短径55cm、深さ95cmの土坑状の落ち込みがあり、底から19の甕が出土する。P5の周辺部は貼床され、径34cmの円形部分の口が開いていた。P11は床と異なる土で貼床されており、径54cm、深さ44cmを測る。P13は長径68cm、深さ9cmの浅いものであるが、下層に炭化物層があり、貼り床されている。P12も炭化物層が貼床される。

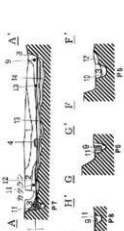
床面はロームブロックを含む土で、貼り床される。床面は焼けたため締まっていない。壁下には周溝が廻る。

床下からはP15・P16・P18・P25の床下の主柱穴4個が検出され、他に堀方にビットが多くみられる。北側に東西方向の周溝が伸びており、東西方向を主軸とし、南北長376cmの床下住居が考えられる。建て替え拡張がなされている。

出土遺物には弥生土器がある。蓋、鉢、高杯、壺、甕がある。13の壺は口縁端部が内湾する。14の壺は口縁が外反する単純口縁の壺で、頸部に櫛描横線文、口縁内外・胴部外面は赤色塗彩される。胴部は球胴形を呈す。内部から炭化した米が出土している。15・16は太頭で、口縁が大きく外反する大型品である。頸部櫛描横線文の間に赤色塗彩帯を挟むものである。21甕は口縁が長く伸びて外反し、23の甕の口縁は直線的に外傾している。これらは弥生後期後葉箱清水式土器である。

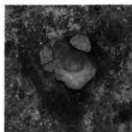
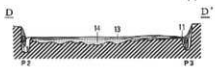
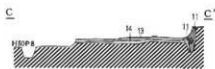
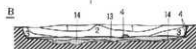
14の壺胴部全体に塊状炭化物が見られた。分析の結果米の胚乳と穎(果)で、胚乳に穎(果)の付着した個体も見られたとしている。土器内に水が入った状態で、被熱を受けたと推定される。放射性炭素年代測定では、 1.827 ± 25 、暦年較正年代 2σ 、cal AD126～AD248とされている。

H53



H53 土層説明

1. 褐色土層 (10YR2/7) ローム粒子・パミスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子をやや多く、パミスを含む。
3. 黒色土層 (10YR0/1) ローム粒子・パミスを含む。
4. 褐色土層 (10YR4/4) 焼成ローム。
5. 褐色土層 (7.5YR4/4) 粘土。
6. 黒褐色土層 (7.5YR2/2) ローム粒子・パミスを含む。
7. 褐色土層 (10YR4/6) ローム。
8. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロックを含む。
9. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱基 ローム粒子・パミスを含む。
10. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。
11. 暗褐色土層 (10YR3/5) ローム粒子を多く含む。(南方壁上)
12. に広い炭褐色土層 (10YR3/4) ローム。
13. 褐色土層 (10YR4/6) ロームブロック主体、まれに褐色土ブロック混在。
14. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体、褐色土ブロックを含む。



H53 12 和(南より)



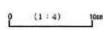
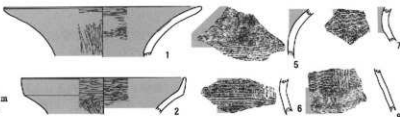
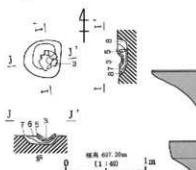
H53 12 完(北より)



H53 12 東(東より)

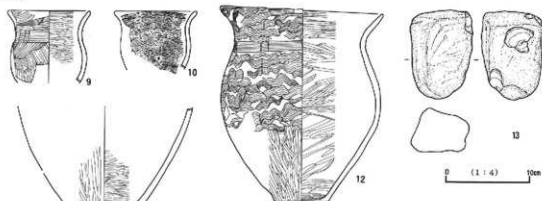


H53 12 北(北より)



第78図 H53号住居址(1)

H53



第79図 H53号住居址(2)

分析した炭化材はクリで、14の壺に乗っているカヤ状炭化物はイネ科とされている。
AD2C~3Cの住居である。

(40) H57号住居址

お32グリッドにあり、D303に切られる。南北長422cm、東西長384cmの南北に長い隅丸方形を呈す。壁高45~55cmを測り、主軸方位N-12°-Wを指す。主柱穴はP1~P4の4本で、東西140cm、南北200cmの長方形に配され、柱穴は楕円形で、長径38~55cm、短径31~38cm、深さ53~72cmを測る。

炉は北の主柱穴間よりやや上にあつて、径33cm、深さ13cmの掘り込みに、21の甕底部が埋設されている。炉の北床面には炭化物範囲がある。南壁下は少し窪んで、P5(25×20×18cm)・P6(20×18×4cm)の出入り口ピットがある。東脇にはP7(円形、径68cm、深さ35cm)があり、貯蔵穴であろう。壁下には周溝が廻り、床はロームブロックを含む土を貼って締まっている。

床下には内周するプランが検出され、住居が拡張されている。

出土遺物には弥生土器、土製品、凹石がある。土製品は土製勾玉2点である。長さ2.3cmと2.1cmを測る。他に土製円板がある。弥生土器は蓋、甗、鉢、鉢、高杯、壺、甕がある。18の甕は口縁が外反し、頸部でくびれ、胴上部が張り中位下で屈曲気味に底部に窄まっている。施文は櫛描波状文と、頸部櫛描篋状文である。文様は甕であるが器形は壺器形である。21の甕は頸部でくびれ胴部は細長い。櫛描斜走文を施す。これらは弥生後期後葉箱清水式土器である。

(41) H58号住居址

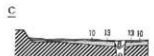
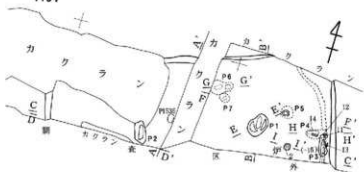
う32グリッドにあり、M29、攪乱に切られる。南北長570cm、東西長398cmの隅丸長方形を呈す。壁高49~61cmを測り、主軸方位N-10°-Wを測る。主柱穴はP1~P4の4本で、東西152cm、南北320cmの長い長方形に配され、柱穴は楕円形で、長径39~41cm、短径26~38cm、深さ16~53cmを測る。

炉は北の主柱穴間にあり、長径40cmのやや楕円形で、深さ11cmの掘り込みに、8の壺を埋設して炉底としている。

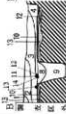
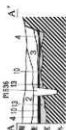
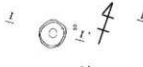
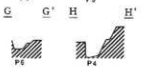
南壁下にはP7(柱痕39×20×37cm、堀方46×24×46cm)・P8(柱痕40×24×16cm、堀方56×24×53cm)の出入り口ピット、両脇にはP6(44×30×20cm)・P9(54×47×29cm)の貯蔵穴がある。南東隅にP5の小ピットがあり、北に焼けた周堤をもつ。北と東の壁下には周溝が廻る。

床面はロームブロックを貼り、締まっている。床下には内周してP17の出入り口ピットがあり、

H54

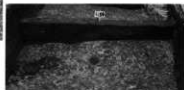


H54 跡セクション(北より)

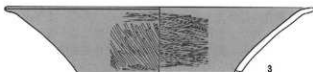


H54 土層図

1. 黒褐色土層 (10YR3/2) にぶい黄褐色 (10YR6/4) 砂子を少し含む。
2. 黒褐色土層 (10YR3/2)
3. 黒褐色土層 (10YR3/2) にぶい黄褐色 (10YR6/4) 砂子を多く含む。
4. 黒褐色土層 (10YR3/2) 炭化物を多く、赤土砂子を含む。
5. にぶい黄褐色土層 (10YR6/3) 灰土層。
6. 黒褐色土層 (10YR3/2) 炭化物土層。
7. にぶい黄褐色土層 (10YR6/4) ローム土層。火熱により黒土化。
8. 黒褐色土層 (10YR3/2) 柱状
9. 褐色土層 (10YR6/6) ロームの二次堆積。
10. 暗褐色土層 (10YR3/3) 黒褐色土ブロック・ロームブロック混在。(混在)
11. 褐色土層 (10YR6/7)
12. 暗褐色土層 (10YR3/3) にぶい黄褐色土 (10YR6/3) ローム にぶい黄褐色土 (10YR6/3) ロームを少し含む。
13. 暗褐色土層 (10YR3/4) 褐色土ブロック・ロームブロック混在。
14. 炭化物の堆積。



H54 I区セクション(東より)

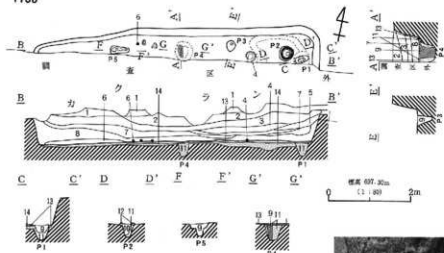


H54 I区セクション(東より)



第80図 H54号住居址

H55



H55 完備(東より)



H55 堀方(東より)

H55 土層説明

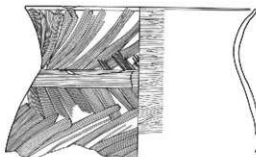
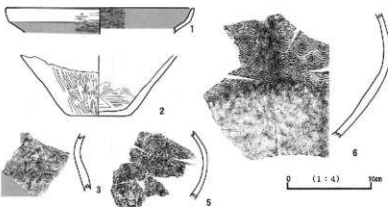
1. 黒色土層 (10YR2/3)
ローム粒子・パリスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
黒褐色土層 (10YR2/3)
ローム粒子・パリスを多量に含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ローム粒子を多く、パリスを含む。
4. 灰褐色土層 (10YR2/5)
ローム粒子・パリス・黒色土を含む。
5. 黒褐色土層 (10YR2/2)
黒褐色土層 (10YR2/3)
4層より黒色土。
6. 褐色土層 (10YR4/6)
ローム主体。
7. 黒色土層 (10YR2/1)
ローム粒子・パリスを含む。
8. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ローム粒子を多く、パリスを含む。
9. 暗褐色土層 (10YR3/3)
任意。
10. 暗褐色土層 (10YR3/4)
任意。
11. 褐色土層 (10YR4/6)
ローム主体。(埋方埋土)
12. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム埋土。
13. 褐色土層 (10YR4/6)
ロームブロック主体。
網入りあり。(埋土)
14. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。



H55 セクション(東より)

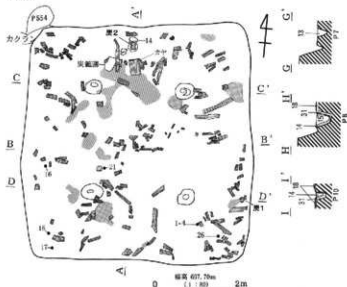


H55 遺物出土状況(西より)

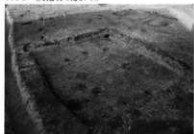


第81図 H55号住居址

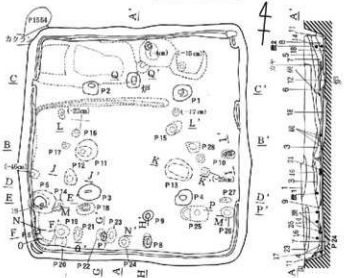
H56



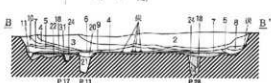
H56 炭化材(北より)



H56 完圖(南西より)・堀方(東より)



H56 14 壺出土状
況(南より)

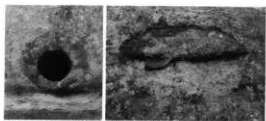
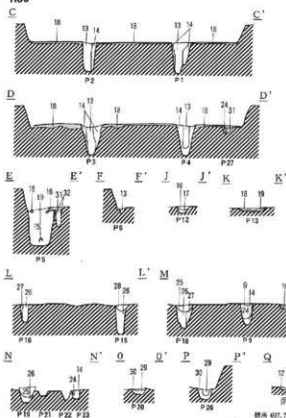


- H56 土層説明
1. 黒色土層 (10YR2/1) ローム粒子・パミスを含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/2) 2cm大のパミス・ロームブロックを含む。
 3. 黒色土層 (10YR2/1) ローム粒子・パミス・炭化粒・炭化物粒子を含む。
 4. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・パミスを多く含む。
 5. 黒褐色土層 (10YR2/2) 炭化物粒子を含む。
 6. 粘土
 7. 暗褐色土層 (10YR3/5) ローム粒子・パミスを多量に含む。

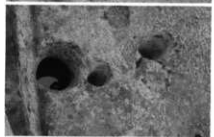
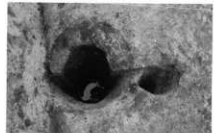
8. 褐色土層 (7.5YR6/4) 焼土
9. 褐色土層 (10YR1/7) 炭化物主体。
10. 黒褐色土層 (10YR2/5)
11. (埋没)
12. 暗褐色土層 (10YR3/2) 炭化物粒子。
13. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱溝
14. 褐色土層 (10YR6/4) ローム主体。
15. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・パミス・炭化物粒子を含む。
16. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロックを含む。(陥没)
17. 黒褐色土層 (10YR2/2) 炭化物粒子を含む。
18. 褐色土層 (10YR4/4) ロームブロック主体。(陥没)
19. 黒色土層 (10YR2/1) 炭化粒粒子を多量に含む。
20. 暗褐色土層 (10YR3/4) ロームブロックを含む。(陥没)
21. 褐色土層 (10YR4/4) 柱溝
22. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
23. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・パミスを含む。
24. 暗褐色土層 (10YR3/2) 柱溝
25. 褐色土層 (7.5YR4/6) ローム
26. 暗褐色土層 (7.5YR3/4) 柱溝
27. 褐色土層 (7.5YR4/4) ローム主体。
28. 暗褐色土層 (7.5YR3/2) ロームブロック・黒褐色土層。
29. 暗褐色土層 (7.5YR3/4) ロームブロックを含む。
30. 暗褐色土層 (7.5YR3/4) ローム粒子・パミスを含む。
31. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。

第82図 H56号住居址(1)

H56

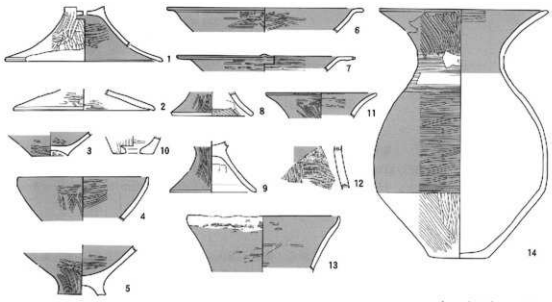


H56 P5上面(西より) H56 P13セクション(南より)

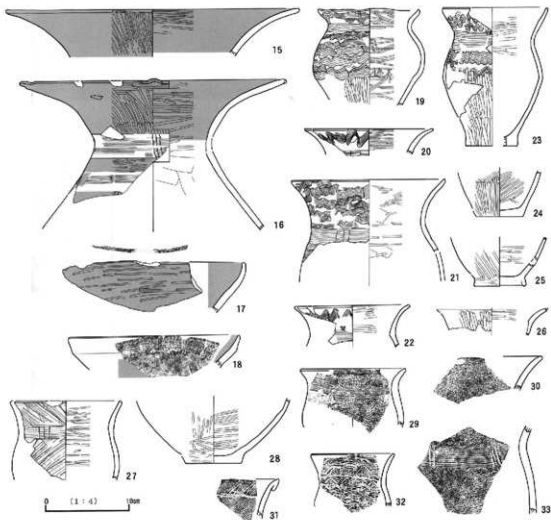


H56 P5セクション(南より)・P5・14完掘(南より)

標高 627.20m (1:500)



第83図 H56号住居址(2)



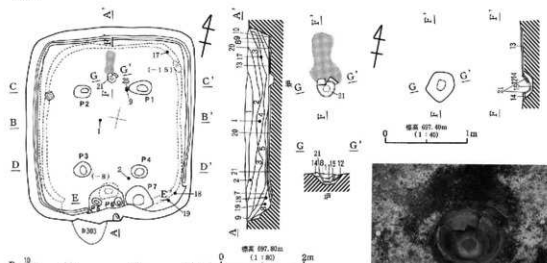
第84図 H56号住居址(3)

住居は拡張されている。

出土遺物には弥生土器、土製円板、砥石、敲石がある。弥生土器は杯、鉢、壺、甕がある。5の杯は赤色塗彩される。9の壺は口縁が大きく外反し、頭部でくびれる。ミガキ調整のみで、頭部文様はなく赤色塗彩されていない。16の甕は口縁が短く外反し、頭部で括れ、胴部が球形を呈し胴部に最大径をもつ。これらは新しい様相をもつ弥生後期後葉箱清水式土器である。

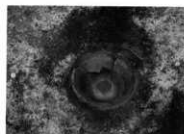
(42) H59号住居址

き29グリッドにあり、南は調査区域外である。南北(180cm)を調査し、東西長516cmの長方形基調を呈す。壁高17~30cmを測り、主軸方位N-21°-Wを指す。主柱穴は北東のP1が検出され、長径34cm、短径26cm、深さ71cmの楕円形を呈す。壁下には壁柱穴P2~P9がある。長径12~30cm、短径12~25cm、深さ8~55cmを測る。床面はロームブロックを貼り、縮まっている。床下が落ち込むが全容は分からない。



H57 土層説明

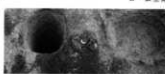
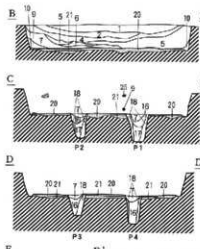
1. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロック・パリスを多量に含む。
2. 黒褐色土層 (10YR3/2)
ロームブロック・パリスを多量に含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロック・パリスを多量に含む。
4. 黒褐色土層 (10YR3/2)
黒色土ブロック・ロームブロック・パリスを多量に含む。
5. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ローム粒子を多く含む。
6. 褐色土層 (10YR5/1)
7. 黒褐色土層 (10YR3/2)
ローム粒子・パリスを含む。
8. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ローム粒子を多量に含む。
9. にごり黄褐色土層 (10YR4/3)
ローム粒子主体。
10. にごり黄褐色土層 (10YR4/3)
ローム主体。(同層)



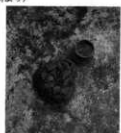
H57 柳(南より)



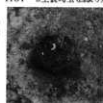
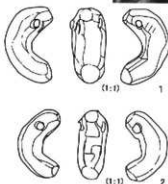
H57 完屈(南より)



H57 2土製写玉(西より)

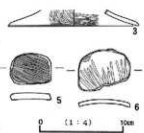


H57 18・19裏出土状況(北より)



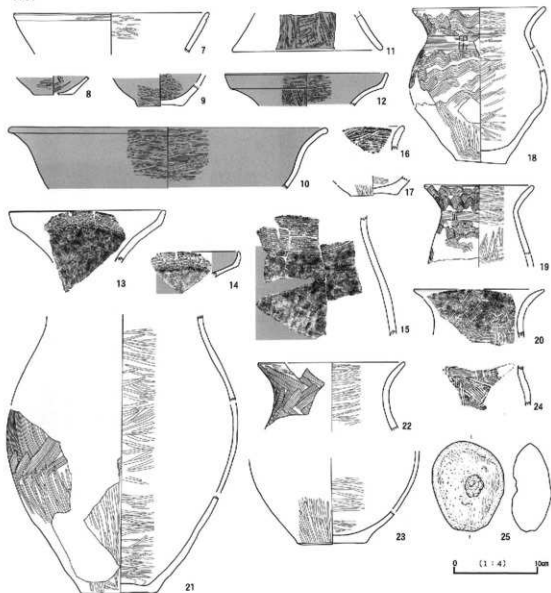
H57 1土製写玉(東より)

11. 灰色土層 (10YR1/3)
炭化物粒子を多量に含む。
12. 褐色土層 (7.5YR4/4)
灰土
13. 腐化物質
14. 灰色土層 (10YR2/1)
炭化物粒子を多量に含む。
15. にごり黄褐色土層 (10YR5/4)
ローム主体。(5層方)
16. 褐色土層 (10YR4/4)
柱断 コーム
17. 黒褐色土層 (10YR2/2)
柱断
18. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。
19. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ローム粒子・パリスを含む。
20. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロック・褐色土ブロック主体。
21. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。



第85図 H57号住居址(1)

H57



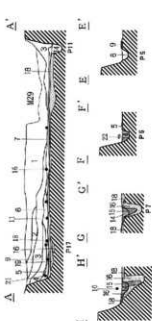
第86図 H57号住居址(2)

出土遺物には弥生土器と台石がある。弥生土器は蓋、杯、高杯、壺、甕がある。蓋はつまみ部が長く口縁が大きく外反している。2の杯は赤色塗彩され、直線的に開いている。底部が上げ底である。6の小型甕は小刻みな櫛描波状文が施文される。これらは弥生後期後葉箱清水土器である。

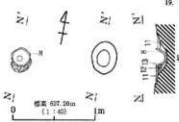
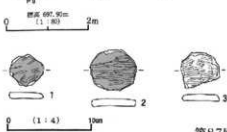
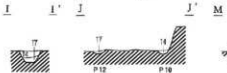
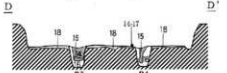
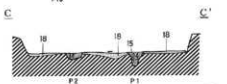
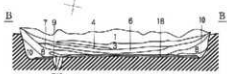
(43) H61号住居址

え22グリッドにあり、H60、D308・D309、単独ピット、攪乱に切られる。H60に南を切られ、南北(821)cmを残し、東西長545cmの隅丸長方形を呈す。壁高は34~46cmを測り、主軸方位N-13°-Wを指す。炭化材・焼土が床面に残り、焼失家屋である。

H58



- H58 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR5/2)
ローム粒子、パリス、褐色土
ブロックを含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR5/2)
1層より褐色土ブロックを多く含む。
 3. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ローム粒子、1cm大パリスを多量
に含む。
 4. 黒色土層 (10YR2/1)
炭化物粒子を含む。
 5. ローム
 6. 暗褐色土層 (10YR3/2)
ローム粒子、パリスを多量に含む。
 7. 黒色土層 (10YR2/1)
炭化物、粘土粒子を含む。
 8. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ローム粒子、パリスを含む。
 9. 褐色土層 (7.5YR2/1)
炭化物粒子、粘土層。
 10. 暗褐色土層 (10YR3/2)
粘り強い褐色土。
 11. 黄褐色土層 (10YR4/2)
黒褐色 (10YR2/2) 炭化物粒子を含む。
 12. 粘土
 13. 砂層
 14. 暗褐色土層 (10YR3/2)
 15. 暗褐色土層 (10YR3/2)
柱状
 16. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム実質。
 17. 褐色土層 (10YR3/1)
炭化物を少し含む。
 18. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロック主体。
 19. にぶい黄褐色土層 (10YR5/4)
ローム主体。

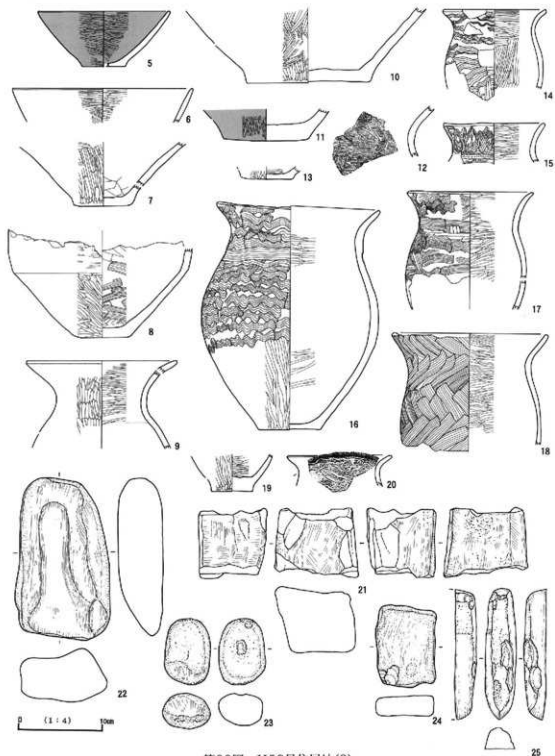


H58 が(南より)

H58 北側光面(南より)

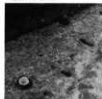
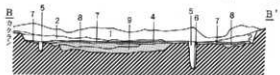
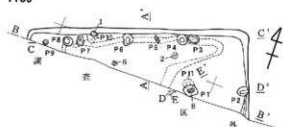
H58 南側光面(東より) H58 南側面(東より)

第87図 H58号住居址(1)

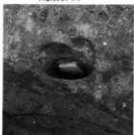
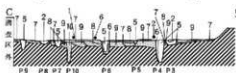


第88图 H58号住居址(2)

H59



H59 遺物出土状況
(北東より)



H59 P1 8台石(南より)

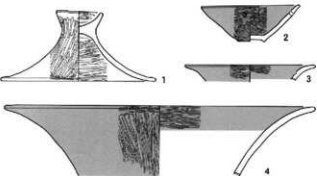


標高 608.00m
(1:80) 2m

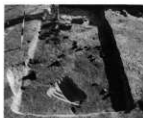
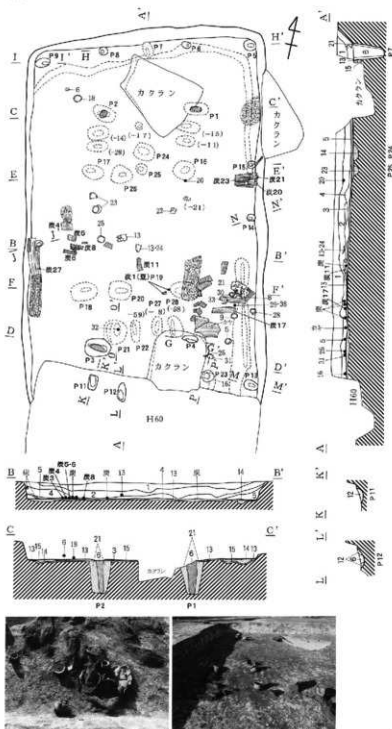
- H59 土層説明
1. 灰褐色土層 (10YR3/2)
ローム粒子・バミスを多く含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・バミスを含む。
 3. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ローム粒子・バミスを含む。
 4. 黒色土層 (10YR1/0)
炭化物短手を含む。
 5. 暗褐色土層 (10YR3/3)
柱状。
 6. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。(ピット部方)
 7. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロックを含む。粘りあり。
(南側)
 8. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロック・バミスを含む。
 9. 褐色土層 (10YR4/4)
まれに褐色土ブロックを含む。
 10. 暗褐色土層 (10YR3/3)
柱状。
 11. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。



H59 完胴(東より)・破片(東より)

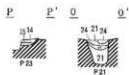


第89図 H59号住居址



H61 遺物出土状況(北より)

- H61 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR3/2)
ローム粒子・パリスを多量に含む。
 2. 暗褐色土層 (10YR2/2)
炭化物を多量に含む。
 3. 黒褐色土層 (10YR2/2)
炭化物主体。
 4. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。
 5. 黒色土層 (10YR1/7)
炭化物を極多量含む。
 6. 黒褐色土層 (10YR2/2)
柱状。
 7. 暗褐色土層 (10YR2/2)
柱状。
 8. 褐色土層 (10YR4/4)
柱状。
 9. 褐色土層 (10YR4/6)
ローム主体。(ピット東方)
 10. 褐色土層 (7.5YR4/4)
黄土。
 11. 黒色土層 (7.5YR1/1)
黄土・炭化物粒子を含む。
 12. 暗褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子を多量含む。
 13. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームに黒褐色土ブロックを含む。
(柱状)
 14. 暗褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロック・黒色土ブロックを含む。
 15. にぶい暗褐色土層 (10YR5/4)
ローム主体。
 16. 褐色土層 (10YR4/4)
柱状。
 17. 暗褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロック主体。
 18. 暗褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子を含む。
 19. にぶい暗褐色土層 (10YR5/4)
ローム主体。黒色土を含む。柱状。
 20. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。黒色土ブロックを含む。
 21. 褐色土層 (10YR4/6)
ローム主体。
 22. 暗褐色土層 (10YR2/2)
ローム主体。三色土を含む。
 23. 暗褐色土層 (10YR2/2)
黄土粒子を含む。(少?)
 24. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを多量に含む。

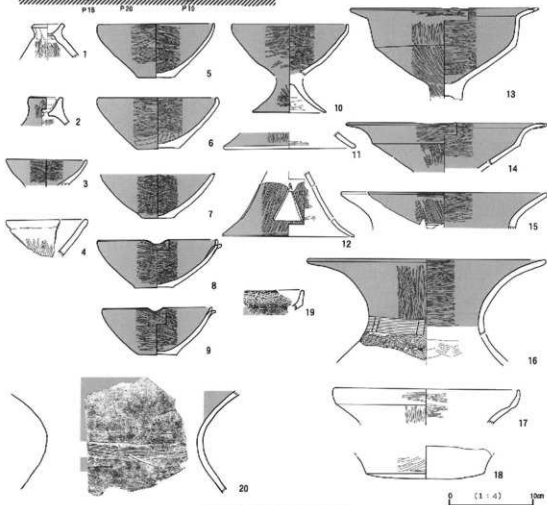
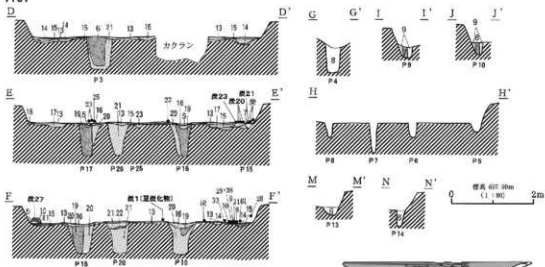


標高 607.90m
1:80
0 2m

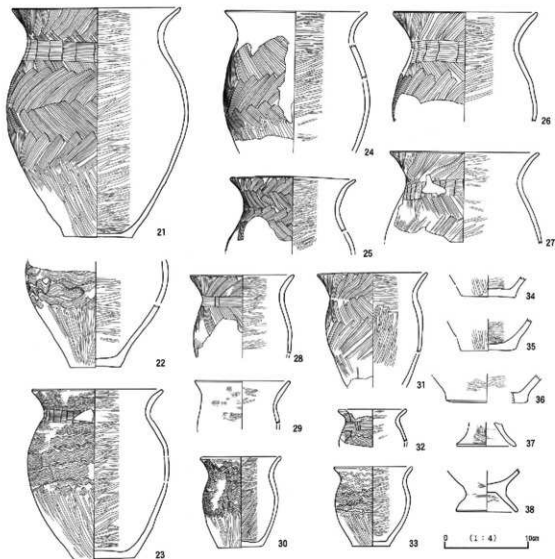
H61 5・9・21・28~30・33・38遺物 H61 23・25發出土状況(南より) 出土状況(東より)

第90図 H61号住居址(1)

H61



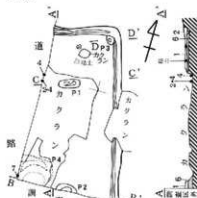
第91図 H61号住居址(2)



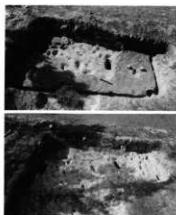
第92図 H61号住居址(3)

主柱穴はP1～P4の4本で、P4は攪乱に上面を壊されている。主柱穴は柱痕が残っており、東西224cm、南北568cmの長方形に配され、柱痕の規模はP1楕円形26×9cm・P2円形16cm・P3楕円形46×12cmを測り、堀方は長径58～64cm、短径30～44cm、深さ78～81cmを測る。北壁のP7(43×25×67cm)は棟持ち柱で楕円形を呈す。東と北には壁柱穴が8個ある。南はH60に壊されているため出入り口ピットは明確ではないがP12が相当しよう。

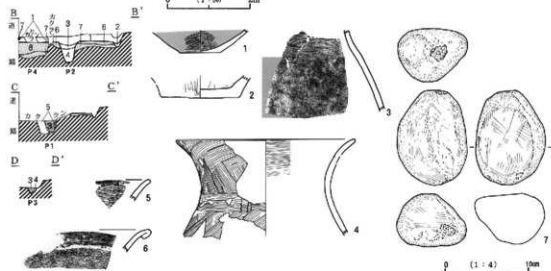
かは攪乱に壊されてない。床面はロームを貼り締まっている。北壁は50cmほど南に東壁は30cm西に内周する堀方がある。主柱穴の内側床下には多くのピットが検出される。P16～P19が床下の主柱穴で、東西240cm、南北292cmに配される。長径53～56cm、短径33～46cm、深さ72～78cmを測る。さらに内側に80cm寄ってP26(51×43×79cm)・P20(56×46×74cm)がある。床下住居の出入り口ピットがP21・P22・P27・P28である。貯蔵穴とみられるピットはない。2回以上の建て



- 162 土層表相
1. 赤褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒下・パミスを含む。
 2. 赤褐色土層 (10YR2/2)
1層より赤色塗。(刷塗)
 3. 赤褐色土層 (10YR2/2)
柱痕
 4. にぶい黄褐色土層 (10YR6/3)
ローム粒下・パミス主体。柄まる。
 5. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。
 6. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロックを含む。(刷塗)
 7. 褐色土層 (10YR4/6)
ローム主体。
 8. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ロームブロック・パミス主体。



H62 完掘(東より)・堀方(東より)



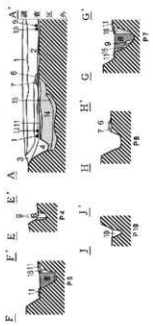
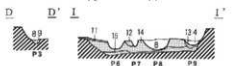
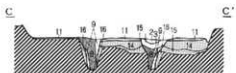
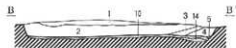
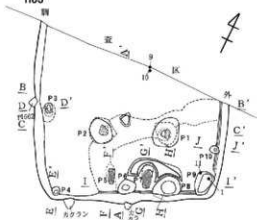
第93図 H62号住居址

替えがある。

出土遺物は焼失家屋であり、炭化材と炭化した豆、弥生土器が出土している。弥生土器は杯、鉢、高杯、壺、甕、台付甕がある。杯、鉢類が6点実測され4点が完形に近い。13の高杯は杯下部に外稜をもち直立し、内稜をもって外に開き鈎をもつ。14の高杯は外稜をもって外反する。16の壺は赤色塗彩され、口縁が外反し、頸部に櫛描簾状文・櫛描波状文を施す。17の壺は無彩色の受け口状口縁でミガキ調整される。21の甕は口縁が短く強く外反し、胴上部は球形呈す。甕類の口縁は頸部で括れ、短く強く外反している。実測個体の内、斜走文が7、波状文が6と斜走文の割合が高い。これらより弥生後期後葉箱清水土器である。

サンプル13点の炭化材はいずれもクリと分析され、イネ科が混じる組成が確認される。イネ科はカヤ状炭化物などとして屋根材などの可能性があるとしている。弥生後期の集落佐久市平賀の後家山遺跡ではコナラ節が大半で、クリは1点のみであるという。クリを主体とする樹種構成は特異な傾向であると指摘している。炭1は豆状炭化物で、98粒以上はあり、平均の長さ9.11mm、幅6.97mm、厚さ6.324mmを測る。栽培種の可能性ありとしている。9の片口杯内の塊状炭化物は胚乳の炭化物である。穎はなく、米粒の塊は杯に盛られた状態で、炭化している。

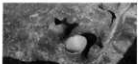
H63



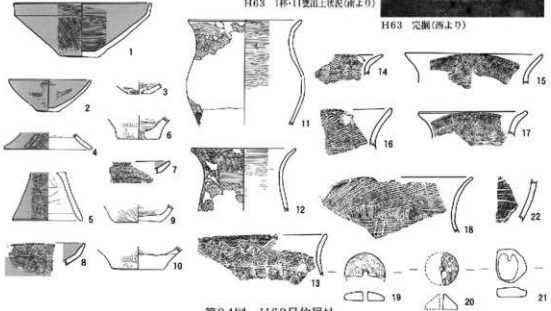
0 2m
1:1 縮

- H63 土層説明
1. 黒色土層 (10YR2/1)
ローム粒子・パミスを含む。
 2. 暗褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パミスを含む。
 3. 黒色土層 (10YR2/3)
ローム粒子・パミスを含む。
 4. 暗褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パミスを含む。
 5. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ローム粒子を多く含む。(腐葉)
 6. にごい灰褐色土層 (10YR4/3)
ロームブロック主体。(腐葉)
 7. 灰褐色土層 (10YR5/2)
ロームブロック・パミスを含む。
 8. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱痕
 9. 褐色土層 (10YR4/8)
ローム主体。
 10. 暗褐色土層 (10YR3/4) 柱痕
 11. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロック。非常に締まる。(腐葉)
 12. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ロームブロックを多量に含む。(腐葉)
 13. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ローム粒子・パミスを多く含む。
 14. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロックを多量に含む。
 15. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。
 16. 褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロックを含む。(ピット前方)

H63 1杯-11遺出土状況(南より)

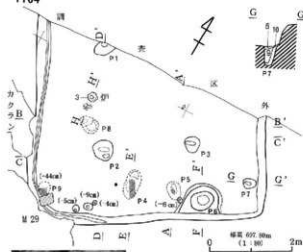


H63 完掘(西より)

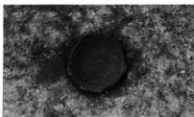
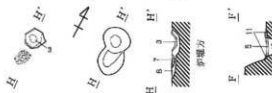
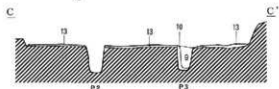


第94図 H63号住居址

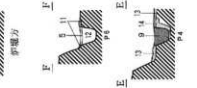
H64



H64 南西隅台石(北より)



H64 P1(東より)



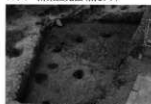
H64 P1(西より)

H64 土層説明

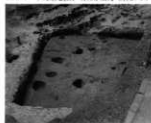
1. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム粒子・パリス・黒色土を含む。
3. 褐色土層(10YR4/4)
ローム粒子・パリスを多く含む。
4. 黒色土層(10Y1/3)
ローム粒子・パリスを含む。
5. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム粒子・パリスを多く含む。
6. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム粒子を含む。
7. 黄土
8. 炭化物埋層(コメド層方)
9. 褐色土層(10YR4/4)
柱状
10. ぶい黄褐色土層(10YR6/4)
ローム主体。黒褐色土(10YR2/2)
不定大ブロックを含む。
11. 褐色土層(10YR4/4)
ローム(マウン)
12. 黒褐色土層(10YR2/2)
13. 褐色土層(10YR4/4)
ローム主体。黒褐色土ブロックを
含む。あまり締まっていない。
14. 褐色土層(10YR4/4)
ローム



H64 南東区完掘(南より)



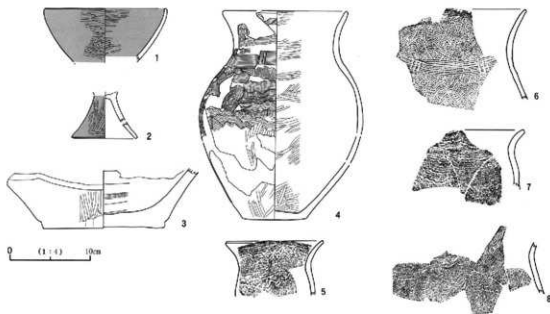
H64 西側完掘、東側區方(東より)



H64 P4(東より)

第95図 H64号住居址(1)

H64



第96図 H64号住居址(2)

炭化豆と炭21のクリ材の放射性炭素年代測定結果は、豆が $1,845 \pm 25$ 、暦年校正年代 2σ 、cal AD121-AD238、炭21が $1,870 \pm 22$ 、暦年校正年代 2σ 、cal AD78-AD218という年代を得た。約AD2C～3C前後の住居であることが判明した。

(44) H62号住居址

か23グリッドにあり、西は道路、南は調査区域外、攪乱に切られる。南北(410)cm、東西(234)cmを調査し、住居の北東を検出した。壁高8～18cmを測り、主軸方位 $N-16^{\circ}-W$ を指す。主柱穴は東の2本が検出され、長径50cm、短径21cm、深さ 37.41 cmを測り、楕円形を呈す。壁下には周溝がある。粘土が床から出土する。

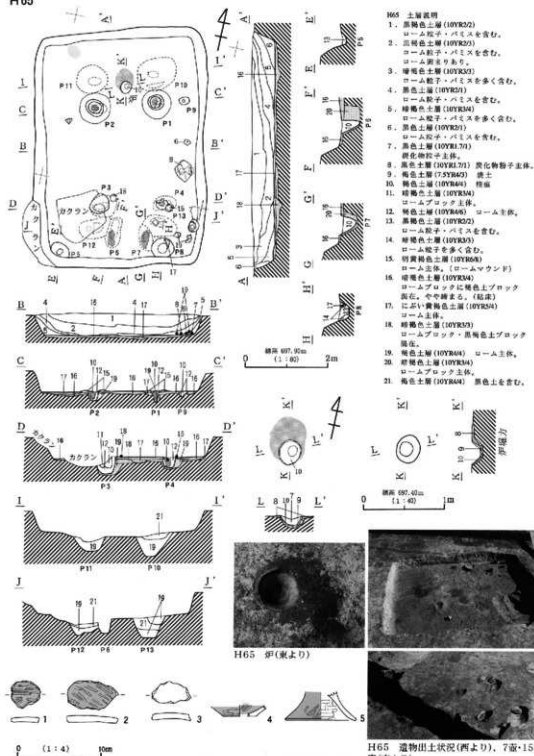
出土遺物には弥生土器と敲石がある。4の甕は頸部がくびれ、口縁が外反する甕で、施文は櫛描斜走文と頸部櫛描篋文である。甕ではあるが頸部が括れ壺器形を呈する。これらより弥生後期後葉箱清水式土器である。

(45) H63号住居址

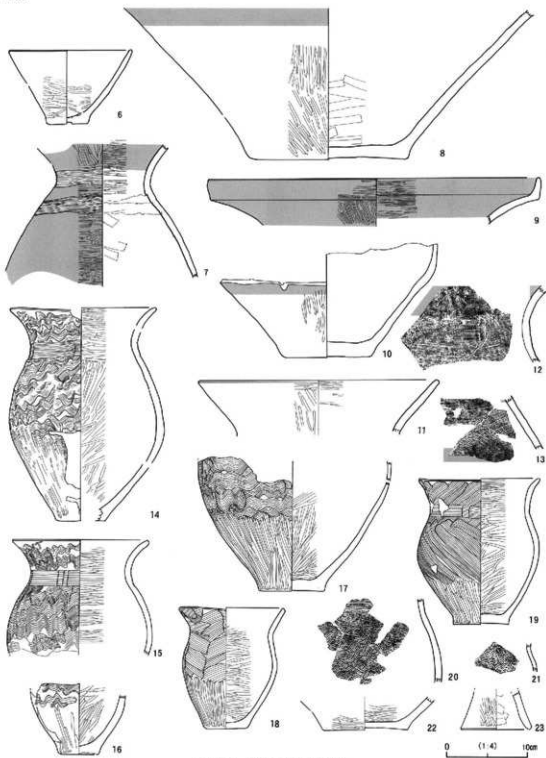
い16グリッドにあり、北側は調査区以外で、P1662、攪乱に切られる。南北(396)cmを調査し、東西長428cm、壁高12～33cmを測る。隅丸長方形を呈し、主軸方位 $N-25^{\circ}-W$ を指す。主柱穴は南の2本を検出し、P1(74×66×74cm)・P2(64×52×76cm)は円形の堀方である。南の出入り口ビットP5(38×15×40cm)・P7(38×15×51cm)は柱痕が長方形を呈し、五平柱状が使用されている。P6(40×37×18cm)・P8(69×49×28cm)は貯蔵穴であろうか、ビットの北に床面より周堤状に盛り上がりがある。南東隅のP9は貯蔵穴であろうか長径58cm、深さ13cmと浅い。上面に1の鉢と、11の甕がある。壁柱穴は浅く、P3・P4・P10がある。南と東の壁下には周溝がある。

床面はロームブロックを貼り、良く締まっている。南東の堀方は深くなっている。

出土遺物は弥生土器、土製紡錘車がある。土製紡錘車は扁平なものと断面三角形のものがある。弥生土器は杯、鉢、高杯、壺、甕がある。1の鉢は赤色塗彩され、口縁上部が受け口状に外殻をもつ

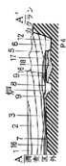
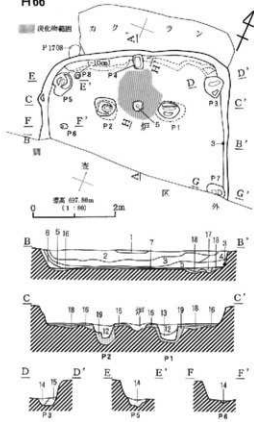


第97図 H65号住居址(1)



第98图 H65号住居址(2)

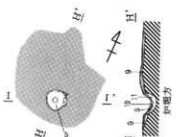
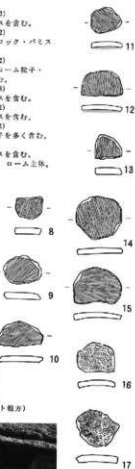
H66



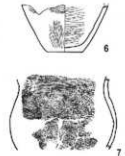
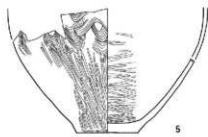
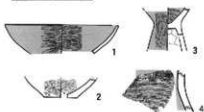
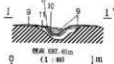
H66 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・パミスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2) 黒色土・ロームブロック・パミスを含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・ローム粒子・パミスを多量に含む。
4. 黒褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子・パミスを含む。
5. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・パミスを含む。
6. 黒褐色土層 (10YR2/2) 5層よりローム粒子を多く含む。
7. 黒色土層 (10YR2/1) ローム粒子・パミスを含む。
8. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。

9. 黒色土層 (10YR1/3) 炭化物粒子主体。
10. 褐色土層 (7.5YR4/6) 粘土
11. に近い黒褐色土層 (10YR4/3) ロームブロックを含む。(コマダ地方)
12. 黒褐色土層 (10YR2/2) 粘土
13. 褐色土層 (10YR4/4) 粘土
14. 暗褐色土層 (10YR3/4) 粘土
15. 暗褐色土層 (10YR3/2) ローム粒子・パミスを含む。
16. 褐色土層 (10YR4/4) 粘土
17. 暗褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・黒色土ブロックを含む。

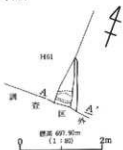


H66 砂(東より) H66 完面(北より)



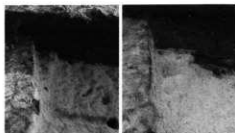
第99図 H66号住居址

H67



H67 土層説明

1. 黄褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・バミスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ローム粒子・バミスを含む。
3. 褐色土層 (10YR4/4) (埋方)



H67 完掘(北より)

H67 堀方(北より)

第100図 H67号住居址

て直立する。11の甕は頸部が直立気味で、口縁が短く外反する。櫛描波状文が施文される。これらは弥生後期後葉箱清水式土器である。

(46) H64号住居址

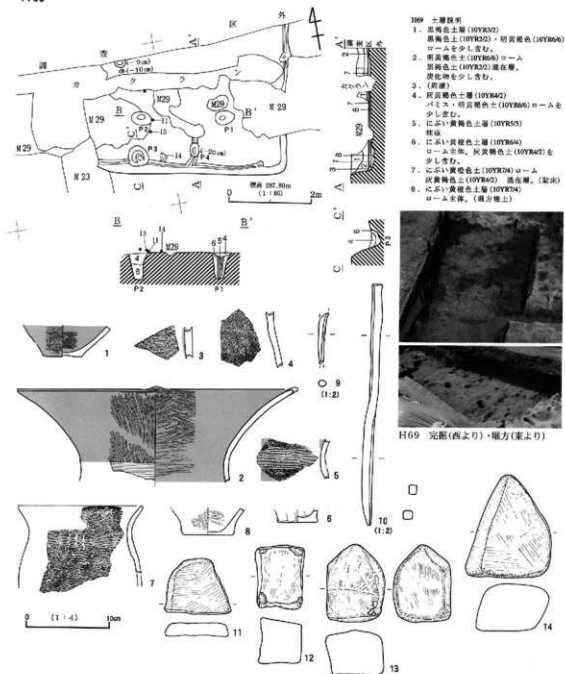
い29グリッドにあり、北は調査区域外、M29、攪乱に切られる。南北(450)cmを調査し、東西長536cm、壁高36~54cmを測る。隅丸長方形を呈し、主軸方位N-27°-Wを指す。主柱穴は3本を検出し、楕円形で長径39~50cm、短径36~50cm、深さ58・68cmを測る。南壁下は出入り口ピットの柱痕があり、P4(43×15×36cm)の柱痕は五平柱状である。P6(58×48×42cm)は円形ピットの周囲が周堤状に数cm高くなっている。炉は東の柱穴間にあって、3の壺底部を敷いている。P7(33×26×48cm)・P9(柱痕24×14×44cm、堀方34×32×44cm)は壁柱穴である。床面はローム主体土を貼るがそれほど締まってはいる。床下の堀方からはP8(49×35×46cm)があるのみである。

出土遺物には弥生土器があり、鉢、高杯、壺、甕がある。4の甕は口縁が短く外反し、頸部でくびれ、胴部は球筒形を呈す。櫛描波状文と篋状文を施す。これらは弥生後期後葉の箱清水式土器である。

(47) H65号住居址

え26グリッドにあり、南西の一部を攪乱に壊される。南北長534cm、東西長366cm、壁高37~54cmを測る。隅丸長方形を呈し、主軸方位N-12°-Wを指す。主柱穴はP1~P4の4個で、P1とP2の周囲には、高さ4~6cmの周堤が廻っている。P1は楕円形の柱痕で(24×18cm)、P2は円形(径17cm)である。P1~P4の柱穴形は円形で、堀方で径28~50cm、深さ26~39cmを測り、比較的浅い。南には出入り口のピットP6・P7があり、楕円の柱痕がある。炉は北の柱穴間よりやや北にあり、径34cm、深さ11cmの円形の落ち込みに、10の壺底部が埋設され炉底とされる。炉の周囲に炭化物範囲がある。南東と南西隅にP5(49×31×17cm)・P8(55×47×31cm)があり、貯蔵穴であろう。床面はロームブロックを貼り、やや締まっている。堀方からは堀方ピットが少し東に寄り同位置で検出される。また主柱穴の南と北に堀方ピットP10~P13がある。長径76~98cm、短径48~79cm、深さ38~61cmの楕円形のピットである。炉はこの堀方ピット間にある。壁柱穴は東壁に2個ある。

遺物は南東隅に集中している。出土遺物には弥生土器と土製円板がある。弥生土器は杯、高杯、鉢、壺、甕、台付甕がある。6の鉢は無彩色である。7の壺は頸部の櫛描横線文の間に赤色塗彩帯をもつ。14・15の甕は口縁が短く外反し、頸部でくびれ、胴上部で張る。櫛描波状文、頸部に櫛描篋状文を施す。18の甕は口縁が直線的に外傾し、最大径をもつ。縦羽状に斜走文を施す。これらより弥生時代後期後葉箱清水土器である。底部が柱台状をなしているものが目立つ。

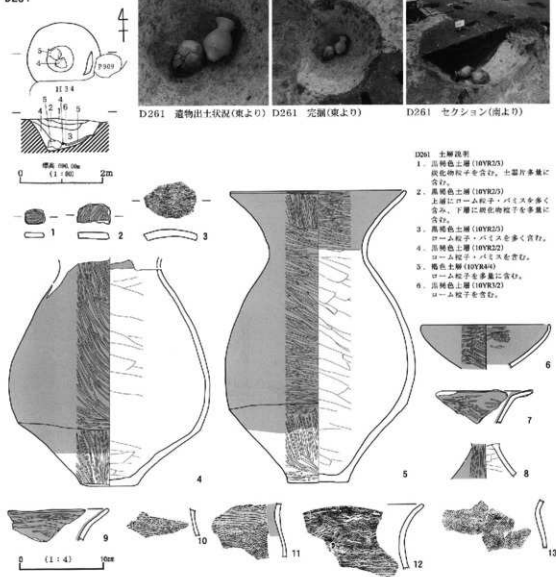


第101図 H69号住居址

(48) H66号住居址

き26グリッドにあり、南側は調査区域外で、P1708、攪乱に切られる。南北(317)cmを調査し、東西長424cm、壁高26~51cmを測り、形態は隅丸長方形を呈すであろう。主軸方位N-22°-Wを

D261



指す。北の主柱穴2本を検出し、柱穴形は楕円と方形を呈し、長径53・50cm、短径41・44cm、深さ42・32cmを測る。

炉は主柱穴間にあり、径52cm、深さ27cmの円形の掘り込みに、5の甕を埋設し、炉底としている。炉の周囲には広く炭化物層が広がっている。壁柱穴のP7(45×(24)×33cm)は深い、P3～P5は14～21cmと浅い。床はロームによる貼り床で、やや締まっている。堀方では、堀方ビットが同じ位置にあり、柱の建て替えがなされている。北壁の内周プランもある。

出土遺物には弥生土器と土製円板がある。弥生土器は5の甕以外は破片で、杯と高杯、壺、甕がある。1の杯は赤色陰彩され、2は無彩色である。5の炉に使用した甕は胴部が球形で櫛描波状文が施される。これらの土器は弥生後期後葉の箱清水式土器である。

D263・D274・D285

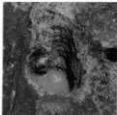
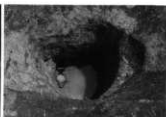
D263



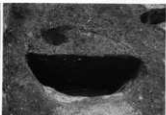
D263 完掘(西より)



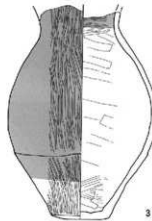
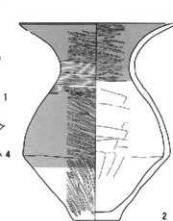
D263 2面出土状況(西より 北より)



D263 3面出土状況(西より)



D263 セクション(西より)



D263 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム粒子・パミスを含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/2)
1層より深い。
3. 黒褐色土層(10YR2/2)
上面砂層で黒褐色土を含む。
下面は水で

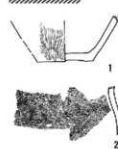
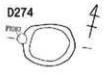
D274 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム粒子・パミスを含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3)
ローム粒子・パミスを多く含む。

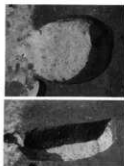
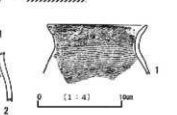
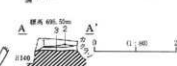
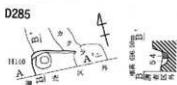
D285 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/3)
ローム粒子・パミスを含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム粒子・パミス・黒色土を含む。
3. 暗褐色土層(10YR3/5)
ロームブロック・ローム粒子・
パミスを多く含む。
4. 黒褐色土層(10YR2/3)柱状
5. 黒褐色土層(10YR2/3)
ロームブロックを含む。

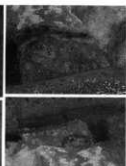
D274



D285



D274 完掘(南より)
セクション(南より)



D285 完掘(南より)
セクション(北より)

第103図 D263・D274・D285号土坑

D295・D307

D295



D295 土層説明

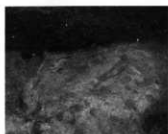
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・ガラスを含む。
2. 黒色土層 (10YR2/1)
ローム粒子・ガラスをわずかに含む。



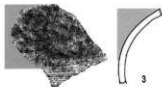
D307 土層説明

1. 黒色土層 (10YR2/1)
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・ガラスを多く含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・ガラスを多量に含む。

D307



D295 完備・セクション(北より)



D307 完備・セクション(北より)



第104図 D295・D307号土坑

(49) H67号住居址

き21グリッドにあり、南は調査区域外で、大半をH160に切られ、南北(100)cm、東西(41)cmを検出した。土器は出土していない。重複する古墳時代後期のH61より古く、本遺跡では古墳後期の他は弥生後期の竪穴住居址と考えられる。

(50) H69号住居址

う34グリッドにあり、北は調査区域外である。M23・29、攪乱に切られる。南北(340)cm、東西(450)cmを調査する。壁高は25~46cmを測り、主軸方位N-10°-Eを指す。攪乱とM23に壊され、西壁はわからない。P1・P2が支柱穴で、長径48cm、短径39cm、深さ64・66cmを測る。南壁下にはP3があり、ほぼ円形で、径50cm、深さ27cmを測る。貯蔵穴であろう。P4は32×21×20cmを測り、出入り口ピットであろう。

出土遺物には弥生土器、鉄製品、磨石、敲石がある。弥生土器は、いずれも破片で、鉢、壺、甕がある。壺は太頸で、口縁が外反する。赤色塗彩され、頸部に罫描横線文が施される。7の甕は口縁が外反し胴上部が球形を呈す。これらは弥生後期後葉箱清水式土器である。

2. 古墳時代後期

(1) H4号住居址

か80グリッドにあり、H11、H12、D34に切られる。南北長428cm、東西長452cm、壁高13~24cmを測る。カマドを北壁中央に持ち、主軸方位N-5°-Wを指し、方形を呈す。カマドはわずかに地山を掘り残して袖とし、先端に石を立てた穴であろうか円形で、径26cm、深さ16・21cmの穴が開いている。火床は床面と同レベルである。主柱穴はP1~P4で、隅丸方形を呈し、長さ46~68cm、深さ64~84cmを測る。南壁中央には浅い2個のピットが連結している。壁下には周溝が廻り、P3・P4と壁の間には間仕切り溝がある。

P6~P8は直線に並び、径34~46cmを測る円形ピットで、本住居に伴うか他の遺構かは確かめられていない。床面は黒褐色土ブロックとロームの混在土である。堀方は北を除いて、外周が掘り込まれる。

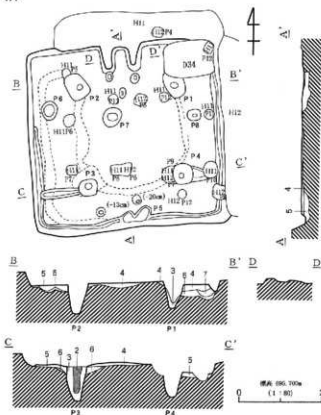
出土遺物はⅢ区堀方より、緑色のチャート製の勾玉が出土する。勾玉は長さ1cmと小さい。

カマドの構造や、玉類の出土などから古墳時代後期の住居と推定される。

(2) H24号住居址

け90グリッドにあり、南は調査区域外、西は道路で未調査である。M4に大半を壊される。南北(518)cm、東西(334)cmを調査し、住居址の東半城に当たる。壁高は0~18cm、カマドを北壁に持ち、

H4



H4 完態(南より)



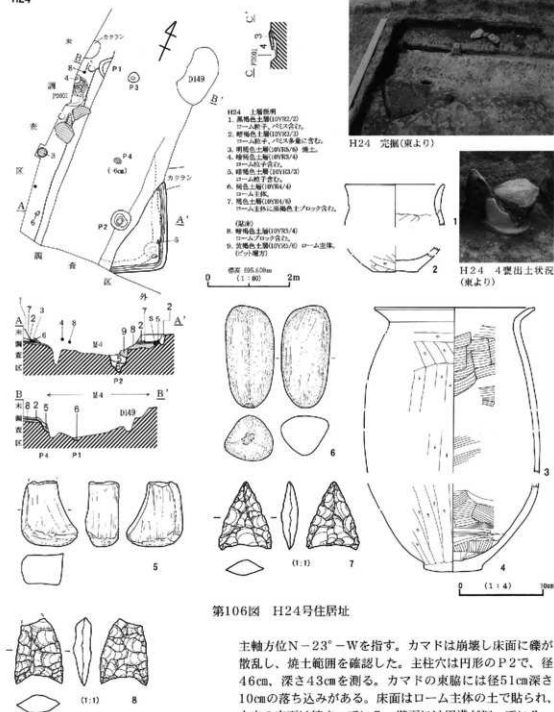
H4 堀方(東より)

H4 土層説明

1. 黄褐色土層(IVB2/2) 礫土
2. 黒褐色土層(IVB2/2) 礫土
3. 灰白・灰褐色土層(IVB3/4) ローム主体
4. 黒褐色土層(IVB3/2)土ブロック、灰褐色土層(IVB3/4)土ブロック
5. 黄褐色土層(IVB2/2) ツク波石、(B2/B) 黒褐色土層(IVB2/2) ローム主体
6. 黄褐色土層(IVB3/4) に黄・黄褐色土層(IVB6/7) ローム主体
7. 黒褐色土層(IVB3/4) ロームブロック・褐色土ブロック含む



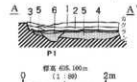
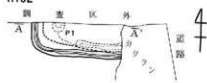
第105図 H4号住居址



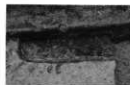
主軸方位 $N-23^{\circ}-W$ を指す。カマドは崩壊し床面に礫が散乱し、焼土範囲を確認した。主柱穴は円形のP2で、径46cm、深さ43cmを測る。カマドの東脇には径51cm深さ10cmの落ち込みがある。床面はローム主体の土で貼られ、中央の床面は締まっている。壁下には周溝が廻っている。

出土遺物には土師器、砥石、磨石、石鏃がある。土師器は裏が出土し、口縁が短く外反し、胴部は長胴を呈し、底部が台状に突出する。外面はヘラナデ調整される。これらより、古墳時代後期6C後半から7C頃とみられる。

H102



- H102 土層説明
1. 暗褐色土層(10YR5/3)
ロームブロック、P1に多量に含まれる。
 2. 赤褐色土層(10YR5/3)①
黒色土ブロック、ローム粒子、P1に含む。
 3. 緑褐色土層(10YR5/3)②
ローム粒子多く含む。
 4. 暗褐色土層(10YR5/3)②(D8)
 5. 黒色土層(10YR5/0) ローム土層。
 6. 褐色土層(10YR4/3)
褐色土ブロック、ロームブロック含む。



H102 写真(南より)



H102 堀方(南より)



0 (1:4) 10cm

第107図 H102号住居址

(3) H102号住居址

お92グリッドにあり、南北(64)cm、東西(135)cm、住居の南西隅を調査した。周溝が検出され、堀方にも少し内周して周溝がある。堀方からはP1があるが生活面からはない。

出土遺物に土師器甕か甔の口縁2点がある。厚手であることから、古墳時代後期の土器片である。

(4) H28号住居址

く70グリッドにあり、南は調査区域外で住居の北側を調査した。P346・P347・P984・P993・P995と掘乱に切れ、弥生後期のH29を切る。火処は検出されていない。南北(126)cmを調査し、東西長403cm、壁高0~12cmを測る。北東の主柱穴は掘乱に壊され、北西の主柱穴を調査した。円形で、東西5.4cm、深さ66cmを測る。床はロームブロックを含む土を貼り、締まっている。壁下には周溝が廻る。

出土遺物には土師器、弥生土器、土製円板がある。弥生土器は重複する、H29のものであろう。土師器は杯があり、平底に近い丸底から口縁が大きく外反するもので、内面黒色処理、ミガキ調整が全体になされる。古墳時代後期6C後半に位置付られよう。北壁にカマドはなかった。

(5) H34号住居址

か65グリッドにあり、中世の竪穴建物址、土坑に切られ、弥生後期のH36・H42、古墳後期のH71、D261を切る。南北長468cm、東西長479cmの方形を呈し、壁高26~53cmを測る。カマドを、北壁に持ち、主軸方位N-2°-Eを指す。主柱穴はP1~P4で、柱痕が看取された。柱穴は円形で、径33~39cm、深さ24~44cmを測る。カマドは北壁にあり、灰黄褐色粘土で構築し、西袖には礎が芯材とされる。カマドの間口は狭く煙道は奥壁から直に上がっている。カマドの東脇床面にはP14(40×30×15cm)があり、黒色土を含む。壁下には周溝が廻り、西の主柱穴には間仕切り溝が壁から延びている。床面はロームブロックと黒褐色土ブロックの混生土を貼り、締まっている。

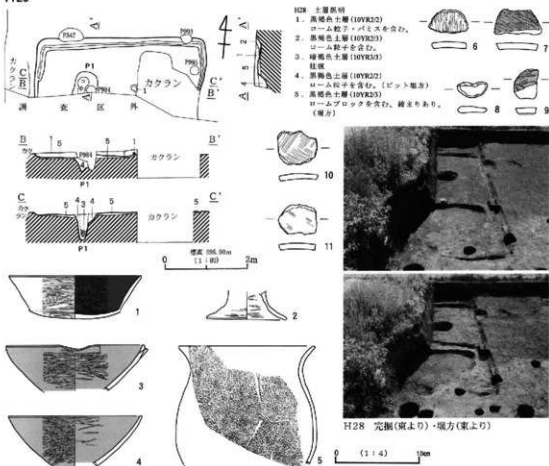
床下の堀方床面中央には床下土坑がある。径76×57×65cmを測り、土坑上面にローム塊がある。調査時は湧水が激しかった。北西の壁際堀方に径40cmほどで浅いピットが連なっている。

出土遺物には土師器杯、鉢、壺、凹石がある。土師器杯は丸底で、全体に内湾する杯で、内面ミガキ黒色処理、外面は口縁横ナデ後ヘラ削り調整される。4の鉢は全体に内湾し、口縁が内稜をもって折れる。鉢は内面ミガキ黒色処理される。5は壺の底部であろうか厚手で、外面はミガキ調整される。

これらより古墳時代後期7C代の土器である。

カマドからの炭化材はコナラ属コナラ亜属クヌギ節と分析されている。

H28



第108図 H28号住居址

(6) H71号住居址

か65グリッドにあり、H34に切られ、カマドの堀方と主柱穴を検出した。カマドは40cmほどH34より南に寄り、主柱穴は同じ位置にあって8~10cmほど深い。床面は縮まっている。

出土遺物は9の弥生土器片が出土する。カマドの堀方がH34と類似し、柱穴が同じ位置であることから、H34と時間差のない遺構であろう。

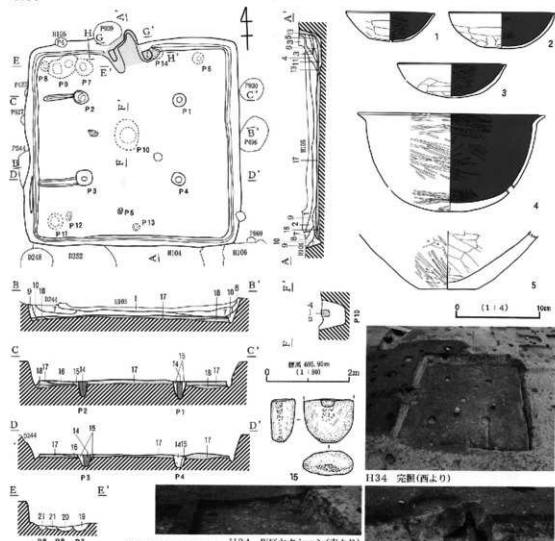
(7) H40号住居址

お63グリッドにあり、中世の竪穴建物址、土坑、単独ビットに切られ、M11を切る。掘乱に一部を壊される。南北長310cm、東西長339cmの東西に長い方形を呈す。カマドを北壁の西に寄ってもち、主軸方位N-10°-Wを指す。主柱穴は検出されていない。壁下には周溝が廻る。カマドはにぶい黄褐色粘土で構築し、奥壁は住居址の壁から突出する。火床に焼土範囲があり、長胴甕が前面に出土する。

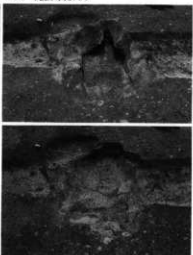
床はローム主体の土を貼り、縮まっている。

出土遺物には土師器、弥生土器、叢石がある。1の土師器杯は底部から口縁にかけて丸底を呈すもので、口縁横ナデ後、底部へラ削りしている。内面はミガキ黒色処理であろうが色変している。2の土

H34



H34 完観(西より)

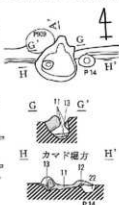


H34 カマド(南より)・カマド堀方(南より)

- HD4 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR3/2)
大ロームブロックを含む。
 2. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム粒子・バミスを含む。
 3. 灰黄褐色土層(10YR4/2)
粘土状、(晩晩粘土)
 4. に近い黄褐色土層(10YR4/5)
粘土状を含む。
 5. 灰褐色土層(10YR4/2)
粘土が凝りてブロック状。
 6. 灰褐色土層
 7. 暗褐色土層(10YR5/6)
ロームブロック主体。
 8. 黒褐色土層(10YR3/2)
 9. 褐色土層(10YR4/6)
ローム主体。
 10. 黒褐色土層(10YR2/2)
(黄腐)
 11. 灰黄褐色土層(10YR4/2)
粘土

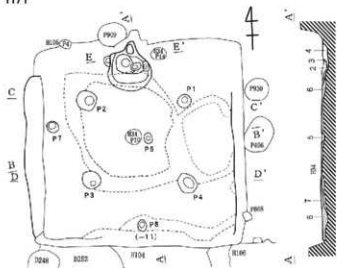
H34 IV区セクション(南より)

12. 黒褐色土層(10YR2/3)
ロームブロックを含む。
13. 暗褐色土層(10YR3/3)
ロームに黒褐色土を含む。
14. 暗褐色土層(10YR3/3)
暗褐色土層(10YR3/4)柱状
15. 暗褐色土層(10YR3/3)
ローム粒子を含む。
16. 黒褐色土層(10YR2/2)
(腐れ切り層)
17. 黒褐色土層(10YR2/3)
ロームブロック・黒褐色土
ブロック裏面。(貼附)
18. 黒褐色土層(10YR2/1)
19. 黒褐色土層(10YR2/2)
ロームブロック・黒褐色土
ブロック裏面。
20. 黒褐色土層(10YR2/3)
ロームブロック・黒褐色土
ブロック裏面。19層より明るい。
21. 灰黄褐色土層(10YR4/2)
ロームブロックを含む。
22. 黒褐色土層(10YR2/1)

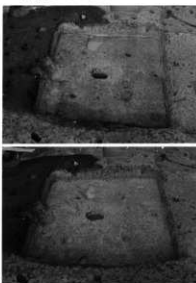


第109図 H34号住居址(1)

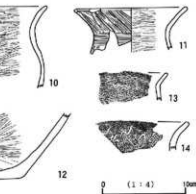
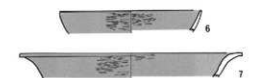
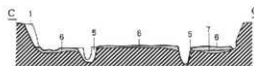
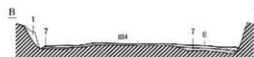
H71



- H71 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR5/2)
 2. にぶい黄褐色土層 (10YR6/4)
粘土に近いロームブロック。
 3. 黒色土層 (10YK3/2)
炭化植物灰層。
 4. 暗褐色土層 (10YR3/5)
ロームブロックに黒褐色土を含む。
 5. 暗褐色土層 (10YK3/5)
ローム粒子を含む。
 6. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。(床下住居跡床)
 7. にぶい黄褐色土層 (10YR5/4)
黒褐色土ブロックを含む。



H71 完照(西より)・湖方(西より)

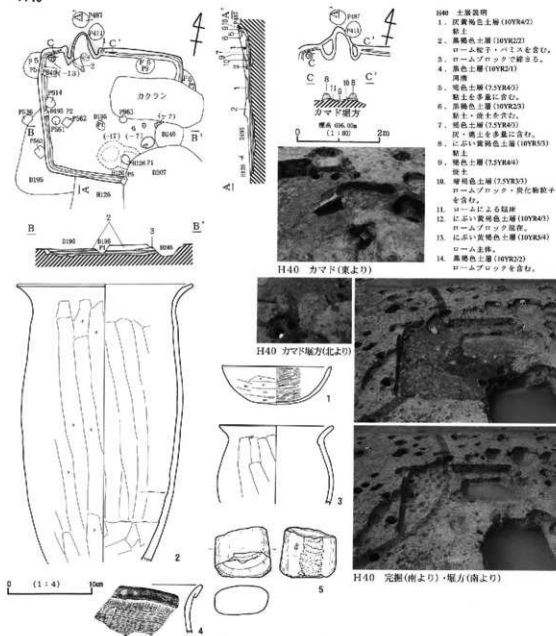


第110図 H34(2)・H71号住居址

師器裏は、口縁が外反して最大径をもち、胴部は長胴化している。胴部は縦方向に大きくヘラ削りされる。3の小型裏の胴部も2の長胴裏同様に縦方向に大きくヘラ削りされている。4は弥生土器の裏片である。5は大型蛤刃石斧の破片で磨面がある。

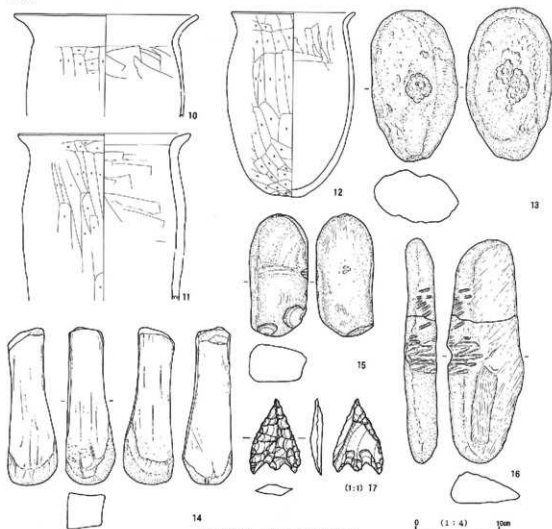
これらより古墳時代後期7C代の土器である。

H40



(8) H150号住居址

か39グリッドにあり、擾乱に切れられH53を切る。南北長440cm (南の張り出しを加えると485cm)、東西長455cm、壁高32~44cmを測る。方形を呈し、カマドは北壁にある。主軸方位N-9°-Wを指す。主柱穴は4個あり、不整な円形を呈し、長径60~74cm、短径50~72cm、深さ49~53cmを測る。P3を除いて柱痕が確認された。カマドは北壁中央にあり、焚口の内幅40cm、奥行き60cmを測る。12の叢と石を焚口の両袖に置き、地山を切り取り、側壁に粘土を貼っている。焚口の堀方は幅



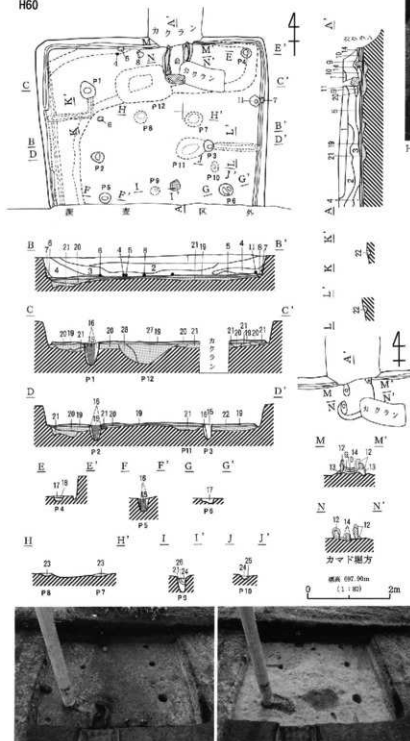
第113図 H50号住居址(2)

90cmを測る。

床面上には3か所にわたって、13層のロームが堆積している。主柱穴上層に住居の覆土が入り込んでいることから、柱穴を掘り返した土とみられる。床面は黒色土ブロックとロームブロック混在土を貼り、南中央からカマド前は良く締まっていたが、周辺はそれほどではない。壁下には周溝が廻っている。堀方からは堀方ピットがほぼ同位置に検出される。長径60~85cm、短径46~63cm、深さ43~53cmを測る。南壁は45cm張り出し、堀方からは長方形のP8(36×24×26cm)がある。

出土遺物には須恵器、土師器がある。須恵器杯は硬質、丸底で、底部外面はヘラ削りされている。土師器杯1・2は丸底で、器高が低く薄手、口縁は内傾する。口縁横ナデ、底部ヘラ削りされる。内面はミガキ調整である。4の杯は杯蓋模倣であるのか丸底で、緩やかな外縁をもち、口縁が外反気味である。5は全体に内湾する器形で、口縁横ナデ、底部ヘラ削りである。6は高杯と言っているのであろうか、器高の深い楕に脚が付いている。杯上部はミガキ、底部・脚部はヘラ削りされる。4~6は内面ミガキ黒色処理である。10の甕は口縁部形態「く」字形の武藏甕である。外面胴部は頭部から縦方

H60



H60 完掘(北より)

H60 掘方(北より)

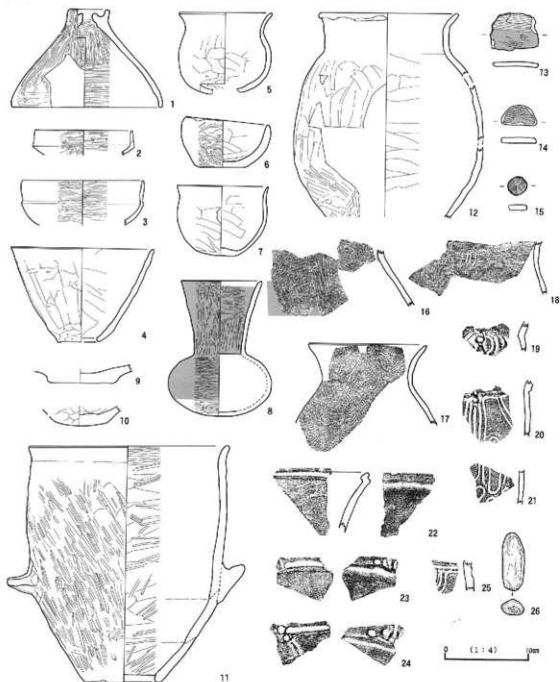
第114図 H60号住居(1)



H60 4・5・8遺物出土状況(西より)

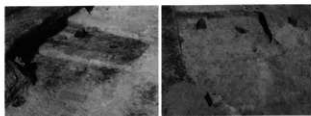
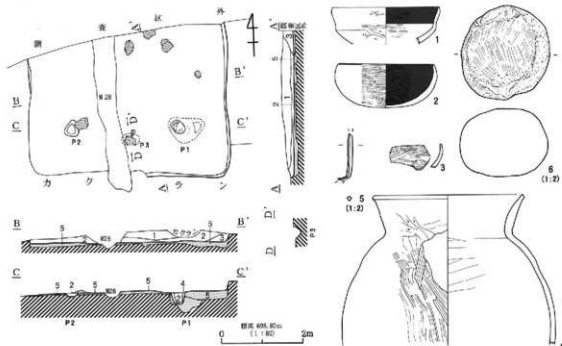
H60 土層説明

1. 黒色土層(10YR2/1)
ローム粒子・バミスを含む。
2. 黒色土層(10YR2/1)
1層より黒色強。
3. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム粒子・バミスを多く含む。
4. 暗褐色土層(10YR3/5)
ローム粒子・バミスを多く含む。
5. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム粒子。
6. 黒色土層(10YR2/1)
7. 暗褐色土層(10YR3/5)
ローム粒子・バミスを多く含む。
8. 瓦葺
9. 褐色土層(7.5YR4/3)
粘土(焼結粘土)
10. 黒褐色土層(7.5YR2/2)
炭化物・粘土粒子を含む。
11. 炭化物層
12. 褐色土層(7.5YR4/3)
粘土
13. 暗褐色土層(7.5YR3/3)
粘土粒子を含む。(カマド層方)
14. 暗褐色土層(7.5YR2/2)
灰・粘土・粘土粒子を含む。
(カマド層方)
15. 暗褐色土層(10YR3/1)
柱痕
16. 暗褐色土層(10YR3/4)
ロームブロック主体。
17. 暗褐色土層(10YR3/4)
ロームブロック・黒褐色土ブロック混在。
18. 褐色土層(10YR4/6)
ローム主体。
19. 暗褐色土層(10YR3/5)
黒色土ブロック・ロームブロックを含む。硝まる。(柱痕)
20. 暗褐色土層(10YR2/2)
ロームブロックを含む。
21. 褐色土層(10YR4/4)
ローム主体。
22. 暗褐色土層(10YR3/5)
ローム主体。(壁仕込層)
23. 褐色土層(7.5YR4/3)
粘土ブロック主体。(溝方ビット)
24. 暗褐色土層(10YR3/5)
柱痕
25. 暗褐色土層(10YR3/4)
ロームブロック主体。
26. 黒褐色土層(10YR2/5)
ローム粒子を含む。
27. 褐色土層(10YR2/1)
ローム粒子・バミスを含む。
28. 暗褐色土層(10YR3/5)
ローム粒子主体。



第115図 H60号住居址(2)

向にヘラ削りされる。9の鉢は口縁端部でわずかに外反する。口縁横ナデ後体部はヘラ削り、内面はミガキ黒色処理される。11の甕は厚手の甕で、口縁が短く外反し、胴部は縦方向にヘラ削りされている。12の中型の甕はカマドの袖の芯材に伏せて使用されたものである。底部は丸底を呈す。14は



H68 完掘(西より)

H68 堀方(西より)

第116図 H68号住居址

砂岩製の砥石である。16は底面と刻線をもつ石である。これらより古墳時代後期7C代後葉の8C代に近い土器である。

(9) H60号住居址

か21グリッドにあり、南は調査区域外である。掘乱に切られ、H61・H67、P1709を切る。南北(386)cmを調査し、東西長528cm、壁高43~59cmを測る。矩形を呈す住居である。カマドを北壁にもち、主軸方位N-2°-Wを測る。主柱穴はP1~P3の3個で、北東は掘乱に壊される。柱穴は円形を呈し、長径28~42cm、短径24~37cm、深さ38~52cmを測る。主柱穴の南に円形のP5(27×24×34cm)がある。

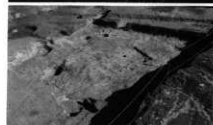
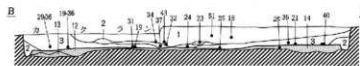
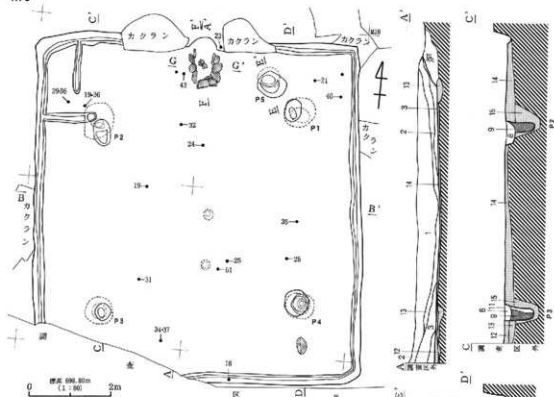
カマドの奥壁は掘乱に壊される。礎を芯材として立て、粘土を貼っている。内幅32cm、長さ(77)cmが残っている。火床には明確な焼土はないが、支脚石が残っている。

壁下には周溝があり、P1には礎の手に、P3には壁から間仕切り溝がある。床面は黒色土ブロックとロームブロックの混在土を貼り、締まっている。堀方では西壁が東に20cmほど内周する周溝がある。P9・P10は重複するH67の柱穴であろうか。細長いピットである。

H68 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR3/0)
にふい-黄褐色土(10YR3/4)ロームを少し含む。
2. 黒褐色土層(10YR3/2)
にふい-黄褐色土(10YR3/4)砂粒を少し含む。
3. にふい-黄褐色土層(10YR3/4)
にふい-黄褐色土(10YR3/2)砂粒を少し含む。
黒褐色土(10YR3/2)を少し含む。
4. にふい-黄褐色土(10YR3/4)
黒褐色土(10YR3/2)焼土土層。
5. にふい-黄褐色土層(10YR3/4)
にふい-黄褐色土(10YR3/4)砂粒を含む。(堀方)
6. (堀方ピット)

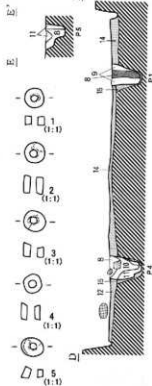
H70



H70 完損(西より)・破方(東より)

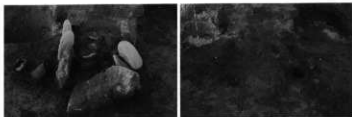
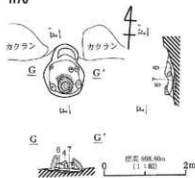
H70 土層説明

1. 灰黄褐色土層(10YR6/2)
に広い黄褐色土(10YR5/4)ロームを含む。
2. 赤褐色土層(10YR2/2)
に広い黄褐色土(10YR5/4)ロームを 稀少し含む。
3. に広い黄褐色土層(10YR6/4)
地山砂質ロームの二次堆積。
4. 泥
5. に広い黄褐色土層(10YR5/3)
に広い黄褐色土(10YR7/4)ロームを含む。
6. に広い黄褐色土層(10YR6/2)
に広い黄褐色土(10YR6/4)砂粒を少し含む。
(カマド裏方)
7. 泥土
8. に広い黄褐色土層(10YR6/4)
砂質ローム主体。
9. に広い黄褐色土層(10YR5/3) 柱頭
10. 赤褐色土層(10YR2/2) 凝結質土。
11. 灰黄褐色土層(10YR6/2)
に広い黄褐色土(10YR6/4)砂粒を含む。
12. 明黄褐色土層(10YR7/6) ローム
13. 黒褐色土層(10YR3/2) 凝結層。
14. に広い黄褐色土(10YR6/4)
15. に広い黄褐色土(10YR6/4)砂粒の表白層。
(カマドビット)



第117図 H70号住居址(1)

H70



1170 カマド通方(南より)



H70 カマド(南より)・カマド(北より)



24



6



7



13



17



25



7



14



18



26



8



15



19



27



8



15



20



28



9



15



21



29



10



16



22



29



11



16



22



30



12



23

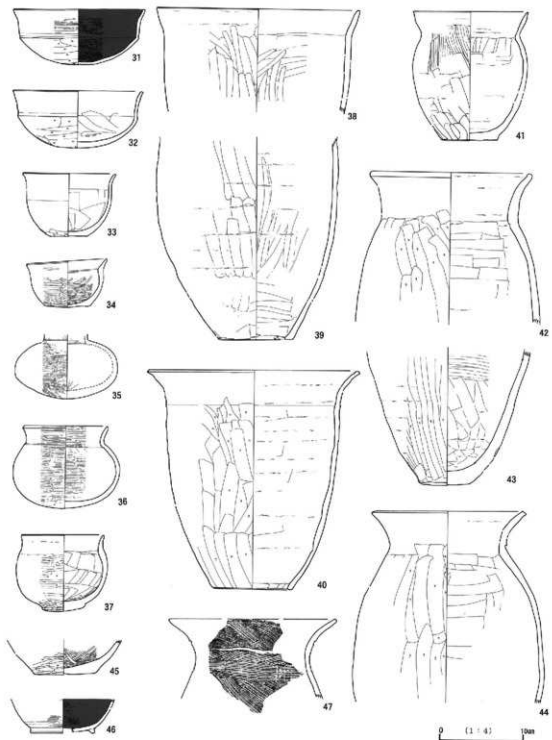


30



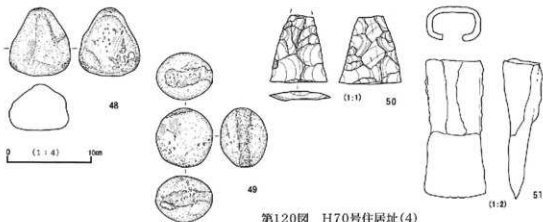
第118図 H70弓住居址(2)

H70



第119图 H70号住居址(3)

H70



第120図 H70号住居址(4)

出土遺物には、土師器、弥生土器、縄文、磨石がある。弥生土器、縄文土器は混入品である。土師器は蓋、杯、甌、鉢、壺がある。土師器杯は丸底で、外稜をもって屈曲し口縁が立ち上がる須恵器杯蓋模倣杯である。4の甌は単孔で、口縁横ナデ、体部ヘラ削り、内面はヘラナデ調整である。11は把手の付く単孔の甌で内外ミガキ調整される。5は小甕の底部に焼成後穿孔の1孔がある。6は厚い杯で、外面に粘土痕を残留してミガキ調整される。8の小型丸底は赤色塗彩されている。12の甕は口縁が直立し端部で外反する。口縁横ナデ、胴部はヘラナデである。これらは古墳時代後期6C前半の土器である。

(10) H68号住居址

あ0グリッドにあり、北は調査区域外である。M28、攪乱に切られる。南北(368)cmを調査し、東西長473cm、壁高0~27cmを測る。矩形を呈し、主軸方位N-3°-Eを指す。主柱穴は南側の2個で、ほぼ円形を呈し、径36・40cm、深さ32・9cmを測る。床面はロームと黒褐色土の混在土を貼っている。

堀方で、主柱穴の中間にP3(46×30×18cm)がある。

出土遺物には土師器、鉄製品、磨石がある。1の土師器杯は須恵器杯蓋の模倣杯、2は全体に内湾する。1・2とも内面はミガキ黒色処理される。4の壺は口縁が短く外反し、胴部球胴形である。

これらは古墳時代後期6代前半の土器であろう。

(11) H70号住居址

お1グリッドにあり、南西は調査区域外である。攪乱に切られる。南北長813cm、東西長782cm、壁高27~57cmを測る。南北に長い方形を呈し、カマドを北壁に持つ。主軸方位N-4°-Wを指す。主柱穴は4個あり、東西480cm、南北460cmの方形に配される。柱穴は北P1・P2が楕円形(57・63×39・41×75・73cm)、南のP3・P4が円形(42・66×38・60×72・79cm)である。カマドの東にP5があり、円形で径69cm、深さ48cmを測る。壁下には周溝が廻り、北西には間仕切り溝がある。カマドは四角に石を組み、にぶい黄褐色ロームを貼って構築している。外幅88cm、奥行き80cmを測る。火床は住居の床面より少し下がり、焼土が見られる。

床面はロームと砂粒の混在土を貼っている。地盤が砂質になっているため堀方は深い。堀方からは堀方ビットが検出され、位置は床面上のビットとほぼ同じである。長径68~84cm、短径61~72cm、深さ61~80cmを測る。P5の堀方ビットは、円形で径58cm、深さ30cmを測る。柱の建て替えが行われている。

出土遺物は別して、2種類ある。1層中のⅢ・Ⅳ区から出土する奈良時代の土器6~18と51の鉄

斧がある。床面から出土する古墳時代の19～45の杯、高杯、鉢類、38～44の甌・甕類である。奈良時代の土器は遺構が見られないことから廃棄によるものであろう。土器は一括の資料である。

古墳時代の土器は、杯蓋模倣杯20～22・28・29・31・32は丸底から外縁をもち、屈曲して外反気味やや開く。28・29はやや小振りで、内面はミガキ調整のみで、他はミガキ黒色処理される。19・30杯は底部が深く、丸底から口縁が大きく外反するものである。24・25の高杯は須恵器杯蓋模倣杯に裾部が外反する脚が付いている。35の小型丸底の体部は扁平である。44の甌は口縁が外反し頸部でくびれ、胴中位下にかけて張るもので、胴部に最大径をもつ。これらより古墳時代後期5C末～6C初頭の土器であろう。

奈良時代の須恵器杯はやや丸底気味で、底部ヘラ削りである。8の内面の円はヘラ状具で見込みを押さえて回転した痕跡であろう。高台付杯は底径が大きく、口縁が直線と内湾の両者があり、高台は外に開く。土師器は皿と杯があり、底部は丸底気味で、内面に暗文が施される。これらは東大門先遺跡ⅢH9の土器の時期と一致している。鉄斧は上層の出土で奈良時代のものであろう。

3. 中世(竪穴建物址(Ta))

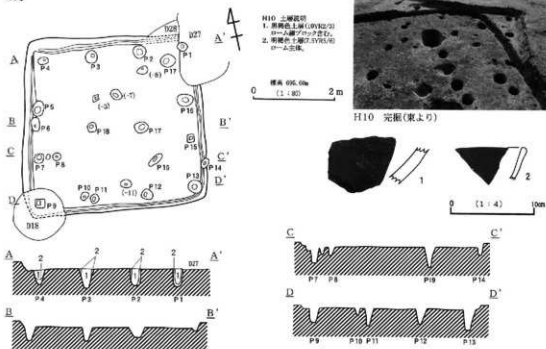
中世陶磁器の遺物写真は一部第1分冊『西一本柳遺跡XIV』の巻頭図版13～17に掲載してあります。

(1) H10号住居

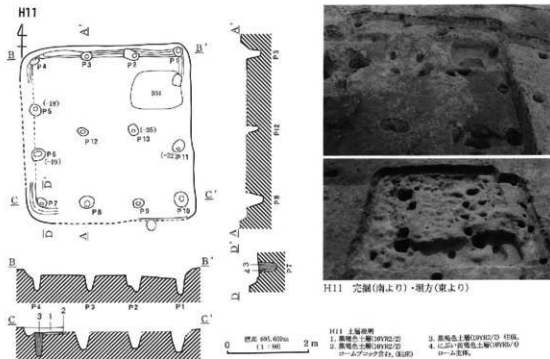
き79グリッドにあり、D18・D27・D28に切れ、弥生後期のH6を切る。南北長404cm、東西長420cmの方角を呈し、主軸方位はN-13°-Wである。

柱穴は3×3間の総柱に配され、円形で、径が19～29cmを測る。桁行は南の柱間が広く132cm、北で120cm、梁間116cmである。小振りなピットは20cm前後、大きいピットが30cm前後の堀方である。深さは30～50cmと深い。P9・P15は方形を呈し、他は円形プランである。他に小ピットが床面に

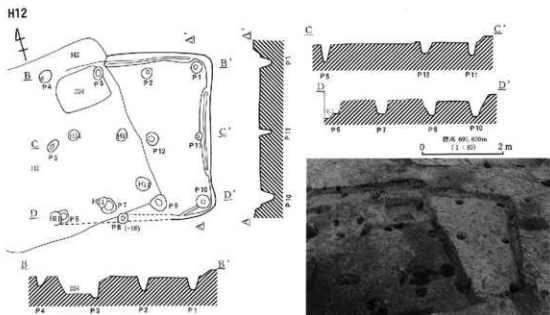
H10



第121図 H10号住居址

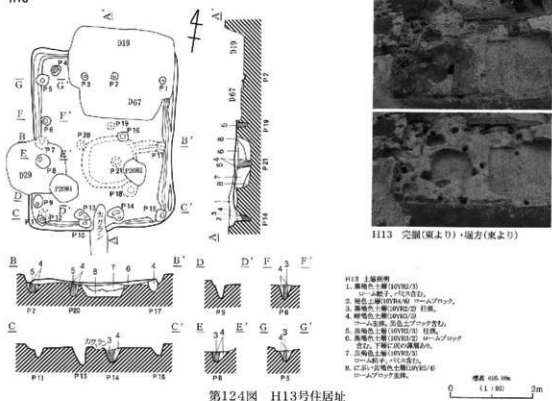


第122図 H11号住居址



第123図 H12号住居址

見られ、伴うか切る単独ビットなのか確認されていない。床面は敷き床で、堀方はほとんどない。出土遺物は中世の常滑の甕片と山茶椀握ね鉢がある。山茶椀は尾張産13Cのものである。



(2) H11号住居址

か80グリッドにあり、D34に切られ、H4・H12を切る。南北長412cm、東西長380cmの方形を呈し、壁高11~17cmを測る。主軸方位 $N-0^\circ$ で、北を指す。柱穴は壁下と床面に 3×3 間に配され、床の中央列の床面が北にずれ、南北の半分的位置にある。桁行、梁間柱間ともに120cmである。柱穴はP2(長辺40cm)・P3が隅丸長方形であるが、他は円形で、径22~36cm、深さ32~55cmを測る。壁下には周溝が廻っている。床面はロームブロックを含む土を貼っている。

出土遺物はない。

(3) H12号住居址

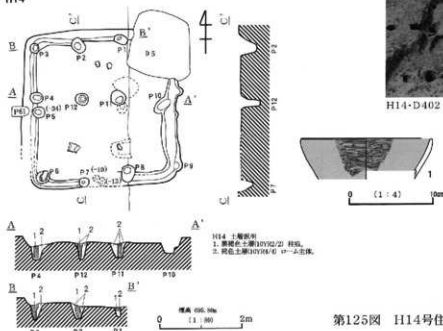
か80グリッドにあり、H11、D3に切られ、H4を切る。南北長384cm、東西(408)cmの方形を呈し、壁高0~17cmを測る。主軸方位 $N-20^\circ-E$ を指す。柱穴は壁下と床面に配され、 3×2 間の総柱である。桁行柱間120cm、梁間柱間165cmを測る。柱穴はP11が径19cmと小さいが、他は径28~34cmを測り、深さは27~34cmである。壁下には周溝がある。

出土遺物はない。

(4) H13号住居址

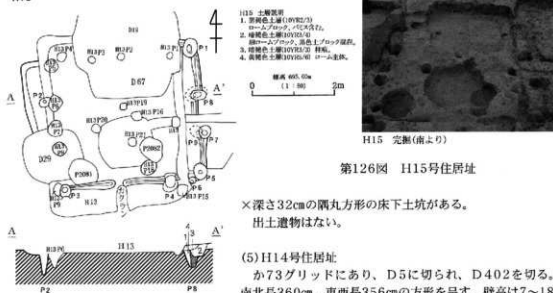
<77グリッドにあり、D19・D29・D67、単独ピットP2081・P2082に切られ、H6・H15を切る。南北長420cm、東西長320cmの長方形を呈す。主軸方位 $N-6^\circ-E$ を指す。柱穴は 2×3 間の総柱に配され、桁行柱間172cm、梁間柱間100cmである。柱穴は方形と円形があり、径24~37cm、深さ20~34cmを測る。柱穴は重複し、建て替えがなされている。床面はロームブロックを含む土が貼られ繕まり、壁下には周溝が廻る。床下中央には作うかどうかは分からないが、長径136×短径122

H14



第125図 H14号住居址

H15



第126図 H15号住居址

×深さ32cmの隅丸方形の床下土坑がある。
出土遺物はない。

(5) H14号住居址

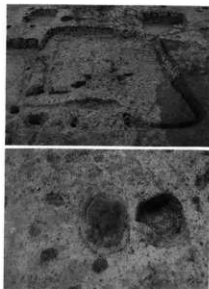
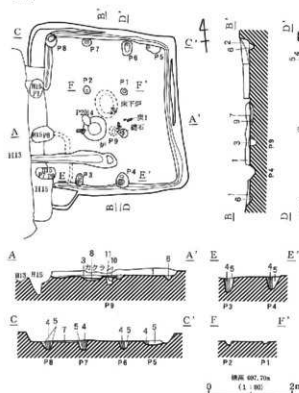
か73グリッドにあり、D5に切られ、D402を切る。南北長360cm、東西長356cmの方形を呈す。壁高は7~18cm、主軸方位はN-0°である。柱穴は3×2間の総柱に配され、桁行柱間160cm、梁間柱間100cmである。柱穴は円形ないし、隅丸長方形を呈し、長径24~46cm、深さ35~43cmを測る。壁下には周溝が廻る。

出土遺物は前代の混入品である弥生の赤色塗彩の鉢がある。

(6) H15号住居址

く77グリッドにあり、H13、D19・D29・D67、単独ピットP2081・P2082に切られ、H6・H

H16



1116 完側(南より)
1116 礎石とP9(北より)

H16 土層説明

1. 赤褐色土層(10YR2/3)ロームブロック、パイズ含む。
2. 暗褐色土層(10YR3/6)ロームブロック、パイズ含む。
3. 暗褐色土層(10YR2/2) 灰化層(灰層)。
4. 暗褐色土層(10YR2/2) 柱痕。
5. 暗褐色土層(10YR2/6) 赤褐色土層ブロック、ロームブロック含む。
6. 暗褐色土層(10YR3/6) 暗褐色土ブロック含む。
7. 暗褐色土層(10YR5/6) ローム、(黒)炭。
8. 黒褐色土層(10YR2/2) 灰、炭化物粒子多量に含む。
9. 暗褐色土層(10YR3/3) 柱痕。
10. 暗褐色土層(10YR3/4) ローム主体。



1 (1:8)

第127図 H16号住居址

16を切る。南北長320cm、東西長400cmの長方形を呈す。主軸方位はN-5°-Wを指す。3×3間に配されたと推測される。桁行きはH13と同じで、梁間は100cmである。P1(46×34cm)は8×12cmの長方形の柱痕が確認できる。

(7) H16号住居址(図版77)

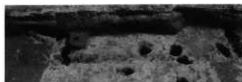
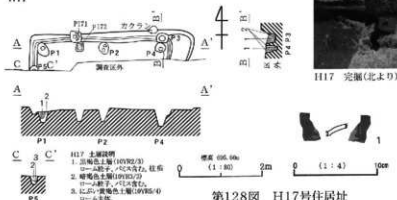
<76グリッドにあり、H15に切られ、D105・D107・D128を切る。南西に張り出しがあり、出入口であろう。南北長380、東西長344cmの長方形を呈す。壁高は10~22cmを測り、主軸方位N-5°-Eを指す。柱穴は東・西の壁にはなく、南・北壁下、床面にある。3間に配され、梁間柱間92cm、桁行120・100cmを測る。柱痕が看取され、方形で8~10×12cmを測る。柱穴は長辺33~36cm、深さ18~37cmを測る。P6・P1・P9・P4の列が南北に通り、P9は礎石立ちである。

おは礎石の西にあり、円形で径58cm、深さ9cmの落ち込みに炭化物層と灰層がある。周囲には炭化材がある。炭化材はサワラと分析されている。壁下には周溝が廻り、南の床面にも間仕切り状の溝がある。堀方からは使用していた炉の北東に旧炉がある。床は所々にロームが貼られ、締まっている。

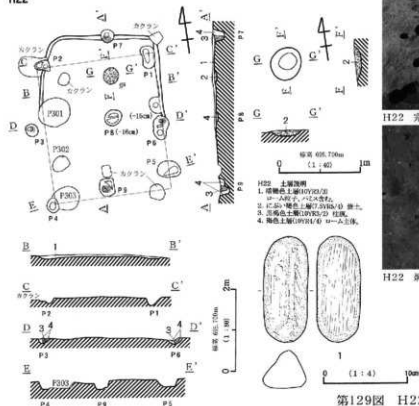
(8) H17号住居址

け77グリッドにあり、南は調査区域外である。D122を切り、F14、単P171・P172に切られる。

H17



H22



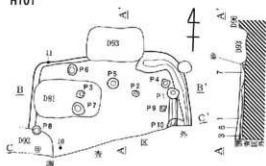
北東に張り出しがある。南北(80)cm、東西長332cmを測り、北側だけの調査で、方形基調である。壁高4~12cm、柱間は160cmを測る。壁下には周溝が廻る。

出土遺物には青磁輪花皿片があり、龍泉窯産15C後末~16C前半のものである。

(9) H22号住居址(図版77)

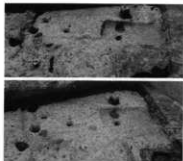
く86グリッドにあり、単P301~303と攪乱に切られ、H21を切る。壁高が0~7cmと浅いため、南側のプランは不明でピットのみ検出した。南北(356)cm、東西長284cmで、主軸方位はN-0°を

H101

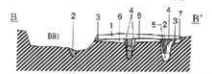
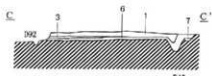


H101 土質説明

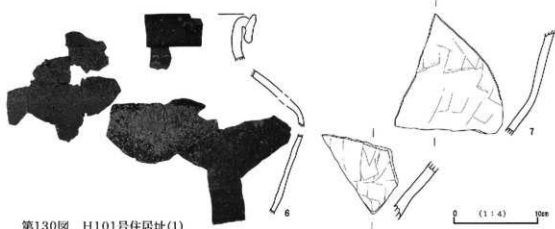
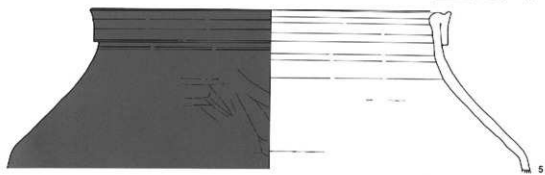
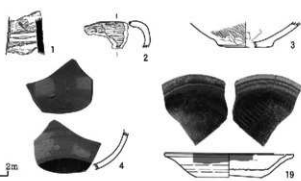
1. 赤褐色土層(10YR5/7) 細～中サイズの、微細曲 砂を含む。
2. 赤褐色土層(10YR5/2) 粘 粒層。
3. 黄褐色土層(10YR5/6) 中～大粒、(50%) 粘 粒層。
4. 赤褐色土層(10YR5/7) 中～大粒の砂を含む。
5. 黄褐色土層(10YR6/6) 中～大粒。
6. 黄褐色土層(10YR5/6) 中～大粒。
7. 野褐色土層(10YR3/2)



H101 完備(北より)・壁方(北より)



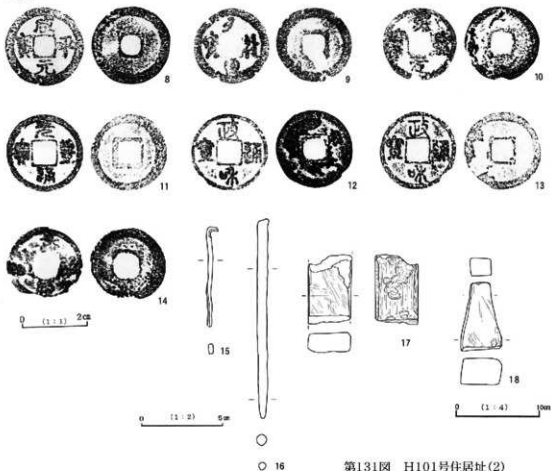
縮尺 1/100 (1 : 100) 2m



0 (1 : 4) 10cm

第130図 H101号住居址(1)

H101



第131図 H101号住居址(2)

指す。柱穴は2×2間の総柱に配される。柱穴は径36～57cm×33～39cm×15～21cmを測る。P7・P9は南北壁の中央にあつて、棟持柱であろうか。北の床面に径40cm、深さ10cmの円形範囲に焼土が見られた。

出土遺物には磨石がある。遺物からは時代を推測する資料はないが、ピットが総柱に配され床面をもつ遺構と類似し、それらが中世の遺物を伴うことから中世とした。

(10) H101号住居址(図版77、第1分冊巻頭図版17)

こ74グリッドにあり、D81・D92・D93に切られ、D95・D96を切る。遺構の北半域ほどを調査する。2棟が重複していると見られ、上面の遺構はP1～P7の方形プランで南北(224)cm、東西344cmを測る。東側に周溝がある。下のプランは東西392cmを測る方形基調のプランである。壁下にピットがあるが径21～22cmの円形ピットで、深さ5～14cmと浅い。

遺構は明確ではないが遺物は、白磁碗、常滑の甕(15C)、中津川の甕(14C)、古瀬戸卸し皿(15C中～後期)、渡来銭7枚が出土する。砥石2点と鉄製の釘、青銅製の火箸がある。土坑との重複も激しく、十分に把握できていない。

(11) H44号住居址(図版78、第1分冊巻頭図版15)

え55グリッドにあり、単独ピットP1711・1724、弥生後期のM17・20を切る。南北400cm、東西295cmのやや不整な隅丸長方形を呈す。壁高は34~46cmを測り、主軸方位N-0°である。主柱穴、火焔は見つかっていない。床はロームブロックを含む土が貼られ締まっている。南東床下にP1(27×26×19cm)・P2(34×31×18cm)の小ピットがある。

出土遺物には、在地播鉢(中世)、常滑の甕か壺片(中世)、龍泉窯の青磁蓮弁文碗(13C後半~14C前半)、角釘がある。

(12) H103号住居址(図版78、第1分冊巻頭図版15・16)

く64グリッドにあり、南は調査区域外である。H122、D240・D241、P753・755・774・1050・1051を切る。南北(120)cmを調査、東西長154cm、壁高12~31cmを測る。主軸はN-2°-Wを指す。

壁下にP1(方形、21×20×31cm)・P2(楕円形、17×13×15cm)の柱穴をもつ。床面は敷きである。

出土遺物は土師質かわらけ、内耳、火鉢、青磁蓮弁文碗、鉄軸碗、石播鉢、鉄製刀子の茎がある。実測はしていないが石鉢の口縁片(溶結凝灰岩製)がある。13の播鉢が床面である他は、中世の遺物は上面から出土しており、1層の炭化物を含む層からの出土である。かわらけは在地産で、15C代である。11は混入品である。13の播鉢の内面は摩耗している。

(13) H104号住居址(図版78)

き65グリッドにあり、D243、P882に切られ、H33・H34・H42、D252・D255、P929を切る。南北長334cm、東西長233cmの北壁は直線、全体的には隅丸長方形を呈す。壁高は1~15cmを測り、長軸方位はN-3°-Wを指す。東西の壁に各2個壁柱穴がある。円形で長径20~26cm、短径17~26cm、深さ6~26cmを測る。床は敷きで締まっている。

出土遺物は在地の火鉢、播鉢片である。いずれも15C中ごろのものである。

(14) H105号住居址(図版78)

か65グリッドにあり、D243、単独ピットに切られ、古墳後期のH34、中世のH148、弥生後期のD261を切る。下に遺構があるため、プラン・ピットはやや不明確なものとなった。南北長384cm、東西長399cmの方形を呈し、壁高は3~25cmを測る。長軸方位N-4°-Wを指す。北側は壁下に周溝が廻り、壁柱穴がある。検出した柱穴から類推すると4×4間に配され、東西の中央に当たるP3・P15・P16・P9が棟持柱列になりそうである。柱穴は円形で、径20~34cmを測る。深さは下層に重複遺構があるため正確ではない。

床面には長さ12~36cmの河床礫が出土している。S1の長さ36cmの溶結凝灰岩は一面が磨面であり、炭の匂いがする。(黒色なので色では分からない。)

出土遺物は1の刀子の茎、2は軽石製の磨石である。

(15) H106号住居址(図版78)

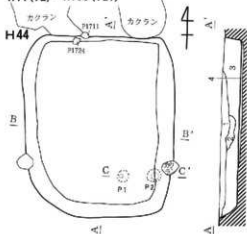
き65グリッドにあり、単独ピットに切られ、弥生後期のH33・H34・H42、D256、M11、中世のH127を切る。南北長252cm、東西長170cmの長方形を呈し、長軸方位N-1°-Eを指す。柱穴は四隅と東西の中央列にある。隅の柱穴は円形で、径24~33cm、深さ11~21cmと比較的浅い。棟持柱であろう東西中央のP2(30×24×52cm)・P7(28×20×41cm)は深さのある柱痕である。

床面はロームブロックと黒褐色土ブロックの混在土を貼り、締まっている。

堀方から柱穴が検出され、建て替えが行われている。

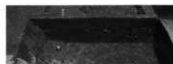
出土遺物には敷石がある。

H44 (Ta)・H103 (TaI)

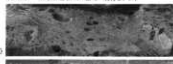


H44 土層説明

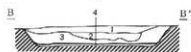
1. 赤褐色土層 (10YR2/2) ちみつせ、パミス・ローム粒を含む。
2. 黒色土層 (10YR2/3) 細ロームブロックを含む。
3. 黒色土層 (10YR2/4) ロームブロック (1:2)よりこぼし入し、パミスを含む。
4. 赤褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・パミス、黒色土ブロック混在。(3:9)
5. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱痕
6. 褐色土層 (10YR4/6) コーム主体。
7. 褐色土層 (10YR4/4) コーム。
8. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒・パミスを含む。



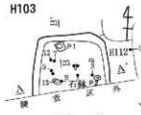
H44 II区セクション(南より)



H44 III区セクション(南より)



H103

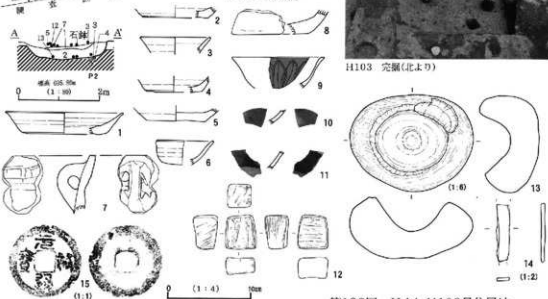


H103 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) 赤褐色土層を含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/3) コームブロック、まれに大ロームブロック・炭化物粒を含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/3) 柱痕
4. にぶい黒褐色土層 (10YR5/4) コームブロック主体。



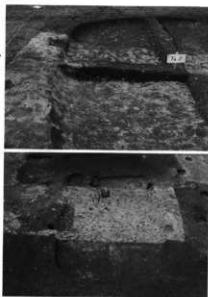
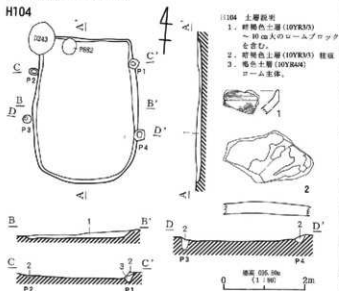
H103 完備(北より)



第132図 H44・H103号住居址

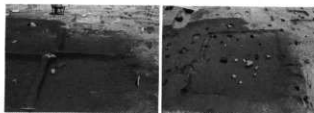
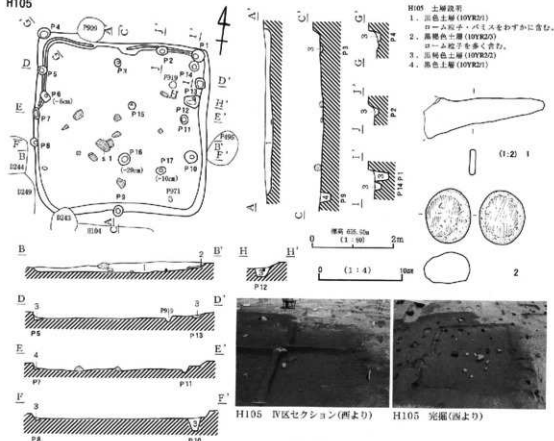
H104 (Ta2)・H105 (Ta3)

H104



H104 I区セクション(北より)
完掘(南より)

H105

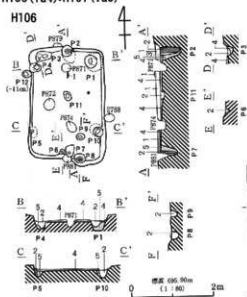


H105 IV区セクション(西より) H105 完掘(西より)

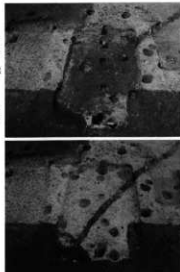
第133図 H104・H105号住居址

H106 (Ta4)・H107 (Ta5)

H106

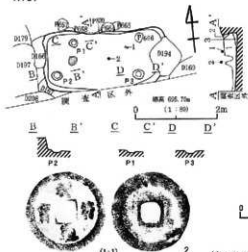


- H106 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/3)
細ロームブロック・パミ
ス碎多く含む。床面型跡
 2. 暗褐色土層 (10YR3/2)
黒褐色土層 (10YR2/3) 柱痕
 3. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロック主体
 4. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロック・黒褐色
土ブロック混在。(柱痕)
 5. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロック主体。
(ピット層方)

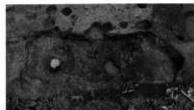


H106 完掘・堀方(南より)

H107



- H107 土層説明
1. 褐色土層 (10YR4/4)
 2. 黒褐色土層 (10YR3/2)
ローム主体
 3. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ローム粒子を多く含む。



H107 完掘(南より)

第134図 H106・H107号住居址

(16) H107号住居址(図版78)

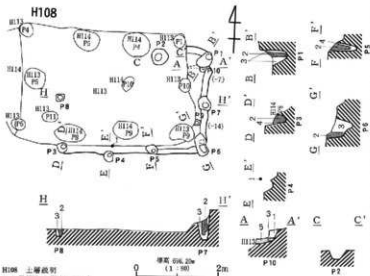
く63グリッドにあり、南は調査区域外、土坑、単独ピットに切れ、H38、D245を切る。南北長130cm、東西長272cmの隅丸長方形を呈し、壁高は1~41cmを測る。長軸方位N-85°-Wである。柱穴は四隅にあり、北西は単独ピットP666と重なる。ピットは円形で、径21~29cm、深さ6~7cmである。床は地山ロームの蔽きで、縮まっている。

出土遺物は敲石と渡来銭がある。渡来銭は祥符通寶(初铸年1009年)である。

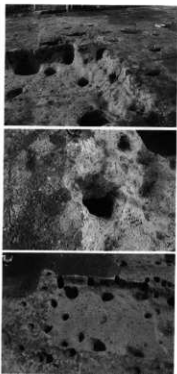
(17) H108号住居址(図版78)

か60グリッドにあり、H113・H114に切れ、H142、D182、D300を切る。南北長226cm、東西(314)cmの隅丸長方形を呈す。壁高は17~32cmを測り、長軸方位はN-89°-Wである。柱穴

H108 (Ta6) - H109 (Ta7)



- H108 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ローム粒子・バミスを含む。
 2. 灰褐色土層 (10YR3/5) 柱礎
 3. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ロームブロック (10YR4/6)・
黒褐色土ブロックを含む。
(ピット掘方)
 4. 棕色土層 (10YR4/4)
ローム土塊。
 5. 褐色土層 (10YR4/6) (柱礎)



H108 セクション(南より)、P7セクション(北より)、堀方(北より)

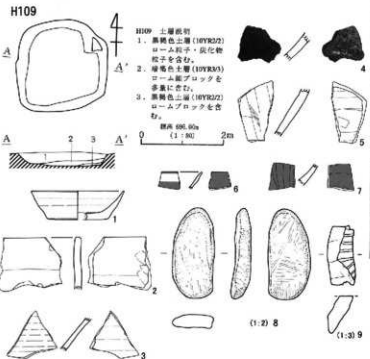


H109 セクション(南より)



H109 完照(西より)

0 (1:4) 10m

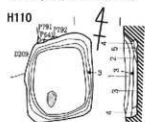


- H109 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・炭化物
粒子を含む。
 2. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ローム土ブロックを
多量に含む。
 3. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロックを含む。

第135図 H108・H109号住居址

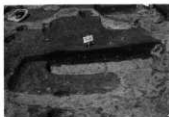
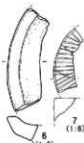
H110 (Ta8)・H112 (Ta10)

H110



H110 土層説明

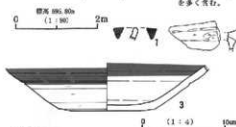
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
細ロームブロック・パミス・粘
状炭化物を含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/5)
ロームブロック・ローム粒子を
多くパミス・粘状炭化物を含む。
3. 黒褐色土層 (10YR3/2)
3cm以上のロームブロック・炭化物
を含む。ややねっとり。
4. 暗褐色土層 (10YR3/4)
細ロームブロックを多く含む。
5. 暗褐色土層 (10YR3/5)
ローム粒子・細ロームブロック
を多く含む。



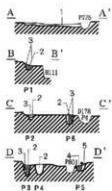
H110 セクション(東より)



H110 完圖(南より)

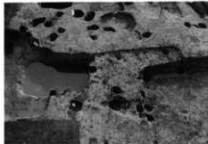


H112



H112 土層説明

1. 黒色土層 (10YR2/1)
ローム粒子・パミス
を含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
粘土。
3. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロック主体。
4. 暗褐色土層 (10YR2/3)
粘土。
5. 暗褐色土層 (10YR3/6)
ローム主体。



H112 完圖(東より)

第136図 H110・H112号住居址

は壁中に3×2間に設けられる。重複部の柱穴はH1113と重なり不明である。P1～P7のピット堀方は角のある円形を呈し、H113の柱穴と重なり、径24～31cm、深さ26～72cmを測る。H113のピット堀方である可能性がある。

出土遺物は渡来銭の永楽通宝(初铸年1408年)がある。

(18) H1109号住居址(図版78・79、第1分冊巻頭図版17)

か63グリッドにあり、H1119・H1126、D207・D246、P610を切る。南北長183cm、東西長173cmの隅丸方形を呈し、壁高は23～25cmを測る。長軸方位はN-2°-Wである。北東に小テラスをもつ。柱穴はない。

出土遺物は検出面より、かわらけ、内耳、握ね鉢、常滑の甕か壺、古瀬戸平椀、青磁蓮弁文碗、砥石、茶臼が出土している。13C～15C代の遺物である。

(19) H1110号住居址(図版79、第1分冊巻頭図版17)

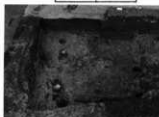
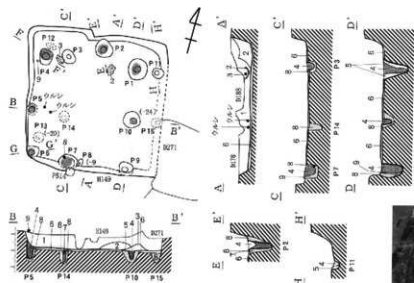
き64グリッドにあり、D209、単独ピットに切られ、H1123、H1124、P790を切る。南北長188cm、東西長152cmの隅丸長方形を呈す。壁高は4～38cmを測り、長軸方位はN-4°-Wである。壁下には周溝が廻る。柱穴はない。

H111 (Ta9)

H111 土層説明

1. 黄褐色土層 (10YR2/2)
細ロームブロック・パリスを多量に、炭化植物子を含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/3)
大ロームブロックを多く含む。
3. 正褐色土層 (10YR2/5)
ロームブロックを含む。
4. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱状
ローム主体。
5. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。
6. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームによる堅塊。下層に黄褐色土 (10YR2/5) を含む。
7. 褐色土層 (10YR4/4) 柱状
ローム主体。
8. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム主体。
9. 暗褐色土層 (10YR3/5)
ロームブロック・パリスを含む。

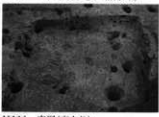
縮尺 0M, 10c
(1:50) 20m



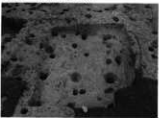
H111 完備(西より)



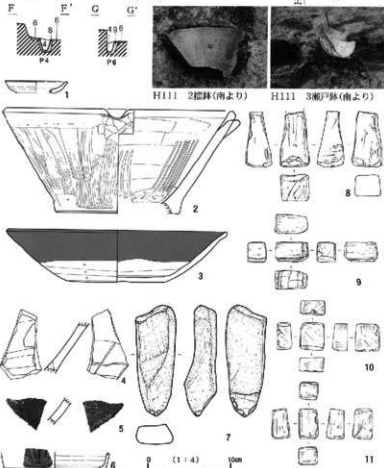
H111 1区セクション(東より)



H111 完備(東より)

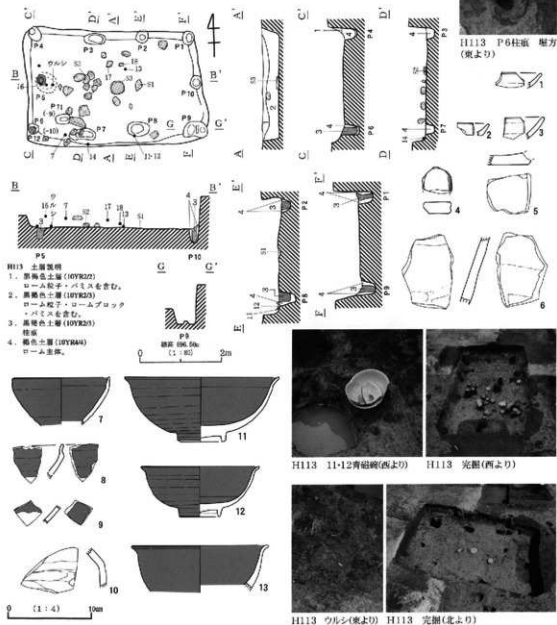


H111 壘方(東より)



第137図 H111号住居址

H113 (Ta11)



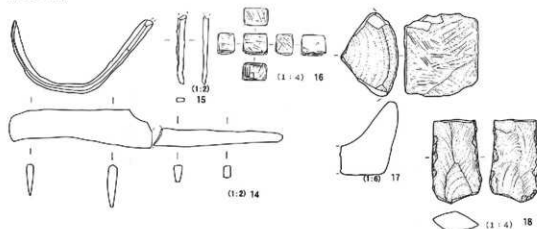
第138図 H113号住居址(1)

出土遺物は山茶碗捏ね鉢、古瀬戸深皿、中津川甕片、茶白がある。13C~15C中ごろの遺物である。

(20)H111号住居址(図版79、第1分冊巻頭図版15・16)

き60グリッドにあり、H149、D188・D271、P514に切られ、H46・H112・H136・H142、P728・P1458を切る。南北長320cm、東西長308cmの方形を呈し、北西が幅140cm奥行き20cmほ

H113(Ta11)



第139図 H113号住居址(2)

ど北に広がっている。長軸方位 $N-15^{\circ}-W$ である。柱穴は 2×2 間に配され、南北方向が桁行きで、桁行き120cm、梁間100cmを測り、柱痕をもっている。P2(42×41×58cm)とP7(44×36×28cm)は棟持柱となろうか。P1(52×46×59cm)・P9(37×32×56cm)のビットが深い。他は径27~43cm、深さ22~34cmを測る。床面は度々の浸水により削ってしまったが、検出時は堅い床である。堀方からはP14・P15があり、堀方のP15は弥生の住居H47の主柱穴であろう。

出土遺物にはかわらけ、播鉢、直縁鉢、常滑甕、敲石、砥石、漆の皮膜がある。混入品では瀬戸・美濃の香炉片がある。2の在地播鉢は内面に播目、外面はヘラナデされる15C中ごろのものである。3の古瀬戸直縁鉢は(15C中ごろ)、割れて重なる状態で出土し、完形に復元される(第1分冊巻頭図版15)。砥石は長さが2.4~6.8cmといずれも短く、片断面が凸面をもつ。通常の砥石は使用により凹面が作られるが、膨らんだ面をもっている。西壁下の床面からは漆の皮膜が2点出土する。

(21)H112号住居址

き61グリッドにあり、H111・H149、D201、単独ビットに切られ、P1459・P1461を切る。南北長326cm、東西長146cmの隅丸長方形を呈す。壁高は2~9cmと浅く、長軸方位は $N-10^{\circ}-W$ を指す。壁下に柱穴が、 2×2 間に配される。柱穴は長径18~31cm、短径18~27cm、深さ14~28cmを測る。床面は敲きの床である。

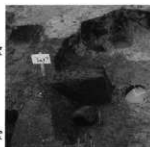
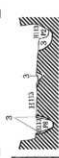
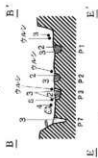
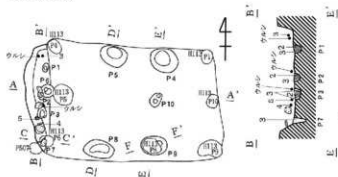
弥生土器片はあるが中世遺物はない。

(22)H113号住居址(図版79・80・82、第1分冊巻頭図版13・15・16)

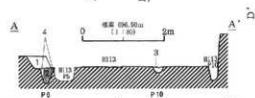
か60グリッドにあり、H108・H114、D181・D182を切る。南北長260cm、東西長380cmの長方形を呈する。壁高は26~80cmを測り、長軸方位は $N-88^{\circ}-E$ を指す。柱穴は 3×2 間に配され、床面中央のS1・S2は礎石で、S3は長さ26cmを測る扁平な石で、これも礎石であろうか。桁行384cm、梁間240cmを測り、桁行柱間128cm、梁間柱間120cmを測る。柱穴は隅丸長方形のP3・P7~P9は長径52~64cm、短径27~37cm、深さ20~38cmを測る。方形に近いP1・P2・P5・P6・P10は長径22~37cm、短径21~33cm、深さ25~32cmを測る。床面は地山の敲き床で締まっている。

出土遺物には土師質かわらけ、内耳、内耳転用の土製円板、天目茶碗、中津川甕、青磁玉縁碗、鉄製の刀子・角釘、石鉢、敲石がある。14~15C中ごろの遺物である。11・12の青磁碗はほぼ完形に近く、大・小重なって出土し、14C末~15C前半の龍泉窯産である。(第1分冊巻頭図版13)

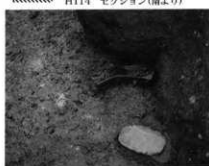
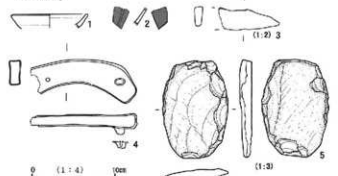
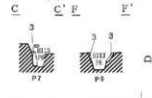
H114 (Ta12)



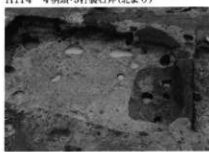
H114 セクション(南より)



- H114 土層説明
1. 黒褐色土層 (H10YR2/3) ローム粒子・バミスを含む。
 2. 黒褐色土層 (H10YR2/3) 砂質。
 3. 褐色土層 (H10YR4/4) ローム主体。
 4. 褐色土層 (H10YR4/4) ローム主体。



H114 4柄頭・5打製石斧(北より)



H114 完箭(北より)

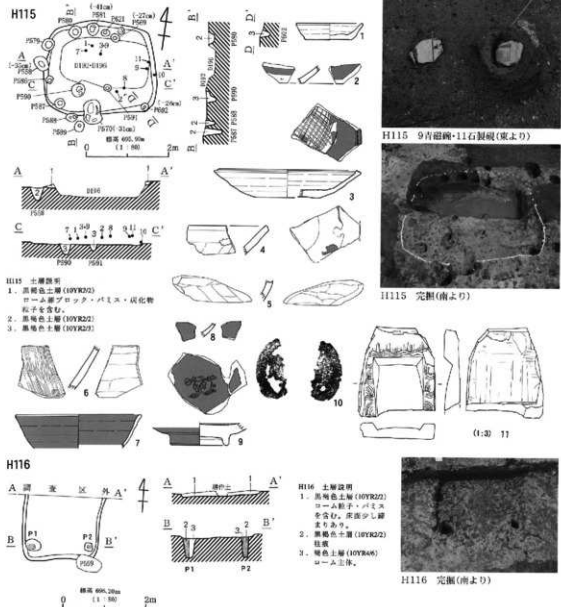
第140図 H114号住居址

(23) H114号住居址(図版80、第1分冊巻頭図版14・15)

か60グリッドにあり、H113、P507に切られ、H108、D181・D182を切る。H113に大半を壊され、西壁とピットが残る。南北(160)cm、東西(348)cmを測る。床面は西端の42cmほど残っており、柱穴は2×2間に配される。桁行280cm、梁間188cm、桁行柱間140cm、梁間柱間94cmを測る。P6はH113の堀方ピットで、P1~P3・P7がH114の西壁の柱穴であろう。P1~P3・P7は長径22~26cm、短径13~22cm、深さ14~32cmを測る。H113と重複する。P8・P9・P4・P5のピットは径65~78cm、深さ23~28cmを測る。H113の堀方ピットであるかもしれない。

出土遺物には、かわらけ、青磁蓮弁文碗(龍泉窯、13C)、鉄製刀子、漆製品の柄頭、打製石斧がある。漆製品は太刀の柄頭であろうか、残長12.9cm、幅3cm、厚さ1.5cmで反っている。目釘穴が2か所にある。表面には製品にはみられない汚れが付いているという。(註.永嶋正春氏による。)(第1分冊巻頭図版14)

H115(Ta13)・H116(Ta14)



第141図 H115・H116号住居址

(24) H115号住居址(図版80・82、第1分冊巻頭図版15～17)

き63グリッドにあり、D192・D196、単独ピットに切れ、H38、D193・D224、単独ピットを切る。南北長199cm、東西長250cmの隅丸長方形を呈する。壁高は1～8cmを測り、長軸方位はN-81°-Eを指す。単独ピットP558・P569・P581～P586・P590・P591・P602・P621などの柱穴が壁に沿って検出される。単独ピットが堅穴建物址に伴うものか浅いため判断し兼ねる。径17～30cmの円形ピットで、深さは12～41cmを測る。中でもP581・P558・P587・P570・P602は、深さ26～41cmを測り、本堅穴に伴うのであろうか。

出土遺物は、床面より10cmほど浮いたところに集中する。重複するD192・D196の上面にもあたり、土坑の遺物も含んでいる。かわらけ、天目茶碗、古瀬戸卸し皿、常滑握ね鉢、中津川と常滑の甕か壺、青磁玉縁碗、貨幣、石製硯である。これらは13C後半～15C前半の遺物である。3・7・9・11の古瀬戸卸し皿・青磁玉縁碗・硯はD192の上面にあたることから土坑の遺物とすべきであろう。

(25) H116号住居址

え62グリッドにあり、北は調査区域外で、P559に切られる。南北(142)cmを掘り、東西長181cmの隅丸長方形を呈す。壁高2～9cmを測り、長軸方位N-3°-Wを指す。床面は敷きの床で締まっている。P1(37×29×50cm)・P2(21×20×53cm)の柱穴は隅にあり深い。楕円形と方形の堀方プランに円形の柱痕が見られた。柱痕のP1・P2ともに径は12cmを測る。

弥生の土器片が1片あるのみで、掲載資料はない。

(26) H117号住居址(図版80、第1分冊巻頭図版14・15・17)

か61グリッドにあり、D183、単独ピットに切られ、H39・H118、D181・D223・D236、単独ピットを切る。南東にあるD184は、H117に接し、東西長88cm、南北長72cm、深さ12cmを測り、H117の壁に沿って礎を並べ、H117の出入り口とみられる。竪穴建物本体は南北長372cm、東西長247cmの長方形を呈する。壁高15～42cmを測り、長軸方位はN-87°-Eを指す。柱穴は2×2間の総柱に配される。桁行き360cm、梁間244cmを測り、桁行柱間は240・120cmを測り、梁間柱間122cmである。P4(28×26×60cm)・P8(36×34×29cm)は棟持ち柱であろう。他のピットは円形で、径24～54cm、深さ(床面より)11～32cmを測る。床面のP10・P11は浅く、円形で、径19・20cm・深さ23・18cmを測る。柱穴には柱痕が見られる。

出土遺物にはかわらけ、瓦質握鉢、内耳、古瀬戸深皿、常滑の甕か壺、青磁玉縁碗、磁石4点、磨石がある。これらの遺物は、15C中ごろのものである。2は在地の掘鉢で、黒色を呈する。4は器高の浅い内耳である。また、床面の3か所から漆の皮膜が出土し、北壁中位に付着する赤色顔料は水銀朱と分析される。水銀朱は漆の顔料に使用されるもので、高級品に使用されるという。(2006、四柳嘉章) 南東隅の床面の炭化材はコナラ属コナラ重属コナラ節と分析されている。

(27) H118号住居址(図版80)

か62グリッドにあり、H117・H119・H121、D200・D206・D223、単独ピットに切られ、H39を切る。南北長410cm、東西(214)cmの長方形を呈す。壁高は6～11cmを測り、長軸方位N-0°で北を指す。柱穴は壁下あり、北と南の壁には残るが、東西壁は重複遺構に壊される。P2(25×18×32cm)、P3(21×16×36cm)、P10(16×16×32cm)、P12(方形、18×15×35cm)が深い柱痕をもつピットである。他は径14～25cm、深さ12～22cmの円形ピットである。

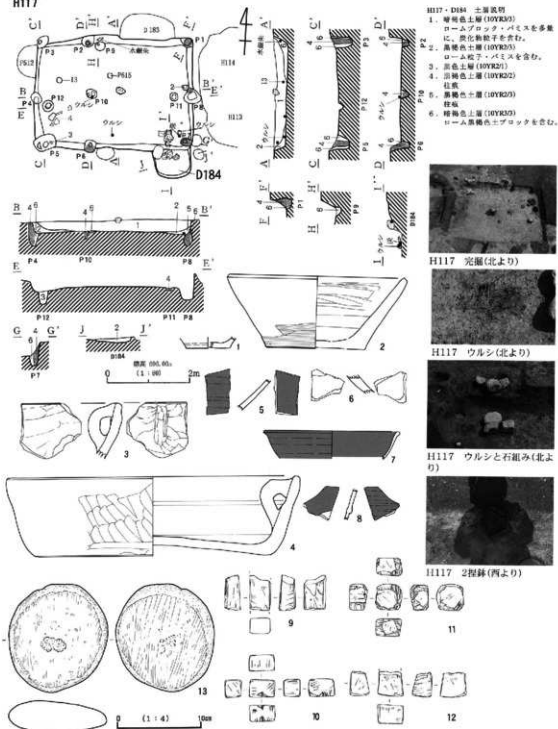
出土遺物は鉄製品の角釘片、石製品は凹みをもつ安山岩の台石がある。

(28) H119号住居址(図版80)

か62グリッドにあり、H109、D206、単独ピットに切られ、H39・H118・H126、D207、単独ピットを切る。南北長208cm、東西長334の隅丸長方形を呈し、南東に出入り口の張り出しをもつ。出入り口は、南北53cm、東西100cmの半円に近い形態である。北西でD207と重複しており、貼り床を下げてしまい、北西壁のピットは検出できなかった。柱穴は2×3間の総柱に配され、桁行320cm、梁間200cmを測る。南壁の桁行柱間は240cm、北壁は160cm、梁間柱間は100cmである。P3(26×24×44cm)とP6(33×28×14cm)が棟持ち柱であろう。壁中の柱穴と柱痕が良く看取できる。P4では長径20cm、深さ32cmの柱痕が、径23cm、深さ40cmのピット堀方にある。P5は南東隅の柱穴で円形の柱痕(径12cm、深さ39cm)が、径24cmのピット堀方にある。P8はピットの根元に石を置いている。床面はローム主体土が貼られ、締まっている。床面には漆の皮膜が3か所、炭が1か所ある。

H117 (Ta15) D184

H117



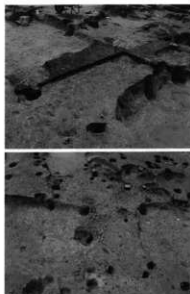
第142図 H117号住居址、D184号土坑

H118(Ta16)・H119(Ta17)

H118

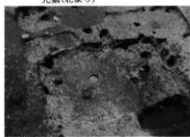
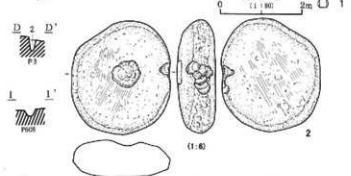


- H118 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロックを含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱痕
 3. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロックを含む。



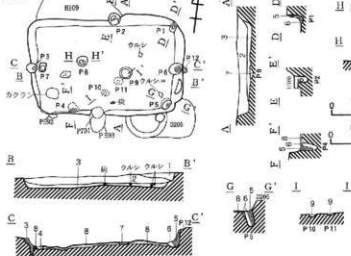
H118 II区セクション(西より) 完掘(北より)

H119

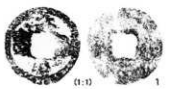


H119 完掘(北より)

H119



- H119 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) 細ロームブロックにバミスを含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/2) 大小ロームブロックを極多く含む。
 3. 黒褐色土層 (10YR2/2) 上面に大ロームブロックあり。
 4. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱痕
 5. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱痕
 6. 暗褐色土層 (10YR3/3) ローム主体。
 7. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロックを多く含む。
 8. 暗褐色土層 (10YR3/3) ローム主体。(灰床)
 9. 暗褐色土層 (10YR3/4) ローム主体。(東方ピット)



第143図 H118・H119号住居址

炭はコナラ属コナラ亜属コナラ節と分析されている。

出土遺物は漆の皮膜と上面からは判読不明の渡来銭が出土している。

(29) H120号住居址(図版80・81、第1分冊巻頭図版15～17)

き61グリッドにあり、D205、単独ピットに切られ、H38、D218～D220、M13、単独ピットを切る。南北長185cm、東西長262cmの長方形で、東の壁が長い台形状である。P1(35×23×12cm)とP4(44×20×20cm)が主な柱穴であろうか。柱穴はいずれも浅く、深さ12～23cmである。

出土遺物はかわらけ、占瀬戸平椀、鉄袖水滴、青磁碗、砥石4点、打製の石鎌が出土する。砥石は長さ3.0～3.8cm、長い8の砥石が7.4cmを測る小さな砥石である。陶磁器は14～15C代のものである。

(30) H121号住居址(図版81)

き61グリッドにあり、H120、D199・D205・D220、単独ピットに切られ、H39・H118、D223・D233、M13、P821を切る。H120に切られて南北(122)cmが残り、東西長145cmを測る方形基調である。壁高は14～27cmを測り、主軸方位N-16°-Wを指す。隅にP1(21×21×12cm)・P3(25×21×8cm)と北壁の中央にP2(17×10×16cm)の柱穴をもつ。

出土遺物はP1よりは土師質かわらけがある。かわらけは口縁に煤が付着しており、灯明皿として利用されたものであろう。15C代のものである。

(31) H122号住居址(図版81)

く63グリッドにあり、南は調査区域外、H103、D179・D197・D208に切られる。南北(96)cm東西(68)cmを残して、他遺構に壊される。柱穴が2個残り、P1は43×30×24cm、P2は39×35×15cmを測る。

出土遺物は132図15の渡来銭(元祐通寶)とかわらけ、角釘がある。かわらけは口縁に煤が付着している。15C代の遺物である。

H123～H126・H128は一覧表を参照されたい。

(32) H129号住居址(図版81、第1分冊巻頭図版15・17)

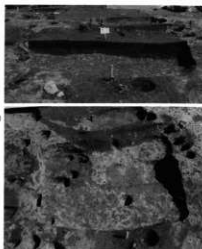
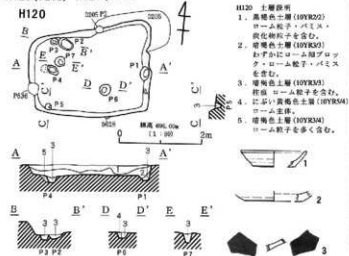
く65グリッドにあり、南は調査区域外である。H106、D241に切られ、赤生後期のH33、D256・D262、M11、P1009を切る。南北(342)cmを調査し、東西長336cmの方形基調の堅穴である。壁高は1～12cmを測り主軸方位はN-4°-Wである。床面はロームブロックを含む土で貼られ、比較的堅緻である。柱穴が壁に沿って、3×(2)間に配置される。P2～P4・P6・P8・P17～P20に柱痕がある。最も小さな柱痕はP18～20で、長径16.8cm、短径11cm、深さ40cmを測る。大きい柱痕はP2の長径28cm、短径24cm、深さ33cmを測り、隅丸長方形を呈す。ピット堀方は長径36～53cm、短径31～40cm、深さ33～52cmを測る。それ以外にP1・P4・P7・P10・P12・P13～P16の穴があり、P1(32×40×30cm)・P14(33×32×22cm)で柱痕があり、他は浅いピットである。柱の建て替えが行われている。床面中央には炉があり、円形で、径64cm、深さ8cmに灰と炭化物が見られた。炭化物はコナラ属コナラ亜属コナラ節と分析されている。

出土遺物には、かわらけ、火鉢、占瀬戸平椀、青磁蓮弁文碗があり、かわらけは13・15C代、平椀15Cの年代である。

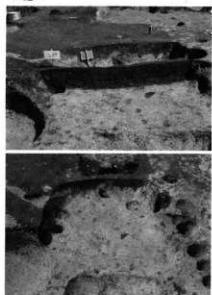
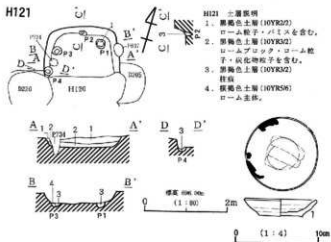
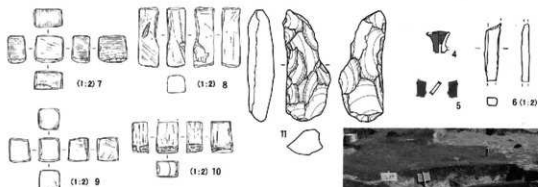
(33) H130号住居址(図版81、第1分冊巻頭図版14)

く58グリッドにあり、D267、単独ピット、攪乱に切られ、H45・H138、D275・D276・D277・D296・D408を切る。南北長296cm、東西長228cmの長方形を呈す。壁高は14～22cmを測り、

H120 (Ta18) - H121 (Ta19)



H120 セクション・完掘(南より)

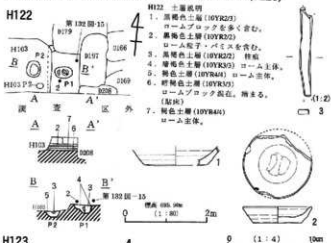


H121 セクション・完掘(南より)

第144図 H120・H121号住居址

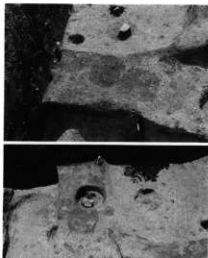
H122 (Ta20) · H123 (Ta21) · H124 (Ta22) · H125 (Ta23)

H122



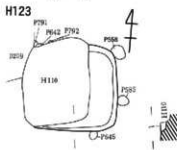
H122 土層説明

1. 高褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを多く含む。
2. 黒褐色土層 (10YR3/2) ローム粒子・バミスを含む。
3. 高褐色土層 (10YR2/2) 柱状。
4. 暗褐色土層 (10YR3/3) ローム主体。
5. 暗褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。
6. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロック散在。雨まる。(腐埃)
7. 暗褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。



H122 ビットプラン(東より)
完掘(北より)

H123



H123 土層説明

1. 高褐色土層 (10YR2/3) ロームブロック・バミスを含む。

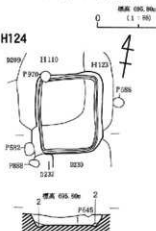


H124 セクション(南より)



H124 完掘(南より)

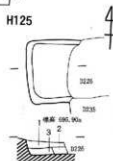
H124



H124 土層説明

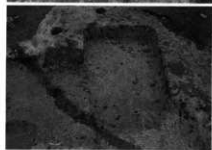
1. 暗褐色土層 (10YR3/4) 細ロームブロックを多く含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/3) 1層より灰色あり。

H125



H125 土層説明

1. 高褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・バミスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR3/2) ローム粒子・細ロームブロックを多く含む。
3. 高褐色土層 (10YR2/2) 2層と同じだが、白っぽい。

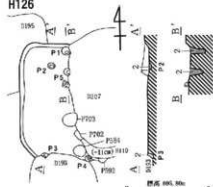


H125 セクション(北より)
完掘(東より)

第145図 H122～H125号住居址

H126(Ta24)・H128(Ta26)・H129(Ta27)

H126



H126 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを少量含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
程度。

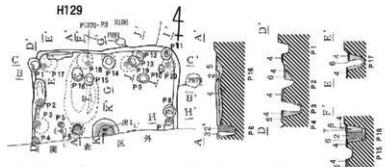
H128



H128 土層説明

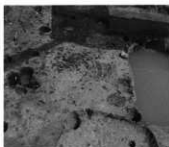
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロック・パリスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロック・パリスを多く含む。

H129

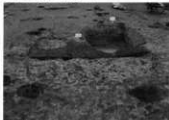


H129 土層説明

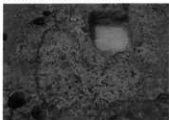
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2) 程度。
3. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
4. 褐色土層 (10YR4/6)
ロームブロック・褐色土ブロック混在。
5. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
6. 褐色土層 (10YR4/6)
ローム主体。(ピット周辺)
7. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームを含まない。
8. 黒褐色土層 (10YR2/2) 程度。
9. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。
10. 黒褐色土層 (10YR2/2)
粉状炭化物・灰を含む。



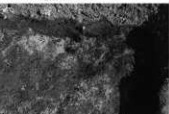
H126 完備(南より)



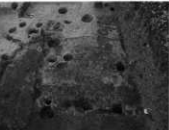
H128 セクション(南より)



H128 完備(南より)



H129 炭化物セクション(北より)



H129 完備(西より)

第146図 H126・H128・H129号住居址

長軸方位はN-5°-Wを指す。柱穴は攪乱に切られて全様は不明であるが3×2間に配され、床面にも柱穴をもつ総柱であろう。柱穴の間隔は近接し、新旧は確認できないが建て替えによるものであろうか。床面上のP13は径28cm、深さ12cmの穴に、礎石を置く。P10は深さ10cmと浅いが、他は長径23~36cm、短径17~30cm、深さ34~48cmと深い。P4とP8はことに深く、62・69cmを測る。床面はロームブロックを貼り、締まっている。

出土遺物はかわらけと刷毛がある。南東の床面で、伏せたかわらけの中から、漆の付着した刷毛が出土している。かわらけは大振りで底径が9.8cmを測る。

(34) H131号住居址(図版81)

か59グリッドにあり、H142、D286・D299、攪乱に切られる。南北長441cm、東西長224cmの不整形な隅丸長方形を呈し、壁高1~7cm、長軸方位N-4°-Wを指す。壁に柱穴はなく、中央付近にある。P4は円形の径42cm、深さ29cmのビット堀方に石を入れている。P1・P3・P5は中央で南北に並び、径18~24cm、深さ30~44cmを測る。床は敷きの床で締まっている。

出土遺物には軽石製の凹石がある。

(35) H132号住居址(図版81)

か56グリッドにあり、M19、単独ビット、攪乱に切られる。南北長254cm、東西長330cmの隅丸長方形を呈し、ロームの貼り床がなされる。中央にP3があり、長径66×(41)×33cmを測る。P5(29×25×42cm)・P8(31×30×31cm)が東西にあって深いビットである。他は7~18cmと浅い。

出土遺物は弥生土器片があるのみである。

(36) H133号住居址(図版81)

く60グリッドにあり、D269、P1234、攪乱に切られ、H150、D289を切る。南北長186cm、東西長304cmの長方形を呈し、壁高10~30cmを測り、主軸方位N-75°-Eを測る。床面は敷きの床で締まっている。柱痕はない。

出土遺物は弥生の杯と土製円板である。

(37) H134号住居址(図版81)

え59グリッドにあり、H135、単独ビットに切られ、M17を切る。H135に北を切られ、南北(179)cm、東西長329cmを測り、胴張りの方形基調を呈す。住居の壁外に径28~36cm、深さ27~64cmの7個の柱穴がある。柱穴は120cm間隔にあり、P1485・P1484には楕円形の柱痕があり、径32・24×短径24・16cmを測る。壁内にはビットがなく床面はロームブロックを貼っている。床下は2か所大きく落ち込む。

出土遺物にはかわらけ、山茶碗、内耳、鉄製角釘がある。13・15C年代の遺物である。

(38) H135号住居址(図版81)

え59グリッドにあり、北側は調査区域外である。H134、D290、M17・M20を切る。南北(268)cm、東西長354cmの方形を呈すと思われる。壁高32~56cmを測り、主軸方位はN-3°-Wを指す。柱穴は(2)×2の総柱に配される。柱穴はP4・P9が浅いが他は柱痕をもち、長径27~41cm、短径15~30cm、深さ23~41cmを測る。床はロームによる貼床がなされ、所々締まる。

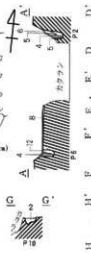
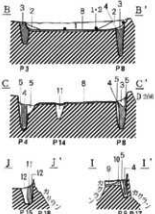
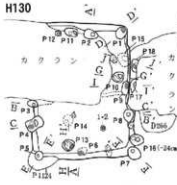
出土遺物は弥生土器片がある。実測資料はない。

(39) H136号住居址(第1分冊巻頭図版15)

き60グリッドにあり、H111・H149、D188・D271に切られ、H142・H150、P1462を切る。南北長234cm、東西長388cmの長方形を呈し、壁高29~47cmを測り、長軸方位N-83°-Eを指す。

H130 (Ta28)・H131 (Ta29)

H130



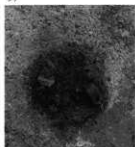
H130 土層説明

1. 暗褐色土層 (10YR3/3) 20cm程度のロームブロックを多く含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2) 1層より厚色強。
3. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム断片を多く含む。
4. 暗褐色土層 (10YR3/3) 粒砂。
5. 褐色土層 (10YR4/6) (ビット磁方)。
6. 暗褐色土層 (10YR3/4) ロームブロック・黒色土ブロック混在。
7. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロックを含む。
8. 褐色土層 (10YR4/6) (磁石)。
9. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロックを多数に含む。腐葉あり。
10. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロックを含む。
11. 暗褐色土層 (10YR3/3) 粒砂。
12. 褐色土層 (10YR4/6)

縮尺 20.0m (1:80) 2m



H130 P12セクション(北より)



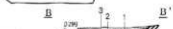
H130 2漆刷毛(南より)



H130 穴掘(北より)



H130 堀方(北より)



H131 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム断片・パミミを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2) 粒砂。
3. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロックを多数に含む。

縮尺 20.0m (1:80) 2m

H131



H131 I区セクション(東より)



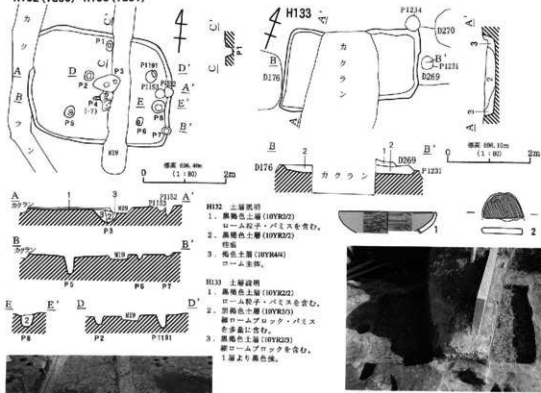
H131 穴掘(東より)



0 (1:4) 10cm

第147図 H130・H131号住居址

H132 (Ta30)・H133 (Ta31)



第148図 H132・H133号住居址

H111と重なり、大半を切られ柱穴が残る。柱穴は3×2間の総柱に配され、P6(49×28×40cm)・P9(34×32×36cm)が棟持ち柱であろう。他は長径20~31cm、短径17~28cm、深さ13~19cmを測る。
出土遺物はない。

(40) H137号住居址(図版81)

か57グリッドにあり、単独ビット・攪乱に切れられ、H45、P425・P1426を切る。南北(350)cm、東西長316cmの長方形を呈す。壁高は9~14cmを測り、長軸方位N-2°-Wを指す。柱穴は3×2間の総柱に配され、桁行き328cm、梁間240cmで、桁行柱間164cm、梁間柱間80cmを測る。柱穴は方形基調で、長径20~33cm、短径18~29cm、深さ25~53cmを測る。床面は締まっている。P14・P15は円形で、長径34・27cm、深さ31cmのビットで、付属施設のビットであろう。

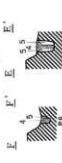
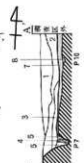
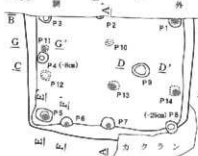
出土遺物は鉄製の刀子と角釘がある。

(41) H138号住居址(第1分冊巻頭図版17)

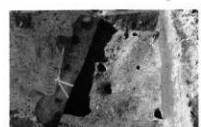
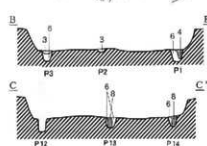
き57グリッドにあり、H130、D266・D277・D279、P1250・P1251と攪乱に切れられ、H45、D294を切る。南北長394cm、東西長327cmの長方形を呈し、壁高7~29cmを測り、長軸方位N-9°-Wを測る。柱穴は2×3間に配され、床面のビットは大半が攪乱に壊されるため不明。桁行き336cm、梁間270cm、桁行柱間168cm、梁間柱間90cmである。柱穴はP1~P3に柱痕が残る。ピツ

H134 (Ta32)-H135 (Ta33)

H135

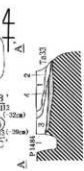
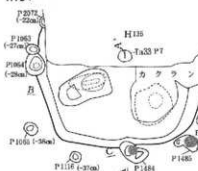


- H135 土層説明**
1. 褐色土層 (10YR2/1) ローム粒子・小石を含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/2) コーム粒がローム粒子を多く含む。
 3. 黒色土層 (10YR2/1) 2層より新ロームブロックが少ない。
 4. 暗褐色土層 (10YR3/3) 柱状。
 5. 褐色土層 (10YR4/5) ローム主体。
 6. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロックを多数を含む。
 7. 暗褐色土層 (10YR3/3) コームによる凝結。泥々結まる。
 8. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱状 (床下ピット)

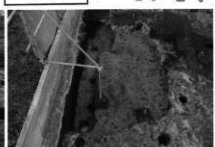
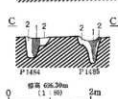
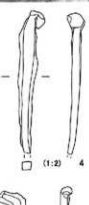


H135 東方(東より)

H134



- H134 土層説明**
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・パリスを含む。
 2. 暗褐色土層 (10YR3/3) コーム粒子を多数含む。
 3. 黒褐色土層 (10YR2/2) 土層より褐色強。ローム粒子・パリスを含む。
 4. にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) ローム主体 (堀方)
- F1484・1485 土層説明**
1. 褐色土層 (10YR2/1) 柱状
 2. 褐色土層 (10YR4/6) コーム主体。



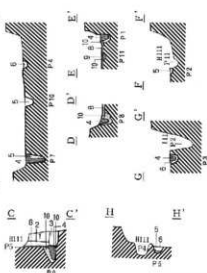
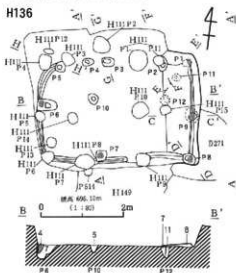
H134 西区セクション(西より)

H134 完照(西より)

第149図 H134・H135号住居址

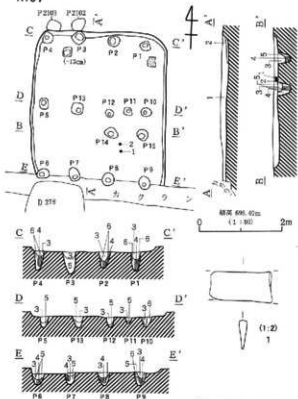
H136 (Ta34)・H137 (Ta35)

H136

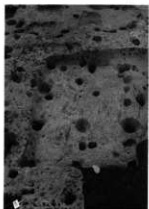


- H136 土層説明
1. 暗褐色土層 (10YR2/3) ロームブロック・ローム粒子・バミスを含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR3/2) 1層より粗ロームブロックを含む。
 3. 黒褐色土層 (10YR2/2) 粗ロームブロック・バミスを含む。
 4. 暗褐色土層 (10YR2/3) 付着。
 5. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロックを含む。
 6. 褐色土層 (10YR4/4) ローム上付。
 7. 褐色土層 (10YR4/4) ロームブロック付着。
 8. 褐色土層 (10YR4/4) ロームによる粘床。
 9. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを含む。
 10. 暗褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを含む。
 11. 暗褐色土層 (10YR3/4)

H137



- H137 土層説明
1. 暗褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・バミスを含む。
 2. 暗褐色土層 (10YR2/2) 1層より赤色強。
 3. 黒色土層 (10YR2/1) 付着。
 4. 暗褐色土層 (10YR3/3) 褐色土層 (10YR4/4) 付着。
 5. 褐色土層 (10YR4/4) ローム上付。
 6. 暗褐色土層 (10YR2/3) ロームブロック・暗褐色土層付着。



H136 堀方(西より)



H137 完掘(西より)

第150図 H136-H137号住居址

ト堀方は長径17~36cm、短径9~28cm、深さ20~41cmを測る。床面はロームを貼り、締まっている。南壁を除いて、周溝が廻っている。

出土遺物には古瀬戸平碗が出土する。年代は14C末～15C前半のものである。

(42) H139号住居址(図版82)

き56グリッドにあり、D279・D280・D283、M19、複乱に切られ、H45、D297を切る。南北長317cm、東西長305cmの隅丸方形を呈し、壁高11～40cmを測り、長軸方位N-11°-Wを指す。柱穴が2×2間の総柱に配される。柱穴が隣接し、堀方にも新たな柱穴があり、建て替えが行われている。柱穴からは柱痕が良好に看取される。柱穴はP1～P3・P5・P7・P8・P15・P20の桁行264cm、梁間224cmで、桁行柱間132cm、梁間柱間112cmを測る。南北棟で、P2・P8は棟持ち柱である。床面には漆の皮膜と炭化物範囲がみられる。炭化物はコナラ属コナラ亜属コナラ節と分析されている。出土遺物にはかわらけ、茶釜、播鉢がある。播鉢は13C代、かわらけ、茶釜は15C代である。

(43) H140号住居址(図版81)

く56グリッドにあり、南は調査区域外、D287、単独ピット、複乱に切られ、D285、P1416・P1417を切る。南北(248)cmを調査し、東西長236cmを測り、方形基調である。柱穴は(2)×2間に配され中央は礎石が置かれ、総柱である。桁行(232)cm、梁間200cm、桁行柱間116cm、梁間柱間100cmを測る。柱穴は柱痕が見られ、長径20～42cm、短径18～40cmを測る。深さはP4が浅く13cm、他は28～44cmを測る。北東には、かであらうか、円形で径30cm、深さ12cmの落ち込みがあり、周囲も含め炭化物層がみられる。炭化物の炭化材はコナラ属コナラ亜属コナラ節・ケンボナシ属と分析されている。床面はローム主体層が貼られ締まっている。

出土遺物には火鉢、砥石がある。混入品としては灰釉丸碗がある。火鉢は15C中ごろのものである。砥石は長さ2.5～5.0cmに切断され、端面に凸の磨面がある。

(44) H141号住居址

く52グリッドにあり、D291・D292、単独ピット複乱に切られ、H47、単独ピットを切る。南北長216cm、東西長254cmの長方形を呈し、壁高0～12cmを測り、長軸方位N-89°-Eを指す。柱穴はP1～P11である。壁下にあるP1～P4は浅いピット、柱痕の確認できるピットではP10が長径25cmで最大である。

出土遺物は弥生の土器片のみである。

(45) H142号住居址(図版82、第1分冊巻頭図版14)

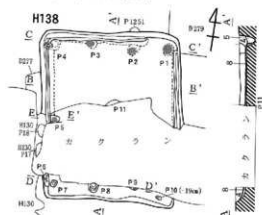
か60グリッドにあり、H108・H111・H136、D272・D286複乱に切られ、H46、D299・D300、P1456・P1462を切る。南北長210cm、東西長327cmの長方形を呈し、壁高26～44cmを測り、長軸方位N-83°-Wを指す。柱穴は床面の中央に東西方向にP1～P3がある。柱穴は長径31～32cm、短径24～30cm、深さ29～41cmを測る。P2の床下には、D1があり、長径80cm、短径62cm、深さ67cmの楕円形の土坑である。重複するH46の貯蔵穴の可能性もある土坑である。他に南壁にP4が半分残る。床面はロームを貼り締まっている。床面から漆の皮膜、南壁のP4の側から漆刷毛が出上している。

出土遺物にはかわらけ、漆刷毛、砥石、弥生土器がある。かわらけは13C代と15C代のものである。

(46) H143号住居址(図版82)

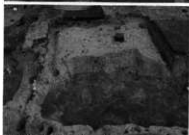
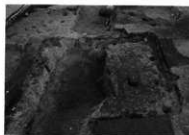
く50グリッドにあり、南は調査区域外、P1285～1288に切られ、D295、M16を切る。南北(146)cmを調査し、東西長395cmの方形基調を呈し、壁高20～39cm、主軸方向N-5°-Wを指す。柱穴は2×(1)間の総柱に配される。柱痕があり、P3(楕円形、長径23×短径19cm)・P2(円形、長径12×短径10cm)である。ピット堀方は長径30～46cm、短径25～43cm、深さ22～62cmを測る。

H138 (Ta36) - H140 (Ta38)

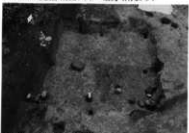


H138 土層説明

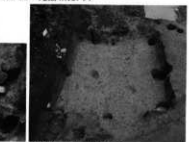
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・パミスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロックを多量に、パミスを含む。
3. ロームブロック。
4. 褐色土層 (10YR2/1) ロームブロック・パミスを含む。跡残りあり。
5. 黒褐色土層 (10YR2/1) ロームブロックを含む。(剥離)
6. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱痕
7. 褐色土層 (10YR4/5) ローム主体。
8. 褐色土層 (10YR4/4) (柱痕)
9. 黒褐色土層 (10YR2/2) 黒い土。



H138 完掘(東より)・掘方(南より)



H140 完掘(東より)



H140 掘方(東より)

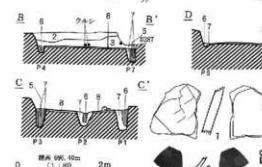
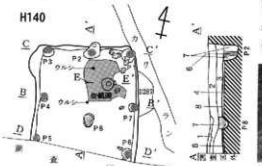
H140 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・パミスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・パミスを含む。
3. 緑褐色土層 (10YR3/3) ロームブロックを多く含む。
4. 柱痕
5. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱痕
6. 褐色土層 (10YR4/4) 柱痕
7. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。
8. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。(柱痕)
9. 黒褐色土層 (10YR2/2) 炭化物などを多量に含む。



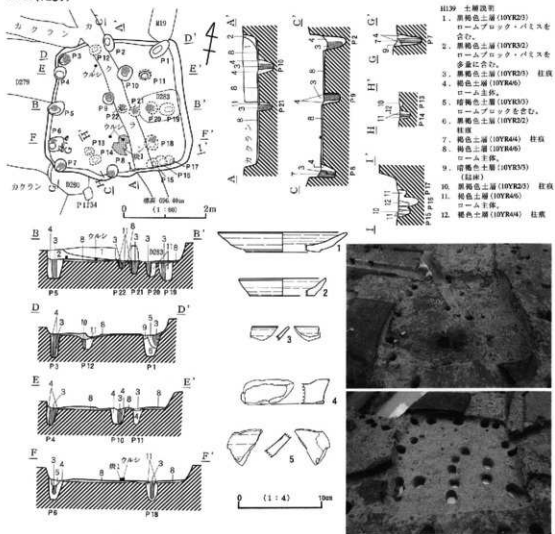
H140 I区横群(東より)

H140 掘方(東より)



第151図 H138・H140号住居址

H139(Ta37)



H139 完圖(南より)・掘方(東より)

第152図 H139号住居址

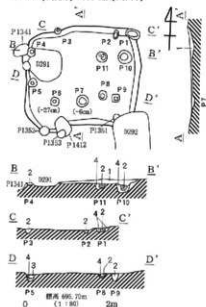
床面はロームが貼られ、締まっている。

出土遺物にはかわらけと火鉢がある。かわらけは口縁に煤が付着しており、灯明皿として利用されたものであろう。15Cのものである。

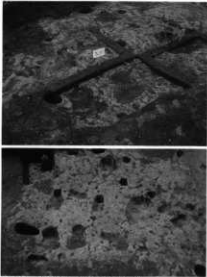
(47) H144号住居址

き58グリッドにあり、D282・D284、単独ピットに切られ、H45、D296・D408を切る。南北長224cm、東西長176cmの長方形を呈し、壁高は11~19cmを測り、長軸方位N-2°-Eを指す。柱穴は壁柱、壁下であり、2×2間に配されるであろうが、南西隅と東壁中央にはない。P1~P4は柱痕があり、ピット堀方は長径25~30cm、短径21~27cm、深さ34~68cmを測る。床面は黒色土ブロックを含む土を貼る。

H141 (Ta39)・H142 (Ta40)

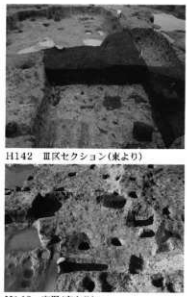
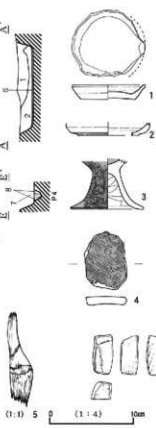
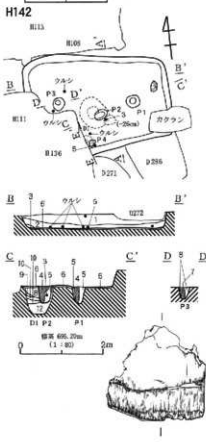


- H141 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム腐壊・パミスを含む。黒褐色土 (10YR2/3) に近い。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/2) 住痕
 3. 黒褐色土層 (10YR2/3) 住痕
 4. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。



H141 セクション・完掘(北より)

- H142 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム腐壊・パミスを含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/3) ローム腐壊を多く、パミスを含む。
 3. 黒色土層 (10YR3/1) ローム粒子・パミスをわずかに含む。
 4. 黒褐色土層 (10YR2/2) 住痕
 5. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。
 6. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。(追記)
 7. 黒褐色土層 (10YR2/3) 住痕
 8. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。
 9. 黒褐色土層 (10YR2/2)
 10. 暗褐色土層 (10YR3/3) シルト質土。
 11. 褐色土層 (10YR1/3)
 12. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。



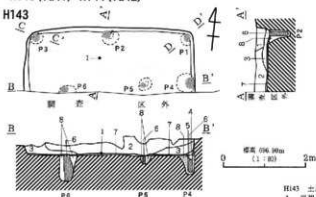
H142 III区セクション(東より)

H142 完掘(南より)

第153図 H141・H142号住居址

H143 (Ta41) - H144 (Ta42)

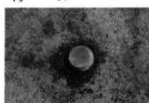
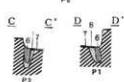
H143



H143 完顔(北より)



H143 堀方(西より)



H143 1かわらけ(西より)

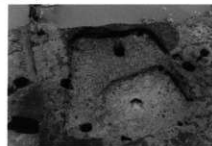
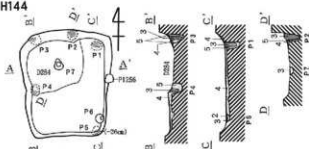


H143 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを極多量に含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを多く含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを含む。
4. 黒褐色土層 (10YR2/2) 3層よりロームブロックを含む。
5. 暗褐色土層 (10YR2/1) ロームブロックを含む。
6. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱床
7. 褐色土層 (10YR4/4) ロームよりなる柱床。
8. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
9. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを含む。

0 10cm (1:4)

H144



H144 完顔・堀方(北より)



H144 土層説明

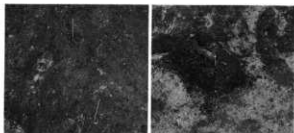
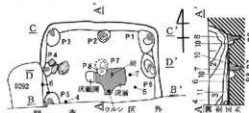
1. 褐色土層 (10YR4/4) ロームブロックを極多量に含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粘土・パミスを含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/3) 柱床
4. 褐色土層 (10YR4/4) 黒色土ブロックを含む。(柱床)
5. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。

0 2m (1:40)

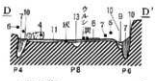
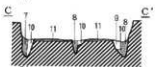
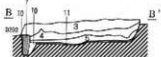
第154図 H143・H144号住居址

出土遺物は弥生の土器片のみである。

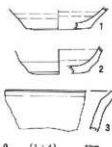
H145 (Ta43) - H146 (Ta44)



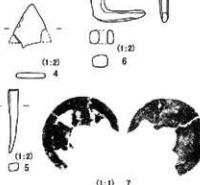
H145 7 渡来銭+5角釘(北より) H145 6角釘(北より)



縦高 69L 70m
(1:80) 2m



0 (1:4) 10mm

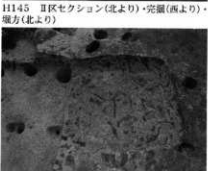


H145 土層説明

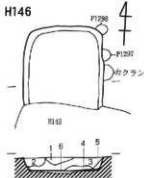
1. 褐色土層 (10YR4/4) ロームブロック主体
2. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを多量に含む。
3. 赤褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを少量に含む。
4. 黒褐色土層 (10YR3/3) ロームブロック・パミスを含む。
5. 赤褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック

・パミス・炭化物・灰を含む。

5. 灰層
7. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱痕
8. 赤褐色土層 (10YR3/3) 柱痕
9. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロック・パミスを含む。
10. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
11. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。(加刷)



H145 II区セクション(北より)・完観(西より)・境方(北より)



H146 土層説明

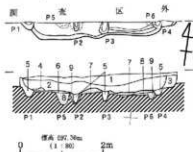
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・パミスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームブロック・パミスを含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・パミスを極多く含む。
4. 黒色土層 (10YR2/1) ロームブロック・パミスを含む。
5. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロック・パミスを含む。
6. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体・ロームブロック主体。

縦高 69L 70m
(1:80) 2m

H146 完観(東より)

第155図 H145・H146号住居址

H147 (Ta45)



H147 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パミスをおおむね含む。
2. 赤褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロック・パミスを含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロックを多量に含む。
4. コームブロック
5. 赤褐色土層 (10YR2/2) 砂粒
6. 赤色土層 (10YR3/1) (粘土)
7. 褐色土層 (10YR4/6) コーム主体。
8. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロック・パミスが多量に含む。
9. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ローム粒子を多量に含む。



H147 完掘(西より) H147 堀方(東より)

第156図 H147号住居址

(48) H145号住居址(図版82)

く52グリッドにあり、南は調査区域外で、D292、P1349・1350に切られ、H47・H146を切る。南北(174)cmを調査し、東西長260cmの方形基調を呈し、壁高12~49cmを測り、主軸方位N-3°-Wを指す。柱穴は2×(2)間に配される。東西柱間120cm、南北柱間80cmを測る。柱穴は堀方で長径32~63cm、短径22~37cm、深さ30~52cmを測る。床面には漆の皮膜、炭化材と炭化物屑と灰がある。炭化材はブナ属と分類される。床面はローム主体土を貼る。

出土遺物にはかわらけ、内耳、鉄鍬、角釘、渡来銭がある。かわらけ・内耳は15C代のものである。

(49) H146号住居址

く52グリッドにあり、H145、P1297・P1298、攪乱に切られ、H47を切る。H145に切られ、南北(180)cm、東西長172cm、壁高23~34cmを測り、主軸方位N-4°-Wを測る。底面は平坦で、ローム主体土の貼床がある。

出土遺物はない。

(50) H147号住居址

う41グリッドにあり、北側は調査区域外、M16を切る。南北(36)cmを調査した。東西長336cm、壁高5~12cmを測る。長軸方位はN-84°-Eを指す。南壁下には柱穴が4個あり、堀方で径24から30cm、深さ15~23cmを測る。床はロームと黒色土を貼っている。堀方からも柱穴が検出される。

出土遺物は弥生土器片である。

(51) H149号住居址(図版82、第1分冊巻頭図版14・17)

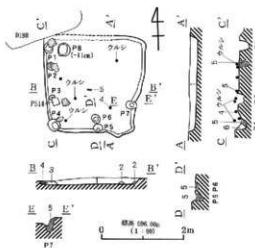
き60グリッドにあり、D188、P514に切られ、H111・H112・H136、D271・D290、単独ピットを切る。南北長224cm、東西長216cmの方形を呈す。東西を別けて調査し、図面で接合している。東壁からは壁下にピットを検出したが、北東は重複する遺構があり、検出仕切れていない。柱穴は長径14~31cm、短径12~27cm、深さ22~26cmを測る。床面からは漆の皮膜が3か所あり、南東床面から筒状の漆製品が出土した。

出土遺物にはかわらけ、内耳、古瀬戸直縁鉢、磁石と筒状漆製品である。遺物の年代は15C代のものである。筒状品は残長(9.7)cm、径2.3cmを測り、朱漆が塗られている。笛の一部ともみられるが確認はない。

(52) H150号住居址

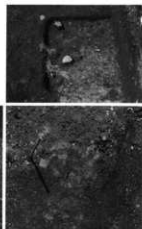
き59グリッドにあり、H133・H136・H149、D269・D270・D271・D288・D289に切られる。南北長144cm、東西(348)cmの隅丸長方形を呈す。壁高は6~13cm、長軸方位N-89°-Eを指す。

H149



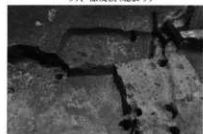
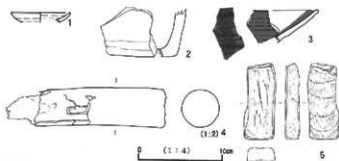
H149 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ローム粒子・パリスを含む。
2. 褐色土層 (10YR4/6)
ロームブロック。
3. ローム。
4. 黒褐色土層 (10YR2/3)
5. 黒褐色土層 (10YR2/3) 柱痕
6. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロックも含む。

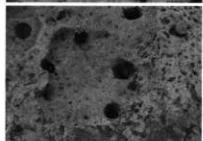
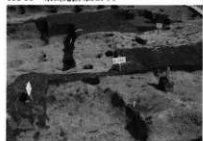


H149 4間状漆製品(北より)

H149 西側遺物出土状況(南より)、漆皮類(北より)

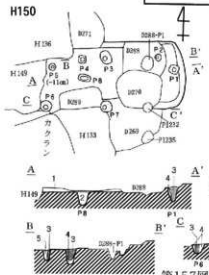


H149 東側完胴(西より)



H150 セクション(南より)・完胴(東より)

H150



H150 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロック・パリスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロック・パリスを多く含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/2)
柱痕
4. 褐色土層 (10YR4/6)
ローム主体。
5. 黒褐色土層 (10YR2/3)
ロームブロックを含む。

第157図 H149・H150号住居址

柱穴はP2・P3・P5とP6・P7・単P1232が桁行きで、桁行柱間120cm、P1(24×23×25cm)は榎持柱であろう。柱穴は長径17~33cm、短径15~28cm、深さ11~38cmを測る。

出土遺物は弥生土器片のみである。

第2節 掘立柱建物址

(1) F1号掘立柱建物址

き84グリッドにあり、H19・H23(弥生後期)を切る。2×2間の側柱である。桁行3.44m×梁間3.2m、桁行柱間1.72m、梁間柱間1.6mを測る。長軸方位はN-7°-Wを指す。柱穴はP2・P6が円形で、(26・27×23・24×25・34cm)と小規模である。他は円形で、長径31~59cm、短径30~49cm、深さ22~78cmを測る。出土遺物はP3から土師器破片が出土している。

(2) F2号掘立柱建物址

く87グリッドにあり、重複関係はない。2×2間の総柱である。桁行3.6m×梁間3.2m、桁行柱間1.8m、梁間柱間1.12mを測る。長軸方位はN-13°-Wを指す。柱穴はP3とP9が小さく円形で、径40・30cm、深さ13・23cmを測る。他の柱穴も円形で、径52~58cm、深さ25~38cmを測る。出土遺物は土師器裏がP7から出土している。これらより古墳時代後期の掘立であろうか。

(3) F3号掘立柱建物址

か68グリッドにあり、P460に切られ、H31を切る。2×1間の側柱で、桁行4.08m×梁間2.6m、桁行柱間2.04m、梁間柱間2.6mである。長軸方位N-87°-Wを指す東西棟である。柱穴は円形で、径31~44cm、深さは中間のP2・P5が浅く27・28cm、他は65~84cmを測る。

出土遺物は弥生土器片があるが混入品である。

(4) F4号掘立柱建物址

く67グリッドにあり、D163・D164に切られ、D171、P996・P1052を切る。2×2間の総柱で、桁行4.0m×梁間3.6m、桁行柱間2m、梁間柱間1.8mである。長軸方位はN-86°-Eを指す。柱穴は楕円形で、長径36~56cm、深さ27~42cmを測る。同位置に重複する柱穴があり、建て替えられている。

出土遺物は弥生土器と古墳時代の土師器がある。中世の土坑に切られていることから中世かそれ以前の掘立である。

(5) F5号掘立柱建物址

お63グリッドにあり、P498、攪乱に切られ、H40、D178、P532・P840を切る。3×1間の側柱で、桁行き5.4m×梁間2.8mを測り、桁行柱間1.8m、梁間柱間2.8mを測る。長軸方位N-86°-Eを指す。柱穴は円形で、長径60~79cm、深さ13~23cmを測る。掘立に関係するのかわからないがP9からは青磁碗の破片が出土する。

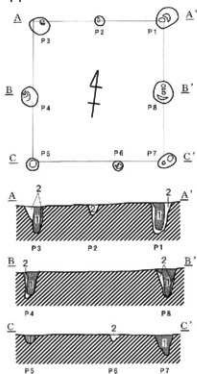
(6) F7号掘立柱建物址

え42グリッドにあり、攪乱に切られ、H49(弥生後期)を切る。3×2間の側柱で、桁行4.8m、梁間4.0mを測る。桁行柱間1.6m、梁間柱間2.0mである。長軸方位はN-77°-Eを指す。柱穴は長径57~84cm、深さ25~40cmを測る。出土遺物は弥生土器片がある。

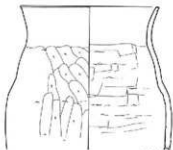
(7) F8号掘立柱建物址

え42グリッドにあり、北列は畝状の攪乱に切られ、わずかに残る。H49(弥生後期)、P1617を切る。3×2間の側柱で、桁行3.36m、梁間3.04m、桁行柱間0.92m、梁間柱間1.52mを測る。柱穴は円形と隅丸長方形で、梁間の中間のピットはP9が9cm、P4が15cmと浅い。他は長径45~70cm、深さ35~51cmを測る。出土遺物は弥生の土器片がある。

F1



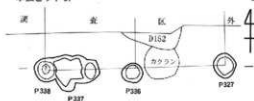
標高 695.780m
(1 : 80)
0 2m



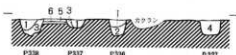
F 2-1

0 (1 : 4) 10m

単独ピット群

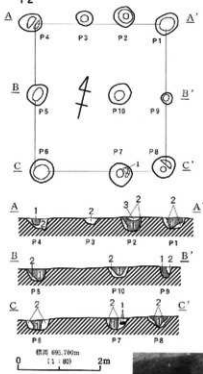


お 87
か 88



標高 695.780m
(1 : 80)
0 2m

F2



標高 695.780m
(1 : 80)
0 2m

F1 土層説明
1. 赤褐色土層(10YR2/2) 柱重。
2. 赤褐色土層(10YR2/2)
ロームブロック状。

F2 土層説明

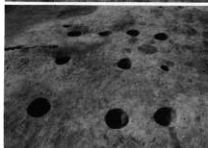
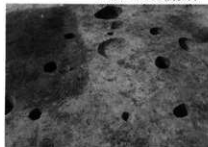
1. 褐色土層(10YR4/1) 柱重。
2. 黄褐色土層(10YR5/3) ローム主体。
3. ローム。

単独ピットP327、P336～338 土層説明

1. 暗褐色土層(10YR3/3)
2. 赤褐色土層(10YR2/3)
3. 暗褐色土層(10YR3/4)
ローム較り多量に含れ。
4. 赤褐色土層(10YR2/3)
5. 赤褐色土層(10YR3/3)
6. 褐色土層(10YR4/4)
ローム主体。

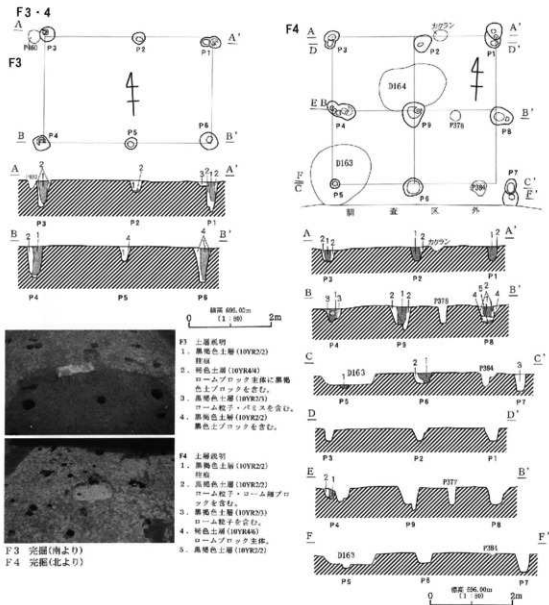


P336～P338(西より)



F1 完断(南より)、F2 完断(南より)

第158図 F1・F2号掘立柱建物址、単独ピット



第159図 F3・F4号掘立柱建物址

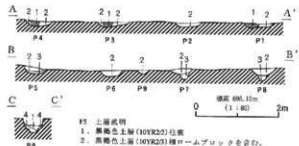
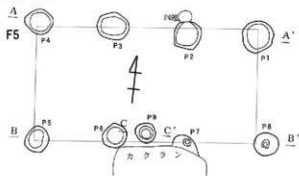
(8) F9号掘立柱建物址

い19グリッドにあり、重複関係はない。3×1間の側柱で、桁行5.64m×梁間2.2mを測り、桁行柱間1.88m、梁間柱間2.2mである。長軸方位N-74°-Eを指す。柱穴は円形で、長径30~42cm、深さ20~32cmを測る。遺物は弥生の土器片がある。

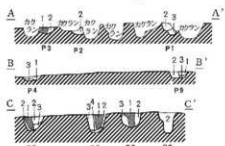
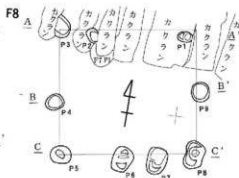
(9) F11号掘立柱建物址

き83グリッドにあり、P115を切る。2×1間の側柱で、桁行3.36m×梁間1.5m、桁行柱間は1.68mである。柱穴は円形で、径22~38cmを測り、深さ24~53cmを測る。出土遺物はない。

F5・7・8



- F5 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/2)柱状
 2. 黒褐色土層(10YR2/3)細ロームブロックを含む。
 3. 暗褐色土層(10YR3/5)ローム粒子を多量に含む。
 4. 褐色土層(10YR4/4)ローム主体。

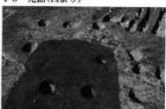
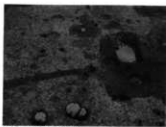
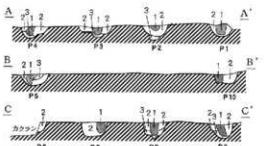
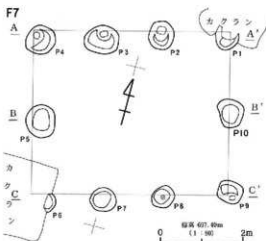


0 横尺 0.10m (1:80) 2m

- F7 土層説明
1. 灰色土層(10YR2/1)柱状
 2. 黒褐色土層(10YR2/2)ロームブロック・パリスを含むが中に灰を含む。
 3. 暗褐色土層(10YR3/5)ロームブロックを多量に含む。

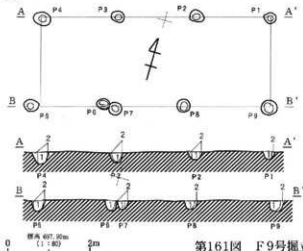
- F8 土層説明
1. 灰色土層(10YR2/1)柱状
 2. 黒褐色土層(10YR2/2)ローム粒子をわずかに含む。
 3. 暗褐色土層(10YR3/5)ロームブロックを多量に含む。
 4. 褐色土層(10YR4/4)ローム主体。

0 横尺 0.10m (1:80) 2m



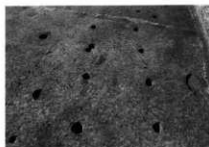
第160図 F5・F7・F8号掘立柱建物址

F9



第161図 F9号掘立柱建物址

- 19 土質説明
 1. 灰色土層 (10YR2/1)
 柱礎
 2. 暗褐色土層 (10YR3/4)
 ローム粒子を多数に含む。



F9 完掘(東より)

(10) F12号掘立柱建物址

け77グリッドにあり、D104、P180を切る。2×1間の側柱で、桁行2.16m×梁間1.4m、桁行柱間1.08mである。長軸方位N-86°-Eを指す。柱穴は方形基調で、一辺20~28cm、深さ28~41cmを測る。遺物はない。

(11) F13号掘立柱建物址

け78グリッドにあり、H6、D59を切る。2×2間の総柱で、桁行3.66m×梁間1.88mを測り、桁行柱間1.8m、梁間柱間0.94mである。長軸方位はN-88°-Eである。柱穴は方形基調で、一辺16~30cm、深さ18~40cmを測る。出土遺物はない。

(12) F14号掘立柱建物址

け77グリッドにあり、D101に切られ、H17、D104・D130を切る。2×1間の側柱で、桁行き5.74m×梁間1.64mを測る。桁行柱間3.58・2.16mである。長軸方位はN-90°である。柱穴は方形基調で、一辺18~32cm、深さ17~51cmを測る。遺物はない。

(13) F15号掘立柱建物址

け78グリッドにあり、H6、D58・D59を切る。3×1間の側柱で、桁行3.36m×梁間1.84m、桁行柱間1.12mである。長軸方位N-71°-Eを指す。柱穴は方形ないし円形で、一辺16~40cm、深さ15~44cmを測る。遺物はない。

第3節 柵列・単独ピット (図版76・83、第1分冊巻頭図版15)

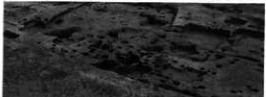
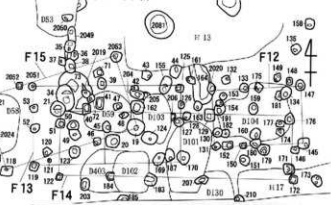
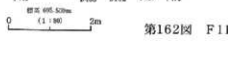
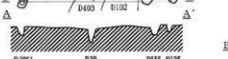
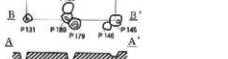
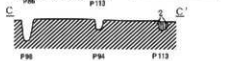
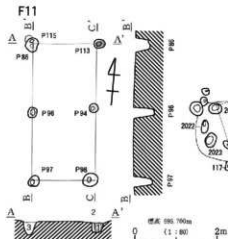
(1) 柵列1 (第163図)

け82グリッドにあり、M2のプラン内にあり、方向が一致している。N-77°-E方向に並ぶ。柱穴の規模・間隔は一定ではない。

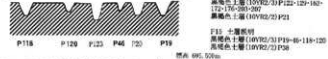
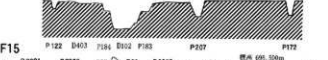
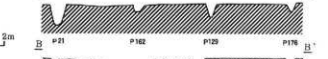
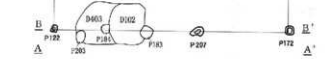
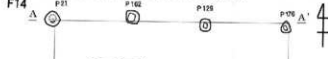
(2) 柵列2 (第163図)

け77グリッドにあって、N-70°-E方向に並び、ほぼ同一の覆土である。柱穴の間隔は一定で (P173に続く)

け77～79グリッドピット群

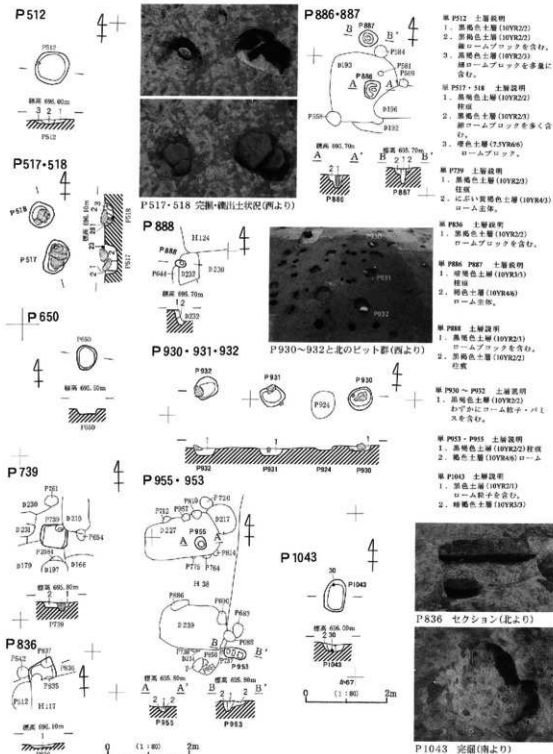


F12～15・け77～79グリッドピット群(南より)



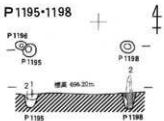
- F11 土層説明
 1. 黒褐色土層(10YR2/2)
 2. 暗褐色土層(10YR2/3)
 3. 黒褐色土層(10YR2/2)
 黒褐色土層(10YR2/2)P94-96-97-98
- F12 土層説明
 黒褐色土層(10YR2/2)P131-145-147-170-181
 暗褐色土層(10YR2/3)P129
- F13 土層説明
 黒褐色土層(10YR2/2)P30-62-119-125-150
 黒褐色土層(10YR2/2)P10
 暗褐色土層(10YR2/3)P127
 褐色土層(10YR4/4)P169
- F14 土層説明
 黒褐色土層(10YR2/2)P122-129-162-172-176-203-207
 黒褐色土層(10YR2/2)P21
- F15 土層説明
 黒褐色土層(10YR2/2)P118-119-120-122-129-162-172-176-203-207
 黒褐色土層(10YR2/2)P36

第162図 F11～F15号掘立柱建物址



第164図 単独ピット(1)

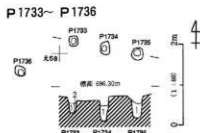
P1195~1198



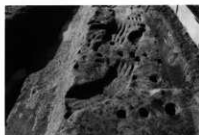
P1261



P1733~ P1736

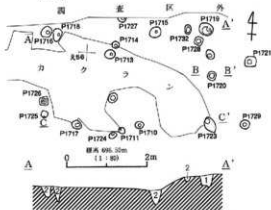
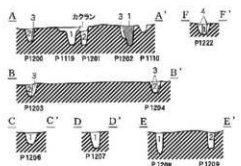


P1710~1732

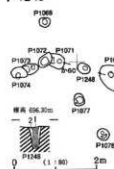


P1710~1732ピット群(東より)

お57・58グリッドピット群
(P1119~1229)



P1248



P1250



単 P1195・1198 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR3/2) 柱状
2. 暗褐色土層 (10YR3/4) ローム
- 1 層よりローム粒子を含む。
3. 褐色土層 (10YR4/4) ローム
4. 暗褐色土層 (10YR3/5)

単 P1119・1200 ~ 1204・1206 ~ 1209・1222

- 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR3/2) 柱状
 2. 黒褐色土層 (10YR3/2)
 - 1 層よりローム粒子を含む。
 3. 褐色土層 (10YR4/4) ローム
 4. 暗褐色土層 (10YR3/5)

単 P1248 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR3/2) 柱状
2. 暗褐色土層 (10YR3/5) ローム粒子を含む。

単 P1250 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱状
2. 黒褐色土層 (10YR3/2) ロームブロック・バミスを含む。

単 P1261 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/3)
2. 暗褐色土層 (10YR3/5)

単 P1733 ~ 1735 土層説明

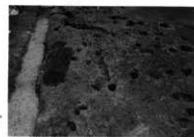
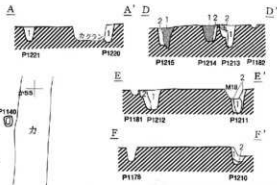
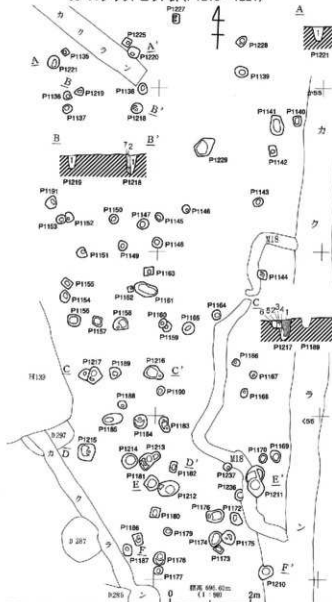
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
2. 褐色土層 (10YR4/4)

単 P1710・1715 ~ 1728・1732・1733 土層説明

- 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/1)
 2. 黒褐色土層 (10YR2/2)

第165図 単独ピット(2)

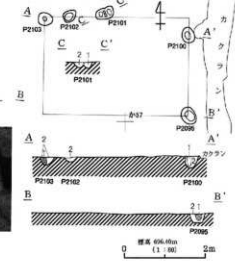
55・56グリッドビット群(P1210～1221)



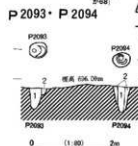
55・56ピット群(北より)

- ※ P2093・2094 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱状
 2. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロックが多量に混在。
- ※ P2091・2100～2103 土層説明
1. 黒色土層 (10YR2/1) 腐植
 2. 黒色土層 (10YR2/1) ローム粒子・パミスを含む。
 3. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロックを多量に含む。
- ※ P1210～P1221 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱状
 2. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子を含む。
 3. 高褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子を含む。
 4. 暗褐色土層 (10YR3/4) ローム粒子主体。
 5. 黒褐色土層 (10YR2/2)
 6. 暗褐色土層 (10YR3/4)
 7. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。

か57グリッドビット群



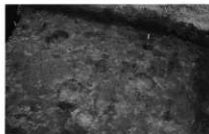
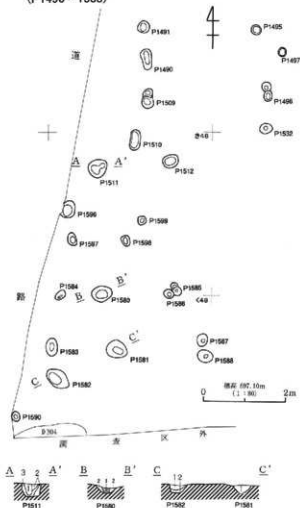
か57ピット群(西より)



か57ピット群(西より)

第166図 単独ピット(3)

き48グリッドビット群
(P1490～1588)



＜48グリッドP1580～1584ビット群(東より)

P1591・1592



※ P1511 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) 柱痕
2. 赤褐色土層 (10YR2/2) コームブロックを含む。
3. 褐色土層 (10YR3/4) コームブロック上体。

※ P1590 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/2) 柱痕
2. 暗褐色土層 (10YR3/4)

※ P1581 P1582 土層説明

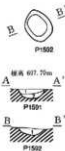
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) コームブロックを含む。
2. 赤褐色土層 (10YR2/1)

※ P1591 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) コーム粒子・バミスを含む。
2. 褐色土層 (10YR4/4) コームブロック・バミスを主体。

※ P1592 土層説明

1. 暗褐色土層 (10YR3/4) コーム粒子・バミスを多数に含む。



第167図 単独ビット(4)

はない。

(3) 柵列3(163図)

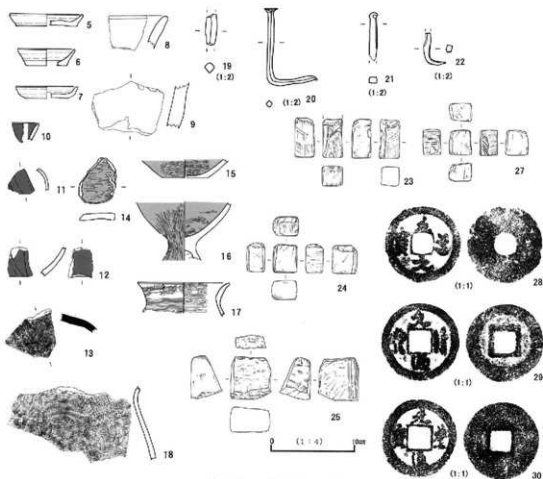
け78グリッドにあり、N-86°-E方向に並ぶ。け80グリッドのP2004から西は1.6m間隔になっているが東の柱間は様々である。

(4) 柵列4(全測図参照)

＜64グリッド～＜70グリッドまでP783・877・H129P1・H129P4・P1022・P1017・P1016・F4P8・F4P9・F4P4・P1005・P368・P486に渡る23mが一直線である。柱間は192cmを測る。いずれも円形で、径30～45cm、深さ24～53cmを測る。柱痕が明瞭である。

(5) P517・P518(第164図・168図)

お64グリッドにあり、P517(61×56×35cm)・P518(62×60×23cm)の円形と隅丸長方形のビットである。ともに礎がビットの中にあり、柱当りが看取される。P518から渡来銭の「至道元寶」が出土する。



第168図 単独ピット(5)

(6) P650(第164図)

く63グリッドにあり、P650(61×49×14cm)は楕円形の浅いピットである。覆土内から天目茶碗の口縁部片が出土し、赤色の物質が付着していた。分析の結果赤色物質は水銀朱と分析された。

(7) 61～65グリッド単独ピット群(全測図参照)

ピットが最も密集するのは、き・く61～65グリッドである。規模や形態から抽出を試みたが、数量の多さと他遺構との重複のために、掘立柱ないし柱列を組むことはできなかった。単独ピットは密集する土坑群と同じ20×8m範囲にあり、南に続くようである。周囲の竪穴建物跡にはピットが集中していない。ピット群と土坑群を囲むように竪穴建物跡がある。

(8) 57～58グリッドピット群(第165図)

お57グリッドにあって、柱の位置は整然とはしていないが6×3mの長方形プランで東西棟にピットが配される。何らかの建物が想定される。

(9) 55～56グリッドピット群(第166図)

か55グリッドで、6×2mの南北棟に柱穴が見られる。何らかの建物が想定される。

(10) 77～79グリッドピット群(第162図)

け77～79グリッドにかけてピットが密集する。竪穴建物址の南にあり、土坑群と重なっている。方形の柱穴形態が目立つ。

第4節 土坑

1. 弥生時代後期

(1) D261号土坑(第102図、第1分冊巻頭図版11)

か66グリッドにあり、H34(古墳)・H105(中世)、P909に切られ、H36(弥生後期)を切る。長軸長174cm、短軸長(142)cmの円形で、深さ78cmを測る。覆土は黒褐色土層。底面から4・5の赤色塗彩の壺2点が出土した。

4は口縁を欠損し、高さ28cmを測る。胴下部が膨らんで下部は屈曲して底部に窄まる。5は単純に外反する口縁で、高さ35.8cmを測る。4ほどではないが胴下部が膨らみ、下部はややこけて底部に窄まる。4・5ともに頸部に文様が施文されず、赤色塗彩される。

(2) D263号土坑(第103図、第1分冊巻頭図版11)

お65グリッドにあり、H35(弥生後期)に切られ、H41(弥生後期)を切る。長軸長162cm、短軸長122cm、深さ161cmを測り、楕円形を呈す。覆土は黒褐色土層である。壺3個体が出土し、上から3・1・2の順に出土する。

1の壺は高さ10cmの小壺で、粘土の輪積み痕が残る。外面ミガキ赤色塗彩される。2は高さ24.2cmで、口縁が単純に外反する。頸部に櫛形横線文が3段施文される。胴中位下に外縁をもって直線的に窄まる。3の壺は残存26.2cmを測り、口縁が欠損している。胴部形は無花果形で、細長く胴下部に緩やかな外縁をもち、直線的に底部に窄まる。頸部に文様はなく赤色塗彩される。

2. 中世

遺物図版は第1分冊巻頭15～17、図版83～90に掲載。

検出した土坑の縄文時代がすべて判明する資料には欠けるものの、耕作上付近の遺構や攪乱に近世陶磁器の混入はあるが、遺構上面に近世・近代の遺物が見られないことから中世の土坑として分類を試みる。

分類して分かったことは、規模1.の長軸65cm未満はピットとしている場合もあり、数量は不明確である。長軸が170cm以上のIA4、IB4・5は竪穴状遺構・竪穴建物址としているものとかなり変りないものである。また、逆に細長い竪穴状遺構のID4、IC4になるものは土坑として分類されるべきものも含む。両者が混同し、不明瞭である。また長方形のIB3とIC3との形態差はそれほど顕著ではなく近いもので同一に分類してよいようである。

(1) 73～99グリッド上坑群

土坑139基のうち、矩形基調が83%、円形基調が17%と矩形基調が大半である。矩形基調の中では長方形が83%を占める。(2)の土坑群と異なるのはIC4の細長い長方形の土坑が多い。

IAの方形土坑は90cm未満のものはなく、IC4の90～170cm未満のものが最も多い。

この土坑群からは羽口と鉄滓が出土している。

IC4

D70 き76グリッドにあり、円形の礫群の下に長方形の土坑が設けられている。礫群は径220cm範囲に大小の礫が一面に敷かれている。320×112cm、深さ68cmの長方形の土坑が接続している。特殊な用途のものであろう。礫の中には凹石や石鉢などの石製品と常滑甕片が礫材として使用される。また検出時にかわらけ、須恵質の溜鉢、内耳、灰釉瓶子、羽口を出土する。14・15Cの遺物である。

ID5

D91 <75グリッドにあり、388×264×51cmを測り、底面が平坦な竪穴状遺構ともいえるもの

グリッド73～99 土坑形態分類表(1)

形態	長軸/短軸	規模(長軸)
I. 方形	A. 0.9~1	1. 65cm未満
II. 円形	B. 1~1.5	2. 65~90cm
III. 不整形	C. 1.5~2	3. 90~170cm
	D. 2~	4. 170~250cm
		5. 250cm以上

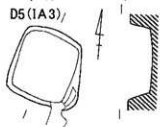
IA3	方形(1~0.9)で長軸90~170cm	5・8・29・55・58・59・60・66・71	9
IA4	" 長軸170~250cm	67・78・79・116	4
IA5	" 長軸250cm以上	90・100・107	3
IB3	やや長方形(0.9~1.5)で長軸90~170cm	2・9・10・12・21・31・34・61・63・73・76・82・102・120・121・131・133・141・146・403・407	21
IB4	" 長軸170~250cm	1・17・23・25・32・64・84・99・104・406	10
IB5	" 長軸250cm以上	98・111・114・115・402	4
IC3	長方形(1.5~2)で長軸90~170cm	3・7・65・81・86・93・94・103・137	9
IC4	" 長軸170~250cm	11・14・27・30・45・57・62・70・85・87・101・112・124・138・143・404・405	17
IC5	" 長軸250cm以上	19・54・122・123	4
ID4	長方形(2~)で長軸170~250cm	16・72・77	3
ID5	" 長軸250cm以上	4・15・26・50・91・96・105・117	8
I分類不能		6・24・68・69・88・89・92・95・97・108・109・113・118・119・125・126・127・130・132・134・136・139・401	23
IIA2	円形(1~0.9)で長軸65~90cm	22	1
IIA3	" 長軸90~170cm	18・83・144・151	4
IIA4	" 長軸170~250cm	140	1
IIB3	やや楕円形(0.9~1.5)で長軸90~170cm	142	1
II分類不能	-	28・46	2
III不整形	-	13・33・38・56・75・110・128・135・145・147・148・149・150・152・153	15

である。緑釉小皿(14C後~15C前半)、鉄釉茶壺、白磁碗、青磁蓮弁文碗、青磁鉢、内耳、羽口が上面から出土している。

D96 け74グリッドにあり、388×(120)×27cmを測る。III101に切られ、D118を切る。古瀬戸鉄釉茶壺の口縁(15C)、青銅製の円管がある。

D (IA3・IA4・IA5)

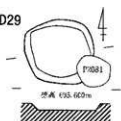
D5 (IA3)



D8



D29



- D29 土層説明
1. 黄褐色土層(10YR2/3) ロームブロック、パリス、ローム粒下、土粒に炭化物粒子含む。

D58 土層説明

1. 黄褐色土層(10YR2/2) 5mm大ロームブロック、土粒にローム粒子パリス含む。

2. 暗褐色土層(10YR3/3) ローム粒下を含む。
3. 黄褐色土層(10YR5/6) ローム土粒。
4. 黄褐色土層(10YR2/3) ローム粒子含む。

D59 土層説明

1. 黄褐色土層(10YR2/2) ローム粒子、パリス含む。
2. 黄褐色土層(10YR2/2) ロームブロック多量に含む。

D60 土層説明

1. 黄褐色土層(10YR3/2) ローム粒子多量に含む。

D66 土層説明

1. 黄褐色土層(10YR2/3) 黄色土ブロック多量、ロームブロック、パリス含む。

D71 土層説明

1. 黄褐色土層(10YR2/2) ローム粒下、パリス含む。
2. 暗褐色土層(10YR3/3)
3. 黄褐色土層(10YR4/0)

D78 土層説明

1. 黄褐色土層(10YR3/2) パリス多く含む、炭化粒状下を含む。

D79 土層説明

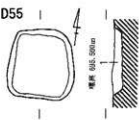
1. 暗褐色土層(10YR3/3) ローム粒下、パリス含む。

2. 土に5%黄褐色土層(10YR4/3) 黄色土ブロック、ローム土ブロック多量に含む。

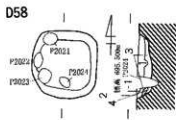
D116 土層説明

1. 黄褐色土層(10YR2/3) 細ロームブロック、パリス含む。

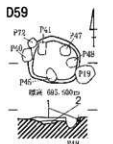
D55



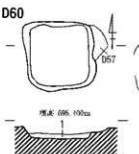
D58



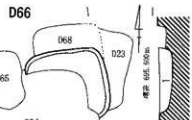
D59



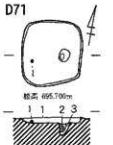
D60



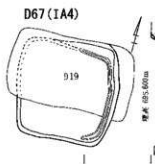
D66



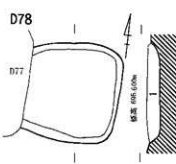
D71



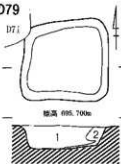
D67 (IA4)



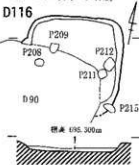
D78



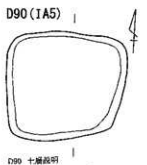
D79



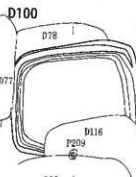
D116



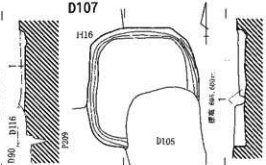
D90 (IA5)



D100



D107



D90 土層説明

1. 黄褐色土層(10YR2/3) パリス多量に含む、炭化粒状多量に含む。
2. 黄褐色土層(10YR2/2) 細ロームブロックパリス多量に、炭化物粒子多量に含む。

D100 土層説明

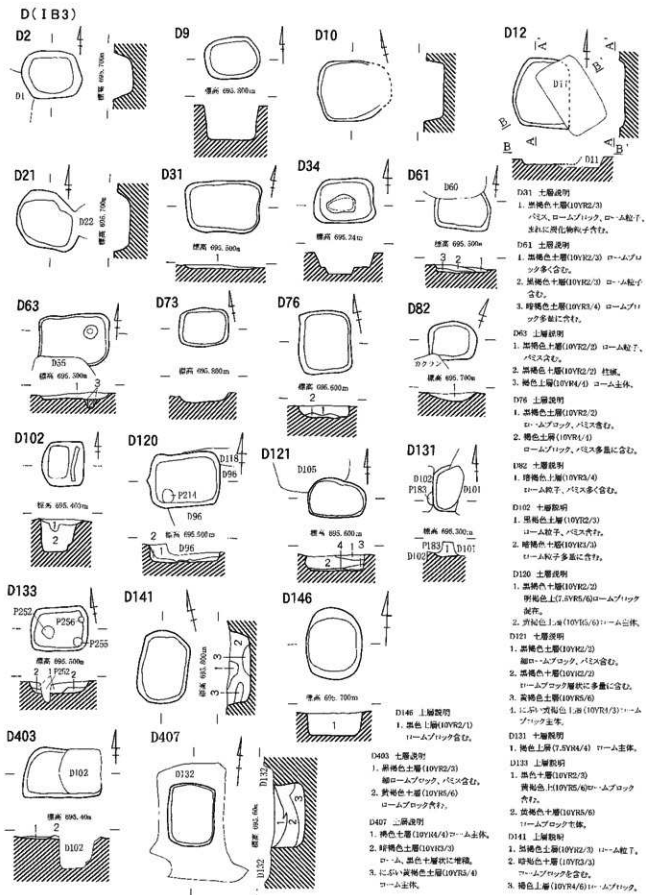
1. 黄褐色土層(10YR2/3) パリス多く含む、炭化粒状下を含む。

D107 土層説明

1. 暗褐色土層(10YR3/3) 細ロームブロック、パリス多量に含む。

第169図 D(IA3・IA4・IA5)

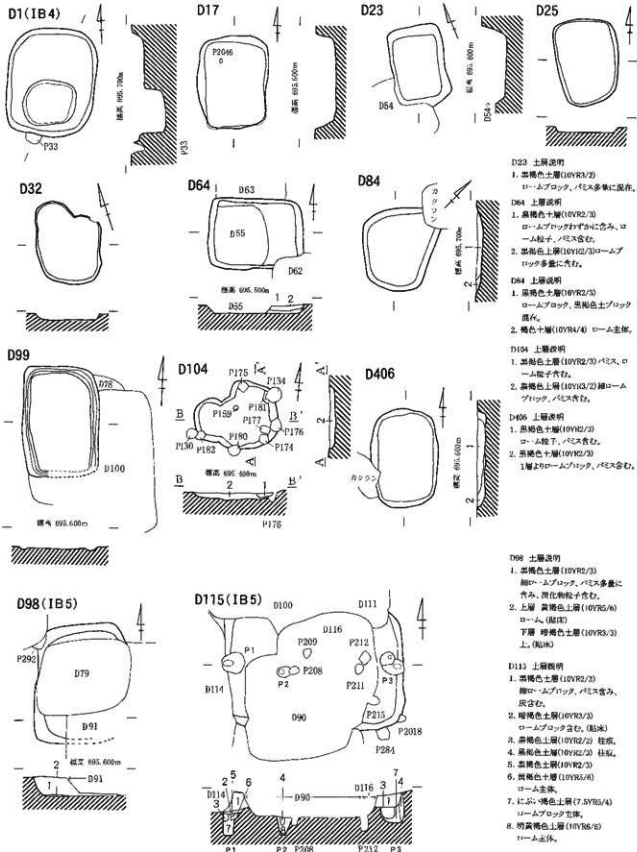
0 (1:80) 2m



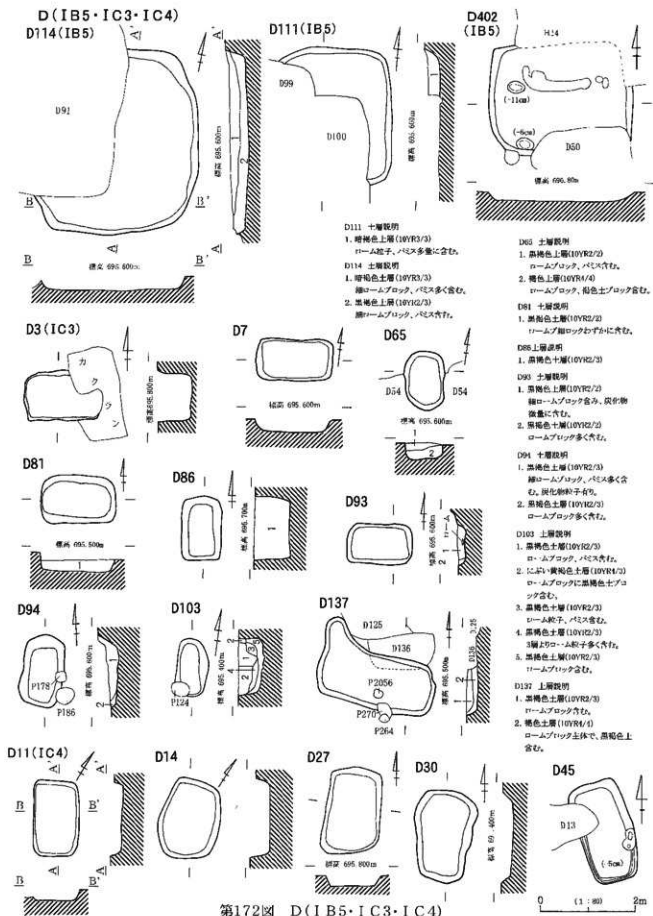
第170図 D(I B3)

0 (1:80) 2m

D (IB4・IB5)

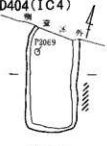


第171図 D (IB4・IB5)



第172図 D (IB5・IC3・IC4)

D (IC4・IC5)
D404(IC4)



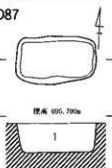
標高 695.500m

D62



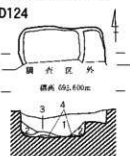
標高 695.700m

D87



標高 695.700m

D124



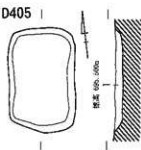
標高 695.600m

D19 (IC5)



標高 695.700m

D405



標高 695.500m

D405 土層説明

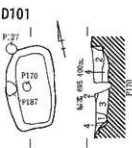
1. 赤褐色土層(10YR2/3) ロームブロック、パリス含む。

D70



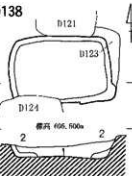
標高 695.800m

D101



標高 695.500m

D138



標高 695.600m

D54



標高 695.600m

D57



標高 695.500m

D494 土層説明

1. 赤褐色土層(10YR2/3) ローム粒子、パリス多量含む。

D57 土層説明

1. 赤褐色土層(10YR2/3) 5mm大ロームブロック、ローム粒子、パリス含む。

D62 土層説明

1. 赤褐色土層(10YR2/3) ロームブロック多量を含む。
2. 赤褐色土層(10YR2/3) ロームブロック多量を含む。

D85 土層説明

1. 赤褐色土層(10YR2/3) ローム粒子、パリス含む。

D87 土層説明

1. 赤褐色土層(10YR2/3)

D101 土層説明

1. 赤褐色土層(10YR2/3)
2. 赤褐色土層(10YR2/3) ロームブロック、赤褐色七ツリツク含む。
3. 赤褐色土層(10YR2/3) ロームブロックに赤褐色土ブロック含む。
4. 赤褐色土層(10YR2/4) ロームブロック主体。

D112 土層説明

1. 赤褐色土層(10YR2/3) ロームブロック、パリス含む。

D124 土層説明

1. 赤褐色土層(10YR2/3) ローム粒子、細ロームブロックパリス多量含む。
2. 赤褐色土層(10YR2/4) ロームブロックに赤褐色土ブロック含む。
3. 赤褐色土層(10YR2/3) ロームブロック含む。
4. 赤褐色土層(10YR2/2)

D138 土層説明

1. 赤褐色土層(10YR2/3) ロームブロック、パリス多量含む。
2. 赤褐色土層(10YR2/3) 赤褐色土層(10YR2/4)の大ロームブロック含む。

D143 土層説明

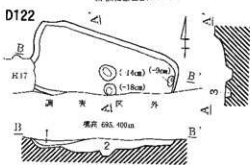
1. 赤褐色土層(10YR2/3) ロームブロック、パリス多量を含む。
2. 赤褐色土層(10YR2/4) ロームブロック、赤褐色土ブロックを含む。

D54 土層説明

1. 赤褐色土層(10YR2/3) ローム粒子、パリス、ローム粒下含む。

D122 土層説明

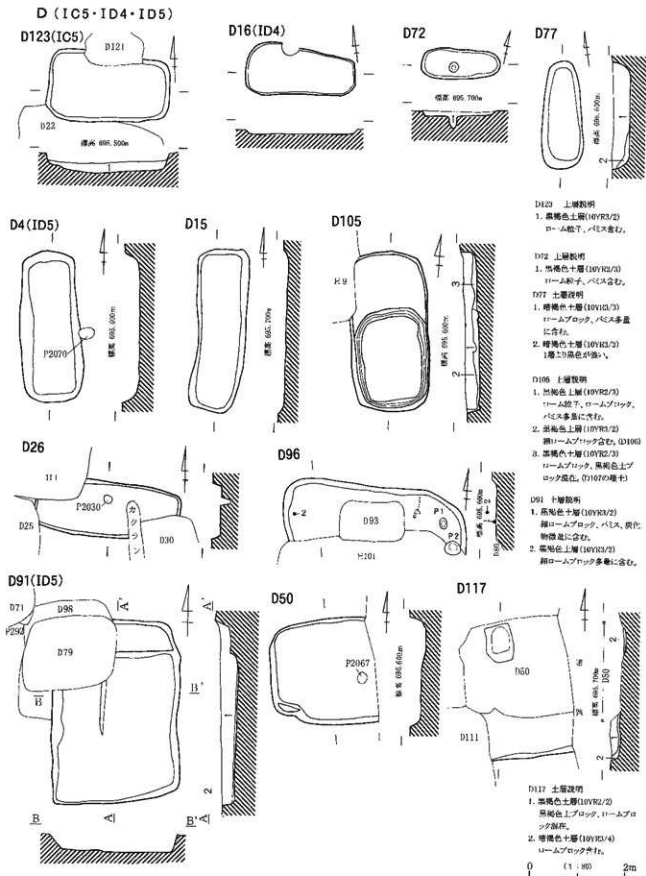
1. 赤褐色土層(10YR2/3)細ロームブロック、パリス含む。
2. 赤褐色土層(10YR2/3) ローム粒子多量含む。
3. 赤褐色土層(10YR2/2)



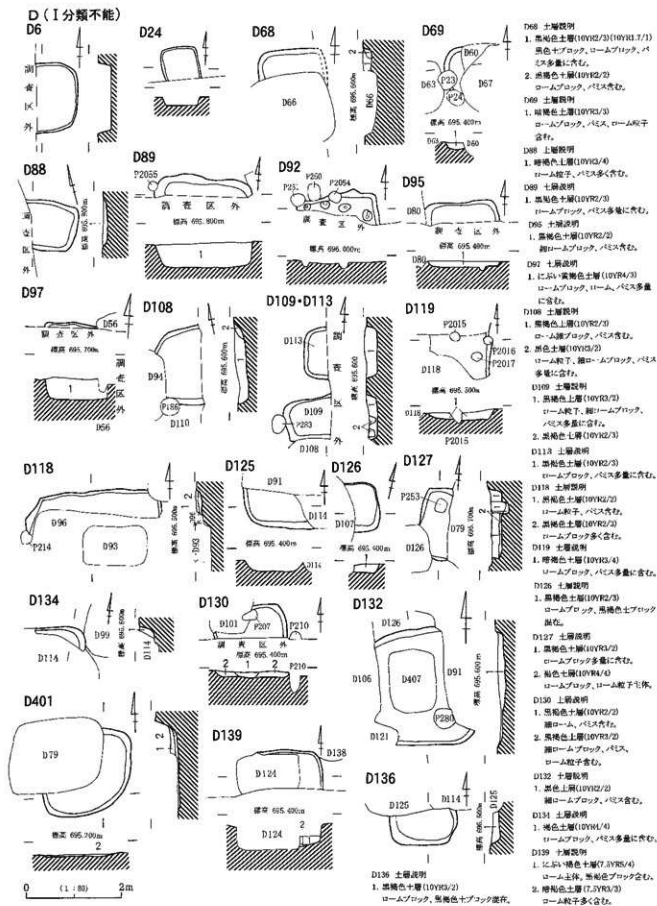
標高 695.400m

0 (1:80) 2m

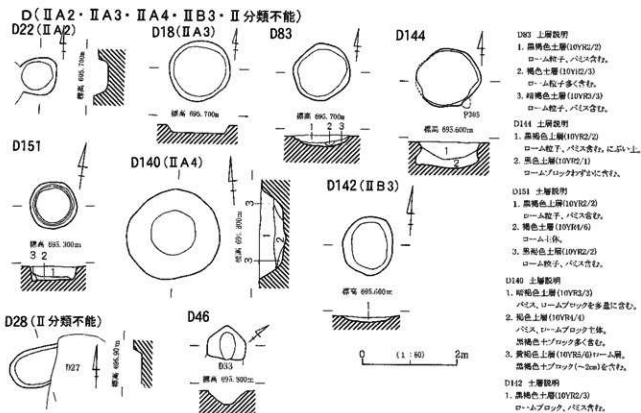
第173図 D(IC4・IC5)



第174図 D(IC5・ID4・ID5)



第175図 D (I 方形)分類不能



第176図 D (ⅡA2・ⅡA3・ⅡA4・ⅡB3・Ⅱ(円形)分類不能)

(2) 1～72グリッドの土坑群

矩形基調の土坑が73%を占め、方形と長方形とでは長方形が多く、方形は32%と約1/3と少ない。長方形の中でもI B3、I C3の90～170cm未満が41%を占める。

遺物により土坑の性格を測れるものを列挙しておく。

1. 方形基調の土坑

I A2 (第181図)

D198 か62グリッドにあり、H121を切る。72×70×23cmの方形を呈す。南壁に礫が1個と覆土中から、かわらけが出土する

I A3

D214 <62グリッドにあり、96×90×26cmを測り、隅丸方形を呈す。覆土中よりかわらけ片2点が出土する。

D226 き64グリッドにあり、154×(125)×28cmを測り、隅丸方形を呈す。底面は張り床され、壁下には柱痕をもつピットがある。出土遺物には、古瀬戸深皿(15C)、長さ7.0cmの砥石が出土する。柱穴と床があるので竪穴建物址と考えられる。

I A4

D193 き63グリッドにあり、171×165×27cmを測り、隅丸方形で隅にピットをもつ。中津川の葉片を出土する。

I B2

D190 お63グリッドにあり、88×60×31cmを測る。常滑の甕か壺片(中世)が出土する。

D203 <62グリッドにあり、77×70×31cmの隅丸方形を呈し、南の壁に台石と磨石がある。覆土からは角釘と砥石が出土している。

I B3

D156 <70グリッドにあり、128×98×19cmの隅丸長方形で、長さ10cmの砥石を出土する。

D(Ⅲ不整形)

D13



D33



- D36 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3)
ローム粒子、バミス含む。
2. 暗褐色土層(10YR3/4)
ローム粒子多量を含む。

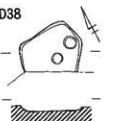
- D75 土層説明
1. 黒色土層(10YR1.7/1)
バミス、ローム粒子(わずかに含む)。
2. 暗褐色土層(10YR3/3)
ローム粒子、バミス多く含む。

- D128 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3)
ローム粒子、バミス含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3)暗褐色土
ブロック、炭化植物下を含む。

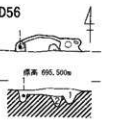
- D135 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3)
ロームブロック多量を含む。

- D145 土層説明
1. 暗褐色土層(10YR2/3)
ロームブロック、黒褐色土ブロック
含む。

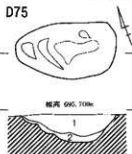
D38



D56



D75



- D147 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/2)
ローム塊状を含む。縮まり有り。
2. 黒褐色土層(10YR2/3)
ローム粒子、バミス含む。
3. 暗褐色土層(10YR2/3)
ロームブロック多量を含む。
4. 黒褐色土層(10YR2/2)
上が全体にブロック状で硬く
ロームブロック含む。

- D148 土層説明
1. 黒色土層(10YR1.2/1)
ローム、バミス含む。
2. 褐色土層(10YR4/4)
ロームブロック含む。
3. 黒褐色土層(10YR2/1)
4. 褐色土層(10YR4/6)ロームブ
ロックに黒褐色土ブロック含む。
5. 黒褐色土層(10YR2/3)
ロームブロック、ローム粒子含む。
6. ローム。

- D149 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3)ローム粒子、
バミス、小石含む。やや砂質。

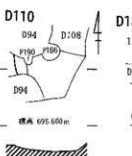
2. 褐色土層(10YR4/6)ロームブ
ロック多量を含む。
3. 暗褐色土層(10YR3/6)
ロームブロックに黒褐色土含む。
4. 暗褐色土層(10YR2/3)
ロームブロック含む。縮まり無し。

- D150 土層説明
1. 黒色土層(10YR2/1)
ローム粒子、バミス含む。
(中程弘張の土状)
2. 黒色土層(10YR2/1)
ロームブロック多量を含む。

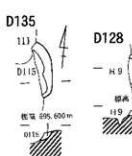
- D152 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR3/3)
ローム粒子、バミス含む。とこみこみ
にロームブロック有り。
2. 暗褐色土層(10YR3/3)
ローム粒子(多量)を含む。
3. 黒褐色土層(10YR2/3)
ローム粒子、バミス含む。
4. 暗褐色土層(10YR3/3)
ローム粒子多量を含む。
5. 黒褐色土層(10YR2/3)
ローム粒子、バミス含む。

- D153 土層説明
1. 黒色土層(10YR1.7/1)
わずかにローム粒子含む。
2. 黒褐色土層(10YR3/6)
ロームブロックに黒色土ブロック含む。
3. 黒褐色土層(10YR2/3)
ローム粒子含む。

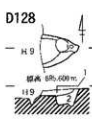
D110



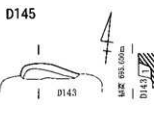
D135



D128



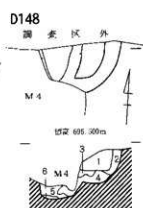
D145



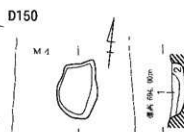
D147



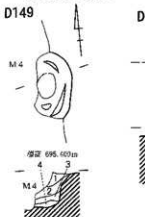
D148



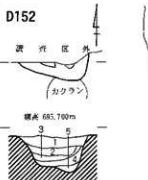
D150



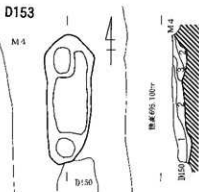
D149



D152



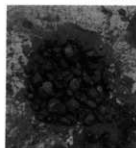
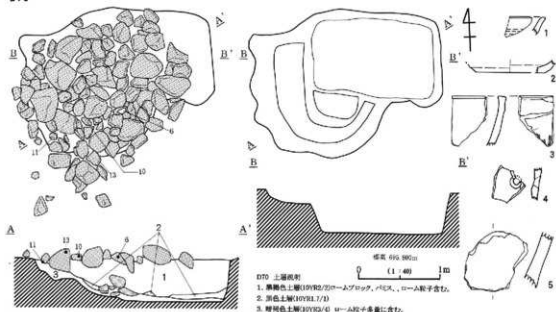
D153



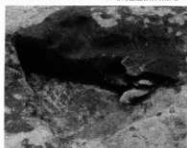
第177図 D(Ⅲ不整形)

0 (1:80) 2m

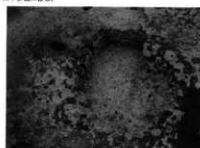
D70



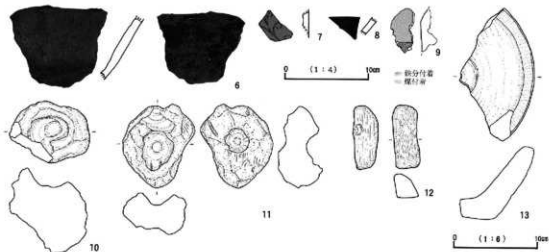
D70 概観(西より)



D70 セクション(北より)

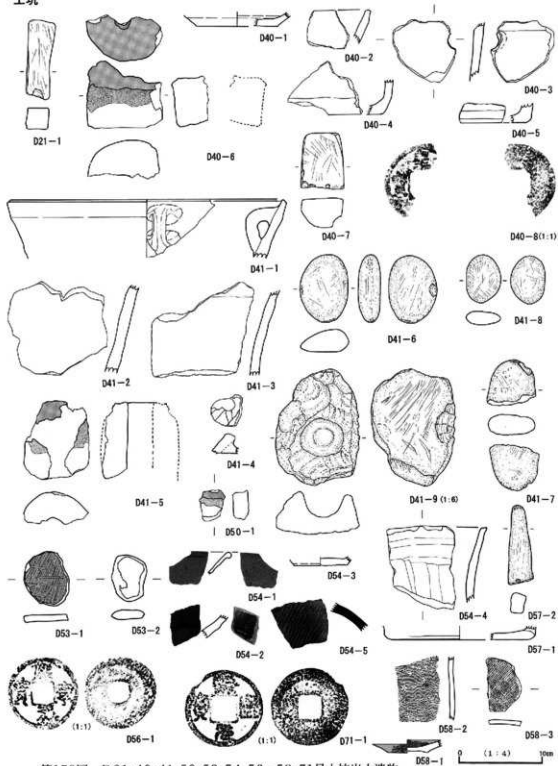


D70 完照(西より)



第178図 D70号土坑

土坑



第179图 D21·40·41·50·53·54·56~58·71号土坑出土遗物

グリッド1～72 土坑形態分類表(2)

形態	長軸/短軸	規模(長軸)
I. 方形	A. 0.9～	1. 65cm未満
II. 円形	B. 1～1.5	2. 65～90cm
III. 不整形	C. 1.5～2	3. 90～170cm
	D. 2～	4. 170～250cm
	D. 2～	5. 250cm以上

IA2	方形で長軸65～90cm	161・166・173・194・198・248・251・260・298・314	10
IA3	" 長軸90～170cm	214・226・255・278・288	5
IA4	" 長軸175～250cm	193・195・212	3
IB2	やや方形で長軸65～90cm	190・203・275	3
IB3	" 長軸90～170cm	156・157・179・211・215・216・218・219・221・223・228・231・237・238・239・244・249・264・270・283・284・286・293・301・312	26
IB4	" 長軸170～250cm	158・176・181・209・230・252・254・269・271・272・281	11
IB5	" 長軸250cm以上	207・296	2
IC3	長方形で長軸90～170cm	162・164・185・197・206・210・229・257・277・409	10
IC4	" 長軸170～250cm	186・188・192・201・205・222・225・227・245・256・258・279	12
IC5	" 長軸250cm以上	282	1
ID3	長方形で長軸90～170cm	199・247・265	3
ID4	" 長軸170～250cm	196	1
I分類不能	—	171・175・177・202・208・213・232・234・235・236・241・242・262・266・268・276・285・289・292・294・297・299・300・408・410	25
IIA2	円形で長軸65～90cm	159・165・217・246・250・291・313	7
IIA3	" 長軸90～170cm	154・155・183・311	4
IIA4	" 長軸170～250cm	308・310	2
IIB2	円形で長軸65～90cm	191・243・253	3
IIB3	" 長軸90～170cm	160・163・170・172・180・189・220・267・274・280・287・303・306	13
IIB5	" 長軸250cm以上	273 (井戸)	1
IIC3	円形で長軸90～170cm	187・224	2
IID3	円形で長軸90～170cm	240	1
II分類不能	—	167・168・169・174・182・204・233・295・305	9
III不整形	—	200・302・309・315	4
弥生	—	261・263・259・274・285・295・307	7

て灯明皿として利用されている。

D270 き59グリッドにあり、110×90×17cmを測る。楕円に近い隅丸長方形を呈す。内耳(15C)を出土する。

I B 4

D176 く60グリッドにあり、D175に切られ、D177・D201を切る。202×144×43cmを測り、隅丸長方形を呈す。内耳、常滑・中津川(14C)の蓋、判読不明の渡来銭を出土する。

D209 き64グリッドにあって、175×134×35cmを測り、隅丸長方形を呈す。覆土より青磁碗片と古瀬戸灰釉深皿(15C)が出土する。

D269 く59グリッドにあり、186×142×30cmを測り、隅丸長方形を呈す。底面は径92cmの円形に二段階に落ち込む。覆土よりかわらけと長さ4cmの砥石を出土する。

D281 く57グリッドにあり、192×143×32cmを測り、隅丸長方形を呈す。東にテラスをもち、長軸136cmの方形に落ち込む。落ち込みの壁下は周溝状になっている。柱穴が南北2個と南東隅に1個ある。安山岩製の敲石2個出土する。

I B 5

D207 か63グリッドにあり、H109・H119、単独ピットに切られている。(287)×(176)×119cmを測り、隅丸長方形を呈す。119cmと深く、きわめて黒色を呈する覆土である。中に礫が堆積している。調査時は湧水が激しく詳細なセクションはとれていない。底面は平坦ではなく、中央が下がっている。出土遺物には木質の付く角釘、砥石、磨石がある。

I C 3

D164 く68グリッドにあり、164×104×25cmの隅丸長方形を呈する。かわらけと混入品の前山灰釉碗を出土する。

D206 か62グリッドにあり、164×93×15cmの隅丸長方形を呈する。底面には礫が6点ある。窪みをもつ円礫、他の礫も破碎している。

D210 く63グリッドにあり、103×66×17cmの隅丸長方形を呈する。覆土中に礫があり天目茶碗と石鉢を出土する。

D229 き63グリッドにあり、146×94×41cmの隅丸長方形を呈する。かわらけ(13~15C)を出土する。

I C 4

D192 き63グリッドにあり、H115、D163・D196を切る。219×120×26cmの隅丸長方形を呈する。H115第141図に掲載の遺物は遺構の重複関係の把握があつていれば、本土坑の遺物となる。9玉縁青磁碗(14C後半~15C前半)、2天目茶碗、5・6中津川・常滑甕か壺片、3古瀬戸灰釉鉢皿、11硯がある。いずれも高価なものである。

D201 く61グリッドにあり、D175・D176に切られる。183×112×65cmを測り、隅丸長方形を呈す。常滑(中世)の甕か壺片を出土する。

I C 5

D282 き58グリッドにあり、256×130×29cmの楕円に近い隅丸長方形を呈す。かわらけ、常滑の甕か壺片、古銭、碁石を出土する。かわらけは13~15C代のものである。

I D 3

D199 き61グリッドにあり、H121を切る。168×79×29cmを測り、隅丸長方形を呈す。天目茶碗片と長さ2.8cmの砥石が出土する。天目茶碗は14C末のものである。

D247 か64グリッドにあり、D250を切る。117×50×9cmの矩形の強い長方形をしている。南北に長い。北西隅から渡来銭3枚が出土する。「天禧通寶初鑄年(1017)」「皇宋通寶初鑄年(1038)」「元豐通寶初鑄年(1078)」である。

I D 4

D196 き63グリッドにあり、D192に切られる。226×(83)×39cmの細長い隅丸長方形を呈す。

D (IA2・IA3・IB4)

D161(IA2)



D166



D194



D173



D158 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロック・パミスを多く含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/2) ロームブロックを含む。
3. 暗褐色土層(10YR3/3) 黒褐色土ブロックをロームに含む。
4. 暗褐色土層(10YR3/4) ローム粒子・パミス主体。

D198



D248



D251



D260



D181 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子・ローム層ブロック・パミスを含む。

D166 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子・パミス・ローム層ブロックを含む。

D173 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/2)
2. 黒褐色土層(10YR2/2) 1層より黒褐色土を含む。

D194 土層説明

1. 暗褐色土層(10YR3/3) ローム層ブロック・パミスを多量に含む。

D198 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/2) ロームブロックを含む。

D214 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロック・パミス・褐色物を含む。
2. 黒褐色土層(10YR3/2) ロームブロック・パミスを含む。

D226 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/3) 細ロームブロック・パミス、炭化物粒子をわずかに含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3) 柱状
3. 暗褐色土層(10YR3/3) 柱状
4. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロック・黒褐色土ブロックを含む。(粘床)

D248 土層説明

1. 暗褐色土層(10YR3/4) 大小ロームブロックを多量に含む。

D251 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/2) ロームブロック・パミスを含む。

D255 土層説明

1. 暗褐色土層(10YR3/4) ロームブロック多量、黒褐色土ブロックを含む。

D260 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子をわずかに含む。

D278 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/2) ロームブロック・パミスを含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/2) 1層よりロームブロックを多く含む。
3. 暗褐色土層(10YR3/3) ロームブロック主体に黒褐色土を含む。

D288 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/2) ロームブロック・パミスを多く含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/2) 粘床
3. 暗褐色土層(10YR4/6) ローム主体。

D298



D314



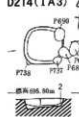
D158(IB4)



D226



D214(IA3)



D288



D255



D278



D288 土層説明

1. 黒褐色土層(10YR2/2)

D314 土層説明

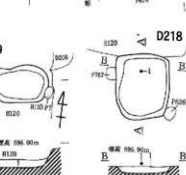
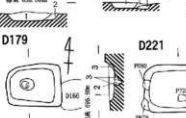
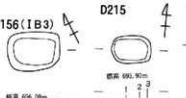
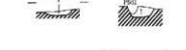
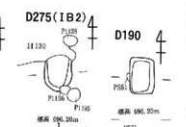
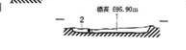
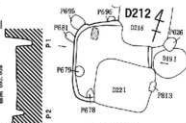
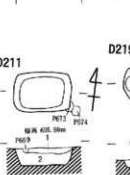
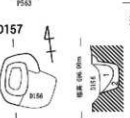
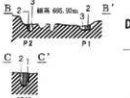
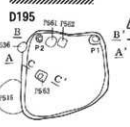
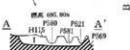
1. 黒褐色土層(10YR3/2) に多い暗褐色土(10YR3/4) ロームを少し含む。
2. 黒褐色土層(10YR3/2) に多い暗褐色土(10YR3/4) ロームブロックを多く含む。

第181図 D(IA2・IA3・IB4)



D (IA4・IB2・IB3)

D193(IA4)



- D156 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/2) ローム粒子を含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロックを含む。

- D157 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/2) ローム粒子・パリスを含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子を多量に含む。

- D179 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロック・パリス・炭化物粒子を含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3) 柱状土層。
3. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロックを含む。

- D190 土層説明
1. 褐色土層(7.5YR4/6) ロームブロック主体、まれに黒褐色土ブロックを含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子を多量に含む。
3. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子を多量に含む。

- D195 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/2) ローム粒子を含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子を多量に含む。
3. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロックを多量に含む。

- D215 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロック・パリスを多く含む。
2. 褐色土層(10YR4/4) ロームブロック主体。

- D216 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/2) ロームブロック・パリスを多く含む。
2. 褐色土層(10YR4/4) ロームブロック主体。
3. 黒褐色土層(10YR2/3) 細ロームブロック・パリスを含む。

- D218 土層説明
1. 褐色土層(10YR4/6) 細ロームブロックを多く含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロックを多く含む。

- D219 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) 細ロームブロック・炭化物粒子、ローム粒子を多く含む。

- D221 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR3/4) ロームブロック・パリスを多量に含む。
2. 褐色土層(10YR4/6) 細ロームブロック主体。

- D225 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子・パリスを含む。

- D227 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子・パリスを含む。

- D228 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子・パリス・炭化物を含む。

- D231 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子・パリスを含む。

- D233 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子・パリスを含む。

- D235 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子・パリスを含む。

- D190 土層説明
1. 褐色土層(7.5YR4/6) ロームブロック主体、まれに黒褐色土ブロックを含む。

- D195 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) 細ロームブロックを多量に含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子を多量に含む。
3. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子を多量に含む。

- D195 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/2) ローム粒子を含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3) 柱状土層。
3. 黒褐色土層(10YR2/2) ロームブロックを含む。

- D203 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/2) ローム粒子を含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子を多量に含む。
3. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロックを多量に含む。

- D212 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロックを多量に含む。
2. 褐色土層(10YR4/6) ロームブロック主体、まれに黒褐色土ブロックを含む。

- D212 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロック・パリスを多く含む。
2. 褐色土層(10YR4/4) ロームブロック主体。

- D215 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) 細ロームブロック・パリスを多く含む。
2. 褐色土層(10YR4/4) ロームブロック主体。
3. 黒褐色土層(10YR2/3) 細ロームブロック・パリスを含む。

- D216 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) 細ロームブロック・パリス・炭化物を含む。

- D218 土層説明
1. 褐色土層(10YR4/6) 細ロームブロックを多く含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロックを多く含む。

- D219 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) 細ロームブロック・炭化物粒子、ローム粒子を多く含む。

- D221 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR3/4) ロームブロック・パリスを多量に含む。
2. 褐色土層(10YR4/6) 細ロームブロック主体。

- D225 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子・パリスを含む。

- D227 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子・パリスを含む。

- D228 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子・パリス・炭化物を含む。

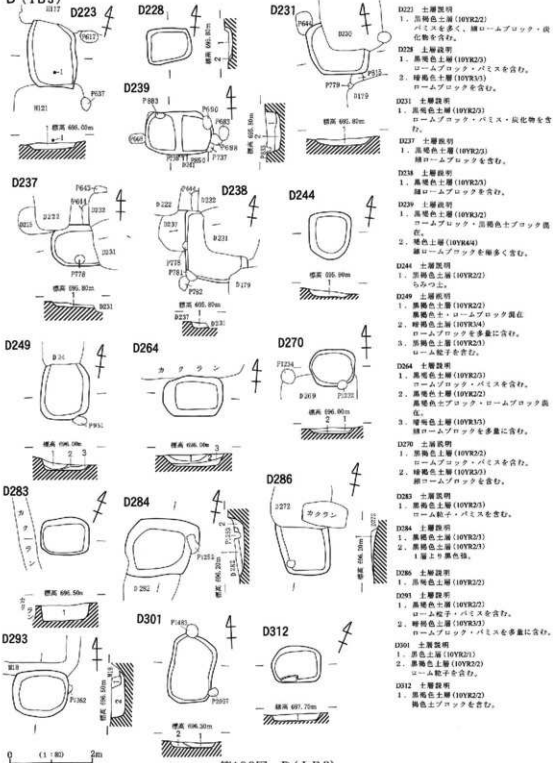
- D231 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR3/4) ロームブロック・パリスを多量に含む。
2. 褐色土層(10YR4/6) 細ロームブロック主体。

- D233 土層説明
1. 黒褐色土層(10YR2/3) ローム粒子・パリスを含む。



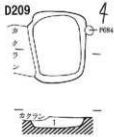
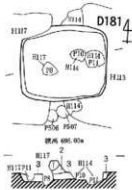
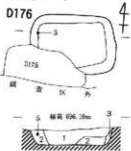
第182図 D(IA4・IB2・IB3)

D (IB3)



第183図 D (IB3)

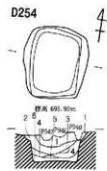
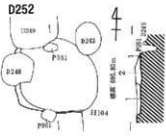
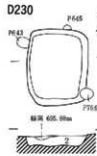
D (IB4)



- D176 土層説明**
1. 黒褐色土層 (10YR2/5) ローム粒子・パミス、ロームブロックを含む。
 2. 暗褐色土層 (10YR3/3) ローム加ブロックを多量に含む。
 3. 黒褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子・パミスを含む。

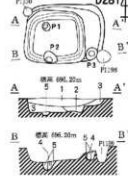
- D181 土層説明**
1. 黒褐色土層 (10YR2/5) ローム粒子・パミスを含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/5) ロームブロックと黒褐色土ブロックを含む。
 3. にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) ロームブロック主体。

- D209 土層説明**
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) 細ロームブロック・炭化物を含む。



- D230 土層説明**
1. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロックを多量に含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/5) ローム粒子・パミスを含む。

- D252 土層説明**
1. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを多量に含む。
 2. 褐色土層 (10YR4/6) ロームブロック主体。



- D281 土層説明**
1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・パミスを含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/5) ローム粒子を含む。
 3. 暗褐色土層 (10YR3/4) ローム粒子・ロームブロックを多く含む。
 4. 黒褐色土層 (10YR2/3)
 5. 暗褐色土層 (10YR3/2) ローム粒子を多く含む。



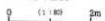
- D234 土層説明**
1. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロック・黒褐色土ブロックを含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/5) ローム粒子・パミスを含む。
 3. 黒褐色土層 (10YR2/5) 砂
 4. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・パミスを含む。
 5. 暗褐色土層 (10YR2/5) 砂・シルト
 6. 暗褐色土層 (10YR3/4) ローム主体。

- D259 土層説明**
1. 黒褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子・パミスを含む。 (P 121 層土)
 2. 黒褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子・パミスを含む。
 3. 暗褐色土層 (10YR3/3) 細ロームブロック・パミスを含む。
 4. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・パミスを含む。

- D271 土層説明**
1. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームブロック・パミスを含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/5) ロームブロックを含む。

- D272 土層説明**
1. 黒褐色土層 (10YR2/5) ローム粒子・パミスを含む。

第184図 D (IB4)



天目茶碗が出土するがD192との境にあり、D192に帰属する可能性もある。

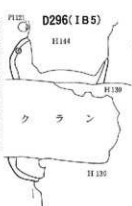
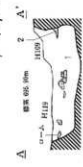
1分類不能

D175 <61グリッドにあり、198×(104)×42cmを測る。南は調査区域外で、D176・D177・D201を切る。天目茶碗と砥石3点が出土する。

D177 <61グリッドにあり、(36)×(36)×32cmを測る。D175・D176にきられる。磨石が出土する。

D (IB5・IC3・IC4)

D207
(IB5)



- D162 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子を含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/5)
ロームブロックを含む。

- D164 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/5)
ローム粒子を多く含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/5)
ロームブロックを多量に含む。

- D185 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/5)
黒ロームブロックを多量に含む。

- D186 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/5)
ローム粒子・ローム細ブロック・パリスを含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ローム細ブロックを多量に含む。

- D188 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロックを多く含む。

- D197 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/5)
ロームブロック・パリスを含む。
2. 暗褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロックを多く含む。
3. に近い黄褐色土層 (10YR5/4)
ローム土層。

- D206 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/5)
黒ロームブロック・パリスを含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/3)
大ロームブロック・パリスを含む。

- D207 土層説明
1. 黒色土層 (10YR2/1)
わずかに黒ロームブロックを含む。
2. 褐色土層 (10YR4/6)
ロームブロック主体。
3. 黒褐色土層 (10YR2/5)
黒褐色土層ブロック。
4. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロックを含む。

- D210 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
黒ロームブロック・パリス・炭化物粒子を含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/5)
ロームブロックを多く含む。

- D229 土層説明
1. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロックを多く含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/5)
ロームブロック・パリスを含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ロームブロック主体。

- D277 土層説明
1. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロックを多く含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/5)
ロームブロック・パリスを含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ロームブロック主体。

- D357 土層説明
1. 褐色土層 (10YR2/1)
ローム粒子を少し、パリスを含む。

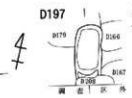
- D377 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。

- D296 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/5)
ローム粒子・パリスを含む。

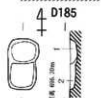
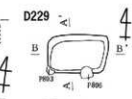
- D409 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子を含む。



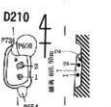
D164 (IC3)



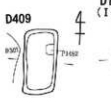
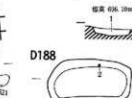
D206



D257



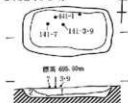
D186 (IC4)



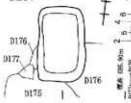
第185図 D (I B5・I C3・I C4)

D (IC4・IC5)

D192 (IC4)



D201



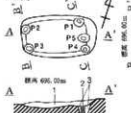
D192 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム物アロック・パリス・炭化物粒子を含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子・パリスを含む。

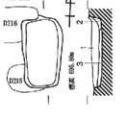
D201 土層説明

1. 灰色土層 (10YR2/1) 粉末状炭化物・パリス・細ロームアロックを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2) 細ロームアロック・パリスを含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームアロックを多く含む。
4. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームアロックを含む。
5. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。
6. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームアロックを多量に含む。

D205



D222



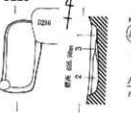
D205 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームアロック・パリス・炭化物粒子を含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/3) 炭質。
3. 暗褐色土層 (10YR3/5) ロームアロックを多量に含む。
4. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。

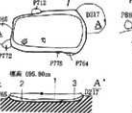
D222 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ~20cm大ロームアロックを多く、炭化物粒子を含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/3) 暗褐色土層アロック主体、に多少の黒褐色土層 (10YR4/3) 砂質。

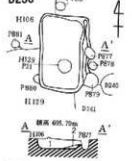
D225



D227



D256



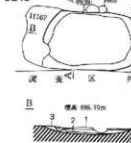
D225 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) 細ロームアロックを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/3) ~30cm大のロームアロックを多量に含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・パリスを含む。

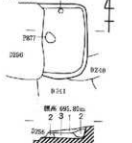
D227 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームアロック・パリスを含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/5) ロームアロックを多量に含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/5) ローム粒子・パリスを含む。ロームアロックが少ない。1層より厚。

D245



D258



D245 土層説明

1. 暗褐色土層 (10YR3/6) ロームアロックによる結核。
2. 灰色土層 (10YR2/1) 黒色土。
3. 暗褐色土層 (10YR3/6) ローム。
4. 灰色土層 (10YR2/1) 黒色土。

D258 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/3) ロームアロック・パリスを多く含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/5) ロームアロックを多量に含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/5) ロームアロックを多く含む。

D279



D282 (IC5)



D (ID3・ID4・I分類不能)

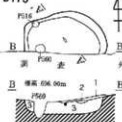
D199 (ID3)



D196 (ID4)



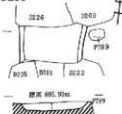
D175



D213



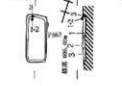
D235



D236



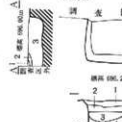
D247



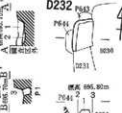
D171 (I分類不能)



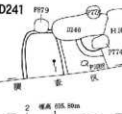
D202



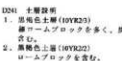
D232



D241



D242



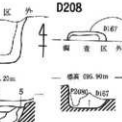
D265



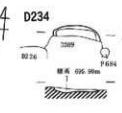
D177



D208



D234



D242



D242



D171 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子・パリスを含む。

D175 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子を含む。
2. 赤褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子を含む。
3. 褐色土層 (10YR4/4) ロームブロックを多く含む。

D177 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを含む。
2. 赤褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを多く含む。

D196 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・ローム粒子を多量に含む。
2. 褐色土層 (10YR4/4) ロームブロックを多く含む。

D199 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/2) パリスを多く含む。細ロームブロック・炭化物粒子を含む。

D202 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/3)
2. 赤褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子・ロームブロックを多量に含む。
3. 赤褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子・ロームブロックを多く含む。

D208 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子・ロームブロックを多量に含む。
2. 赤褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを多く含む。
3. 赤褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを多く含む。

D213 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/3) ロームブロック・ローム粒子・炭化物を含む。
2. 赤褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子を多く含む。
3. 赤褐色土層 (10YR2/3) 柱状。

D232 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを含む。
2. 赤褐色土層 (10YR3/4) ロームブロックを多く含む。
3. 赤褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを含む。

D234 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを多量に含む。

D235 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを多量に含む。
2. 赤褐色土層 (10YR3/4) ロームブロックを多く含む。
3. 赤褐色土層 (10YR2/3) ロームブロックを含む。

D241 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/2) 主にロームブロック・炭化物・パリスを含む。10YR2/3に似る。

D242 土層説明

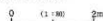
1. 褐色土層 (7.5YR4/4) ロームブロック・パリスを多量に、それに混じる。
2. 赤褐色土層 (10YR2/2) ローム粒子を含む。

D242 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/3) ローム粒子を含む。

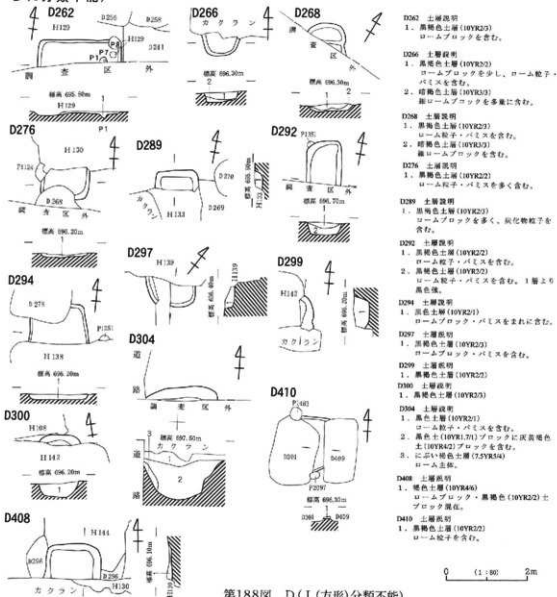
D242 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/2) パリスを含む。それにロームブロックを含む。



第187図 D (I D3・I D4・I (方形)分類不能)

D (I分類不能)



第188図 D (I (方形)分類不能)

D213 <63グリッド>にあり、南は調査区域外、D167・D168・D194に切られ、H107、D245を切る。(180)×(66)×27cmを測り、壁に柱穴をもつ。覆土より礫を出土する。竪穴建物址の可能性もある。

D232 <64グリッド>にあり、D230・D231に切られ北東隅が残る。(70)×(48)×27cmを測る。長さ1.7cmの砥石を出土する。

D241 <64グリッド>にあり、南は調査区域外、H103、D240に切られ、H127、D256・D258を切る。(195)×(121)×16cmを測る。北東はテラスなのか検出面と同じ高さである。I A4に近い。渡米銭[至和元寶(初鑄年1054年)]、鉄製刀子、角釘が出土する。

D (ⅡB3・ⅡB5・ⅡC3・ⅡD3)

D189
(ⅡB3)



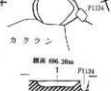
D220



D267



D280



D187 土層説明

1. 黒色土層 (10YR2/1)
灰・ローム粒子・パリスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。
3. 褐色土層 (7.5YR4/0)
ローム粒子主体。

D189 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。

D220 土層説明

1. 暗褐色土層 (10YR3/4)
緑ロームブロック・黒褐色土ブロック混在。
2. に近い黄褐色土層 (10YR5/4) ローム主体

D284 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
緑ロームブロック・パリス・炭化物粒子を含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
緑ロームブロックを1層より多く含む。

D240 土層説明

1. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ロームブロックを多量に含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロックを含む。

D267 土層説明

1. 暗褐色土層 (10YR3/2)
ローム粒子・パリス・炭化物粒子を含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/3)
緑ロームブロックを多く含む。

D271 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。1層より黒色強。
3. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロック・パリスを多量に含む。
4. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロックを含む。

D286 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。

D287 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
緑ロームブロックを含む。

D301 土層説明

1. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ローム主体。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ローム粒子・パリスを含む。

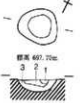
D306 土層説明

1. 暗褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリスを含む。

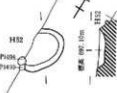
D287



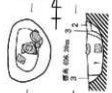
D303



D306



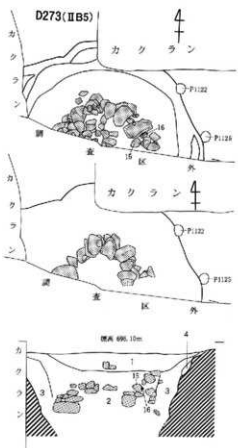
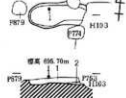
D187(ⅡC3)



D224(ⅡC3)



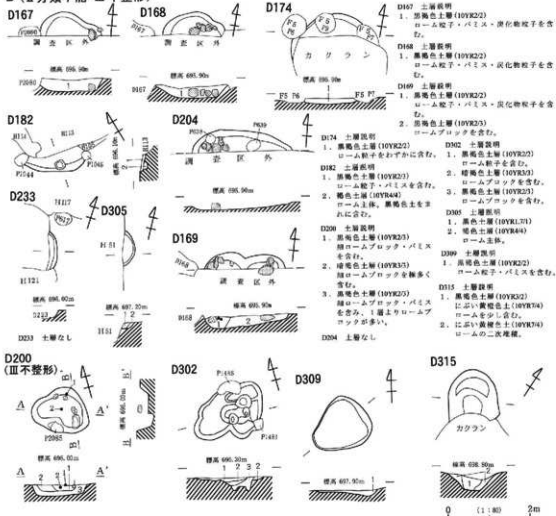
D240(ⅡD3)



0 (1:80) 2m

第190図 D(ⅡB3・ⅡB5・ⅡC3・ⅡD3)

D (Ⅱ分類不能・Ⅲ不整形)



第191図 D (Ⅱ(円形)分類不能・Ⅲ不整形)

2.円形基調の土坑

Ⅱ B 2

D191 <61グリッド>にあり、88×68×26cmの円形に近い楕円形を呈す。断面は周辺が7cmと浅く中央が深くなる。中央上面に内耳が側面から押し潰された状態で出土している。深い方の径は36cmで、出土する内耳の径は30.2cmである。内耳は釣りの耳が壊れ、新たに胴部を穿孔している。

Ⅱ B 3

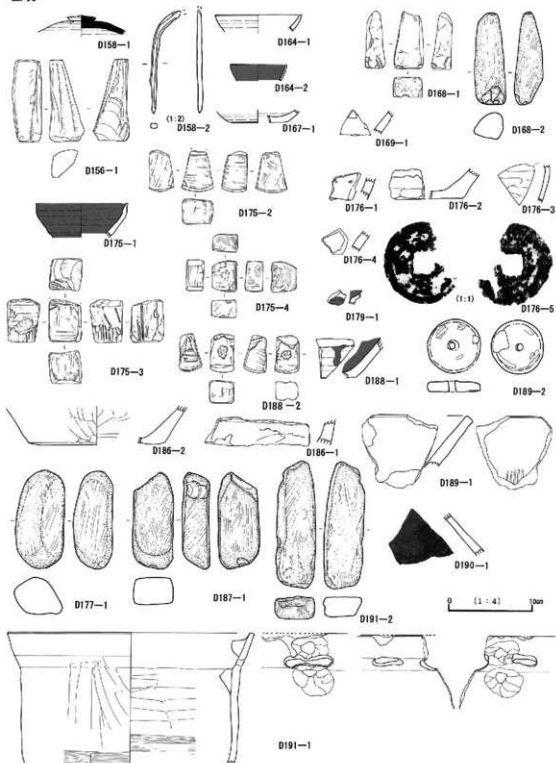
D189 お60グリッドにあり、104×92×14cmを測る。やや楕円形を呈し、瓦質の楕鉢が出土している。

D287 <56グリッド>にあり、104×(94)×34cmを測る。攪乱に切られ、H140を切る。敲石を出土する。

Ⅱ C 3

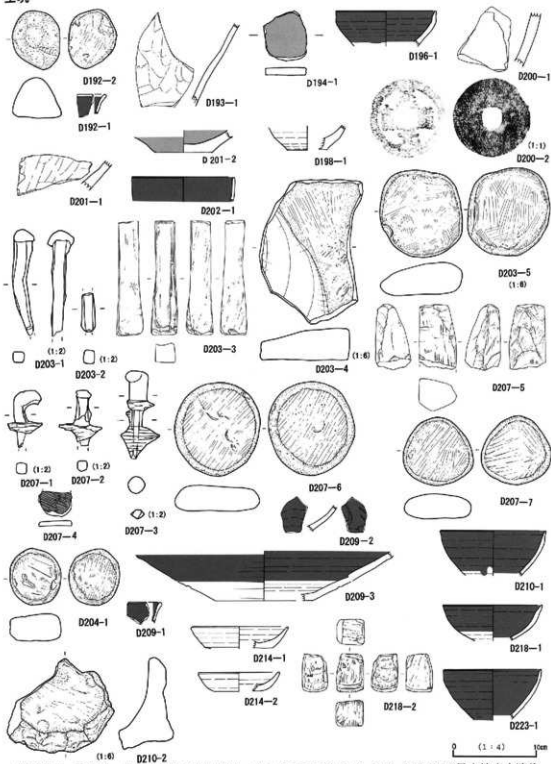
D187 お63グリッドにあり、153×105×43cmは楕円形を呈し、礫を伴っている。1層には灰

土坑



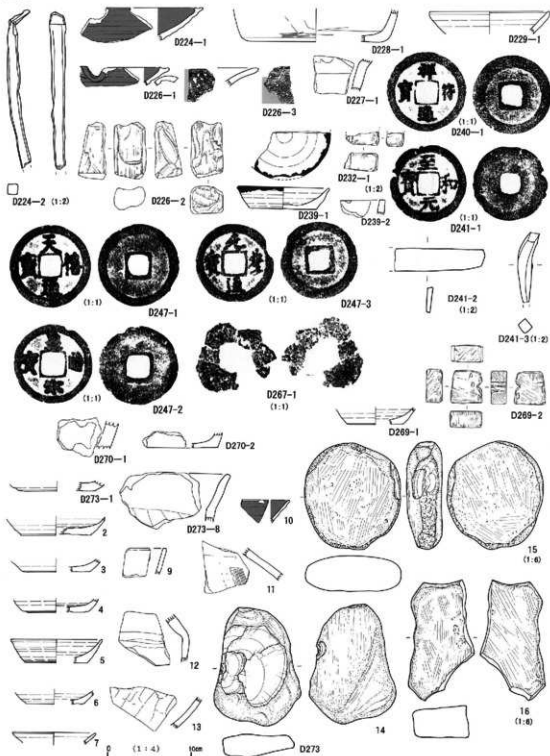
第192图 D156·158·164·167~169·175~177·179·186~191号土坑出土遗物

土坑



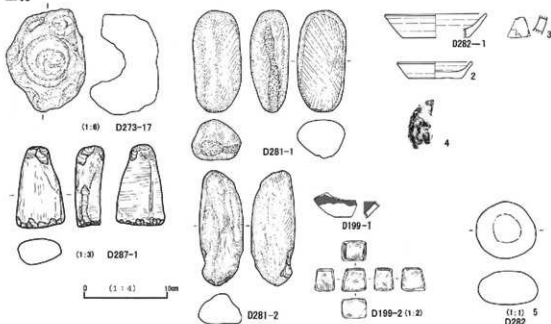
第193图 D192~194·196·198·200~204·207·209·210·214·218·223号土坑出土文物

土坑



第194图 D224·226~229·232·239~241·247·267·269·270·273(1)号土坑出土遗物

土坑



第195図 D199・273(2)・281・282・287号土坑出土遺物

を含んでいる。中央の石上面には柱当りの磨り面がある。敲石が出土する。

D224 き62グリッドにあり、135×85×24cmを測り、楕円形を呈す。覆土に炭化物粒子・礫を含んでいる。古瀬戸の折縁深皿(15C後半)、角釘を出土する。

II B5

D273(井戸址) <59グリッドにあり、南は調査区域外で、半分調査している。(372)×(245)×(200)cmを測る。井戸址である。湧水が激しく底まで下げることはできなかった。井戸内には安山岩と溶結凝灰岩で円形に石を組んでいる。中には長さ64cm、幅28cmの大きな石が使用されている。内径100cmを測る。かわらけ、内耳、古瀬戸平椀(15C前半)、常滑・中津川の壺・甕、台石、揃白、実測はしていないが石笛鉢片がある。

II D3

D240 I D3ともいえる形態である。<64グリッドにあり、(133)×63×26cmを測り、細長い土坑である。H103に切られ、D241・D258を切る。覆土中より「祥符通寶(初鋳年1009年)」出土する。

II 分類不能

D167・D168 <63グリッドにあり、南が調査区域外である。D167はかわらけ、D168は礫があり、中に砥石・敲石を含んでいる。

D169 <62グリッドにあって、南は調査区域外である。2つの土坑が連結している。礫を含み、中津川(14C)の壺か壺片を出土する。

D204 <61グリッドにあり、236×(54)×18cmを測る。南は調査区域外である。北端を調査し、隅丸方形を呈すかもしれない。礫群があり、磨石が出土する。

3.不整形

D200 き62グリッドにあり、132×112×30cmを測る。内耳と渡来銭「至道元寶(初鋳年995年)」が出土する。

第5節 溝址

(1) M1号溝址

こ91～お94グリッドにかけてあり、わずかに曲がり22.12mを調査した。幅244～378cm、深さ106～160cmを測る。断面形は緩やかな傾斜が中位から急に落ち込む。底面は幅40～48cmをもつ。溝は南から北へ低くなっている。

出土遺物は弥生土器、土師器、土製円板、土製紡錘車、土師質かわらけがある。土師器類、118の土製紡錘車、かわらけは1層中の上出である。弥生土器は蓋、鉢、高杯、壺、甕、台付甕がある。多量の土器はⅠ・Ⅱ区1～3層に堆積しており、Ⅲ区にはほとんどみられなかった。

蓋はミガキ調整のみである。12の鉢は片口があり、ミガキも赤色塗彩される。24の高杯は杯下部に稜を持つ。28の壺は頸部の施文が無く無彩色の土器である。31の壺は単純に外反する口縁で、頸部から比較的直線的に開いている。頸部に櫛描T字文が施文される。82の甕は長い口縁が外反しており、施文は櫛描波状文のみである。95の櫛描斜走文の甕は、口縁は斜め、胴部は横方向に施文されて横線文になっている。これらより弥生後期後葉の箱清水式土器である。

(2) M2号溝址

け82～こ83グリッドにあり、南は調査区域外である。6.09mを調査し、幅64～226cm、深さ9～19cmの浅い溝である。溝の底面に列して単P193～202・225・226・228がある。

出土遺物は弥生土器と内耳の土製円板がある。内耳が出土することから中世または中世以降の溝である。

(3) M3号溝址

き81～け81グリッドにあり、全長5.79mを調査している。H4・H7に南と北で切られて残ったものである。幅70～80cm、深さ10～33cmを測る。覆土は暗褐色土である。遺物はないが、弥生後期の住居に切られているので、弥生後期かそれ以前である。

(4) M4号溝址

お90～こ90グリッドにあり、全長20.48mを調査する。南北に直線に伸びており、北と南は調査区域外、西は道路で一部未調査となっている。攪乱に切られ、H20・H24・H27、D147～D150・D153、M5・M6、単P201を切る。幅298～240cm、深さ37～84cmを測り、1層の下底面が非常に締まっており、底の両脇に幅30cm、深さ12～20cmの側溝を持つ。溝底面に硬質面があり、側溝があることから道路遺構である。上面より出土した骨は、ウシ・ウマと分析される。

出土遺物にはかわらけ、内耳、天目茶碗、古瀬戸灰釉の壺、瓶、常滑の甕、碁石、石鏝などの中世遺物があり、鉄滓も456gある。弥生後期のH20を切っているため弥生土器が混入している。12は幅1.5cmの青銅品である。これらより、中世の道路址であろう。

(5) M5号溝址

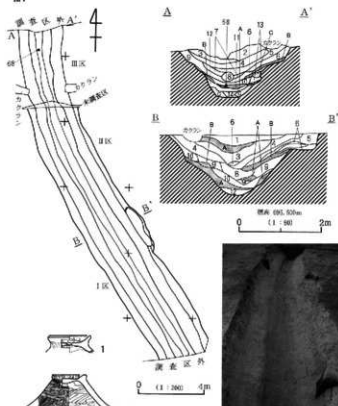
お90～こ88グリッドにあり、全長21.32mを調査する。ほぼ南北方向の溝で、南と北は調査区域外、D147・D148・D151、M4、攪乱に切られ、弥生後期のH20・H25を切る。溝幅124～244cm、深さ90～125cmを測る。溝上半の断面形は緩やかな傾斜で、中位から急傾斜する。底面は狭く24～48cmを測る。

出土遺物は少なく、弥生土器、土製円板、鉄製鎌、敲石がある。弥生土器はいずれも破片で、完形品はない。また、中段の4層まで遺物が出土するが、それより下層に遺物は見られない。10の甕は櫛描斜走文、11の甕は櫛描波状文である。両者ともに横線文化している。これらより弥生後期後葉箱清水式土器である。

(6) M6号溝址

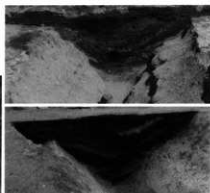
お90～か91グリッドにあり、わずか3.06mを調査した。北は調査区域外、西は道路により未調査である。M4・M5に切られ、H27を切る。幅70～86cm、深さ58～77cmを測る。

M1



M1 土層説明

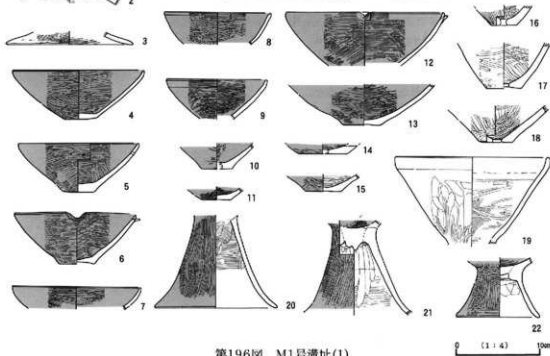
1. 灰褐色土層(30YR3/2)ローム状, パイス含む, 遺物多。
2. 褐色土層(10YR4/3)ローム状, 多量に含む。
3. 暗褐色土層(10YR3/2)ローム状, パイス多量に含む。
4. 暗褐色土層(10YR3/4)ロームブロック, パイス多量に含む。
5. 濃い灰褐色土層(10YR4/2)ローム主体。
6. 灰褐色土層(10YR3/2)ローム状, パイス多量に含む。
7. 褐色土層(10YR4/4)ローム多量に含む。
8. 褐色土層(10YR3/1)
9. 暗褐色土層(10YR3/2)ロームブロック, ローム状, 多量に含む。
10. 褐色土層(10YR4/4)ローム主体。
11. 暗褐色土層(10YR3/2)ロームブロック(～5cm)を多く含む。
12. 暗褐色土層(10YR3/2)ロームブロック(～5cm), 砂を多く含む。
13. 濃い灰褐色土層(10YR4/2)ローム状, 多量に含む。
14. 濃い灰褐色土層(7.5YR5/2)ロームのシルト。
- A. 灰質褐色土層(10YR7/6)ローム, 暗褐色セブロック(～1cm)を含む。
- B. 暗褐色土層(10YR3/6)ローム, 暗褐色セブロックを含む。
- C. 灰質褐色土層(10YR8/2)編織ローム。



M1 Aセクション(南より)

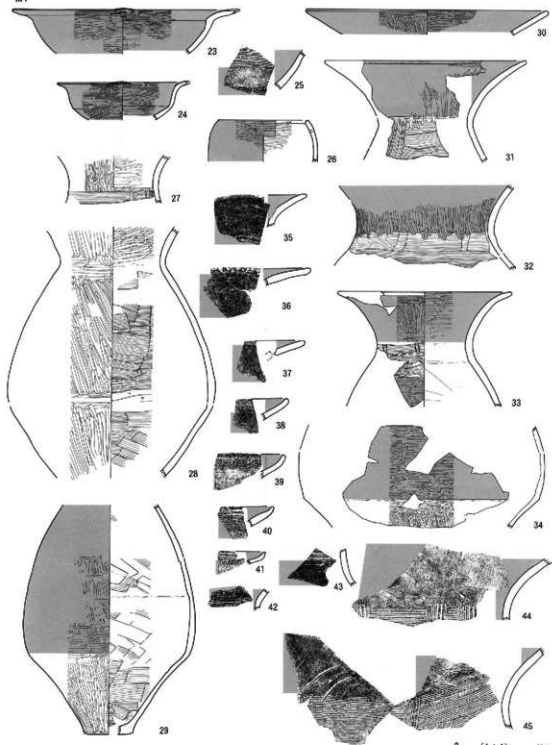
M1 Bセクション(北より)

左 M1 完照(南より)

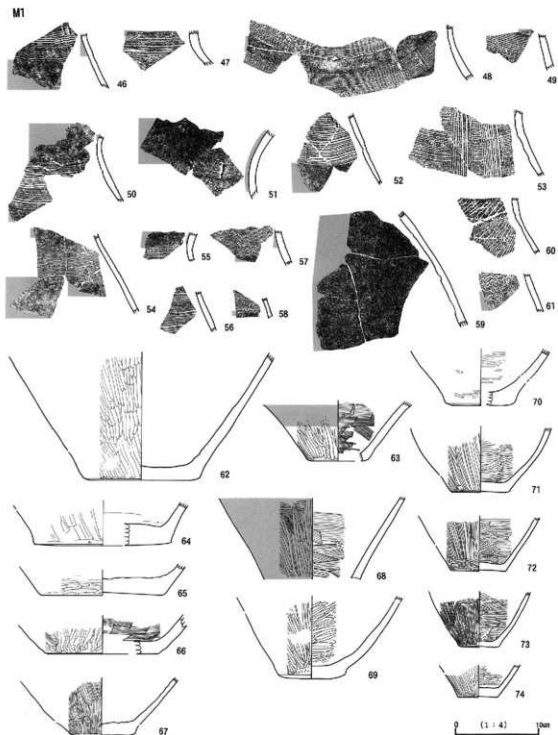


第196図 M1号溝址(1)

M1

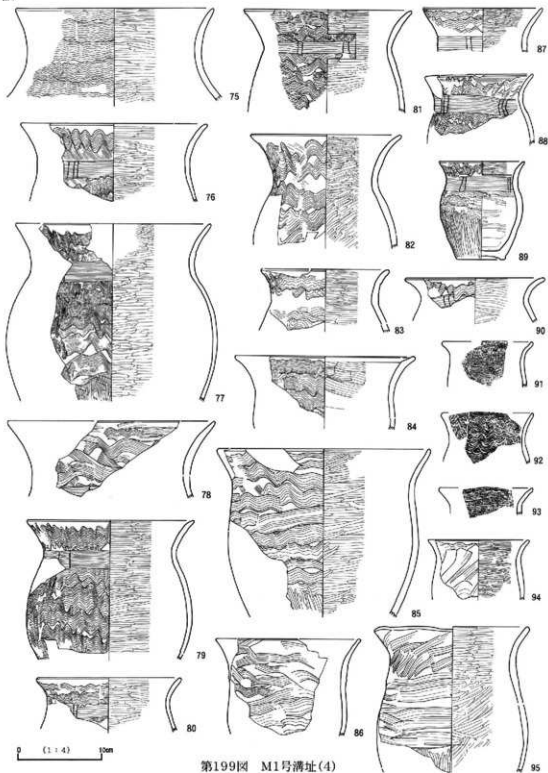


第197图 M1号沟址(2)

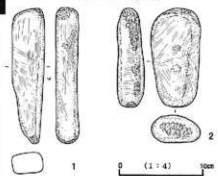
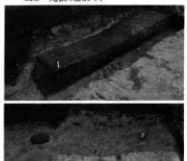
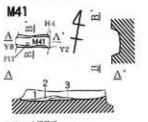
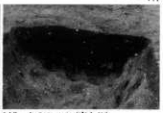
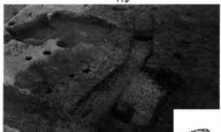
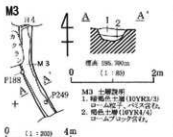
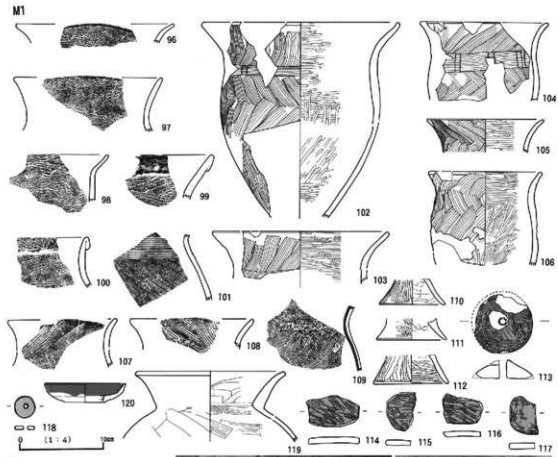


第198图 M1号沟址(3)

M1

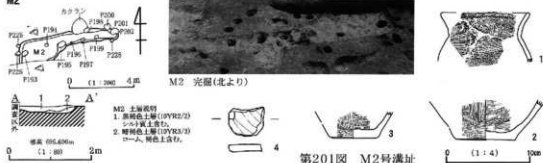


第199图 M1号沟址(4)



第200図 M1(5)・M3・M41号溝址

M2



M2 完掘(北より)

第201図 M2号溝址

出土遺物はない。中世の溝M4に切られることから、中世またはそれ以前の溝である。

(7) M7・8号溝址

え68～え69グリッドにあり、北は調査区域外、P404・450・2093に切られ、H32、M14を切る。M7・M8は平行して南北に伸びている。M7は幅32～66cm、深さ4～24cm、M8は幅28～72cm深さ4～37cmを測る。断面形は台形である。

出土遺物にはM7からは葎石、M8からは古瀬戸灰釉陶片(中世)が出土する。これらより中世の溝であろうか。

(8) M9号溝址

え68～え69グリッドにあり、全長4.27mの東西方向の溝である。弥生後期のH32を切る。幅75～98cm、深さ42～74cmを測る。覆土は黒色土である。

出土遺物はない。弥生後期の住居を切っているので弥生後期、それ以降の溝である。

(9) M10号溝址

え64グリッドにあり、北は調査区域外である。P533に切られ、M11を切る。幅39～68cm、深さ15～22cmを測る。覆土は黒褐色土である。遺物はない。弥生後期のM11を切るので、弥生後期かそれ以降の溝である。

(10) M11号溝址

え64～え65グリッドにあり、南北方向ではあるが東に張り出す弧状に19.76m伸びている。北は調査区域外に伸び、南はH33を切って収束している。中世の竪穴状遺構、弥生後期のH33・H40に切られる。幅14～41cm、深さ5～56cmを測る。

出土遺物には弥生土器がある。1の杯は赤色塗彩される。2の壺片は頸部櫛描横線文で胴部外面は赤色塗彩される。壺は櫛描斜走文が施文される。これらは弥生後期後葉箱清水式土器である。

(11) M12号溝址

え61～え62グリッドにあり、全長5.63mの東西方向の溝である。重複関係はない。幅34～56cm、深さ2～6cmを測る。出土遺物はない。

(12) M13号溝址

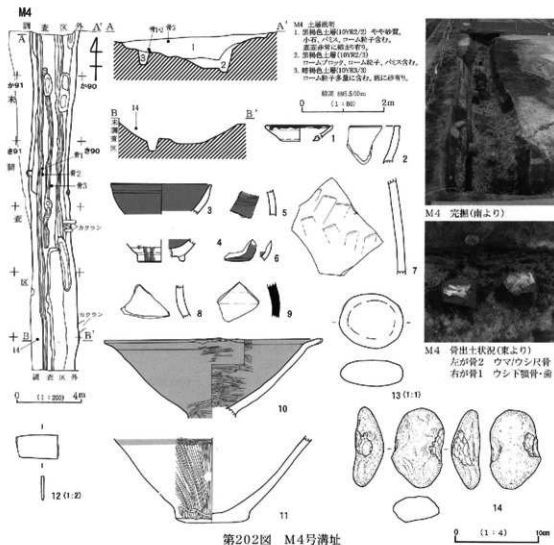
き62グリッドにあり、H120・H121、D200に切られる。全長1.34mを調査し、幅20～40cm深さ4～9cmを測る。出土遺物はない。中世の遺構に切られているので、中世またはそれ以前の溝である。

(13) M14号溝址

き68グリッドにあり、M7に切られ、H31を切る。全長2.08mである。幅52～60cm、深さ7～17cmを測る。出土遺物はない。中世の溝に切られ、弥生後期の住居を切っているので、中世から弥生後期の遺構である。

(14) M15号溝址

かき66グリッドにあり、長さ4.41m、幅22～25cm、深さ3～11cmを測る。P976～P979に



第202図 M4号溝址

切られ、P1006を切る。遺物はない。

(15) M18号溝址

き54〜き55グリッドにあり、環状にある。攪乱に切られ、土坑、単独ピットを切る。幅20〜44cm、深さ4〜32cmを測る。近代陶磁器片を含む。近代の溝であろう。

(16) M19号溝址

え56〜き56グリッドにあり、南北方向の全長11.7mを調査する。北は調査区域外、攪乱に切られる。H132・H139、M17・M20を切る。幅50〜61cm、深さ9〜28cmを測る。

出土遺物はM17との重複地点で弥生の土器片が多く出土する。

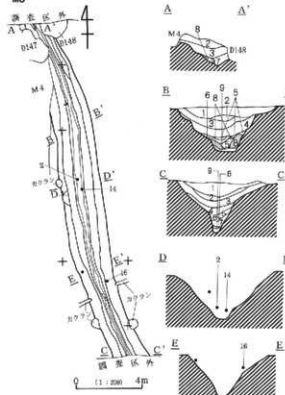
(17) M21号溝址

き50グリッドにあり、東から北へ曲がって3.64mを調査する。東は道路で未調査、北は攪乱に切られる。H43、M16を切る。幅30〜40cm、深さ4〜16cmを測る。出土遺物はない。

(18) M22号溝址

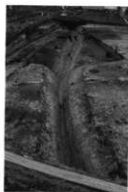
え58〜お59グリッドにあり、西から北へ曲がる溝で、M17、D302、P1486・P1489に切られ

M5

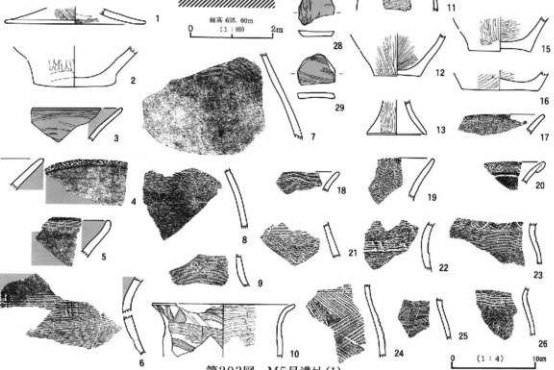


M5 土層説明

1. 緑褐色土層(19182/3) ローム状了、パリス多量を含む。
2. 灰色土層(19183/1) ローム状了、パリス、炭化物粘土含む。
3. 緑褐色土層(19183/2) ローム状了、ロームブロック、パリス多量を含む。
4. 灰褐色土層(19182/2) ローム状了、パリス含む。
5. 灰褐色土層(19183/2) 細砂心土。
6. 棕色土層(19185/4) ローム状了。
7. 黒褐色土層(19182/2) ローム状了、パリス含む。
8. 灰色土層(19186/4) ローム。
9. 緑褐色土層(19183/3) 砂。

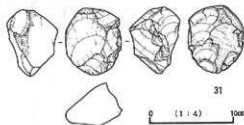


M5 完掘(南より)、南端セクション(北より)



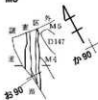
第203図 M5号溝址(1)

M5



- M5 土器断片
 1. 厚褐色土層 (10YR5/4)
 ローム・フロッグ、パリス多量に含む。
 2. 赤褐色土層 (10YR5/3)
 コーム多量に含む、パリス含む。
 3. 黄褐色土層 (10YR5/6)
 コーム土層に褐色土フロッグ含む。

M6



0 (1:200) 4m

断面 495.30m
0 (1:100) 2m

M6 セクション、写真(南より)

第204図 M5(2)・M6号溝址

る。幅39～55cm、深さ3～9cmを測る。弥生後期の土器片がある。

(19)M23号溝址

う35～く35グリッドにあり、南・北は調査区域外、M29、攪乱に切られ、H69、P1625～1627を切る。南北方向に伸び、全長19.06m、幅86～129cm、深さ55～75cmを測る。

出土遺物は、軽石製の磨石がある。

(20)M24・25号溝址

調査はM24とM25が重複しており、M24とM25の覆土が類似し、掘り別けることができないため同時に掘り下げた。

M24 い14～き14グリッドにあり、南北方向に伸びている。全長20.46mを調査している。北と南は調査区域外、弥生後期のM25・M26を切る。幅172～248cmを測り、深さ37～78cmを測る。底面は砂質である。

M25 い15～き14グリッドにあり、M24の西側で並列し、M24に切られる。M26を切る。幅244～404cm、深さ59～74cmを測る。底面に8・9層の硬質の面がある。底面の西側には7層の溝がある。これらは道路址にみられるものである。

出土遺物はM24・M25からは、かわらけ、内耳、瓦質描鉢、鉄製角釘、磁石、打製石斧、敲石が出土する。これらは中世の遺物である。

(21)M26号溝址

い10～き15グリッドにあり、北東から南西に伸びる溝で、26.28mを調査している。北と南は調査区域外で、M24・M25、攪乱に切られ、M27を切る。幅170～330cm、深さ123～165cmを測る。断面形は底面が狭くV字形に近い。M27との接点はロームを貼って壁を作っている。遺物は弥生土器、土製円板、敲石がある。弥生土器は蓋、鉢、高杯、壺、甕がある。土器の量は少なく、31の赤色塗彩の甕が唯一の完形品である。4の高杯は赤色塗彩され、口縁が折れて、鈎が付く。22の甕は口縁が強く外反し、頸部が括れ、胴部が球胴形を呈す。これらは弥生後期後葉箱清水式土器である。

(22)M27号溝址

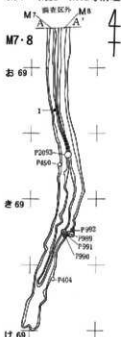
い11～う12グリッドにあり、M26に切られて、6.28mを調査する。北は調査区域外である。幅302～324cmを測り、深さ96～126cmを測る。M26に比べ浅く、底径の広い断面形となっている。

出土遺物は弥生土器と土製円板がある。甕は櫛波状文、壺は頸部にヘラ描斜文である。これらは弥生後期の土器である。

(23)M28号溝址

あ1～お0グリッドにあり、南北方向の溝で、北は調査区域外、攪乱に切られ、H68を切る。幅

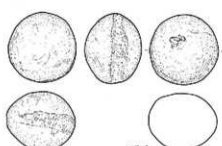
M7～M10・M12号溝址



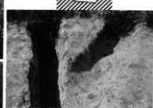
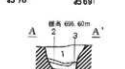
M9 完掘(東より) セクション(東より)



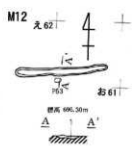
M7-8 セクション(南より)



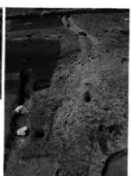
M7-1 (1:4) 100m



M10 完掘・M11 セクション(南より)

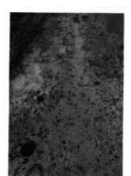


M12 完掘(西より)



M7-8 完掘(南より)

- M7 M8 土層説明
1. 高色土層(10YR2/1) コーム粒子・パミスを含む。
 2. 黒色土層(10YR2/1) 1層より厚色微。
 3. 暗色土層(10YR4/6) コーム主体。
- M9 土層説明
1. 暗色土層(10YR2/3) お平かにコーム粒子・パミスを含む。
 2. 高色土層(10YR2/1) コームブロックを少し含む。
 3. におい暗色土層(7.5YR5/4) 主に黒褐色土ブロックを含む。
- M10 土層説明
1. 高褐色土層(10YR2/2) コーム粒子・小石を含む。
 2. 高暗色土層(10YR2/3) コーム粒子を多く含む。
- M12 土層説明
1. 高褐色土層(10YR2/3) コーム粒子を含む。



M12 完掘(西より)

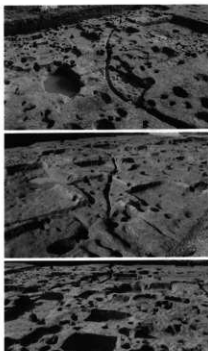
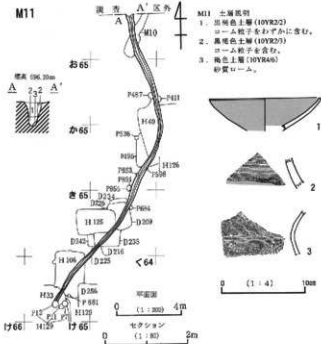
第205図 M7～M10・12号溝址

102～132cm、深さ12～39cmを測る。

出土遺物は黒色頁岩の砥石、土器器片と弥生土器片がある。H68が古墳時代後期なのでそれ以降の溝である。

(24)M29号溝址

M11号溝址



M11 完掘(北より・南西より・南より)

第206図 M11号溝址

う30~う36グリッドにあり、東西方向の溝で、西は道路で未調査、攪乱に切れられ、H58・H64・H69の弥生後期の住居址、中世のM23を切る。幅106~190cm、深さ13~67cmを測る。底面は不規則な落ち込みがある。

弥生土器と土師器杯(古墳)破片がある。M23に切られているので、中世または中世以降の溝である。

(25)M16号溝址(図版96~102、第1分冊巻頭図版12)

う44~け52グリッドにあり、44グリッドから東西方向に延びる溝が、え50グリッドでほぼ直角に曲がって南北方向の溝になる。曲がり角の西は、M20を部分的に埋めて陸橋を作り、溝を廻している。

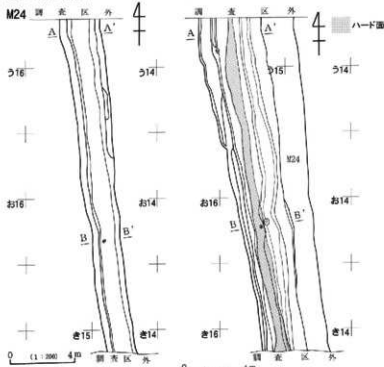
M20に設けられた陸橋は下底456cm、上底168cm、高さ104cmを測り、断面形は台形を呈する。地山のローム主体の土を数層にして盛っている。M16構築のために埋められたと考えている。

溝の全長は南北方向約20m、東西方向約24mを測り、北と南は調査区域外で全長44.16mを調査する。幅246~310cm、深さ141~165cmを測る。H43・H143・H147の中世の竪穴建物址、M17・M21、単独ピット、攪乱に切れられ、M20を切る。

M16のC・Gセクションの断面形は、底面の幅が80cmと狭く、V字に近い逆台形を呈している。曲がり角のBセクションでは、M20の幅広い底面をM16の中狭の底面が切っているセクションに看取れる。M20と重複する東西方向はそのままM20を利用したとも考えられるが、Cセクションのような底面の狭い溝を検出できた可能性がある。重複部分では、激しい湧水でM16の正確な遺構は捉え切れていないかもしれない。

出土遺物は弥生土器を多量に出土する。他に土製勾玉、敲石・磨石・凹石、打製石斧、中世の混入品の鉄製角釘・鎌がある。

M24・M25号溝址

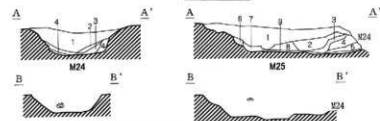


M24 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) 5~8mm程度の砂粒を多く含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/2) ローム粒子・砂を含む。
3. 黒色土層 (10YR2/1) パミス・ローム粒子・砂を含む。
4. 褐色土層 (10YR4/4) 砂・ローム主体。

M25 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) パミス・ローム粒子を含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2) 1層より黒色強、ブロック状の黒色土を含む。
3. 黒色土層 (10YR2/1) ローム粒子・パミスを含む。
4. 黒色土層 (10YR2/1) パミス・黒色土ブロックを含む。
5. 黒褐色土層 (10YR3/2) 砂質土層なる。
6. 黒褐色土層 (10YR2/1) ローム粒子を含む。
7. 暗褐色土層 (10YR3/2) ローム粒子・パミスを多量に含む。
8. 褐色土層 (10YR3/2) 上部部層に砂なる。砂・パミス・黒色土ブロックを含む。
9. 暗褐色土層 (10YR3/2) ロームブロック主体に褐色土ブロックを含む。網まり状あり。



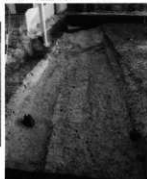
M25 完掘(南より)



M24 完掘 M25ハード面輸出(南より)



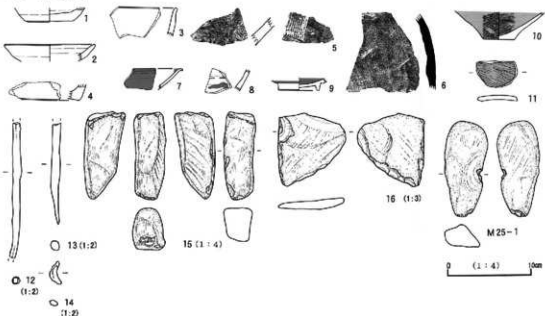
M24・M25 セクション(南西より)



M25 完掘(北より)

第208図 M24・M25号溝址(1)

M24・M25号溝址



第209図 M24・M25号溝址(2)

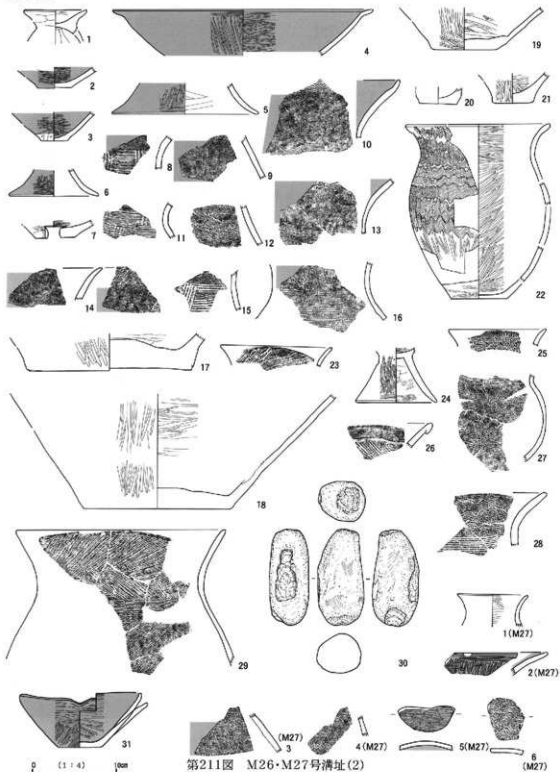
遺物の出土状況は、南北方向の溝からは破片が多いが実測個体は少なく、78の小型甕の完形品と壺底部のみである。底面から80cm付近まではほとんど土器はなく、幅を広げる中位から上に多く出土する。実測個体の大半は東西方向のM20と重複している地点からである。

弥生土器は蓋、杯、鉢、高杯、壺、甕がある。9の蓋は彩色の無い杯ともいえるが粗製であることから蓋とした。10・11の蓋は無彩色、杯類は赤色塗彩され、片口の付くものもある。口縁上部が内湾直立するが明確な外稜を持つものはない。22の鉢は無彩色で、口縁が折り返しである。高杯は口縁が内湾のみで開く35、内稜を持って折れ、鈎を作り出す25・26・42、杯部中位で、外稜を持って直立して上半が外反して開く36・37・43の三器形がある。脚部は透しが多く、直線の裾部のみ外反して開くものが多い。壺1類の受け口状口縁は47~49・59・60があり、口縁帯の外稜が明瞭で、幅広である。壺3類の外反し端部が平坦に伸びる壺は64~66・69などがある。壺胴下部形は直線的な77・81・82と外反気味な79・80とがある。大型の壺が5個体実測され、推定器高100cm級の大型の壺が目立つ。頭部文様は櫛描横線文、櫛描T字文、櫛描横線文+櫛描波状文、櫛描横線文+赤色塗彩帯+櫛描横線文など多段で構成される。甕は口縁が長く大きく外反し口縁に最大径を持つ114~120、口径と胴最大径に近い108・128・134・137、胴部形に最大径を持つ98~100・141などがある。胴部に最大径を持つ甕は球胴形を呈する。無文の甕、櫛描波状文と頭部に櫛描簾状文、斜走文と頭部に櫛描簾状文、櫛描波状文・櫛描斜走文のみで頭部に簾状文がないものがある。

46グリッド(F地点)では壺と甕が一括で出土している。大型・太頭で口縁が強く外反し、端部が水平に近く開く64~66の壺、受け口で口縁帯がミガキ赤色塗彩されるのみの47・48、甕は胴部に最大径を持ち櫛描波状文のみの100、波状文と頭部に簾状文の98・114は清中位より出土している。壺の頭部文様は櫛描T字文・櫛描横線文である。これらは北側から投げ込まれた状況が遺物のドットから窺える。

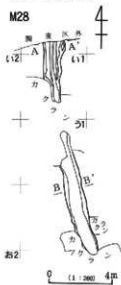
え50グリッドの77壺は頭部櫛描T字文で赤色塗彩の大型、141の甕は下層の18層から出土し、口縁から胴中位下まで斜走文である。M20の52グリッドの遺物と大差はなく同じ時期の土器であろうか。59の受け口で無彩色の壺、118の櫛描波状文だけの甕は上層に当たる8層下から出土している。

M26·M27



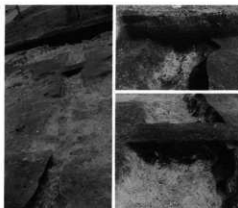
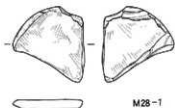
M28～M31号溝址

M28



M28 土質説明

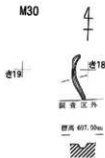
1. にぶい黄褐色土層 (10YR4/3)
1cm以下の礫・パリスを含む。
2. 黒褐色土層 (10YR3/2)
にぶい黄褐色土 (10YR6/4) 粒子を少し含む。
3. にぶい黄緑色 (10YR6/4) ローム層。二枚破片。
4. 黄褐色土層 (10YR3/2)
にぶい黄褐色土 (10YR7/4) ロームブロック (不定大) を含む。



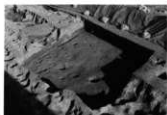
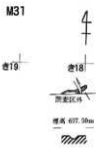
M28 完掘(北より)

M28 セクション(南より)

M30

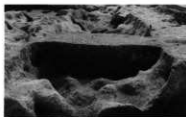
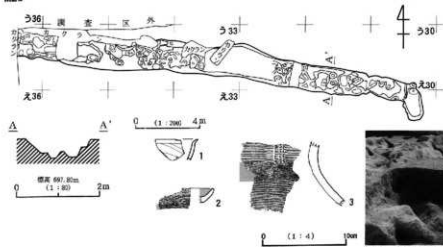


M31



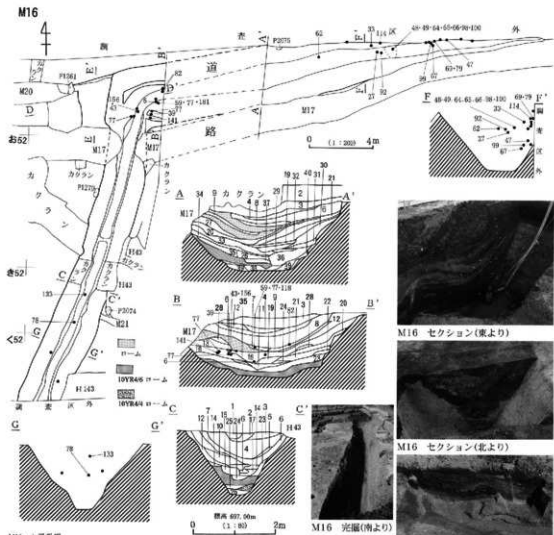
M29 H58(弥生後期)を切る(北西より)

M29



M29 セクション(西より)

第212図 M28～M31号溝址



M16 土層説明

1. 暗褐色土層(10YR3/3)ローム粒子、パリスを多く含む。
2. 黒褐色土層(10YR2/2)ローム粒子、パリスを含む。
3. 暗褐色土層(10YR3/4)ローム粒子を多く含む。パリスを含む。
4. 暗褐色土層(10YR3/4)10YR666ロームブロックを多量に含む。3層より粗さい。
5. 黒褐色土層(10YR2/3)シルト質。
6. 黒褐色土層(10YR2/2)暗化ロームを多量に含む。
7. 暗褐色土層(10YR3/3)ローム粒子、ロームブロック、パリスを含む。
8. 暗褐色土層(10YR3/2)ローム粒子、パリス、炭化物を含む。
9. 灰色土層(10YR7/3)炭化物層。
10. 黒褐色土層(10YR2/3)ローム粒子を多く含む。
11. 暗褐色土層(10YR3/4)砂
12. 黒褐色土層(10YR2/3)10層より厚い。
13. 黒褐色土層(10YR2/2)黒色土ブロック、ロームブロックを含む。
14. 黒褐色土層(10YR2/2)細砂を含む。
15. 暗褐色土層(10YR3/3)ややシルト質土。ローム粒子を多く含む。

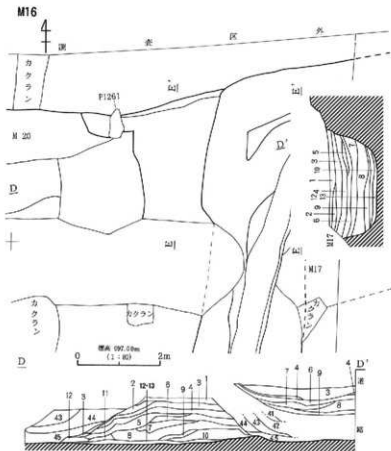
16. 黒色土層(10YR2/1)黒いちみつな土。
17. 褐色土層(10YR6/4)ローム主体。
18. 黒褐色土層(10YR2/2)ロームブロック、パリスをわずかに含む。
19. 黒褐色土層(10YR3/2)シルト質土。
20. 暗褐色土層(10YR2/3)砂質土を含む。跡多あり。
21. 暗褐色土層(10YR3/4)砂質土。非常によく締まる。
22. 黒褐色土層(10YR2/2)砂を含む。締まる。
23. 褐色土層(10YR6/4)17層より黒褐色土を含む。
24. 暗褐色土層(10YR3/3)シルト質。
25. 暗褐色土層(10YR3/4)黒いちみつな土。
26. 黒褐色土層(10YR2/2)ちみつな土。
27. 暗褐色土層(10YR3/3)ローム粒子を多く含む。
28. 暗褐色土層(10YR3/3)ロームブロックを多量に含む。
29. にぶい黄褐色土層(10YR4/3)砂質
30. にぶい黄褐色土層(10YR4/4)ローム主体。
31. にぶい黄褐色土層(10YR3/4)砂質

M16 セクション(東より)

M16 セクション(北より)

M16, 17 セクション(西より)

第213図 M16号溝址(1)



M16 土層説明
図例

1. 黒褐色土層 (10YR3/5)
ロームブロック・パミスを含む。
2. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロックを多く含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロックを多く含む。
4. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロックを含む。
5. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロックを多く含む。
6. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロックを多く含む、ロームブロックを多数に含む。
7. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロックを多数に含む。
8. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロックを多く含む。
9. 褐色土層 (10YR4/4)
ロームブロック主体。
10. 黒褐色土層 (10YR3/2)
黒褐色セブロック・緑ロームブロック混在。
11. 褐色土層 (10YR2/1)
非常に少ない 10YR4/6 ロームブロック混在。
12. 黒褐色土層 (10YR2/2)
シルト質土、褐色土ブロックを含む。
13. 深い黄褐色土層 (10YR6/4)
シルト質土。



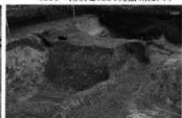
M16 陸橋とM20完掘(東より)



M16 陸橋西側埋土セクション(北より)



M16 陸橋セクション(南より)



M16 陸橋(南西より)



M16 陸橋セクション(南より)



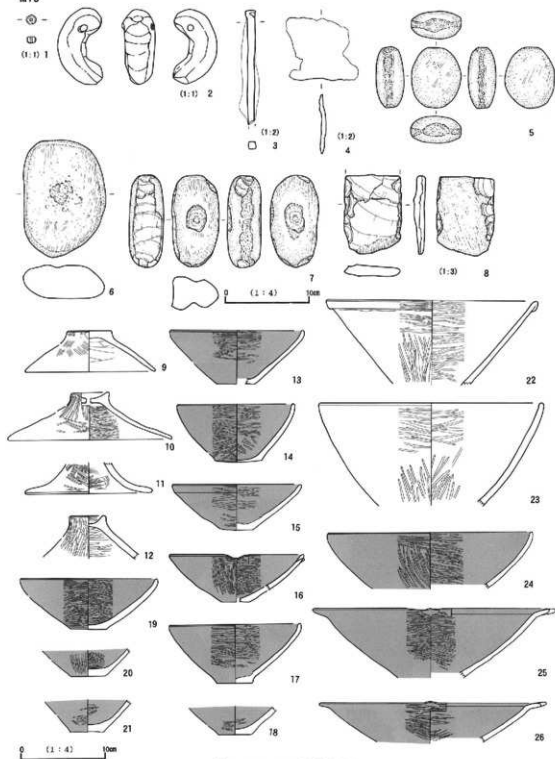
M16 陸橋セクション(西より)



M16 陸橋東側土層堆積状況(南より)

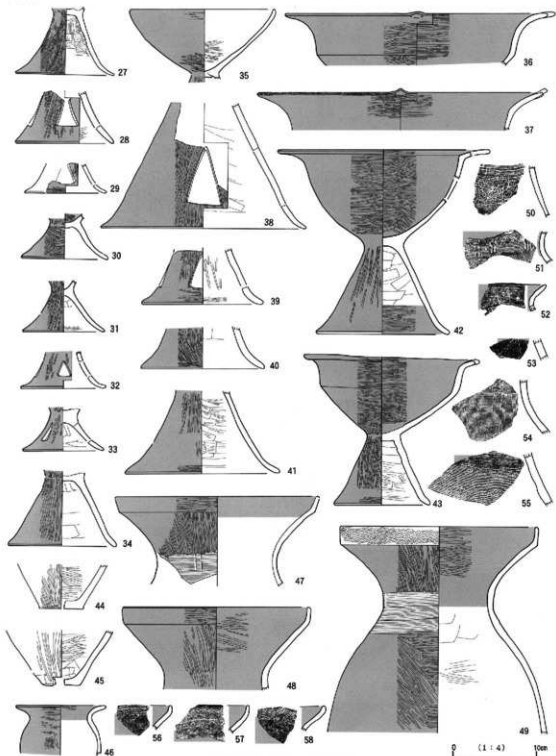
第214図 M16号溝址(2)

M16



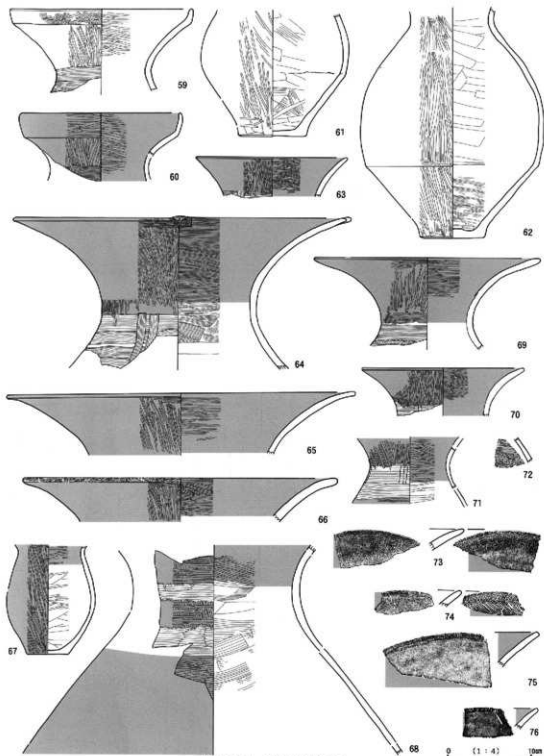
第215图 M16号沟址(3)

M16

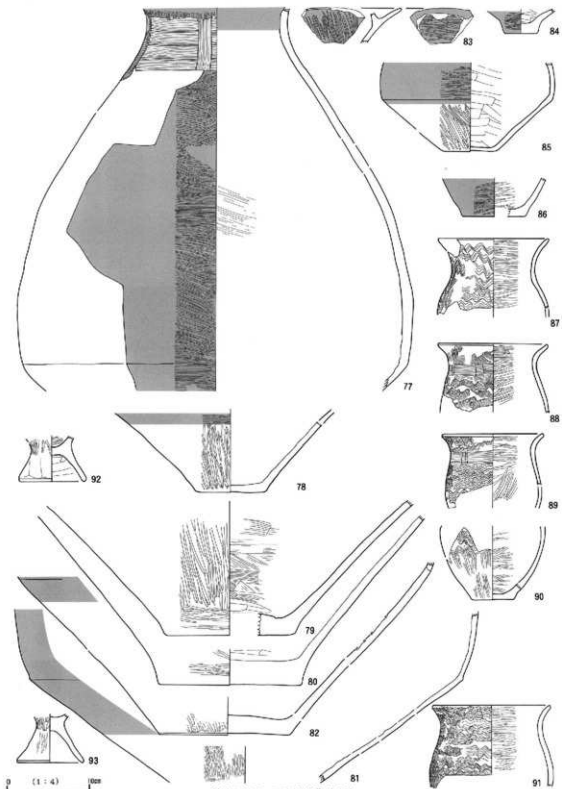


第216图 M16号沟址(4)

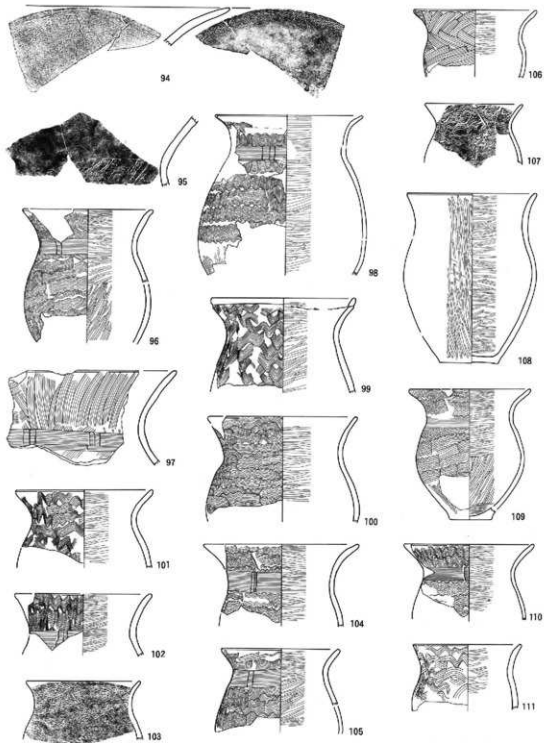
M16



第217图 M16号沟址(5)

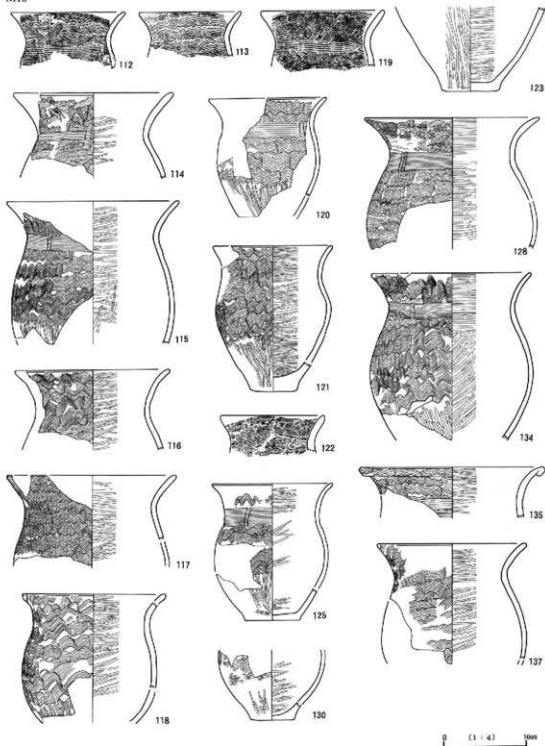


第218图 M16号沟址(6)

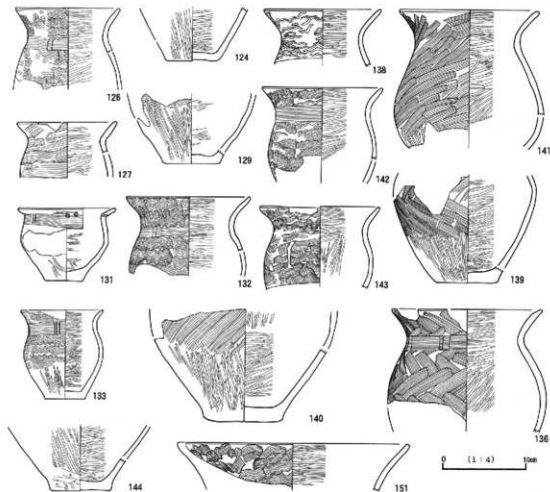


第219图 M16号沟址(7)

M16



第220图 M16号沟址(8)



第221図 M16号溝址(9)

陸橋からは土器は壺形土器片が数点出土したのみで実測できる土器はない。

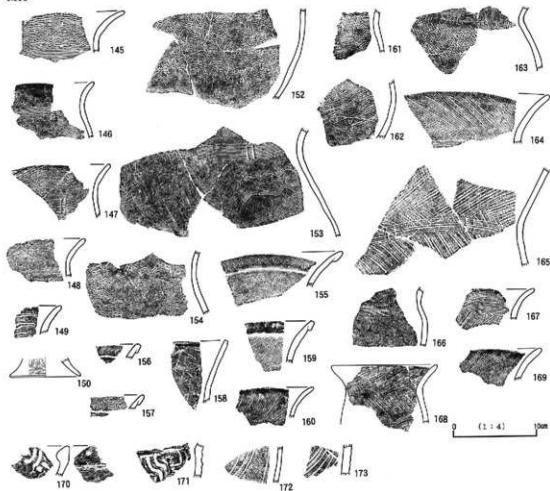
これらより、本溝は弥生後期の箱清水式IV・V期の遺物がみられ、77の壺は肩が張らずにIV期の様相、48・49・64～66の壺は弥生後期V期の様相が窺える。掲載した土器はM20で掲載する上層の土器との差異はない。

(26) M17号溝址

う41～え61グリッドにあり、東西方向に全長80.6mを調査している。中世のH44・H134・H135・H147、M19、単独ピット、攪乱に切られ、M16・M20を切っている。幅140～260cm、深さ59～117cmを測る。東から西にかけて地形に沿って低くなっている。

遺物は弥生土器が多量に出土し、破片は深さ10cmのテン箱に20箱、実測個体143個体、54・55グリッドはことに集中する。Fセクションをみると南側からの遺物の流入を示しており、M17より南にある遺構との関連を示す。

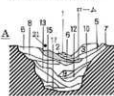
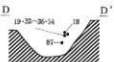
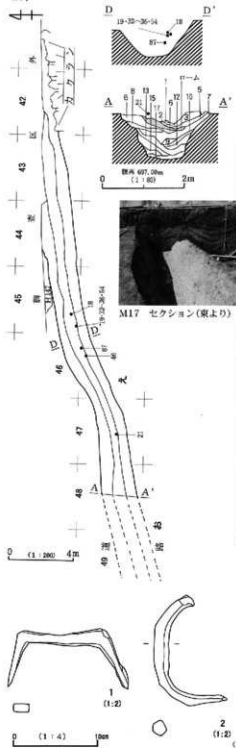
M16



第222図 M16号溝址(10)

出土遺物は弥生土器、磨石・蔽石、太型蛤刃石斧がある。1～3の鉄製角釘・鋌は重複するH44(中世)のものである。弥生土器は手捏、蓋、甗、杯、鉢、高杯、壺、甕、土製円板がある。45グリッドでは18・19・32～36・54が一括して出土し、杯2、高杯5、壺1の赤色塗彩の製品が溝の南側中程から出土している。高杯は一部欠損や摩耗しており、内湾する杯部形で、脚部の裾は外反して開いている。54の壺は端正で完存し、頭部に櫛描文、外反する口縁と胴部は赤色塗彩される。胴部は張り、中位下に稜線をもち、屈曲して底部に至る器形である。南側からの投入とみられる。46の壺は小型で、外面の頭部に櫛描文、口縁から胴下部まで頭部以外は赤色塗彩される。胴部下の内側に挟れた穿孔があり、意図的であろうか。21の杯は47グリッドの検出面で、口縁が外稜をもって直立する受け口状である。50グリッドの下層からは、上下ともに杯部形で全面に赤色塗彩される30の高杯がある。小品で、口径は10.1cm・10cm、高さ7.3cmを測り、口縁に突起をもつ。杯部形は中位に外稜をもち口縁上部は外反して外に開く。同地点からは91の甕があり、口縁の外反が強い。上層からは51・52の無彩色の壺があり、52の頭部文様は途切れる波状文である。胴下部は屈曲する。深鉢タイプの外面下部まで赤色塗彩の46の壺がある。

M17



断面 607.00m
(1:80) 2m



M17 セクション(縦より)



M17 遺物出土状況(南より)



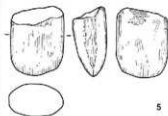
M17 完掘(東より)



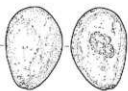
M17 完掘(西より)

M17 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/5)
2. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム土層。
3. 黒褐色土層 (10YR2/5)
ローム粒子・パリスを含む。
4. 黒褐色土層 (10YR2/5)
3層よりローム粒子を多く、炭化物・ロームブロックを含む。
5. 黒褐色土層 (10YR2/2)
ローム粒子・パリス・炭化物を含む。
6. 暗褐色土層 (10YR3/3)
ローム粒子を多量を含む。
7. 黒褐色土層 (10YR2/2)
4層と似ている。
8. 褐色土層 (10YR4/4)
明褐色 (7.5YR5/6) ロームを多量を含む。
9. 黄褐色土層 (10YR2/2)
ロームブロック・パリスを含む。
10. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ロームブロック・パリスを含む。
11. 黒褐色土層 (10YR2/3)
3層と似ている。
12. 明褐色土層 (10YR2/2)
パリスを含む。黒色強。
13. 暗褐色土層 (10YR3/4)
ロームブロックを多く含む。ところに
よりローム土層。
14. 明褐色土層 (10YR2/2)・暗褐色 (10YR3/4) の
ブロックを含む。
15. 褐色土層 (10YR4/4)
ローム土層。下面に薄いシルト層あり。
16. 明褐色土層 (7.5YR5/4)
ローム土層。下面に薄いシルト層あり。
17. 褐色土層 (10YR4/4)
砂。



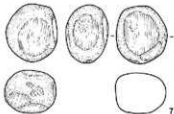
5



6

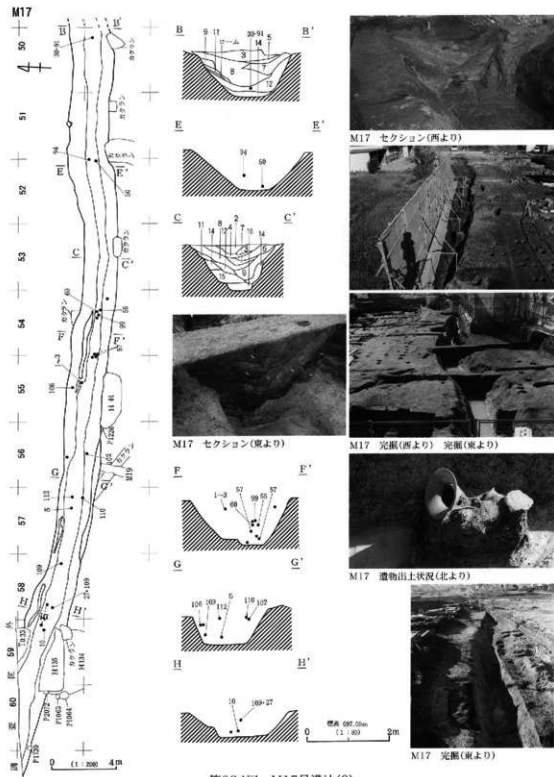


4



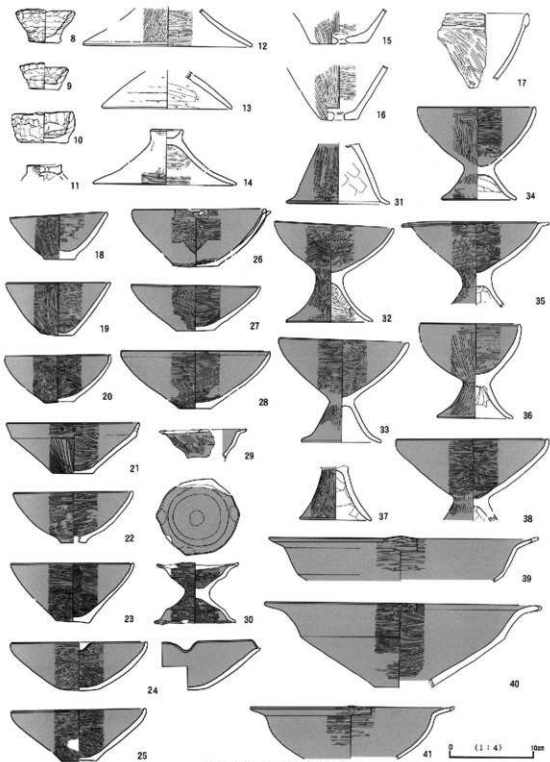
7

第223図 M17号溝址(1)



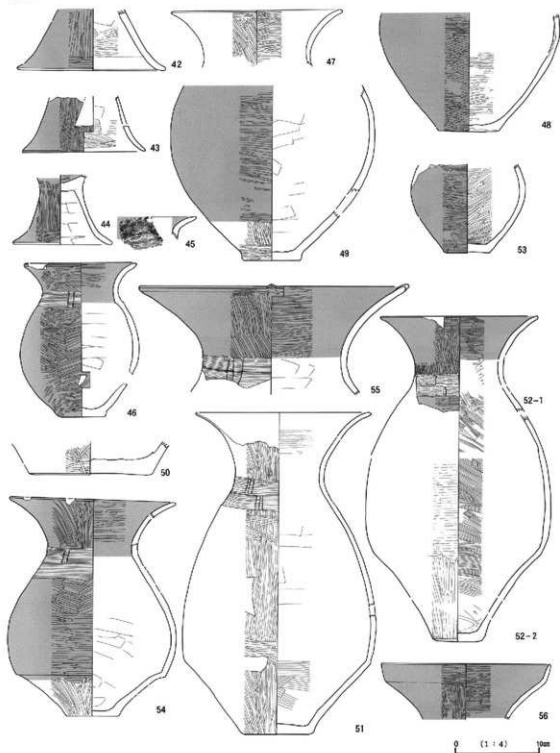
第224図 M17号溝址(2)

M17



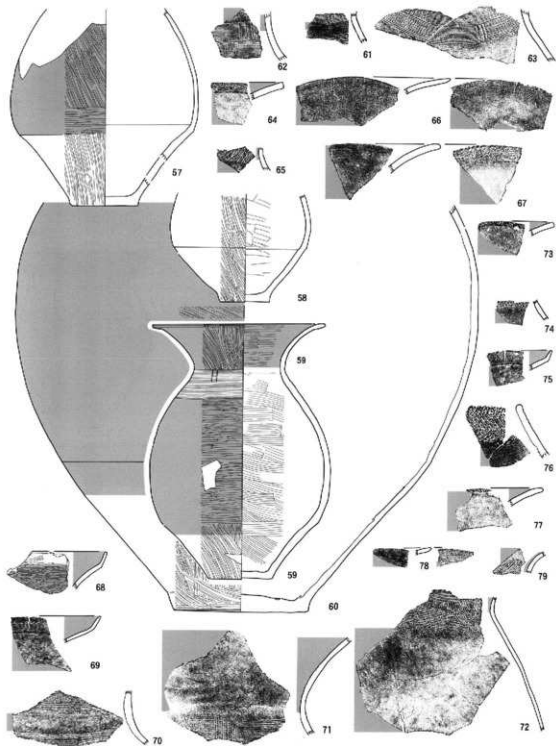
第225图 M17号沟址(3)

M17



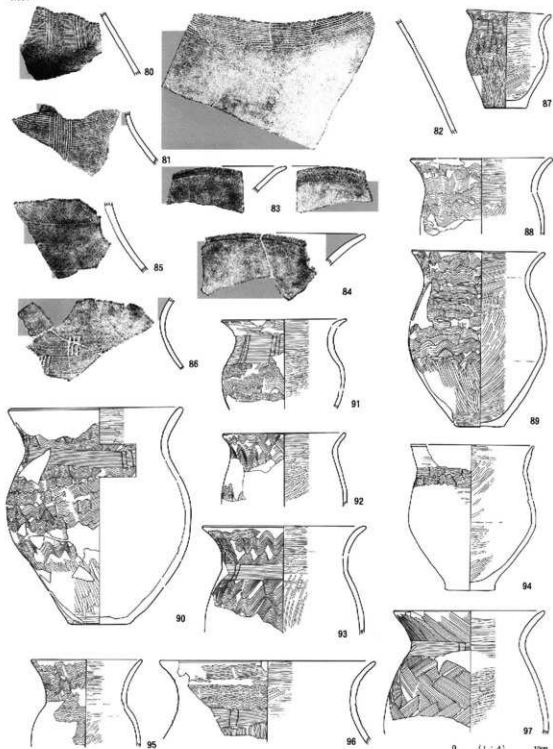
第226图 M17号沟址(4)

M17



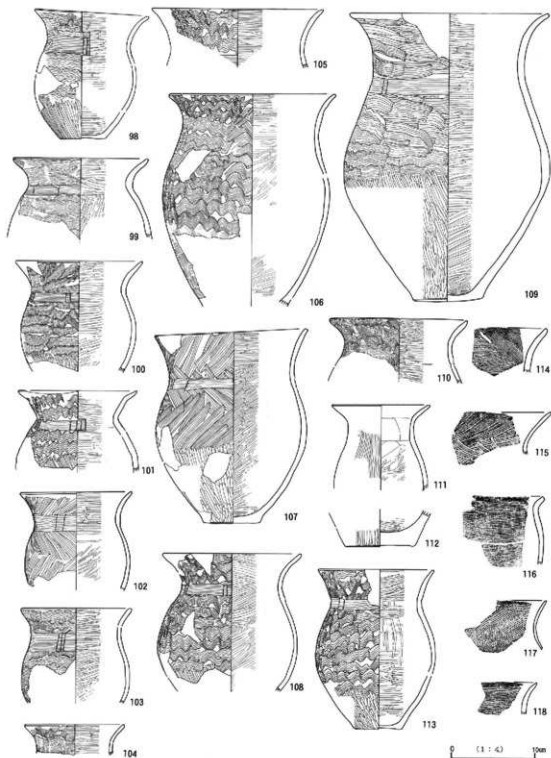
第227图 M17号沟址(5)

M17



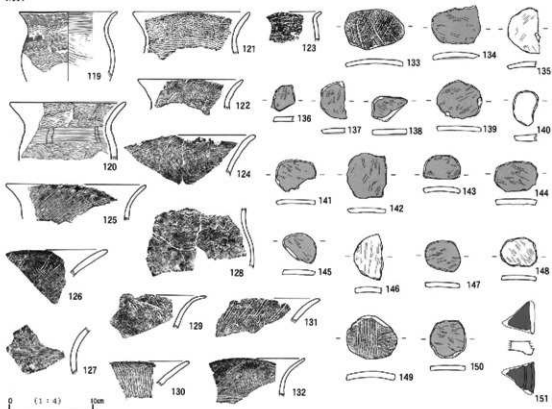
第228图 M17号沟址(6)

M17



第229图 M17号沟址(7)

M17



第230図 M17号溝址(8)

遺物が集中する54グリッドでは、60の残高50cm、胴部最大径57.2cmの大型の壺、55の太頸の壺、99の口縁が強く外反する甕がある。58グリッドの109の甕の櫛描文は斜状文と波状文の折中した施文となっている。これらより、弥生後期V期の様相の土器群が主体とみられる。

本溝の土器は赤色塗彩された杯・高杯・壺が多く、南側から投入された出土状況が45・54グリッドでは看取される。

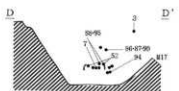
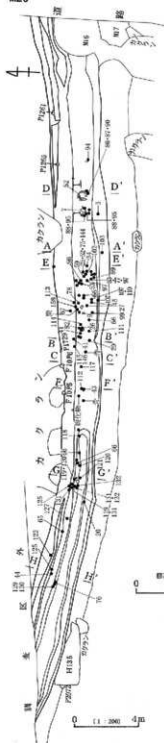
(27) M20号溝址(図版96・107～114、第1分冊巻頭図版12)

う49～え60グリッドにあり、北は調査区域外で、中世のH44・H135、M19、弥生後期のM16・M17、単独ピットに切られる。M20はM16の方向転換のために埋められたとみられる陸橋がある。道路のため未調査になっている49グリッドから東はM16と重複しているため、M16として報告している。またM17に南で平行に接して切られる。全長40.4m、幅(196)～340cm、深さ97～161cmを測る。M20の断面形は逆台形であるが底面が広く平坦な大溝で、底面の幅が128～158cmを測る。

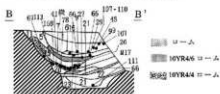
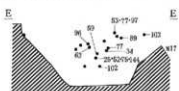
遺物は弥生土器が多量に出土し、実測個体163個、破片は深さ10cmの大テン箱に14箱分がある。他に鉄鏃、ガラス小玉、鉄石英の管玉、砂岩製多面体の砥石・蔽石の石製品がある。方柱の砥石12・13は混入品である。3の断面方形の鉄軸は検出面から出土している。

遺物の出土地点をみると、陸橋からは破片のみで遺物は少ない。え52・え54・え56グリッド地点に集中している。Bセクションでみると5～7層の下にローム層の堆積があり、上下に分かれている。上層から出土する27の杯、45の無頸壺、Dセクションの86甕の不規則な斜条痕、90の波状文の甕

M20

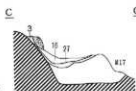


M20 セクション(南東より)

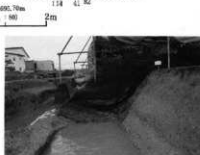


M20 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒予・パミスを含む。
2. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
3. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒予・パミスを含む。
4. 灰褐色土層 (10YR4/2) ややソルト質土。
5. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム粒予を多量含む。
6. 暗褐色土層 (10YR3/4) ロームブロックを多量に含む。
7. 黒色土層 (10YR2/1) 炭化物粒予を含む。
8. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。
9. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・パミスを含む。
10. 灰褐色土層 (10YR4/2) ややソルト質土。
11. 暗褐色土層 (10YR3/3) ローム粒予を多量に含む。
12. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。
13. 黒褐色土層 (10YR2/2) 土面に炭化物層あり。
14. 褐色土層 (7.5YR4/3) ローム粒予を多量に含む。
15. 黒色土層 (10YR2/1) 炭化物粒予を多量に含む。
16. 灰褐色土層 (10YR4/2) 灰層
17. 暗褐色土層 (10YR3/3) ロームブロックを含む。
18. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
19. 黒色土層 (10YR2/1) 炭化物を含む。
20. 黒褐色土層 (10YR2/2) ロームブロック・黒色土ブロック混在。
21. 黒褐色土層 (10YR2/2) 黒色土にローム粒予を含む。
22. 褐色土層 (10YR4/4) ローム主体。
23. 黒褐色土層 (10YR2/2) ローム主体。
24. 暗褐色土層 (7.5YR3/6) ローム主体。
25. 灰褐色土層 (10YR4/2) ソルト質土。
26. 褐色土層 (10YR4/6) ローム主体。
27. 黒色土層 (10YR2/1) 炭化物層。



ローム
 10YR4/6 ローム
 10YR4/4 ローム



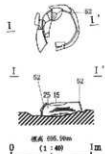
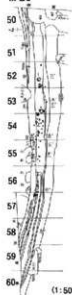
M20 セクション(東より)



M20 え55炭石(東より)

第231図 M20号溝址(1)

M 20



M20 3鉄製軸(西より)

(1:500)

標高 88.50m
(1:80) 2m



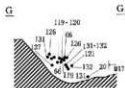
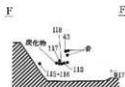
M20 調査風景(西より)



M20 遺物出土状況 え52(北東より)



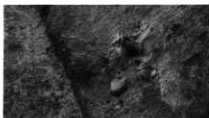
M20 完掘(東より)・完掘(東より)



M20 52壺(南より)



M20 遺物出土状況 え53・54(南東より)



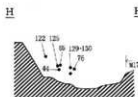
M20 遺物出土状況 え56(東より)



M20 遺物出土状況 え54(北東より)



M20 遺物出土状況 え52(北より)



M20 遺物出土状況 え58(西より)



M20 遺物出土状況 え56(西より)

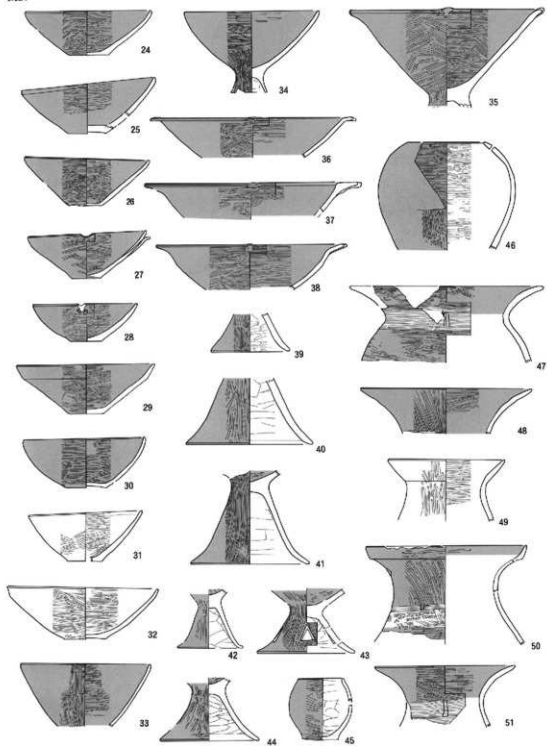
第232図 M20号溝址(2)

M20



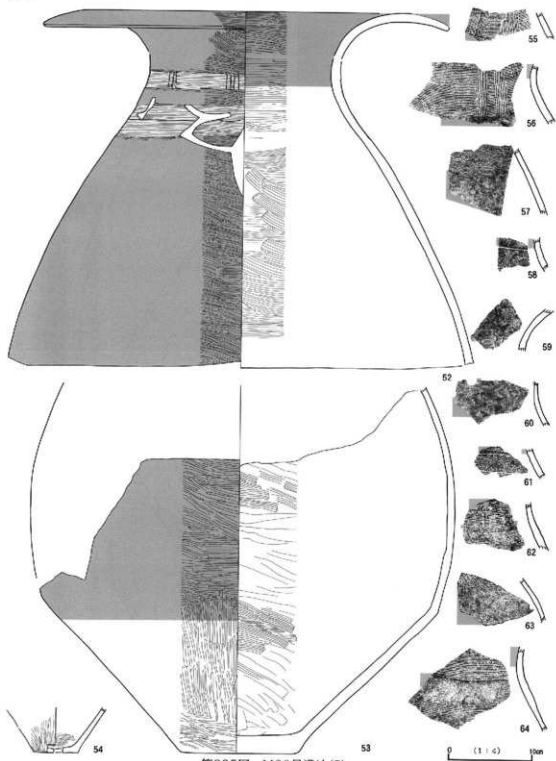
第233图 M20号溝址(3)

M20



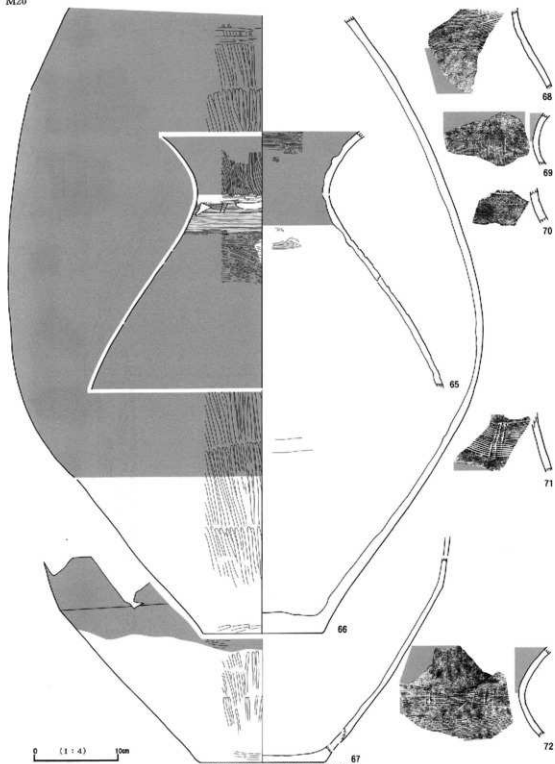
第234图 M20号沟址(4)

M20



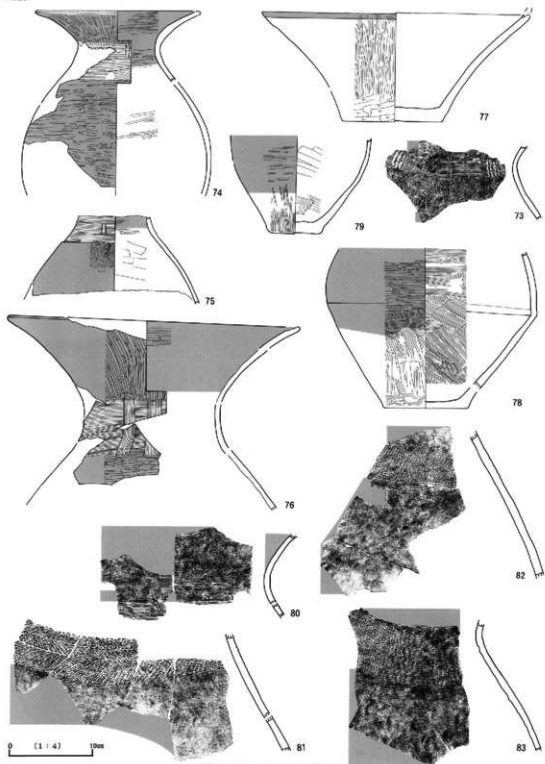
第235图 M20号溝址(5)

M20



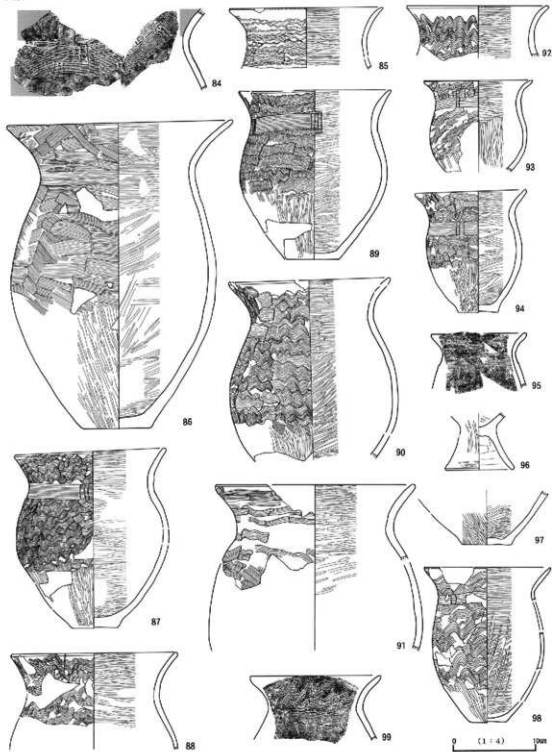
第236图 M20号清址(6)

M20

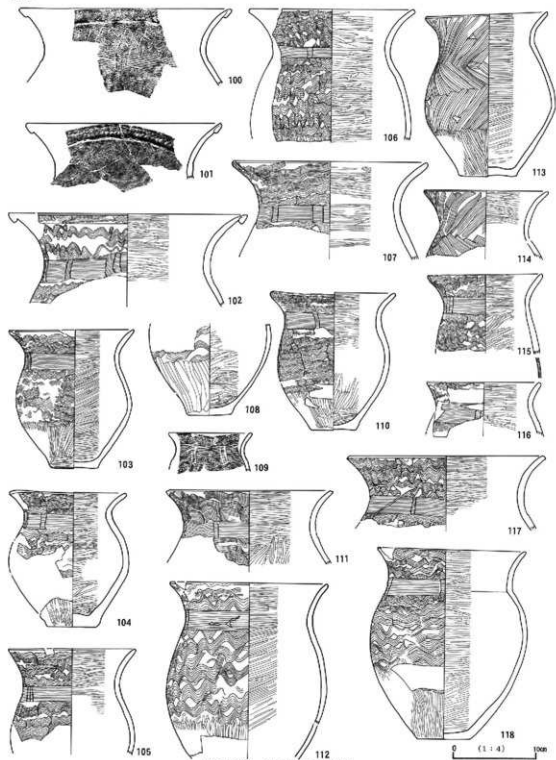


第237图 M20号沟址(7)

M20

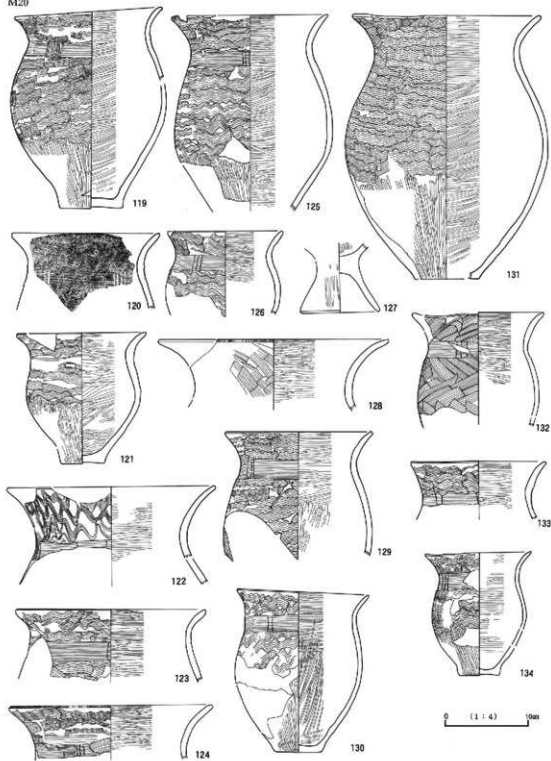


第238图 M20号清址(8)



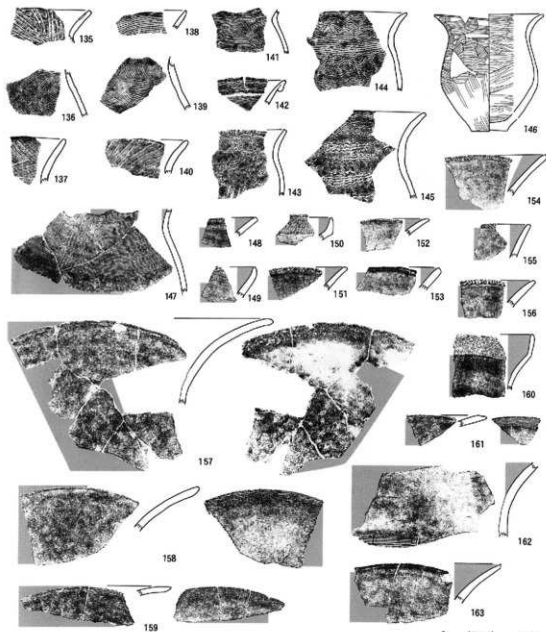
第239图 M20号沟址(8)

M20



第240图 M20号沟址(9)

M20



第241図 M20号溝址(11)

など52グリッドの遺物の集中は南から流入した遺物群である。52壺の口縁は強く外反し、頸部に赤色塗彩帯を扶む櫛描横線文を施す大型品である。

ローム層の下層に15・16層の炭化物・灰層がある。多量の土器と鉄鏝、ガラス小玉、砥石が出土している。これらの遺物の流入は北からである。底面から40cmほど上の遺物群である。炭化物・灰層の遺物集中は2か所あり、え54とえ57グリッドである。26の赤色塗彩の杯、41の高杯の脚、66の大型壺、113・114の櫛描斜走文、131の波状文の甕など頸部に簾状文をもたないものが出土している。

これらの土器は弥生後期後葉の弥生後期IV期の土器様相をもっている。

炭化物・灰層からは、土器、ガラス小玉・鉄石英の管玉が出土し、炭化材と炭化物がある。え55の炭化材はコナラ属コナラ亜属コナラ節と分析されている。え50グリッドの6層の炭化物層中の炭化材の分析では、炭化材はコナラ属コナラ亜属コナラ節。え58グリッドの炭化物層中の土器の122高杯と121甕の内部に入っていた炭化物はイネの穎・胚乳、キビ近似値、タデ属、アカザ科、スベリヒユ科であるとされた。骨は獣骨・イノシシ?と分析されている。焼失した住居の土器などをまとめて廃棄したと考えるが、祭祀的な事も考慮すべきなのか判断し兼ねる。

溝の北側に弥生後期の集落があり、M20は北の集落の環濠として掘られたようである。時間を経て、南から遺物の投入がなされ、M16・M26により西と東側を区切る集落に移行し、その後M17を掘り、M17に土器を捨てる集落が展開したようである。

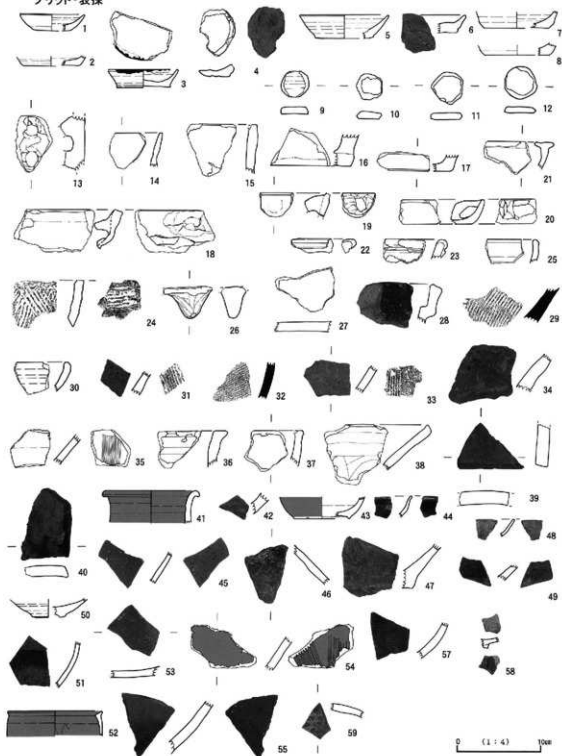
第6節 グリッド (遺物図版85・115～119、第1分冊巻頭図版15～17)

グリッドからは中世の遺物が多く出土する。ことに50～67・73～82グリッドにかけて多く、100m間は中世遺構が密集しているためであろう。かわらけ・内耳転用の土製円板、須恵質・土師質の擂鉢、瓦質火鉢の日常品と、白磁四耳壺、白磁皿、鉄軸茶壺などの高級品がある。調査区西の73～90グリッドからは中世遺物とともに近世の陶器や焙烙などが見られる。前山の製品(18C末～19C前半)、越中瀬戸(17C)、瀬戸・美濃(17・18C)がある。羽口・鉄滓があり、製鉄または鍛冶関係の生業が考えられる。

60～64グリッドからも中世遺物が多い。砥石、かわらけ、火鉢、土師質の茶釜、古瀬戸平椀・天目茶碗・卸し皿などがある。常滑・中津川の壺か甕片、山茶碗など中世遺物が豊富である。

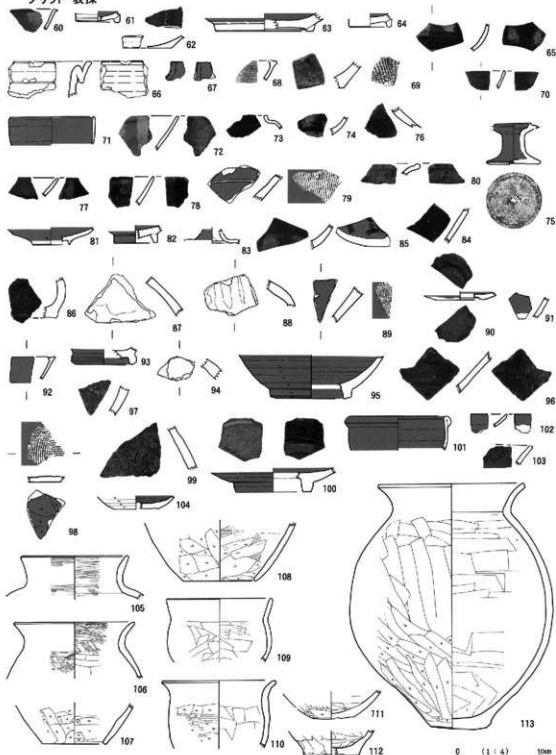
166は須恵器の硯で脚部に透しをもっている。

グリッド・表採



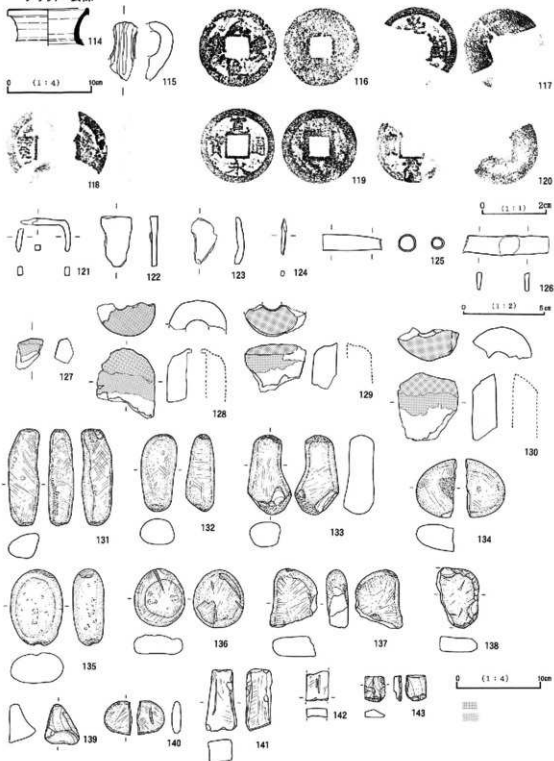
第242図 グリッド(73~90グリッド)・表採(1)

グリッド・表採



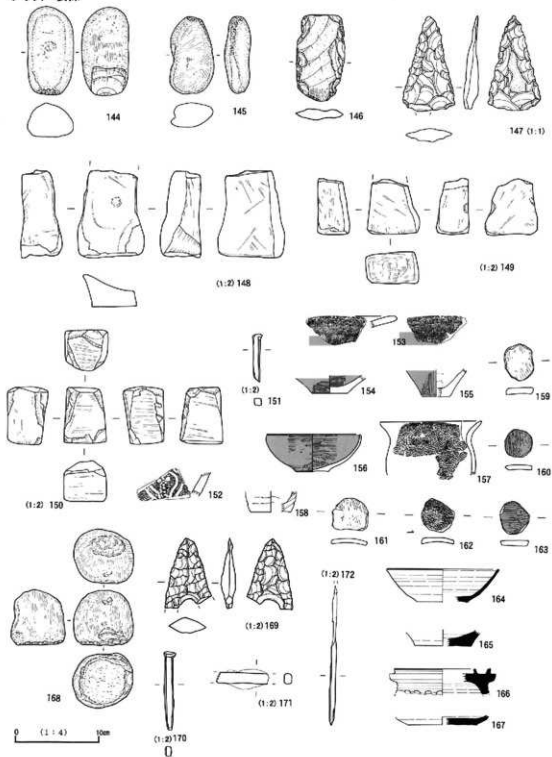
第243図 グリッド(73~90グリッド)・表採(2)

グリッド・表採



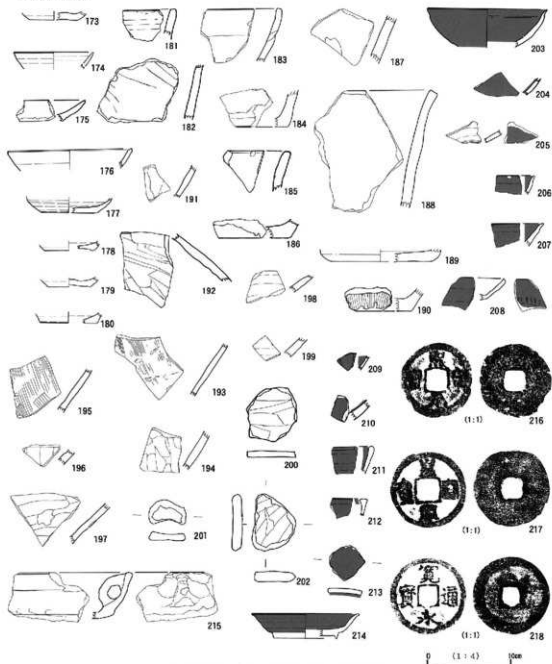
第244図 グリッド(73~90グリッド)・表採(3)

グリッド・表採



第245図 グリッド(1~90グリッド)・表採(4)

グリッド・表採



第246図 グリッド(1~72)・表採(5)

第V章 北一本柳遺跡Ⅲ まとめ

本報告書第2分冊の掘立柱建物址を除く北一本柳遺跡Ⅲの遺構は以下の通りである。

弥生時代後期

竪穴住居址	H1・H2・H3・H5・H6・H7・H8・H9・H18・H18床下・H19・ H20・H21・H23・H25・H26・H27・H29・H30・H30床下・H31・ H31床下・H32・H33・H33床下・H35・H36・H37・H38・H39・H41・ H45・H46・H47・H48・H49・H51・H52・H53・H54・H55・ H56・H57・H58・H59・H61・H62・H63・H64・H65・H66・ (床下住居4棟含む) H6952棟
土坑	D259・D261・D263・D274・D285・D295・D3077基
溝	M1・M3・M5・M9・M10・M11・M16・M17・M20・M26・M2711本

古墳時代後期

竪穴住居址	H4・H24・H28・H34・H40・H50・H60・H68・H70・H71・H10211棟
-------	---	----------

中世

竪穴建物址	H10・H11・H12・H13・H14・H15・H16・H17・H22・ H44・H101・H103・H104・H105・H106・H107・H108・H109・ H110・H111・H112・H113・H114・H115・H116・H117・ H118・H119・H120・H121・H122・H123・H124・H125・H126・ H128・H129・H130・H131・H132・H133・H134・H135・H136・ H137・H138・H139・H140・H141・H142・H143・H144・H145 H146・H147・H149・H15057棟
土坑	303基303基
溝	M2・M4・M7・M8・M15・M19・M23・M24・M259本
単独ピット	1,821個1,821個
時期不明	H42・H43・H67・M6・M12・M13・M14・M21・M22・M30・M31・M41	

1 弥生時代後期

(1) 竪穴住居址

52棟を調査している。隅丸方形3棟、隅丸長方形49棟と隅丸長方形が圧倒的に多くあり、隅丸長方形は矩形の強いもの(H51・H61)と隅丸で矩形の弱いもの(H49・H66)がある。矩形の強い住居はM16とM26の南北溝で東西に開まれた中に多く見られる。H51・H52・H53・H55・H56・H57・H58・H59・H61・H62・H63・H64・H65である。この東西144m間に隅丸長方形ではあるが楕円形に近いH49・H66などもあるので時期差なのか性格なのかは判然としない。いずれ長方形に近い竪穴住居址が箱清水式土器の最終段階であろう。

住居址の全体の長さが分からない資料が多いので、まずは住居址の規模を長軸長・短軸長で分けてみる。

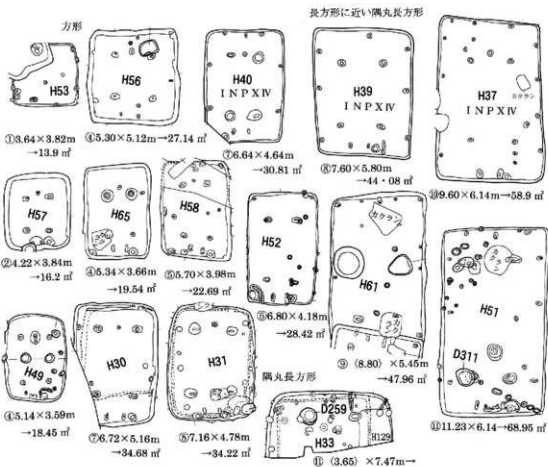
④住居規模が多く見られる。最大面積68.95㎡(約21坪)、最小面積14.06㎡(約4坪)、面積の長さ(明朝は長軸、ゴシックは短軸、単位はcm)

①3.5～4m 382(H53) 1棟

359(H49)360(H18下)364(H53)365(H37)366(H65)378(H38)384(H18上・H35・H57)398(H58)10棟

最小の面積は方形で1153である、36.4×38.2→13.9㎡、隅丸長方形149(514×35.9→18.45㎡)

- ②4m~4.5m 422(H157) 1棟
406(H23)408(H21)410(H19)418(H52)424(H66)428(H63)432(H5)435(H47)440(H30下・H48)444(H1)448(H7) 12棟
- ③4.5m~5m 480(H39)494(H18下) 2棟
456(H31下)459(H36)464(H8)476(H3)478(H30上)479(H34) 6棟
- ④5m~5.5m 513(H18)514(H19)516(H25)520(H30下・H35)526(H19)530(H56)534(H65) 8棟
511(H32)512(H56)516(H31上・H59)528(H60)524(H2)526(H64)545(H61) 8棟
最も数が多いのは隅丸長方形のH118の513×38.4→19.70㎡、H30下の520×4.40→22.88㎡、
H119の526×4.10→21.57㎡、H35の520×38.4→19.97㎡
H65の534×36.6→19.54㎡、
H56の530×5.12→27.14㎡
- 少ない方形
⑤5.5m~6m 570(H58)588(H48) 2棟
562(H33下)592(H20)580(H45) 3棟
H48の588×4.40→25.87㎡、H58の570×39.8→22.69㎡
- ⑥6m~6.5m 600(H1)604(H36)640(H31下)648(H5) 4棟 614(H51) 1棟
- ⑦6.5m~7m 668(H39)672(H31上)680(H52) 3棟 669(H55)684(H54) 2棟
- ⑧7m~8m 708(H12)716(H30上)760(H3) 3棟
712(H6)720(H9)747(H33上) 3棟 H33は短軸長の最大値
- ⑨8m~9m (880)(H61)832(H6) 2棟



弥生後期住居址規模・形態図(1:200)

⑨9m~10m	993(H20) 1棟
⑩10m~	1096(H45)1123(H51) 2棟
	最大の住居はH51の1123×614→68.95㎡、次いでH45の1096×580→63.57㎡、
	H6の832×712→59.24㎡、H20の993×552→54.81㎡、
	H61の(880)×545→47.96㎡、

比は5倍になる。標準的な規模である20㎡と比較しても3倍以上である。最大規模の面積の住居は、当初は③・④規模からの拡幅であり、北の主柱穴はあまり位置を変えず、南に2~3段階、横に1段階拡げている。

主柱穴の形態は東西方向に長い堀方形が一般的であり、柱痕は楕円形ないし円形であるが、H32では典型的な五平柱プランを確認している。また、出入り口の階段施設であろう南壁下の出入り口のピットはH19・H20など五平柱プランの柱痕である。壁柱穴でもH51で五平柱が確認されている。村田氏によれば鉄製の工具よる加工とされている。H33で鉄斧が出土しており、H61から出土する炭化豆の年代が3C前半と推定されることなど、佐久地域の鉄との関係が注目される。

(2) 溝址

今回の調査で検出されたM1・M5・M16・M17・M26・M27などの大溝は、北一本柳遺跡Ⅲの弥生後期後葉の集落を囲んでいることが判明した。東端の11グリッドにあるM26・M27は北東から南西に向かう。43~60グリッドではM17・M20が東西方向に、M16が東西方向から南北方向にある。西端の90~94グリッドではM1とM5が東の集落を囲むように北西から南東にかけてある。西と東端までの距離は330mを測り、弥生後期後葉の集落が展開されている。

梨漆は一時期ではなく重複がみられた。M16はM17に切れ、え50グリッドで南から東に曲がっている。M16は方向を変えるため、これまでであった東西方向に直線であるM20に陸橋を架けて登き、方向を曲げている。M20→M16→M17と溝を掘り直している。M16で、南北方向にし、またM17になると東西方向に溝を掘っている。溝を掘り替える要因は何であったろうか。

この3溝は多量の土器が投棄されている。最も多量に出土するM20の遺物の堆積は2段階あり、上層は南側からの投棄、下層は多量の炭化物層と灰層を伴い、遺物は北からの投棄とみられる。すでに調査された本遺跡の北にある北一本柳遺跡Ⅰ(銅剣路を出土)から弥生後期の竪穴住居が4棟検出されている。M20は当初、北にある集落を囲むために作られ、やがて南に集落が展開したようである。上層の遺物は南の集落、またはM16を掘った人々が捨てたのであろう。

この弥生後期後葉の集落の東端に当たるM26・M27は新田があり、新しいM26はM27を切り、断面を壁とする際にロームを貼って塞いでいる。浅いM27を捨てて、深いM26の溝を再構築している。50グリッド付近のM20の断面は底の幅が広い逆台形を呈するがM5・M26・M16の断面形はV字に近く底面の狭いものである。西端で並列するM5とM1は、M1がM20、M5がM26と類似している。多量に土器を出土するM1・M17・M20とM5・M16・M26の遺物の量が少ない溝とある。深い急峻な溝は多くの土器を含むことなく埋もれてしまったようである。

この期と同一時期の集落が周防畑遺跡群Ⅱの前遺跡に9棟調査されている。(2003.『佐久駅周辺土地区画整理事業—周防畑遺跡群Ⅱの前遺跡—』)Ⅱの前遺跡では本遺跡と同様の弥生土器群に土師器を伴う住居址4棟があり、在地の人々が土師器を受容した集落である。この北一本柳遺跡Ⅲは土師器の受容には至らなかったようである。湯川を挟んで対岸の下小平遺跡に同期の集落があり、同期の円形周溝と土師器を出土する方形周溝墓が検出されている。(1981.『下小平遺跡』)

(3) 弥生後期の上器(第1分冊 西一本柳遺跡XIVに掲載の編年図参照)

すでに述べてきたように本遺跡の弥生上器は後期後葉の箱溜水式土器である。後期後葉は弥生IV・Vとして分類されてきており、本遺跡の弥生上器にも新旧2時期がみられる。

本遺跡の弥生土器の最も新しい様相を呈するのはH51である。H51-19・20の赤色塗彩の毒1類は、

口縁が受け口を呈するのは前代と同様であるが、口縁帯が幅広く重厚、口縁の外反は強いが器高を持つものとなる。頸部径は太い。頸部の文様は櫛描波状文、横線文などを二段・三段にまわし、幅広く施文される。甕は甕1類の口縁が大きく外反するタイプのH51-35は頸部の括れが強くなり、壺の器形と大差のないものである。口縁は長く強く外反するものの、胴部が張ることで、最大径は胴部にもつ。櫛描波状文と簾状文が施文される。41の波状文、36の斜走文の甕は頸部の簾状文が施文されていない。45の口縁部は斜走文であるが斜めから横線に近いものが目立ってくる。波状文も乱れた施文である。

壺3類の単純口縁壺と甕1類の口縁が長く外反する甕の器形差はなく、施文される文様が異なる程度のものである。壺下部の屈曲は窪むタイプと直線的な両者が見られ、やや反るが、かえって直線が多いようである。22のような大型の壺が存在し、頸が太く、器高70cm、胴径50cmを越えものがある。これらは小山岳大氏編年の弥生後期V期に該当するであろう。(1999.小山岳大『長野県の弥生土器編年』)ところでH51は住居址の形態は、西一本柳遺跡XIVのH37(長軸長960cm、短軸長614cm)と同形態である。また本遺跡のH51はH61と同じ土器様相を呈している。H61から出土の炭化豆の放射性炭素年代測定・暦年較正結果では、2σでAD106-238とされている。また炭化材のクリの年代は2σAD78-218となっている。この期の土器の年代は3C前半といえるようである。この時期に在来の箱清水式土器をもつて人々の生活が営まれてことが再確認された。

住居の重複による新旧では、H41(旧)→H35・H37(新)、H36(III)→H35(新)が明らかである。同一器種がないので、判然としない所もあるが、H41-6の壺は壺3類の口縁が単純に外反するものであるが、胴部は張ってはいるが肩はナデ肩である。口径と胴最大径がほぼ等しい。H41-9の甕は口縁が短く外反しているがH51の甕ほど括れてはいない。H36-5の甕は甕3類で、口縁が短く強く外反し、胴部は球胴形を呈す。櫛描波状文・簾状文が施文される。最大径を口縁に持つ。H41・H36の土器群が弥生後期後葉のIV期に相当する土器群である。

H37-8の甕は頸部が括れ、口縁は強く外反し、胴部は肩から張って、球胴形を呈す。甕の内面口縁が赤色塗彩される。胴が張るためか底径が大きい甕である。H35-2の壺はH51-19・20と同器形である。H35-4の赤色塗彩される単純口縁の壺は大きく外反して平らになり、口縁内面端部に櫛描波状文を施す。H35-5の胴径45cmの大きな壺がある。9・10の小型甕の胴形は球胴形である。(小型甕の口径は機能から口径が大きく作られているので、小型甕での最大径は大方口径となるため、最大径の位置での比較はできない。)これはV期の土器群に相当するであろう。

土器様相からはH41→H36→H37→H35と、後期後葉がさらに細分される可能性があるが今後の課題としたい。

2 古墳時代後期

古墳後期の堅穴住居址9棟は疎らにあり、刻期は7C代である。注目される資料は、古墳の末と奈良への変遷をたどるものとしてH50の土器群がある(『第1分冊 西一本柳遺跡XIV』に掲載の編年図参照)。古墳時代の厚手で、口縁が短く外反する長胴甕と、薄手で口縁部形態「く」字形を呈す武蔵甕が共存している。土師器杯は小型の丸底杯であり、底部はヘラ削りされ、横ナデの口縁はいくらか内傾している。内面はミガキ調整のみと、黒色処理されるものの両者がある。西一本柳遺跡XIVの奈良時代の土器への継続をたどれる良好な資料である。H70の上層出土の奈良時代の土器群へも続くものであろう。

3 中世

(1) 遺構

中世の遺構群は堅穴建物址、土坑、単独ピットにより構成される。中世の上坑は297基を数える。

遺物がすべて伴うわけではないので推定を含む。また上坑の節で述べたが、規模のある大きいものは竪穴状建物址と同規模・同形態のものが、曖昧である。竪穴状建物址とした58棟のこれらの中に土坑として分類されるものもあるであろう。

重複が激しく全容の明らかな竪穴状建物址は少ないが、形態・規模の分類を試みる。

1、柱穴をもち長方形を呈する。

柱穴が3×2の総柱に配され、長軸/短軸が1.1を超えるもの。(長軸×短軸cm)

長軸が 250cm以下	H144(224×176)
250~300cm	I1106(252×170)I1140((248)×236)H130(296×228)
300~350cm	H119(334×208)H142(327×210、2本主柱穴)
350~400cm	H113(380×260)H117(372×247)H135(354×(268))
	I1136(388×234)I1145((174)×260)H143(395×(146))
	H44 (400×295、柱穴ナシ)

2、柱穴を3×2の総柱にもち方形に近いもの

長軸が 300~350cm	H129(208)×342)H139(317×305)
350~400cm	I1137((350)×316)I1138(394×327)

これらより、1.の長方形を呈す竪穴状建物址は長軸が350cm~400cm規模に7棟ある。1の竪穴状建物址群は一般に掘り込みが深い。2の方形に近い竪穴状建物址は一辺が3mを越えて、掘り込みが浅い。1・2の形態差により用途の違いが想定される。

(2)遺物

かへく56~65グリッド地点は一面の中世遺構となっている。この竪穴状建物址からは漆製の柄杓や筒状製品、漆皮膜、製作道具である漆刷毛、内面をもつ砥石などが出土する。ピットから出土した天日茶碗に水銀朱が付着し、壁の赤色顔料も水銀朱と分析されている。高級漆製品の赤色として使用されるものである。(2006、四柳嘉章『漆I・II』)

かへく73~81グリッドの中世遺構群は羽土と鉄滓を出土している。常滑の大甕や中津川の壺、鉄軸の茶壺や、遺構には伴わないが青白磁や白磁の高級品がある。

青磁玉縁碗・古瀬戸天目茶碗・占瀬戸灰釉深皿、酸化焰の茶釜、石製の茶臼などの高級品と在地の火鉢、内耳、かわらけ、常滑・中津川の甕、山茶碗など日常的なものがある。

出土した中世焼物構成図の割合を他の中世遺跡と比較して見てみると、中世の集落である前藤部遺跡、中世寺院の伝承地である下信濃石遺跡と類似している。時期的には15Cに集中し、一部13Cであるが少数である。

本遺跡の北東1.2kmにある上城は鎌倉時代大井氏の居館とされており、「賑ひ国府にまされり」と江戸時代の歴史書に記されているが、遺物の年代である15Cは大井氏が全盛期となった時期である。文安四(1447)年、匿っていた永寿王が足利持氏として関東管領となり、大井氏が重用され繁栄の極みにあったという。その後文明16(1484)年に村上氏が攻略されて、大井氏は陥落している。15Cに遺物が集中していることから漆製作にかかわった集落は大井氏との関連があるであろう。

本報告の北一本柳遺跡Ⅲの中世竪穴状建物址や土坑、ピット群は漆や製鉄の製作にかかわりのある集落であろう。新設道路とほぼ方向を同じくしている岩村田と根々井・中佐都の集落を結ぶ道路があったが、その道路の下に中世の道路が検出されている。両隣の下一本柳遺跡Ⅳと西八日町遺跡Ⅲに道路址が検出され、中世の道路は本遺跡の南に続いていくと想定される。

引用参考文献

- 1981 佐久市教育委員会、『下小平遺跡』
- 1991 奥野正男、『鉄の古代史』弥生時代 白水社
- 1999 小山岳夫、『長野県の弥生土器の編年』長野県考古学会弥生部会編
- 2003 三石宗一、『佐久駅周辺土地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査報告』佐久市教育委員会
- 2006 四柳嘉章、『漆I・II』ものと人間の文化史131-II 法政大学出版局
- 2007 村田文夫、『竪穴住居跡から発掘される五平(穴)柱に関する研究』『列島の考古学II』

第5表 北一本柳遺跡Ⅲ 土坑一覧表(1)

(残) (推定)

遺跡名	坑位位置	平面形	長軸長(cm)	短軸長(cm)	深さ(cm)	長軸方位	備考
D1	か79	隅丸長方形	232	186	73	N-10°-E	H2、D2-52(1K P1)を穿る。(1K P1)
D2	か79	隅丸長方形	128	100	42	N-90°-E	D1に穿られる。(1K P1)
D3	か74	長方形	106	84	74	N-88°-E	カクランに穿られる。(1K P1)
D4	か76	長方形	320	130	38	N-2°-W	P2070に穿られる。(1K P1)
D5	か73	方形	160	148	50	N-22°-E	H14、溝を穿る。詳細不明(1K P1)
D6	INP直隕石区外-北80	隅丸長方形	148	88	28	N-0°	西側調査区外、H2を穿る。詳細不明(1K P1)
D7	か80	長方形	160	88	36	N-85°-E	H2を穿る。(1K P1)
D8	か79	隅丸長方形	126	110	10	N 75°-W	(1K P1)
D9	か78	長方形	120	88	79	N-88°-E	(1K P1)
D10	か78	隅丸長方形	156	128	40	N-85°-W	H3-8を穿る。詳細不明(1K P1)
D11	か78	長方形	160	96	30	N 39°-W	H3-8、D12を穿る。詳細不明(1K P1)
D12	か78	隅丸長方形	141	120	33	N-0°	D11に穿られ、H4-8を穿る。(1K P1)
D13	か78	不整形	200	101	71	N-88°-E	H13を穿る。(1K P1)
D14	か77	長方形	220	136	24	N-3°-W	H3-8を穿る。(1K P1)
D15	か75	長方形	344	104	14.5	N-4°-E	H3-8を穿る。(1K P1)
D16	か75	長方形	344	92	16.5	N-87°-W	H5を穿る。(1K P1)
D17	か78	長方形	196	140	43	N-0°	P2016に穿られ、H6を穿る。(1K P1)
D18	か80	円形	132	128	16	-	H6-H10-D23を穿る。(1K P1)
D19	か77	長方形	268	152	50	N-90°	H13-15、D87を穿る。(1K P1)
D20	欠						
D21	か75	隅丸長方形	148	118	34	N-42°-W	H6を穿る。(1K P1)
D22	か75	円形	80	76	32.5	N-8°-E	H5を穿る。(1K P1)
D23	か80	長方形	166	110	62	N 18°-E	D18-54に穿られ、D68-66・P2241を穿る。(1K P1)
D24	か80	隅丸長方形	64	76	17	N 16°-W	D57-60に穿られ、H6・P220を穿る。1K P1で調査。
D25	か79	隅丸長方形	181	132	11	N 8°-W	H6、D26を穿り、P2031・2032・2048と切り合う。1K P1で調査。
D26	か79	長方形	312	120	19	N 85°-E	D25-30、P2029-2030、カクランに穿られ、H6-10を穿る。1K P1で調査。
D27	か79	長方形	188	116	22	N-7°-E	H16-10、D28を穿る。P2038と折山不明。1K P1で調査。
D28	か79	楕円形	108	84	20	N-80°-E	D27に穿られ、H6-10を穿る。(1K P1)
D29	か78	隅丸長方形	146	140	12	N-18°-W	P208に穿られ、H6-13-15を穿る。1K P1で調査。
D30	か78	隅丸長方形	196	120	23	N-8°-E	H6、D26-53を穿る。P2021・2029と折山不明。1K P1で調査。
D31	か80	隅丸長方形	164	108	13	N-82°-E	H17、P236を穿る。(1K P1)
D32	か73	長方形	181	141	10.5	N 6°-W	H5、D33を穿る。(1K P1)
D33	か76	不整形	0.80	108	61	N 60°-W	D32、P2011に穿られ、D46を穿る。(1K P1)
D34	か81	長方形	124	92	30	N-90°	H4-11-12を穿る。1K P1で調査。
D35	か82	長方形	180	150	-	N-90°	1K P1でのみ調査。縦ありYは未掲載。
D36	1K P直隕石調査区外	楕円形	200	153	-	N 38°-W	1K P1プラン確認のみ。図は未掲載。
D37	1K P直隕石調査区外	楕円形	140	125	-	N-65°-E	1K P1プラン確認のみ。図は未掲載。
D38	か76	不整形	120	160	-	N-26°-E	H16の西下。P81に穿られる。(1K P1)
D39	1K P直隕石調査区外	楕円形	125	165	-	N-87°-E	H13の南、東半分のみ調査か? (詳細不明)図は未掲載。(1K P1)
D40	1K P直隕石調査区外	方形	160	160	-	N-2°-E	H13の南、溝で掘り。1K P1図は未掲載。
D41	1K P直隕石調査区外	長方形	210	180	-	N-80°-W	H13の南、溝で掘り。1K P1図は未掲載。
D42	か84	隅丸長方形	130	100	-	N-31°-W	H1を穿る。1K P1で調査。詳細不明。図は未掲載。
D43	か83	長方形	106	80	-	N-41°-W	H1を穿る。1K P1で調査。詳細不明。図は未掲載。
D44	欠						
D46	か77	隅丸長方形	132	120	12	N-90°-W	D31に穿られ、H3-8を穿る。(1K P1)
D48	か76	楕円形	100	72	26	N-45°-E	D33に穿られる。(1K P1)
D47	か73	長方形	112	72	23	N-85°-E	溝を穿る。図未掲載。(1K P1)
D48	か73	長方形	112	98	48	N-7°-E	溝を穿る。図未掲載。(1K P1)
D49	1K P直隕石調査区外-北79	長方形	225	80	-	N 76°-E	H2を穿る。図未掲載。(1K P1)
D50	か73	長方形	224	220	32	N 83°-E	P2067に穿られ、D117-402を穿る。(1K P1)
D51	か84	長方形	86	70	-	N 33°-W	H1を穿る。詳細不明。図は未掲載。(1K P1)
D52	か80	長方形	180	140	-	N-38°-E	D11に穿られ、H2を穿る。(詳細不明)図は未掲載。(1K P1)
D53	か78	長方形	1700	90	-	N-5°-E	D30、P2049-2050に穿られH6を穿る。(詳細不明)図未掲載。(1K P1)
D54	か80	長方形	300	172	38	N-83°-E	D28-65-66-68を穿る。
D55	か80	方形	148	140	21	N-0°	H7、D64を穿る。
D56	か79	不整形	132	132	37	N-0°	西側調査区外、H7を穿る。
D57	か79	長方形	184	112	37	N-62°-E	D24-60-61を穿る。
D58	か79	方形	144	136	35	N-0°	F15、P2022-2024に穿られ、D60-61-69を穿る。
D59	か78	方形	104	96	10	N-83°-W	F19-15、P40-41-47-48-72に穿られる。
D60	か79	方形	148	140	37	N-6°-W	D57に穿られ、D24-61-69、P239を穿る。
D61	か79	長方形	170	84	17	N 88°-E	D57-60に穿られる。
D62	か79	隅丸長方形	228	120	38	N 88°-W	H17、D64を穿る。
D63	か80	長方形	152	112	14	N 87°-E	H7、D64、P22-23を穿る。
D64	か80	長方形	220	148	23	N-89°-E	D55-62-63に穿られ、H7を穿る。
D65	か81	長方形	121	80	33	N 10°-W	D64に穿られ、D23を穿る。
D66	か80	方形	168	152	38	N-9°-W	D23-53に穿られ、D48を穿る。

第6表 北一本柳遺跡Ⅲ 土坑一覧表(2)

(残) (推定)

遺跡名	東山位置	平面形	長(m)	幅(m)	深さ(m)	傾斜方位	備 考
D67	<77	方形	208	200	21	N-90°-W	D194に切られ、D113-15を切る。
D68	<50	長方形	575	96	34	N-8°-W	D23-66に切られ、P25を切る。
D69	≧80	-	92	40	17	N-0°	D57-60、P23-24に切られる。
D70	≧76	長方形	236	108	58	N-84°-W	
D71	≧76	方形	140	128	38	N-6°-W	P293を切る。
D72	≧74	長方形	188	61	43	N-82°-E	D111を切る。
D73	≧74	長方形	108	81	24	N-80°-W	D114と堀田内堀。
D74	次						
D75	≧77	不整形	212	120	60	N 71° W	P287~289を切る。
D76	≧77	長方形	132	112	38	N-6°-E	P78を切る。
D77	≧74	長方形	228	80	40	N 2° E	D99、P275を切る。
D78	≧74	方形	242	(196)	35	N 3° E	D99-111を切る。
D79	<75	方形	184	170	54	N 90° W	D401を切る。
D80	次						
D81	≧74	長方形	160	100	42	N-90°	D101を切る。
D82	≧83	長方形	104	80	18	N-73°-E	
D83	<82	円形	124	96	22	N-44°-E	
D84	<83	長方形	176	144	18	N-44°-W	
D85	<83	長方形	200	120	26	N-54°-E	
D86	≧82	長方形	136	84	82	N-0°	D119を切る。
D87	≧83	長方形	172	100	64	N-90°-E	
D88	<83	長方形	104	96	12	N-25°-E	西段副溝区外
D89	二筋	方形	(208)	440	51	N-90°	東・南段溝区外、H7を切る。
D90	<74	方形	256	230	45	N 87° E	D112-113、P208-209-211を切る。
D91	<75	長方形	388	264	51	N-0°	D114-115-132-141を切る。
D92	<75	方形	(172)	(56)	58	N 85° E	南段溝区外、P250-251-253-4に切られ、H101を切る。
D93	≧74	長方形	140	84	19	N-87°-E	H101、D118を切る。
D94	≧73	長方形	144	88	35	N-15°-E	P178-186に切られ、P190を切る。
D95	≧73	方形	(158)	(14)	11	N-86°-E	南段溝区外、D101に切られる。
D96	≧74	長方形	388	(220)	27	N-87°-W	H101に切られ、D118を切る。
D97	二筋	-	(112)	(12)	38		南段溝区外。
D98	<75	長方形	252	(184)	58	N 81° E	P292に切られ、D401を切る。全掘取参照。
D99	≧74	長方形	232	160	2	N-0°	D72-77-78-100に切られ、D111を切る。
D100	<74	方形	288	272	40	N 3° W	D99-111-116を切る。
D101	≧78	長方形	176	160	37	N 9° E	P170-187に切られ、P144を切る。
D102	≧78	長方形	164	88	71	N 0°	D403、P183-184を切る。
D103	≧78	長方形	124	68	59	N-10°-W	P124に切られ、P205-206を切る。
D104	≧77	長方形	176	140	17	N-80°-E	P12-13、P134-159-160-174-176-177-181-182に切られ、P191を切る。
D105	<76	長方形	340	160	35	N-9°-W	D116に切られ、D132を切る。
D106	次						
D107	<76	方形	268	236	37	N-0°	D116に切られる。
D108	≧73	方形	(52)	(100)	28	N-14°-E	東段溝区外、P186に切られ、D109を切る。
D109	≧73	方形	(169)	81	23	N-89°-E	東段溝区外、P283に切られる。
D110	≧73	不整形	(125)	(88)	16	-	南段溝区外、D108-P186-P190に切られる。
D111	≧74	長方形	284	(232)	41	N-b°-W	D72-78-99-100に切られる。
D112	≧74	長方形	180	(100)	20	N-0°	D90に切られる。
D113	<73	方形	108	(44)	4	N-0°	東段溝区外。
D114	<73	長方形	388	(328)	50	N-10°-W	D91に切られ、D115-125-137を切る。
D115	<73	長方形	(384)	(220)	95	N-90°	D90-114-118、P215-284-2018に切られる。
D116	<74	方形	(232)	(216)	41	N 8° W	D100、P208-209-211-212-214に切られ、D115を切る。
D117	≧73	-	180	(80)	31	N 4° W	D50に切られる。
D118	≧74	(272)	(52)	21	N-90°	D93-96、P213に切られる。	
D119	≧74	-	(32)	37		-	P2015~P2017に切られる。
D120	≧73	長方形	152	112	38	N-85°-E	P214に切られる。
D121	≧76	長方形	124	84	38	N-90°-E	D132を切る。
D122	≧76	長方形	316	160	29	N-74°-W	南段溝区外、D117に切られる。
D123	≧76	長方形	260	152	42	N-82°-W	
D124	≧76	長方形	184	(76)	57	N-90°-E	南段溝区外。
D125	≧75	-	(128)	(64)	27	-	D91-114に切られ、D137を切る。
D126	<76	長方形	104	(52)	28	N-16°-W	
D127	<76	長方形	(12)	(60)	32	N-5°-E	P253に切られ、P254を切る。
D128	<76	不整形	(68)	(64)	32		H16に切られる。
D129	次						
D130	≧77	方形	156	(72)	11	N-90°	西段溝区外、F14に切られる。
D131	≧78	長方形	92	61	16	N-0°	P169-183に切られる。
D132	<76	方形	248	(138)	24	N-8°-W	D91-105-121、P280に切られ、D407を切る。

第7表 北一本柳遺跡Ⅲ 土坑一覧表(3)

(現) (推定)

遺跡名	横川位置	平面形	縦長(m)	横長(m)	深さ(m)	方位	備考
D133	775	長方形	124	92	26	N-81°-W	P252-255-256に切られる。P264を穿る。
D134	<75	-	(92)	(41)	34	-	-
D135	<73	不整形	(104)	(32)	24	-	-
D136	775	長方形	140	(72)	35	N-87°-E	D114-126に切られる。D137を穿る。
D137	775	長方形	144	(72)	22	N-77°-W	D114-126-136、P270-271-272-2056に切られる。
D138	776	長方形	220	140	30	N-87°-E	-
D139	776	長方形	(132)	(76)	48	N-90°-E	告知調査区外。D124-138に切られる。
D140	799	円形	198	188	62	N-85°-W	-
D141	784	長方形	157	105	51	N-20°-E	-
D142	784	長方形	122	106	15	N-0°	-
D143	<81	長方形	216	110	35	N-85°-E	D143を穿る。
D144	<85	円形	136	124	62	N-88°-E	P303に切られる。
D145	<84	不整形	(114)	(30)	33	-	D143に切られる。
D146	786	長方形	172	119	55	N-3°-W	H119を穿る。
D147	790	不整形	236	146	78	N-28°-W	M4に切られる。M5を穿る。
D148	789	不整形	(160)	(104)	94	N-70°-W	北側調査区外。M4に切られる。M5を穿る。
D149	790	不整形	(158)	(92)	79	N-5°-E	M4に切られる。I120、M5を穿る。
D150	<80	不整形	(116)	(85)	33	N-6°-W	M4に切られる。D133を穿る。
D151	789	円形	98	98	34	N-7°-W	H20、M5を穿る。
D152	787	不整形	(140)	(52)	73	N-78°-W	北側調査区外。カクランに切られる。
D153	<90	不整形	(272)	(104)	44	N-1°-E	D150、M4に切られる。I120を穿る。
D154	769	円形	133	132	13	N-89°-W	H31を穿る。
D155	<70	円形	102	90	11	N-65°-W	-
D156	<70	長方形	128	98	19	N-67°-W	D137、P186を穿る。
D157	<70	長方形	124	91	69	N-6°-E	D156に切られる。
D158	769	方形	188	150	58	N-88°-E	P332-409に切られる。P381-994を穿る。
D159	773	円形	92	85	14	N-76°-W	P363に切られる。
D160	770	楕円形	160	68	33	N-24°-W	P367を穿る。
D161	770	方形	89	84	14	N-8°-E	P361に切られる。
D162	769	長方形	(146)	86	14	N-88°-W	カクランに切られる。P985-986を穿る。
D163	765	楕円形	162	138	27	N-35°-E	P383を穿る。
D164	<68	長方形	164	104	26	N-77°-E	F3を穿る。
D165	<69	円形	81	80	21	N-84°-E	H31を穿る。
D166	<68	方形	78	74	25	N-82°-E	H107、D119-197を穿る。
D167	<63	-	146	(56)	23	N-85°-E	告知調査区外。P2080に切られる。H107、D197-208-713-745を穿る。
D168	<63	-	148	(56)	24	N-90°	告知調査区外。H38-107、D194-218-245、P662を穿る。
D169	<62	200	(44)	24	N-86°-E	告知調査区外。H38、D194、P686を穿る。	
D170	767	楕円形	95	72	14	N-3°-E	-
D171	767	方形	126	(88)	14	N-85°-W	調査区外。F4、P410に切られる。I133を穿る。
D172	767	楕円形	108	68	16	N-83°-E	-
D173	767	方形	86	(58)	23	N-6°-W	西側調査区 H30を穿る。
D174	763	-	(136)	(57)	17	N-85°-E	F5、カクランに切られる。H40を穿る。
D175	<61	-	198	(104)	42	N-88°-W	南側調査区外。P516-560に切られる。D176-177-201、P513-572を穿る。
D176	<60	長方形	202	144	43	N-84°-E	D175に切られる。D177-201、P27を穿る。
D177	<61	-	(36)	(36)	32	N-53°-W	D175-176、P516に切られる。
D178	<61	-	-	-	-	-	-
D179	<63	長方形	136	102	24	N-87°-E	D166に切られる。H122、D197-238、P739-740-756-779-813-2081-2087を穿る。
D180	<61	楕円形	110	98	27	N-1°-W	P627を穿る。
D181	761	長方形	208	185	52	N-86°-E	H112-114-117に切られる。
D182	761	(140)	(52)	16	N-60°-W	H108-113-114、P607-1041-1047に切られる。	
D183	761	円形	134	126	29	N-90°	H117、D236を穿る。
D184	761	方形	88	(72)	21	N-84°-E	P503に切られる。H117の出入口ピットか?
D185	761	長方形	125	76	21	N-1°-W	D186を穿る。
D186	761	長方形	246	166	46	N-86°-W	D185、P627に切られる。
D187	763	楕円形	153	105	43	N-2°-W	H139、P633を穿る。
D188	760	長方形	204	103	25	N-75°-E	H111-136-149を穿る。
D189	760	楕円形	104	92	14	N-85°-E	カクランに切られる。
D190	765	長方形	88	60	31	N-1°-W	P551に切られる。
D191	<61	楕円形	89	68	7-76	N-33°-E	P623-626を穿る。
D192	763	長方形	219	120	26	N-89°-E	H115、D193-196、P569-591-1069-7083を穿る。
D193	763	方形	171	163	27	N-3°-W	H115、D193-196、P558-579-581-584-621に切られる。H126、P886-1059-2081を穿る。
D194	<62	方形	(86)	(84)	38	N-56°-E	D168-169に切られる。H28-107、D213-245、P831を穿る。
D195	763	方形	217	212	27	N-3°-E	P535-581-582-586-592-594、H46-136、M11、P866を穿る。P566に穿りか?
D196	763	長方形	226	(83)	39	N-86°-E	D192に切られる。H115、D193、P569-2083を穿る。
D197	<63	長方形	(129)	67	40	N-3°-W	D166-167-179-208、P2080に切られる。H122、P693-2084を穿る。

第8表 北一本柳遺跡Ⅲ 上坑一覧表(4)

(残) (指定)

遺構名	出土位置	平面形状	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	北端方位	備 考
D198	6-62	方形	73	70	23	N-1°-W	
D199	6-61	長方形	168	79	39	N-71°-E	H121を切る。
D200	6-62	不整形	132	112	30	N-75°-W	P208に切られ、H39-118、M13、P642を切る。
D201	<61	長方形	183	112	65	N-4°-W	D175-176に切られ、H112、P728-727-735を切る。
D202	6-63	方形	128	105	63	N-90°	遺構調査外
D203	<62	方形	77	70	31	N-4°-E	D212-221、P678-680-760を切る。
D204	<61		236	154	18	N-88°-E	南側調査区外、P638-639に切られ、P760-846-848を切る。
D205	6-61	長方形	180	100	21	N-76°-E	H120-121を切る。
D206	6-62	長方形	164	93	15	N-84°-E	P608に切られ、H118-119を切る。
D207	6-63	長方形	287	176	119	N-8°-W	H109-119、P702-703に切られ、H139-40-126、D246を切る。
D208	<63	方形	597	329	31	N-84°-E	南側調査区外、D167、P2080に切られ、H122、D197を切る。
D209	6-64	長方形	175	134	33	N 8°-W	P684、カクランに切られ、H110-123、D226-234-235、M11、P791を切る。
D210	<63	長方形	103	66	17	N 1°-W	P650-651-724に切られ、P723-733-739を切る。
D211	<63	長方形	141	98	49	N 84°-E	P689-671-673-731-732に切られ、H38、P776-777を切る。
D212	<61	方形	192	188	20	N-13°-W	D203-218-221、P632-633-678-679-681-686-693-696-729-730-742-744-809-813に切られ、P843-844-932を切る。
D213	<63	-	180	60	27	N-80°-E	南側調査区外、D167-168-194、P661-662に切られ、H107-D245を切る。
D214	<62	方形	96	90	26	N-83°-E	P688-690-737-738に切られ、H38、D239、P834-850を切る。
D215	<64	長方形	96	68	21	N 86°-E	D222-237を切る。
D216	6-64	長方形	111	86	20	N 85°-E	D222-225-233を切る。
D217	6-62	円形	77	71	15	N 85°-W	H38、D227、P720-795-956を切る。
D218	6-61	長方形	160	130	24	N 9°-W	H120、P626-731に切られ、D212、P809を切る。
D219	6-61	長方形	136	93	20	N 85°-E	H120に切られ、P808を切る。
D220	6-62	楕円形	112	98	36	N 88°-W	H120に切られ、H121、P719を切る。
D221	<61	長方形	145	116	18	N 89°-E	0303、P632-633-678-680-799-730に切られ、D212、P813を切る。
D222	6-61	長方形	173	98	35	N 3°-W	0215-216に切られ、D255-267を切る。
D223	6-62	長方形	136	118	19	N-13°-W	H117-121に切られ、H39-118、D233、P821を切る。
D224	6-62	楕円形	135	85	24	N 74°-E	H115、P599-741に切られ、H39を切る。
D225	6-64	長方形	177	89	25	N 4°-W	D716、P7086に切られ、D233、M11、P761-762を切る。
D226	6-64	方形	154	125	28	N 1°-W	D209、カクランに切られ、H125、D335を切る。
D227	6-62	長方形	179	101	28	N 83°-E	D217、P713-763-766-777-773に切られ、H38、P810-814-806-957を切る。
D228	6-63	長方形	108	88	24	N 85°-E	D229、P803-806を切る。
D229	6-63	長方形	146	94	41	N 87°-E	D228、P803-806に切られ、H38、P824-830を切る。
D230	<61	長方形	186	150	29	N-6°-W	P643-645-766-771に切られ、H124、D231-232、P1061-1062を切る。
D231	<64	長方形	146	120	23	N-87°-W	D230、P644-815に切られ、D232-237-238を切る。
D232	<61	方形	70	40	27	N-6°-W	D230-231、P643-644-802に切られ、H124、D237-238、P888を切る。
D233	6-61	-	96	28	16	N-15°-W	H121、D232に切られ、H39を切る。
D234	6-64	方形	108	90	16	K-83°-E	D209に切られ、M11を切る。
D235	6-64	-	156	82	26	N-84°-E	D209-216-222-225-226に切られ、H125、D242、M11、P816を切る。
D236	6-61	-	134	72	46	N-86°-W	H117、D183に切られ。
D237	<64	-	104	90	14	N-88°-E	D215-222-231-232、P644-778に切られ、D238、P889-893-894を切る。
D238	<64	長方形	162	152	23	N-4°-W	D179-231-232-237、P641-778-781-816に切られ、P890-894を切る。
D239	<62	長方形	166	108	38	N-86°-W	D214、P668-688-690-737-738-833-834-850-883に切られ、H38、P894-899を切る。
D240	<64	楕円形	133	63	26	N-85°-E	H103、P753-773に切られ、D241-258、P1010を切る。
D241	<64	方形	130	121	16	N-88°-W	南側調査区外、H103、D240、P879-2086に切られ、H127、D256-258を切る。P890と重複。
D242	6-64	(78)	61	10	20	N-2°-W	H125、D233、カクランに切られ。
D243	6-66	楕円形	78	63	17	N-5°-W	H34-104-105、D252を切る。
D244	6-66	長方形	115	100	21	N-4°-W	H34-148、D249を切る。
D245	<63	楕円形	224	142	57	N-86°-E	H38-107、D167-168-194-213、P658-666-832-839-841に切られ。
D246	6-63	円形	88	58	29	N-83°-E	H109、D207、カクランに切られ、H40を切る。
D247	6-64	長方形	117	50	9	N-15°-W	P862に切られ、D250を切る。
D248	6-66	方形	81	76	13	N-0°	H42、D252を切る。
D249	6-66	長方形	136	116	34	N-8°-W	D244、P951に切られ、H34、D252を切る。
D250	6-61	円形	70	70	13	N-0°	D247に切られ、P960を切る。
D251	6-67	方形	77	76	9	N-4°-W	H128を切る。
D252	6-66	方形	199	180	22	N-89°-E	H104、D213-248-249、P951-961に切られ、H34-42、D253、P959-960を切る。
D253	6-67	楕円形	87	74	6	N-4°-W	
D254	6-67	長方形	176	152	79	N-7°-W	P940-943-943に切られ、H128、P983-1007を切る。
D255	<66	方形	125	110	38	N-86°-E	H104、D252、P961に切られ。
D256	<64	長方形	186	122	42	N-0°	H106-129、D241、P877-880に切られ、D258を切る。
D257	6-70	長方形	134	72	14	N-60°-W	H30を切る。
D258	<64	長方形	181	108	30	N-1°-E	D240-241-256、P752-877-879に切られ、P1010を切る。
D259	<66	円形	106	100	67	N-85°-E	H233、P1017に切られ。
D260	6-65	方形	78	72	14	N-88°-W	P901に切られ、H38を切る。
D261	6-66	円形	174	142	78	N 88°-W	H34-105、P906に切られ、H36を切る。

第9表 北一本柳遺跡Ⅲ 土坑一覧表(5)

(続) (推定)

遺跡名	横穴位置	平面形	長軸長(cm)	短軸長(cm)	深さ(cm)	長軸方位	備 考
D262	H65	方形	2030	230	13	N-88°-E	南側調査区外 H127、P1030、カクランに切られ、H133-129を切る。
D263	H65	横円形	162	122	161	N-51°-E	P1334・1235に切られ、H41を切る。
D264	H64	長方形	146	97	33	N-89°-E	カクランに切られ、P1038を切る。
D265	H59	長方形	156	71	23	N-8°-E	
D266	<58	-	108	58	32	N-88°-E	カクランに切られ、H138を切る。
D267	<58	横円形	92	72	13	N-89°-E	H130を切る。
D268	H58	-	94	60	21	N-62°-E	南側調査区外 D276、P1194を切る。
D269	<59	長方形	186	142	30	N-90°	P1734・1235に切られ、H133-130、D270-289-290、P1933を切る。P1234に接する。
D270	H59	長方形	110	90	17	N-88°-W	D259、P1232に切られ、H150、D288を切る。
D271	H60	長方形	184	172	21	N-88°-W	H149、P2099に切られ、H111-136-150を切る。
D272	H59	長方形	209	141	24	N-2°-E	P1247、カクランに切られ、H142、D286を切る。
D273	<59	横円形	372	245	200	N-90°	南側調査区外 P1122-1125、カクランに切られる。
D274	H58	横円形	124	101	32	N-78°-E	P1083に切られ、H45を切る。
D275	<58	長方形	980	67	13	N-1°-W	H130、P1196に切られる。
D276	<58	方形	116	70	15	N-89°-E	H130、D268、P1124に切られる。
D277	<58	長方形	157	94	23	N-8°-W	H130、カクランに切られ、H45-138を切る。
D278	H58	方形	141	132	30	N-89°-W	カクランに切られ、H45、D294を切る。
D279	H57	長方形	223	136	16	N-88°-E	カクランに切られ、H45-138-139を切る。
D280	<57	横円形	112	80	17	N-70°-W	P1134、カクランに切られ、H45-139を切る。
D281	<57	長方形	192	143	32	N-88°-E	P1130-1196に切られ、H45を切る。
D282	H58	長方形	256	130	29	N-6°-W	P1252-1253に切られ、H144、D284を切る。
D283	H56	長方形	116	90	15	N-69°-E	H139を切る。
D284	H58	方形	160	144	41	N-80°-E	D282、P1252・1253に切られ、H144を切る。
D285	H56	-	1060	52	22	N-78°-W	H140、カクランに切られる。
D286	H59	方形	119	114	14	N-9°-W	D272に切られ、H131-142、P1456を切る。
D287	<56	円形	104	94	31	N-29°-W	カクランに切られ、H140を切る。
D288	H59	方形	164	154	34	N-2°-W	D270に切られ、H150を切る。
D289	<60	方形	104	74	24	N-81°-E	H132、D289、P1234に切られ、H130を切る。
D290	欠	-	-	-	-	-	
D291	<53	円形	85	80	26	N-68°-W	カクランに切られ、H141を切る。
D292	<52	方形	1063	86	31	N-8°-W	南側調査区外 P1351に切られ、H47-141-143、P1439を切る。
D293	<54	長方形	134	114	38	N-89°-W	W1K、P1362に切られる。
D294	H58	方形	139	98	19	N-55°-E	H138、D278に切られ、H45を切る。
D295	<51	-	94	77	21	N-6°-W	南側調査区外 H143、カクランに切られる。
D296	<58	長方形	344	229	20	N-4°-W	H130-144、カクランに切られ、H45、D408を切る。
D297	<56	-	114	56	31	N-57°-E	H139、カクランに切られる。
D298	H53	方形	76	64	24	N-8°-E	H47を切る。
D299	H59	-	82	34	39	N-4°-W	H142、カクランに切られ、H131を切る。
D300	H60	-	96	26	40	N-84°-W	H108-142に切られる。
D301	H59	長方形	164	108	21	N-11°-E	P1483-2097に切られ、D410を切る。
D302	H59	不整形	153	138	25	N-73°-W	P1481-1485に切られ、M22を切る。
D303	H64	横円形	97	86	45	N-66°-E	H57を切る。
D304	<48	-	178	35	84	N-89°-E	南側調査区外 西側遺構 カクランに切られる。
D305	H44	-	81	25	19	N-11°-W	H61に切られる。
D306	H57	横円形	99	78	17	N-32°-W	H52・P1498-1499-1501に切られる。
D307	H18	-	264	68	18	N-83°-E	南側調査区外 M31に切られる。
D308	H22	円形	194	183	31	N-7°-W	H61を切る。
D309	H21	不整形	143	138	17	N-52°-E	H61を切る。
D310	H13	円形	186	171	104	N-89°-W	
D311	H45	円形	110	104	23	N-33°-W	H51を切る。
D312	H64	長方形	120	88	19	N-68°-E	H56を切る。
D313	H3	円形	81	78	20	N-3°-W	P1764を切る。
D314	H4	円形	88	80	29	N-11°-W	
D315	H1	不整形	130	107	30	N-58°-E	カクランに切られる。
D401	<75	方形	180	172	10	-	D79-91-98に切られる。
D402	H73	偏長長方形	308	228	29	N-90°	H14、D502に切られる。
D403	H78	長方形	168	166	8	N-90°-W	D102に切られ、単P203を切る。
D404	H76	長方形	212	168	52	N-13°-W	北側調査区外、単P2069に切られる。
D405	H81	長方形	221	140	22	N-7°-E	H7を切る。
D406	H80	長方形	208	144	19	N-8°-W	H7、カクランに切られる。
D407	<76	偏長長方形	136	100	69	N-3°-W	D132に切られる。
D408	H58	方形	133	88	18	N-89°-E	H130-144、D296、カクランに切られる。
D409	H59	長方形	138	78	21	N-2°-E	P1482に切られ、D410を切る。
D410	H59	-	132	61	8	N-7°-E	D301-409、P1483-2097に切られる。

第10表 北一本柳遺跡Ⅲ 溝址一覧表

(%) (推定)

遺構名	検出位置	全長(m)	幅(cm)	高さ(cm)	備考
M1	お91~こ91	(22.12)	244~378	106~160	北側・南側調査区外。一部未調査区あり。カクランに切られる。
M2	は82~こ83	(6.09)	64~226	9~19	西側調査区外。単P193~202・225・226・228に切られる。
M3	き81~お81	(5.70)	70~80	10~33	H41。単P188・189・219に切られる。
M4	お90~こ90	(20.48)	298~210	37~81	北側・西側調査区外。西側 道路脇。カクランに切られ。H20・24・27、D147~150・163、M5・6。単P2001を含む。
M5	お90~こ88	(21.32)	124~213	90~125	北側・南側調査区外。D147・148・151、M4。カクランに切られ。H20・25を切る。
M6	お90~お91	(3.04)	70~86	58~77	北側調査区外・西側調査区。M4・6に切られ。H77を切る。
M7	え88~く69	(18.65)	37~66	4~77	北側調査区外 P450・7093に切られ。H32、M14を含む。
M8	え88~く69	(19.04)	28~72	4~37	北側調査区外 P404・2093に切られ。P989~992と重複。
M9	え88~え69	4.27	75~98	42~74	H32を切る。
M10	え64	(7.8)	39~68	13~23	北側調査区外 P333に切られ。M11を含む。
M11	え84~く65	(19.76)	14~41	5~36	北側調査区外 H33・40・106・125・129、D195・209・225・234・235、M10、P411・487・598・684・853・854に切られる。
M12	え81~え82	3.63	31~36	7~8	
M13	き62	(1.34)	20~40	4~9	H120・121、D200に切られる。
M14	お68	(2.06)	52~60	7~17	M7に切られ。H81を含む。
M15	お66~お66	(4.42)	22~25	3~11	P976~979に切られ。P1006を切る。
M16	う44~お82	(44.16)	264~310	141~163	北側・南側調査区外 路脇あり 一部遺跡により未調査 H13・143・147、M17・21、P1257・1270~1276・1289・1290・1298・2103、カクランに切られ。M20を切る。
M17	う41~お61	(80.6)	140~260	59~117	北側調査区外 一部遺跡により未調査 H44・134・135・147、M19、P1236・1267~1269・1730・2072・2073、カクランに切られ。M18・20・22を含む。
M18	き54~く55	(22.76)	20~41	4~32	カクランに切られ。D293、P1144・1211・1236・1237・1324・1325・1370~1373を切る。
M19	え88~え86	(11.7)	60~61	9~28	北側調査区外 P1182、カクランに切られ。H132・139、M17・20を含む。
M20	う49~え80	(40.4)	196~310	97~161	北側調査区外 H44・135、M16・17・19、P1357~1266・1710・1711・1717・1723~1725・1736・2073に切られる。
M21	お60	(3.6)	30~10	4~16	東側遺跡 カクランに切られ。H13、M16を含む。
M22	え88~お69	(2.64)	39~55	3~9	M17、D302、P1486・1489に切られる。
M23	う35~く35	(19.06)	86~129	55~75	南側調査区外 M29、カクランに切られ。H69、P1625~1627・1629・2106を切る。
M24	い14~お14	(20.46)	172~248	37~78	北側・南側調査区外 M25・M26を切る。
M25	い15~お14	(20.59)	244~404	59~74	北側・南側調査区外 M24に切られ。M26を含む。
M26	い10~お15	(26.78)	170~330	123~165	北側・南側調査区外 M24・25、カクランに切られ。M27を含む。
M27	い11~う12	(6.28)	302~334	86~126	北側調査区外 M26、カクランに切られる。
M28	お1~お0	(13.36)	102~132	12~39	北側調査区外 カクランに切られ。H68を含む。
M29	う30~う36	(26.04)	106~190	13~67	西側遺跡 カクランに切られ。H58・64・69、M23を切る。
M30	お18~お18	(2.98)	12~25	5~14	東側調査区外 M31を切る。
M31	お18	(1.16)	18~26	7~12	西側調査区外 M30に切られ。D307を切る。
M41	え81~お81	(2.09)	70~76	21~30	H9、P13に切られ。H2を切る。(JKP1)

第11表 北一本柳遺跡Ⅲ 単独ピット一覧表(1)

(続) (推定)

遺構名	出土 規模(cm)			平面形状	層土	備考	遺構名	出土 規模(cm)			平面形状	層土	備考
	位置	長さ	幅					位置	長さ	幅			
P1	6-83	15	44	21	円形	黒褐色土層(10YR3/3)	P76	578	26	17	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P2	6-83	79	26	40	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P76	578	17	12	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P3	6-83	24	20	10	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P77	578	15	4	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P4	6-83	22	14	18	一	黒褐色土層(10YR2/2)	P78	577	10	6	一	黒褐色土層(10YR2/3)	D76に切られる
P5	6-83	24	18	18	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P79	577	19	18	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P6	6-83	29	20	15	楕円形	黒褐色土層(10YR3/4)	P80	577	23	18	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P7	5-83	30	24	20	円形	黒褐色土層(10YR3/3)	P81	576	37	26	7	楕円形	D38を切る
P8	2-82	33	31	37	円形	黒褐色土層(10YR3/4)	P82	576	32	35	1	円形	
P9	1-81	31	28	41	円形	黒褐色土層(10YR3/4)	P83	576	23	23	1	円形	
P10	1-81	41	25	13	楕円形	黒褐色土層(10YR4/4)	P84	576	32	25	11	楕円形	
P11	1-81	66	55	19	円形	黒褐色土層(10YR3/3)	P85	578	22	(11)	21	一	
P12	2-81	50	40	16	円形	黒褐色土層(10YR3/4)	P86	583	36	29	10	円形	黒褐色土層(10YR3/3)
P13	2-81	30	18	11	円形	黒褐色土層(10YR2/1)	P87	583	29	21	23	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P14	1-81	21	21	39	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P88	583	27	26	73	円形	黒褐色土層(10YR2/2)
P15	1-81	24	21	29	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P89	583	25	23	70	円形	黒褐色土層(10YR2/2)
P16	女						P90	582	35	31	38	円形	黒褐色土層(10YR2/2)
P17	6-83	46	26	43	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P91	582	30	26	28	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P18	6-83	22	22	20	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P92	583	44	36	48	円形	黒褐色土層(10YR2/2)
P19	1-78	43	40	36	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P93	583	21	22	24	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P20	1-78	35	33	33	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P94	583	23	23	24	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P21	1-78	37	37	52	円形	一	P95	583	23	26	32	円形	黒褐色土層(10YR2/2)
P22	1-80	22	21	14	円形	1.黒褐色土層(10YR3/4) 2.黒褐色土層(10YR3/4)	P96	583	27	22	52	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P23	1-80	37	34	13	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P97	583	27	24	46	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P24	1-80	40	30	33	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P98	583	34	35	33	円形	黒褐色土層(10YR2/2)
P25	4-80	(20)	(16)	33	一	黒褐色土層(10YR2/3)	P99	582	39	38	28	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P26	4-80	(25)	(16)	33	一	黒褐色土層(10YR2/3)	P100	582	30	15	15	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)
P27	5-79	58	53	9	円形	一	P101	582	31	30	11	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P28	5-79	70	50	20	楕円形	一	P102	581	20	23	10	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P29	5-79	26	24	14	円形	一	P103	581	22	22	23	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P30	5-79	31	27	19	円形	一	P104	581	20	16	13	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P31	5-79	25	23	25	円形	一	P105	581	26	24	43	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P32	5-79	31	32	30	円形	一	P106	581	24	30	18	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P33	5-79	30	29	29	楕円形	一	P107	582	22	16	14	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P34	1-78	66	44	64	楕円形	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.黒褐色土層(10YR2/2)	P108	583	26	22	18	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P35	1-78	30	25	16	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P109	583	30	24	33	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P36	1-78	32	(24)	17	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P110	583	38	36	9	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P37	1-78	20	17	22	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P111	583	36	30	30	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P38	1-78	33	22	35	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P112	583	32	16	17	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P39	1-78	38	26	34	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P113	583	26	23	30	円形	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.黒褐色土層(10YR3/4)
P40	1-78	26	18	18	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	P114	582	25	20	33	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P41	1-78	29	17	13	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	P115	584	(16)	(8)	21	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P42	1-78	18	13	18	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	P116	579	22	16	17	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P43	1-78	23	23	40	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P117	579	28	24	34	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)
P44	1-78	34	25	16	楕円形	黒褐色土層(10YR3/2)	P118	579	23	21	18	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)
P45	1-78	28	19	19	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P119	579	23	21	18	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)
P46	1-78	19	17	21	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P120	578	19	19	21	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)
P47	1-78	20	16	19	円形	一	P121	578	8	10	12	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P48	1-78	19	15	14	長方形	黒褐色土層(10YR3/2)	P122	578	17	16	21	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P49	1-78	28	13	40	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P123	578	31	27	43	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P50	1-78	28	23	40	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P124	578	38	30	26	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P51	1-78	23	23	33	円形	1.黒褐色土層(10YR2/3) 2.黒褐色土層(10YR2/3)	P125	578	20	20	19	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P52	1-79	21	21	27	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P126	578	19	16	28	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)
P53	1-79	18	18	20	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P127	578	25	21	31	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P54	1-79	27	20	15	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P128	578	20	20	25	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P55	1-79	17	18	13	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P129	577	30	26	43	円形	黒褐色土層(10YR2/2)
P56	1-79	17	18	28	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P130	577	23	20	20	円形	黒褐色土層(10YR2/2)
P57	1-79	(34)	(24)	26	一	黒褐色土層(10YR2/3)	P131	577	19	16	28	円形	黒褐色土層(10YR2/2)
P58	1-74	38	30	10	楕円形	一	P132	577	20	30	31	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P59	1-74	40	20	10	楕円形	一	P133	577	20	10	17	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P60	1-74	32	31	24	円形	一	P134	577	33	28	36	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P61	1-74	40	26	27	長方形	一	P135	577	24	23	37	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P62	1-74	30	26	14	円形	一	P136	577	23	18	19	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)
P63	1-74	28	28	14	円形	一	P137	577	16	13	12	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P64	1-74	40	20	24	楕円形	一	P138	577	16	11	11	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P65	1-74	31	20	25	円形	一	P139	577	30	26	24	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P66	1-74	31	27	3	円形	一	P140	576	25	20	27	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P67	1-74	35	35	33	楕円形	一	P141	576	26	23	34	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P68	1-74	24	22	10	円形	一	P142	576	17	16	10	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P69	1-74	21	20	15	円形	一	P143	576	24	16	18	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P70	1-74	32	31	24	円形	一	P144	577	31	18	21	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P71	1-78	29	19	25	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P145	577	20	17	20	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P72	1-78	18	15	26	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P146	577	20	17	20	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P73	1-78	(18)	(16)	43	一	黒褐色土層(10YR2/3)	P147	577	27	25	12	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P74	1-77	17	14	17	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	P148	577	18	15	11	円形	黒褐色土層(10YR2/3)

第12表 北・本柳遺跡Ⅲ 単独ピット一覧表(2)

(続) (推定)

遺構名	出土位置	規模(m)		平面形	遺土	備考	遺構名	出土位置	規模(m)		平面形	遺土	備考		
		長径	短径						長径	短径					
P154	F777	18	17	16	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P191を切る。	P224	F783	48	26	37	南円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P155	F778	46	26	32	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P225	F83	24	21	16	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	M2を切る。
P156	F778	17	17	21	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	P143に切られる。	P226	F83	20	21	14	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	M2を切る。構内1。
P157	F776	30	25	30	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P227	F82	32	24	14	南円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P158	F777	27	23	16	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P228	F82	21	19	—	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	M2を切る。
P159	F777	30	26	19	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D104を切る。	P229	F82	28	23	34	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P160	F777	29	23	13	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D104、P182を切る。	P230	F82	30	28	24	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P161	F778	21	17	28	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P164を切る。	P231	F82	46	32	37	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P162	F778	34	23	21	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P232	F82	55	44	17	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P163	F778	34	21	28	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P164を切る。	P233	F82	32	28	22	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P164	F778	40	44	31	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H13、P161-164に赤5丸、F12、P2020に赤1丸。	P234	F83	31	26	29	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P165	F774	29	27	18	円形			P235	F83	29	28	25	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P216、2、5に20に切られる。
P166	F74	38	36	21	円形			P236	F80	18	13	10	南円形	黒褐色土層(10YR2/2)	D31に切られる。
P167	F74	24	22	13	方形			P237	F80	23	25	12	方形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P168	F74	26	27	13	円形			P238	F80	28	25	64	方形	1. 黒褐色土層(10YR2/3) 2. 褐色土層(10YR4/6)	
P169	F778	36	25	36	円形	赤褐色土層(10YR4/4)	D131を切る。	P239	F80	28	28	67	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	D60に切られる。
P170	F778	33	32	40	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	D101を切る。	P240	F80	26	21	23	方形	黒褐色土層(10YR2/2)	D24に切られる。
P171	F777	30	26	14	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	H16を切る。	P241	F80	16	10	10	—	黒褐色土層(10YR2/2)	D23に切られる。
P172	F777	20	28	7	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	H17を切る。	P242	F80	20	18	16	方形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P173	F777	21	17	9	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	D104を切る。	P243	F80	23	23	13	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P174	F777	19	19	23	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	D104を切る。	P244	F80	27	20	20	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P175	F777	19	19	23	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	D104を切る。	P245	F80	24	18	12	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P176	F777	30	23	23	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	D104を切る。	P246	F80	84	51	30	南円形	1. 黒褐色土層(10YR2/2) 2. 褐色土層(10YR4/4)	
P177	F777	20	16	10	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	D104を切る。	P247	F80	26	26	9	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P178	F778	34	24	27	方形	黒褐色土層(10YR2/2)	D94を切る。	P248	F80	24	22	11	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P179	F777	29	28	30	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P180を切る。	P249	F81	20	18	15	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	M3を切る。
P180	F777	28	22	22	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	F12、P160-179に赤5丸、D104を切る。	P250	F775	36	27	42	楕円形	1. 黒褐色土層(10YR3/2) 2. 褐色土層(10YR4/4)	D92を切る。
P181	F777	24	20	22	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	F13に赤4丸、D104を切る。	P251	F775	31	28	40	円形	1. 黒褐色土層(10YR3/2) 2. 褐色土層(10YR4/4)	D92を切る。
P182	F777	19	06	6	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P130に赤5丸、D104を切る。	P252	F775	28	26	37	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D33を切る。
P183	F778	30	23	25	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D105に赤5丸、D103を切る。	P253	F76	33	33	43	円形	1. 黒褐色土層(10YR2/3) 2. 緑褐色土層(10YR3/3)	D122を切る。
P184	F778	19	18	27	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	D102に切られる。	P254	F76	34	26	38	—	1. 黒褐色土層(10YR2/3) 2. 褐色土層(10YR4/4)	D127に切られる。
P185	F778	28	14	34	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	遺物調査区外	P255	F775	19	18	14	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	D33を切る。
P186	F777	37	34	32	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D94-108-110を切る。	P256	F775	13	13	14	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D33を切る。
P187	F778	32	24	38	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D101を切る。	P257	F775	17	16	17	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P188	F81	22	22	35	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	M3を切る。	P258	F775	22	19	28	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P189	F81	15	12	8	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	M3を切る。	P259	F775	28	18	21	南円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P190	F773	26	17	18	楕円形	黒褐色土層(10YR4/6)	D94に赤5丸、D103を切る。	P260	F775	16	12	14	円形	黒褐色土層(10YR2/4)	
P191	F777	27	26	33	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D104に赤5丸。	P261	F775	14	13	14	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P192	F776	27	19	21	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P262	F775	36	30	16	—	黒褐色土層(10YR2/3)	P260を切る。
P193	F83	43	28	42	楕円形	1. 黒褐色土層(10YR2/2) 2. 褐色土層(10YR4/4)	M2に切れる。構内1。	P263	F775	25	24	19	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P194	F83	38	28	19	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	M2に切れる。	P264	F775	22	17	14	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D122、25丸、P216に切られる。
P195	F83	48	36	38	円形	1. 黒褐色土層(10YR2/2) 2. 褐色土層(10YR4/4)	M2に切れる。構内1。	P265	F776	23	24	11	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P196	F82	14	12	33	円形		M2に切れる。構内1。	P266	F776	34	23	43	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P197	F82	27	25	29	方形	赤褐色土層(10YR1/7)	M2に切れる。構内1。	P267	F776	20	18	14	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P198	F82	40	25	43	方形	黒褐色土層(10YR3/4)	M2に全空。	P268	F776	16	14	6	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P199	F82	26	23	29	円形		M2に全空。	P269	F775	33	14	16	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P200	F762	40	29	24	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	M2、P201を切る。	P270	F775	36	28	15	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P201	F762	22	20	9	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	7000gに赤5丸、M3を切る。	P271	F775	31	16	14	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D137を切る。
P202	F762	52	32	24	楕円形	黒褐色土層(10YR5/6)	M2、P201を切る。	P272	F775	26	20	13	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	D137を切る。
P203	F78	30	22	26	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D103に切られる。	P273	F76	32	21	14	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P204	F778	34	20	29	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P42に赤5丸、P205を切る。	P274	F75	19	18	14	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P205	F778	16	11	10	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D103、P204に切られる。	P275	F74	44	24	19	—	黒褐色土層(10YR2/2)	D27に切られる。
P206	F778	30	11	13	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D103に切られる。	P276	F78	31	16	22	—	黒褐色土層(10YR2/3)	
P207	F78	36	23	25	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D103に赤5丸、D130を切る。	P277	F78	92	86	8	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	灰褐色土層
P208	F71	19	17	22	円形	1. 黒褐色土層(10YR2/2) 2. 赤褐色土層(10YR5/7)	D90に赤5丸、D116を切る。	P278	F78	22	18	16	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P209	F71	20	16	36	方形	1. 黒褐色土層(10YR2/2) 2. 赤褐色土層(10YR5/7)	D90に切れる。D116を切る。	P279	F78	27	18	29	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P210	F77	26	16	34	—	黒褐色土層(10YR2/2)	遺物調査区外	P280	F777	43	43	57	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D132を切る。
P211	F71	19	18	23	方形	1. 黒褐色土層(10YR2/2) 2. 赤褐色土層(10YR5/7)	D90に切れる。D116を切る。	P281	F774	49	34	60	—	黒褐色土層(10YR2/3)	P282-283を切る。
P212	F74	24	22	36	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	D116を切る。	P282	F774	27	23	32	—	黒褐色土層(10YR2/3)	P281に赤5丸。
P213	F74	36	21	10	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D118を切る。	P283	F774	30	56	—	1. 赤褐色土層(10YR4/3) 2. 黒褐色土層(10YR3/2)	P281に赤5丸、D109を切る。	
P214	F74	28	25	21	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D120を切る。	P284	F774	27	26	29	—	黒褐色土層(10YR3/2)	D115を切る。
P215	F74	29	16	32	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D115-116を切る。	P285	F78	28	28	31	円形	1. 黒褐色土層(10YR3/2) 2. 赤褐色土層(10YR5/7)	
P216	F74	24	22	32	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P286	F777	33	42	4	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P217	F74	24	22	32	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P287	F777	27	37	13	—	黒褐色土層(10YR2/2)	D75Cに切れる。
P218	F74	24	22	32	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P288	F777	20	18	8	—	黒褐色土層(10YR2/2)	D75Cに切れる。
P219	F782	30	20	36	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	割断。	P289	F777	44	24	19	—	黒褐色土層(10YR2/2)	D75Cに切れる。
P220	F782	35	33	26	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P235を切る。割断。	P290	F777	31	24	20	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P221	F782	47	35	10	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P235を切る。	P291	F76	23	21	28	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P222	F782	20	21	24	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P292	F76	42	42	9	—		D71Cに赤5丸、D98を切る。
P223	F782	20	21	25	方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P293	F81	24	23	18	円形		
								P294	F82	18	15	23	方形		

第13表 北一本柳造跡Ⅲ 単独ビット一覧表(3)

(続) (推定)

遺構名	出土位置	規模(m)	平面形	層土	備考	遺構名	出土位置	規模(m)	平面形	層土	備考
P295	A.76	35.22	20	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	P296	B.70	36.38	54	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)
P297	A.69	25.20	20	方形	黒褐色土層(10YR2/2)	P297	A.69	25.20	20	方形	黒褐色土層(10YR2/2)
P299	A.60	28.18	33	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						遺構外
P298	A.76	31.30	23	円形	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層 (5YR5/6)						
P299	84.74	36.06	21	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P300	84.74	34.24	18	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P301	87.81	40.70	29	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						H22を切る。
P302	87.86	44.35	32	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						H22を切る。
P303	87.86	74.59	20	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						H21・22を切る。
P304	87.87	33.33	23	円形	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.黒褐色土層(10YR2/2)						D114を切る。
P305	7.85	21.09	14	-	-						
P306	8.84	32.29	23	円形	黒褐色土層(10YR2/3)						
P307	7.84	38.43	21	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)						
P308	7.84	31.27	31	楕円形	赤褐色土層(10YR2/3)						D158を切る。P307を切る。
P309	7.84	27.76	36	方形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P310	7.84	39.28	28	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P311	7.84	27.25	26	円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P312	7.84	38.43	20	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P313	7.84	37.24	25	方形	赤褐色土層(10YR2/2)						跡に切られる。赤生土
P314	7.85	37.09	19	-	黒褐色土層(10YR2/2)						跡に切られる。
P315	7.85	30.31	31	円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P316	7.85	31.30	17	円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P317	7.85	24.31	7	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P318	7.84	26.26	34	円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P319	7.84	28.23	20	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						H28を切る。
P320	8.86	28.26	23	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P321	8.85	36.34	22	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P322	8.85	18.40	28	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						P320を切る。
P323	8.85	36.34	19	方形	赤褐色土層(10YR2/3)						赤生土層
P324	8.84	30.28	26	方形	赤褐色土層(10YR2/3)						赤生土層
P325	8.84	30.65	36	21	黒褐色土層(10YR2/3)						赤褐色土層
P326	8.86	54.46	37	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						赤生土層・黄灰状土層
P327	8.87	61.55	37	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						赤生土層
P328	8.87	58.20	20	楕円形	赤褐色土層(10YR2/3)						
P329	8.85	42.40	28	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P330	8.86	52.49	22	円形	1.黒褐色土層(10YR2/1) 2.黒褐色土層(10YR3/3)						H21を切る。
P331	8.86	48.48	26	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P332	8.85	39.19	19	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P333	8.85	81.75	26	円形	赤褐色土層(10YR2/3)						
P334	8.85	33.25	25	円形	黒色土層(10YR2/1)						赤生土層
P335	8.86	34.34	21	円形	黒褐色土層(10YR2/1)						
P336	8.88	52.47	39	円形	1.黒褐色土層(10YR3/3) 2.黒褐色土層(10YR2/2)						
P337	8.88	100.89	18	不整形	1.黒褐色土層(10YR3/3) 2.黒褐色土層(10YR2/2) 3.黒褐色土層(10YR3/4)						P338に切れる。
P338	8.88	58.36	39	円形	1.黒褐色土層(10YR3/3) 2.黒褐色土層(10YR2/2)						P337を切る。赤生土
P339	8.86	32.15	24	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						P322を切る。赤生土
P340	8.86	31.25	29	円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P341	8.86	34.25	19	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P342	8.86	26.24	13	円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P343	8.86	31.28	26	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P344	8.86	28.22	27	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P345	8.87	22.19	8	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P346	8.71	31.25	16	楕円形	赤褐色土層(10YR2/3)						H38・39を切る。
P347	8.71	61.61	14	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						H28・29を切る。
P348	8.71	13.28	7	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						H29を切る。赤生土
P349	8.71	98.96	9	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						H29、P1023を切る。
P350	8.70	46.32	48	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P351	8.70	29.26	34	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P352	8.70	68.65	6	円形	黒褐色土層(10YR2/2)						D128を切る。赤生土層・赤生土
P353	8.70	32.31	28	円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P354	8.70	30.26	26	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P355	8.70	26.32	18	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P356	8.70	28.20	13	楕円形	赤褐色土層(10YR2/3)						
P357	8.70	23.25	25	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P358	8.70	29.23	43	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						P427を切る。
P359	8.70	38.28	14	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P360	8.70	38.30	13	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						D161を切る。
P361	8.70	32.21	6	-	黒褐色土層(10YR2/2)						D161を切る。
P362	8.70	40.23	11	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						D162を切る。
P363	8.70	37.28	9	-	黒褐色土層(10YR2/2)						D159を切る。
P364	8.71	27.22	30	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P365	8.70	37.30	12	楕円形	赤褐色土層(10YR2/3)						
P366	8.70	36.38	54	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P367	8.69	25.18	40	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P368	8.69	25.18	14	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P369	8.69	54.42	34	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P370	8.69	45.36	47	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						カクランに切られる。
P371	8.69	24.19	20	方形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P372	8.69	32.18	32	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						カクランに切られる。
P373	8.69	33.31	36	楕円形	黒褐色土層(10YR2/4)						
P374	8.69	35.26	12	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P375	8.68	28.22	42	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						赤褐色土層
P376	8.70	29.25	11	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)						
P377	8.68	34.30	16	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P378	8.67	25.24	42	円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P379	8.68	32.21	14	円形	黒褐色土層(10YR2/3)						
P380	8.68	20.14	21	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P381	8.68	27.21	51	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						D158を切る。P307を切る。
P382	8.67	29.26	62	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P383	8.68	36.31	38	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						赤褐色土層 D163に切れる。かわがけ
P384	8.67	39.27	37	不整形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P385	8.67	16.16	16	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P386	8.65	59.55	32	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P387	8.67	20.12	16	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P388	8.67	26.25	35	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P389	8.67	27.29	19	円形	黒褐色土層(10YR2/2)						赤生土
P390	8.64	60.52	13	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P391	次										
P392	8.67	41.20	38	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P393	8.65	32.12	12	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						H35を切る。
P394	8.68	35.25	74	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						カクランに切られる。
P395	8.67	27.18	16	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P396	8.67	28.24	12	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						
P397	8.68	49.39	58	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)						赤生土
P398	8.68	42.31	10	不整形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P399	8.67	43.34	24	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P400	8.67	36.32	29	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P401	8.67	39.36	75	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						赤生土
P402	8.67	32.29	29	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P403	8.68	32.24	16	方形	赤褐色土層(10YR2/3)						
P404	8.68	24.21	23	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						M36を切る。
P405	8.68	29.21	26	方形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P406	8.67	28.24	12	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P407	8.68	30.31	11	円形	赤褐色土層(10YR2/2)						
P408	8.70	40.10	15	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)						H31を切る。赤生土
P409	8.69	37.34	45	円形	黒褐色土層(10YR2/2)</						

第14表 北一柳道跡III 単独ビット一覧表(4)

(発) (推定)

遺構名	出土 位置	規模(m) 長径 短径 埋深	平面形	遺土	備考	遺構名	出土 位置	規模(m) 長径 短径 埋深	平面形	遺土	備考
P445	467	37	31	30	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P446	467	36	31	33	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P447	468	40	27	17	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P448	468	30	33	9	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P449	468	31	29	27	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P450	468	26	24	22	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P451	470	29	21	14	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P452	469	25	25	29	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P453	469	28	26	19	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P454	469	27	26	31	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P455	470	12	36	36	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P456	469	63	27	36	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P457	470	42	30	14	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P458	470	30	28	28	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P459	女										
P460	470	31	30	21	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P461	470	31	40	10	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P462	471	20	19	17	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P463	471	22	20	29	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P464	471	26	22	22	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P465	470	33	28	10	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P466	470	30	33	9	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P467	470	48	32	16	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P468	470	32	26	15	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P469	470	31	21	34	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P470	470	34	31	10	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P471	471	46	31	17	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P472	471	83	63	21	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P473	471	52	42	14	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P474	471	52	26	16	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P475	471	38	36	15	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P476	471	28	27	28	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P477	470	34	48	11	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P478	469	33	46	26	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P479	470	60	60	60	14	円形	黒褐色土層(10YR2/2)				
P480	470	31	24	23	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P481	470	30	21	22	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P482	470	24	24	49	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P483	469	37	35	30	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P484	470	33	35	39	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P485	469	26	23	11	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P486	470	31	37	57	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P487	464	40	37	10	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P488	464	28	22	14	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P489	464	38	28	35	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P490	464	38	26	17	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P491	464	82	55	20	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P492	464	24	24	26	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P493	464	28	23	58	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P494	464	39	29	48	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P495	464	24	21	16	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P496	465	88	46	17	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P497	463	29	27	27	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P498	463	34	33	41	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P499	463	30	22	30	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P500	463	29	27	14	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P501	463	31	25	36	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P502	463	38	30	21	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P503	462	26	27	38	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P504	462	26	23	24	正方形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P505	461	32	24	10	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P506	461	31	29	8	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P507	461	30	29	7	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P508	461	26	24	11	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P509	461	28	24	11	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P510	461	22	21	26	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P511	461	25	24	38	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P512	462	82	78	11	円形	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.黒褐色土層(10YR2/2) 3.黒褐色土層(10YR2/2)					
P513	461	32	45	25		1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.黒褐色土層(10YR2/2) 3.黒褐色土層(10YR2/2)					
P514	460	20	17	28	正方形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P515	464	83	80	11	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P516	462	27	24	32	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P517	464	61	58	35	楕円形	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.黒褐色土層(10YR2/2)					
P518	464	62	60	23	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P519	464	62	60	23	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P520	460	88	85	17	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P521	460	10	26	19	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P522	461	27	17	18	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P523	461	35	29	6	正方形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P524	462	23	17	13	正方形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P525	462	23	17	13	正方形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P526	462	19	19	23	正方形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P527	462	83	69	14	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P528	462	72	78	17	正方形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P529	462	77	76	19	正方形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P530	462	29	24	21	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P531	463	23	23	21	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P532	463	41	38	41	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P533	464	58	53	11	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P534	464	38	36	19	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P535	464	29	24	24	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P536	464	28	24	24	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P537	464	70	54	21	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P538	463	44	44	24	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P539	463	33	33	30	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P540	463	22	28	24	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P541	461	29	27	27	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P542	462	30	29	24	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P543	462	28	21	29	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P544	462	20	20	29	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P545	462	70	54	32	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P546	463	18	17	13	正方形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P547	463	40	43	36	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P548	463	28	20	24	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P549	463	28	20	17	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P550	463	28	20	17	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P551	463	78	71	17	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P552	463	26	21	5	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P553	463	30	30	37	正方形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P554	464	83	84	30	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P555	464	31	24	61	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P556	464	26	23	31	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P557	464	19	18	10	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P558	463	38	35	40	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P559	462	62	62	38	9	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)				
P560	461	24	24	20	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P561	464	24	24	24	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P562	464	32	20	29	円形	黒褐色土層(10YR2/2)					
P563	464	24	21	5	正方形	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.黒褐色土層(10YR2/2)					
P564	462	26	25	27	楕円形						

第17表 北一本柳遺跡Ⅲ 単独ピット一覧表(7)

(続) (単位)

遺構名	出土位置	規模(m)		平面形	遺土	備考	遺構名	出土位置	規模(m)		平面形	遺土	備考
		長さ	幅						長さ	幅			
P873	C63	32	27	8	灰褐色土層(10YR2/2)	P872に9.9L, H106を切ら	P919	C68	28	16	6	北方型新褐色土層(10YR3/3)	
P874	C63	30	19	17	方型 灰褐色土層(10YR2/2)	H106を切ら	P950	C64	31	13	7	1 灰褐色土層(10YR3/4) 2 灰褐色土層(10YR2/2)	D250Cに切られる
P875	C65	27	28	8	楕円形 灰褐色土層(10YR2/2)	H104を切ら	P951	C66	36	22	40	楕円形 暗褐色土層(10YR3/3)	H34, D249-252を切ら
P876	C63	21	14	8	楕円形 灰褐色土層(10YR2/2)	H106を切ら	P952	C62	36	29	24	楕円形 暗褐色土層(10YR3/3)	D212, P699Cに切られる
P877	C64	31	23	24	楕円形 灰褐色土層(10YR2/2)	D246-258を切ら	P963	C62	35	25	14	楕円形 1. 灰褐色土層(10YR2/2) 2. 褐色土層(10YR4/0)	
P878	C64	20	14	11	円形 灰褐色土層(10YR2/2)	D256-258を切ら	P93-1	C62	27	20	31	1 暗褐色土層(10YR2/2) 2. 褐色土層(10YR2/2)	P663に切られ, H28を切ら
P879	C64	36	35	10	1階 灰褐色土層(10YR4/4)	D241-246-258を切ら	P955	C62	20	17	16	円形 1. 褐色土層(10YR2/2) 2. 褐色土層(10YR4/6)	D272に切られ, H38を切ら
P880	女						P966	C62	25	24	10	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	D217に切られ, H38を切ら
P881	C63	23	21	28	円形 灰褐色土層(10YR2/3)	H106を切ら	P957	C62	22	18	23	1 灰褐色土層(10YR2/3) 2. 褐色土層(10YR2/3)	D272に切られ, H38を切ら
P882	C66	40	34	14	円形 灰褐色土層(10YR2/2)	H134-144を切ら	P958	C62	26	26	29	円形 暗褐色土層(10YR3/3)	D232に切られる
P883	C62	58	42	37	長方形 暗褐色土層(10YR3/3)	D239, P684を切ら	P959	C66	16	12	5	1階 暗褐色土層(10YR3/3)	D232に切られる
P884	C62	46	49	39	扇形 灰褐色土層(10YR3/3)	D239, P683に3.6L, H28を切ら(外土壁)	P960	C66	16	12	5	1階 暗褐色土層(10YR3/3)	D232に切られる
P885	女						P961	C66	37	30	16	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	D252-255を切ら
P886	C63	41	36	36	楕円形 1. 暗褐色土層(10YR2/3) 2. 褐色土層(10YR4/6)	O193-P580-581に切られる	P962	C66	16	16	0	方型 暗褐色土層(10YR2/2)	H40を切ら
P887	C63	45	40	40	楕円形 1. 暗褐色土層(10YR3/3) 2. 褐色土層(10YR4/6)	H1126, P702Cに切られる(外土壁)	P963	C63	19	15	5階 暗褐色土層(10YR2/2)		
P888	C64	76	119	33	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	D232-P464に切られる	P964	女					
P889	C64	24	19	17	円形 暗褐色土層(10YR3/3)	D237Cに切られる	P965	C61	28	27	22	円形 暗褐色土層(10YR2/3)	
P890	C64	20	20	8	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	D238, P781に切られる	P966	C62	20	19	18	円形 暗褐色土層(10YR2/3)	
P891	C63	15	13	17	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	D239Cに切られる, H28を切ら	P967	C62	26	20	12	円形 暗褐色土層(10YR3/3)	H39Cに切られる
P892	C62	22	20	27	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H339Cに切られる	P968	女					
P893	C64	17	16	6	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	D237Cに切られる	P969	女					
P894	C64	40	29	11	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	D237-238, P782Cに切られる	P970	女					
P895	C64	24	17	7	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)		P971	C65	12	9	4	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H34-105を切ら
P896	H64	29	28	16	円形 灰褐色土層(10YR2/3)	D341と重複	P972	女					
P897	女						P973	女					
P898	C65	44	30	10	長方形 暗褐色土層(10YR2/2)	H35を切ら	P974	C66	21	19	16	円形 灰褐色土層(10YR2/2)	H34を切ら
P899	C65	43	34	7	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H35を切ら	P975	C66	25	18	16	円形 暗褐色土層(10YR2/3)	
P900	C66	28	23	12	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H35を切ら	P976	C66	39	26	34	楕円形 灰褐色土層(10YR2/2)	M15を切ら
P901	C65	50	44	14	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H35を切ら(外土壁)	P977	C66	40	24	39	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	P678-978, K13, M15に切ら
P902	C65	17	13	13	楕円形 暗褐色土層(10YR2/3)	H35-36を切ら	P978	C66	60	47	17	楕円形 灰褐色土層(10YR2/2)	M15, P977-978を切ら
P903	女						P979	C66	57	47	12	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	P678-978, K13, P977を切ら
P904	C66	29	22	8	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H35-36を切ら	P980	C66	21	20	17	円形 灰褐色土層(10YR2/3)	
P905	C66	34	31	6	方型 灰褐色土層(10YR2/2)	H36を切ら	P981	C66	30	22	28	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	外土壁1階
P906	C66	26	24	8	方型 灰褐色土層(10YR2/2)	H36を切ら	P982	C66	27	22	8	方型 暗褐色土層(10YR2/2)	
P907	C66	21	14	14	方型 灰褐色土層(10YR2/2)	H36を切ら	P983	C67	29	27	25	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	D254に切られる
P908	C66	21	17	10	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H36を切ら	P984	C71	30	19	45	1. 暗褐色土層(10YR2/2) 2. 灰褐色土層(10YR2/3)	H28-29を切ら H35を切ら
P909	C66	49	40	12	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H34-36-105, D261を切ら(外土壁)	P985	C75	21	19	19	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	D162に切られる
P910	C66	21	18	11	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H105を切ら(外土壁)	P986	C69	22	21	8	1 灰褐色土層(10YR2/3) 2. 暗褐色土層(10YR2/3)	D162, カクランに切られ, P987を切ら
P911	C66	16	13	9	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H103を切ら	P987	C66	18	17	14	1 暗褐色土層(10YR2/3) 2. 暗褐色土層(10YR2/3)	P986に切られる
P912	女						P988	女					
P913	C66	23	18	9	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H106を切ら	P989	C68	44	39	17	楕円形 暗褐色土層(10YR2/3)	M8と重複
P914	C64	25	34	4	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H40を切ら	P990	C68	22	21	20	方型 暗褐色土層(10YR2/2)	
P915	女						P991	C68	28	28	14	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	M8と重複
P916	女						P992	C68	20	20	13	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	M8と重複
P917	女						P993	C70	28	20	23	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H28を切ら
P918	女						P994	C69	24	23	9	1 暗褐色土層(10YR2/3) 2. 暗褐色土層(10YR2/3)	D158, P381に切られる
P919	C65	20	19	24	円形 灰褐色土層(10YR2/2)	H34-105を切ら	P995	C70	23	20	17	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H28を切ら
P920	C65	29	18	14	円形 灰褐色土層(10YR2/3)	H36を切ら	P996	C68	23	22	30	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	F4に切られ, P997を切ら
P921	C65	47	44	14	方型 暗褐色土層(10YR2/2)	H36を切ら	P997	C68	21	14	12	1 暗褐色土層(10YR2/2) 2. 暗褐色土層(10YR2/2)	P996に切られる
P922	C65	18	18	10	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H36を切ら	P998	C70	18	17	9	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	
P923	C66	17	17	10	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H35を切ら	P999	C70	19	17	10	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	
P924	C65	67	57	13	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H105を切ら(外土壁)	P1000	C70	36	31	60	楕円形 暗褐色土層(10YR2/1)	H31を切ら
P925	女						P1001	C71	21	20	13	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H30を切ら
P926	女						P1002	C68	26	22	14	長方形 暗褐色土層(10YR2/2)	
P927	C66	30	30	12	円形 暗褐色土層(10YR2/3)	H34-148を切ら	P1003	C68	23	21	14	方型 灰褐色土層(10YR2/3)	
P928	女						P1004	C68	22	21	21	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	
P929	C65	21	11	4	1 暗褐色土層(10YR2/2) 2. 暗褐色土層(10YR2/2)	H104に切られ, H34を切ら	P1005	C69	41	31	30	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H28を切ら
P930	C65	58	55	4	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H36, P1010を5.5, 5.5を切ら	P1006	C66	24	22	15	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	M8に切られる
P931	C65	37	30	16	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H105を切ら(外土壁)	P1007	C67	17	16	12	円形 暗褐色土層(10YR2/3)	D254に切られる
P932	C66	36	33	19	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H105を切ら(外土壁)	P1008	C68	26	25	20	楕円形 暗褐色土層(10YR2/3)	
P933	C67	26	23	15	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H105を切ら(外土壁)	P1009	C65	39	34	30	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H129に切られる
P934	C67	28	26	13	楕円形 暗褐色土層(10YR2/3)		P1010	C61	39	34	19	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	D240-258に切られる
P935	C67	24	24	7	方型 暗褐色土層(10YR2/3)		P1011	C70	34	27	18	楕円形 暗褐色土層(10YR3/3)	
P936	C67	21	18	7	楕円形 暗褐色土層(10YR2/3)		P1012	C70	33	29	14	1階 暗褐色土層(10YR2/3)	
P937	C67	16	12	11	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)		P1013	C70	21	21	10	方型 暗褐色土層(10YR2/2)	
P938	C67	18	17	10	円形 暗褐色土層(10YR2/3)		P1014	C70	27	20	26	長方形 暗褐色土層(10YR2/2)	
P939	C67	28	18	18	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	D254を切ら	P1015	C71	38	31	23	円形 暗褐色土層(10YR2/1)	H30を切ら
P940	C67	21	19	21	円形 暗褐色土層(10YR2/3)	D254を切ら	P1016	C67	43	43	33	円形 1. 暗褐色土層(10YR2/2) 2. 暗褐色土層(10YR2/2)	H30を切ら
P941	C67	35	33	14	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	D25-1, P442を切ら	P1017	C65	45	41	51	円形 1. 暗褐色土層(10YR2/2) 2. 暗褐色土層(10YR2/2)	H33を切ら(外土壁), P1020を切ら
P942	C67	48	35	21	1 暗褐色土層(10YR2/2) 2. 暗褐色土層(10YR2/2)	P442に切られ, D254を切ら	P1018	C67	13	13	21	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H32を切ら(外土壁)
P943	C67	23	21	14	円形 暗褐色土層(10YR2/3)	D254を切ら	P1019	C65	40	29	23	楕円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H33, P1020を切ら
P944	C67	24	24	11	円形 暗褐色土層(10YR2/2)	H128を切ら	P1020	C67	27	25	20	方型 暗褐色土層(10YR2/2)	P1019に切られ, H33, P1020を切ら
P945	C67	30	29	9	円形 暗褐色土層(10YR2/3)	H128, D254を切ら	P1021	C66	36	35	15	円形 暗褐色土層(10YR2/3)	H38を切ら
P946	C67	28	22	29	楕円形 暗褐色土層(10YR2/3)	H128を切ら							
P947	C67	27	25	10	円形 暗褐色土層(10YR2/3)	H128を切ら							
P948	C67	26	25	20	円形 暗褐色土層(10YR2/3)								

第18表 北一本柳遺跡Ⅲ 単独ピット 一覧表(8)

(5%) (推定)

遺構名	出土位置	規模(m)		平面形	遺土	備考	遺構名	出土位置	規模(m)		平面形	遺土	備考
		長さ	幅						長さ	幅			
P1022	666	37	3.0	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H33を切る。土層1層を穿る。木の土層	P1094	658	27	5.0	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1023	671	32	2.2	15 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P149, カラシに穿れる。H39を切る。	P1095	658	26	19	角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1024	671	38	2.0	3 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	カラシに穿れる。H39を切る。	P1096	658	27	23	2 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1025	675	23	2.1	14 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	H33を切る。	P1097	657	31	22	7 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1026	686	16	1.4	10 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	H33を切る。	P1098	657	18	15	9 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1027	686	20	3.0	矩形	黒褐色土層(10YR2/2)	H33を切る。	P1099	657	25	23	3 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	跡(兼)
P1028	686	46	2.7	6 角形	1. 黒褐色土層(10YR2/2) 2. 黒褐色土層(10YR3/3)	P1020に穿れる。H33を切る。	P1100	657	25	23	6 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	カラシに穿れる。
P1029	687	39	17	13 六角形	黒褐色土層(10YR2/2)	H128を切る。	P1101	657	18	17	12 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	カラシに穿れる。
P1030	687	21	2.0	4 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	H31を切る。	P1102	657	21	21	1 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1032	689	26	24	8 9 角形	黒褐色土層(10YR2/1)	H31を切る。	P1103	657	21	16	17 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1033	70	32	39	7 角形	1. 黒土層(10YR2/1) 2. 黒褐色土層(10YR3/3)	H31を切る。	P1104	657	20	17	7 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1034	699	35	7.7	7 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	カラシに穿れる。H31を切る。	P1105	657	21	19	7 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1035	694	21	3.8	1 角形	黒褐色土層(10YR3/4)	P1036を穿る。	P1106	657	17	16	7 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1036	694	20	6.0	4 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1033, カラシに穿れる。	P1107	658	28	30	19 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1037	694	28	27	2 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1038を穿る。	P1108	658	23	18	21 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	P1138を切る。
P1038	694	32	34	2 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	D264, P1037に穿れる。	P1109	658	17	15	12 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1039	695	34	3.0	4 角形	1. 黒褐色土層(10YR2/1) 2. 黒褐色土層(10YR2/4)	カラシに穿れる。H36を穿る。骨層	P1110	658	24	23	18 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1040	695	30	2.9	9 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1039, H36を穿る。	P1111	658	29	19	1 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1041	695	19	2.3	1 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	H36を穿る。	P1112	658	28	21	14 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	P1484を穿る。
P1042	695	27	31	4 4 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	H41を穿る。	P1113	659	29	2.6	39 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1122に穿れる。
P1043	697	70	31	23 六角形	1. 黒褐色土層(10YR2/1) 2. 黒褐色土層(10YR3/3)	穴層	P1114	659	28	24	11 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1043	691	37	36	18 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P506, H37に穿れる。D109, H99。	P1122	659	28	26	15 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	D273を切る。
P1045	696	22	21	19 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	D182を切る。	P1123	659	18	49	18 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	P1308を切る。
P1046	696	23	23	3 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	D182に穿れる。	P1124	659	28	56	11 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	H130, D276を切る。
P1047	696	20	14	14 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	D182に穿れる。	P1125	659	27	23	14 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	D273を切る。
P1048	697	33	31	5 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P479, H39, P131を穿る。	P1126	658	25	24	19 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	P1308を穿る。
P1049	693	35	31	36 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	H115, P308に穿れる。	P1127	658	20	18	16 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1050	693	32	31	30 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	H132, H39に穿れる。	P1128	658	24	21	1 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1051	693	32	31	37 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	H103, P105に穿れる。	P1129	658	24	21	1 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1052	688	20	1.9	3 角形	黒褐色土層(10YR2/1)	P121に穿れる。	P1130	658	23	30	1 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	H45, D281を切る。
P1053	688	24	2.6	2 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1131	657	18	17	1 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1054	686	24	2.6	2 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1132	657	30	27	2 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1055	664	110	73	73 角形	黒褐色土層(10YR2/1)	P534に穿れる。P1056, 1057を穿る。	P1133	657	26	32	12 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1056	664	32	29	2 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	P1058に穿れる。	P1134	657	28	30	2 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	D280を切る。
P1057	664	27	4.8	16 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	P106に穿れる。	P1135	656	17	16	17 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1058	668	41	27	6 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	H131に穿れる。	P1136	656	21	20	25 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1059	663	33	2.6	9 角形	黒褐色土層(10YR4/0)	D199-193に穿れる。	P1137	658	25	21	19 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	底層
P1060	663	15	1.3	7 角形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1138	658	27	22	21 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	底層
P1061	663	20	1.2	2 角形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1139	656	31	27	14 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	底層
P1062	663	16	0.10	10 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	D230, P148に穿れる。	P1140	656	25	20	11 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1063	660	33	27	6 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	H134, P106に穿れる。	P1141	656	49	34	9 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1064	660	53	49	28 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1063に穿れる。H134を穿る。	P1142	656	27	17	27 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	底層
P1065	660	35	29	36 角形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1143	656	25	21	13 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1066	660	20	1.8	5 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1144	656	24	23	16 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1067	660	32	20	17 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1145	656	22	18	20 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1068	660	27	24	10 角形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1146	656	21	19	26 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1069	660	30	18	10 角形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1147	656	24	27	7 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1070	660	26	23	11 角形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1148	656	25	24	27 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1071	660	40	33	31 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1072を穿る。	P1149	656	24	21	16 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1072	660	38	27	23 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	P1071に穿れる。	P1150	656	33	22	29 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1073	660	42	37	27 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	P1074を穿る。	P1151	656	25	24	18 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1074	660	39	27	23 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1073に穿れる。	P1152	656	26	20	23 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	H132を切る。骨層
P1075	660	54	28	28 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	内陣	P1153	656	22	22	11 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	H132を切る。
P1076	660	41	24	26 角形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1154	656	27	24	26 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1077	660	30	26	18 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1155	656	26	19	15 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1078	660	30	27	15 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1156	656	31	28	17 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1079	660	32	21	17 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1157	656	24	22	15 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1080	660	29	23	11 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1158	656	30	33	24 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1081	660	30	26	10 角形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1159	656	22	22	8 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	P160を切る。
P1082	660	22	19	11 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1160	656	23	19	11 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P159に穿れる。
P1083	660	28	14	6 角形	黒褐色土層(10YR3/4)	D374を切る。	P1161	656	38	32	15 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1084	660	23	18	7 角形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1162	656	14	13	12 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1085	660	26	23	11 角形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1163	656	24	20	28 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1086	660	26	23	11 角形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1164	656	24	21	23 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1087	660	24	22	11 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1165	656	31	30	18 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1088	658	20	17	12 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1029を穿る。	P1166	655	18	17	9 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1089	658	20	16	11 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1167	655	20	19	21 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1090	658	29	24	19 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1168	655	23	18	18 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1091	658	27	23	25 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1169	654	31	23	19 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1092	658	29	25	23 角形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1170	655	24	19	14 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1093	658	31	28	11 角形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1171	655	24	19	14 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	
							P1172	654	31	26	14 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	
							P1173	655	22	16	17 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	底層

第19表 北一本柳遺跡Ⅲ 単独ピット一覧表(9)

(続) (推定)

遺構名	出土位置	規模(m)	平面形	遺土	備考	遺構名	出土位置	規模(m)	平面形	遺土	備考
		長径/短径/深さ						長径/短径/深さ			
P1171	55a	40 31 8	円形	赤褐色土層(10YR2/3)	P1175を包む。	P1233	55a	37 30 21	円形	赤褐色土層(10YR2/3)	H133, D20a-D20bを包む。
P1175	55b	37 31 35	円形	赤褐色土層(10YR2/3)	P1174に包まれる。	P1234	55b	26 20 18	円形	赤褐色土層(10YR2/3)	D20aを包む。
P1176	55c	43 31 11	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1235	55c	28 20 8	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M18に包まれる。
P1177	55d	33 22 29	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1236	55d	28 20 21	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M18に包まれる。
P1178	55e	32 28 33	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1237	55e	29 19	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M18に包まれる。
P1179	55f	20 10 12	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1238	55f	28 21 12	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	カウラに包まれる。
P1180	55g	28 22 13	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1239	55g	27 26 21	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1181	55h	34 13 13	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1214を包む。	P1240	55h	32 22 15	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1183	55i	27 16 8	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1241	55i	37 19 11	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1183	55j	39 22 13	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1242	55j	34 23 24	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1184	55k	35 35 38	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1243	55k	31 24 16	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1185	55l	18 27 11	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1244	55l	27 23 9	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1186	55m	29 21 28	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1245	55m	35 23 14	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1187	55n	29 21 33	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1246	55n	30 26 10	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1188	55o	20 10 29	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1247	55o	24 23 30	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	D27gを包む。
P1189	55p	26 20 23	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1248	55p	31 24 52	円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.褐色土層(10YR3/2)	H133を包む。
P1190	55q	23 20 23	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1249	55q	38 28 18	円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR2/2)	H133を包む。発生層1
P1191	55r	28 28 35	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H132を包む。	P1250	55r	36 42 98	円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR2/2)	H133を包む。発生層1
P1192	55s	23 18 20	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M19を包む。	P1251	55s	32 24 17	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H145-138を包む。
P1193	55t	52 46 12	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1252	55t	48 49 23	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H144, D25-25aを包む。
P1194	55u	22 26 25	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	D25cを包む。D25d, D25e, D25fを包む。	P1253	55u	29 30 18	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	D25b, D25cを包む。
P1195	55v	31 35 35	円形	1.赤褐色土層(10YR4/4) 2.赤褐色土層(10YR2/2)	P1194を包む。発生層1	P1254	55v	26 17 17	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H145を包む。
P1196	55w	23 22 38	円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR2/2)	D195c, D195d, D195e, D195fを包む。	P1255	55w	18 18 19	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H145を包む。
P1197	55x	31 20 10	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	D195c, D195d, D195eを包む。	P1256	55x	10 25 47	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H144, D25を包む。
P1198	55y	37 31 40	円形	1.赤褐色土層(10YR3/2) 2.赤褐色土層(10YR3/1)	D281を包む。	P1257	55y	23 21 23	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M16-700を包む。
P1199	55z	70 54 43	不規則形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1198を包む。P1200を包む。	P1258	55z	31 22 28	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M20を包む。
P1200	40a	78 23 33	楕円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR4/4)		P1259	55z	29 29 29	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M20を包む。
P1201	55a	24 24 46	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1199cに包まれる。	P1260	55a	34 29 23	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M20を包む。
P1202	55b	48 31 49	楕円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR4/4)	P1098を包む。土層1	P1261	55b	31 28 32	円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR3/3)	M20を包む。発生層1
P1203	55c	32 22 27	楕円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR4/4)		P1262	55c	19 19 20	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M20を包む。
P1204	55d	28 27 29	円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR4/4)		P1263	55d	26 24 19	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M20を包む。発生層1
P1205	55e	25 23 31	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1199を包む。	P1264	55e	33 30 15	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M20を包む。
P1206	55f	33 26 33	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1265	55f	27 24 33	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M20を包む。
P1207	55g	28 26 39	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1266	55g	22 18 26	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M17を包む。
P1208	55h	22 19 31	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1088cに包まれる。	P1267	55h	31 20 12	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M17を包む。
P1209	55i	32 37 41	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1268	55i	32 28 46	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M17を包む。
P1210	55j	37 33 41	楕円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR2/2)	カウラに包まれる。	P1269	55j	36 36 36	正方形	赤褐色土層(10YR2/2)	M16を包む。不明
P1211	55k	78 64 67	不規則形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR2/2)	M18cに包まれる。	P1270	55k	25 25 23	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M16を包む。発生層1
P1212	55l	35 35 49	円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR2/2)	P1181c, D195c, D195f	P1271	55l	31 30 10	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M16を包む。
P1213	55m	56 34 33	不規則形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR2/3)		P1272	55m	30 30 18	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M16を包む。発生層1
P1214	55n	30 30 10	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1273	55n	19 25 49	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	カウラに包まれる。発生層1
P1215	55o	34 34 37	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1274	55o	23 23 18	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M16を包む。
P1216	55p	46 34 19	楕円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR4/6)		P1275	55p	29 26 8	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M16を包む。発生層1
P1217	55q	40 50 50	不規則形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR2/3) 3.赤褐色土層(10YR2/2) 4.赤褐色土層(10YR3/3) 5.赤褐色土層(10YR3/3) 6.赤褐色土層(10YR3/4)		P1276	55q	26 16 17	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	発生層1
P1218	55r	29 26 31	楕円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR2/3) 3.赤褐色土層(10YR4/6)		P1277	55r	26 16 17	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	発生層1
P1219	55s	19 19 44	不規則形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1278	55s	60 41 16	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1220	55t	29 27 43	方形	赤褐色土層(10YR2/2)	カウラに包まれる。	P1279	55t	26 25 23	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1221	55u	33 33 38	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1280	55t	27 26 28	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1222	55v	30 27 29	円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR3/3)		P1281	55u	23 21 16	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1223	55w	22 22 23	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1282	55v	29 22 13	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1224	55x	22 20 25	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	カウラに包まれる。	P1283	55w	24 22 10	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1225	55y	21 20 34	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	発生層1	P1284	55x	25 24 16	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1226	55z	30 38 28	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M17を包む。H144, D20a, D20b	P1285	55y	31 25 26	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H143を包む。
P1227	55a	25 17 43	長方形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1286	55z	33 30 21	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H143を包む。発生層1
P1228	55b	29 20 28	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1287	55a	28 26 21	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H143を包む。
P1229	55c	45 45 45	正方形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1288	55b	35 34 17	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H143を包む。
P1230	55d	40 21 11	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H45を包む。	P1289	55c	26 25 15	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M16を包む。
P1231	55e	31 29 43	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1290	55d	34 32 21	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M16を包む。
P1232	55f	24 32 17	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1291	55e	28 18 14	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1233	55g	24 32 17	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1292	55f	37 29 15	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1234	55h	28 26 18	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1293	55g	28 26 18	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M16を包む。
P1235	55i	29 17 17	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1294	55h	29 17 17	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1236	55j	20 27 33	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1295	55i	30 27 33	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	カウラに包まれる。
P1237	55k	28 22 19	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1296	55j	32 28 19	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1238	55l	33 30 11	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1297	55k	33 30 11	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H140を包む。発生層1
P1239	55m	27 25 14	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1298	55l	27 25 14	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H147-146を包む。
P1240	55n	37 36 30	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1299	55m	37 36 30	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1241	55o	18 17 7	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1300	55n	32 26 17	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1242	55p	22 20 14	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1301	55o	22 20 14	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1243	55q	22 19 10	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1302	55p	22 20 14	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1244	55r	18 15 7	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1303	55q	22 19 10	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1245	55s	23 19 7	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1304	55r	18 15 7	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1246	55t	23 19 7	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1305	55s	23 19 7	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1247	55u	20 26 17	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1306	55t	20 17 13	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1248	55v	22 20 14	円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1307	55u	22 20 14	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P1249	55w	22 21 15	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1308	55v	22 21 15	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	

第20表 北一木橋遺跡Ⅲ 単独ピット一覧表(10)

(続) (推定)

遺構名	出土 位置	規模(m) 長径 短径 深さ	平面形	層土	備考	遺構名	出土 位置	規模(m) 長径 短径 深さ	平面形	層土	備考			
P1309a-51	17	1.5	7	階	黒褐色土層(10YR3/4)	カランに落ちる。	P1388	5-4	18	17	18	階	黒褐色土層(10YR2/3)	茶溜り、硝子器
P1310a-52	27	17	8	長方形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1389a	5-4	20	28	17	階	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1311a-53	28	28	8	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1390a	5-4	18	17	17	階	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1312a-55	19	14	6	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1391	5-4	25	24	24	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P1313a-53	21	21	33	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1392a-54	26	35	32	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		
P1314a-53	28	27	33	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1393	5-4	29	29	26	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1315a-53	21	20	52	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	不明	P1394a-54	23	20	21	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		
P1316a-53	21	21	35	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1395a-54	21	23	41	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P2076を穿る。	
P1317a-54	14	18	38	長方形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1396a-54	25	21	25	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P2076を穿る。	
P1318a-54	32	30	18	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1397a-54	35	30	31	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		
P1319a-54	42	28	19	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1398a-54	21	21	29	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		
P1320a-54	23	21	29	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1399	5-1	23	17	18	階	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1321a-54	22	20	15	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1400a-54	23	17	18	階	黒褐色土層(10YR2/2)		
P1322a-54	22	23	24	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1401a-54	23	22	21	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		
P1323a-54	22	21	35	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1402a-54	35	34	36	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	赤土層	
P1324a-54	16	16	9	一 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	M18に落ちる。	P1403a-54	28	20	25	角形	黒褐色土層(10YR2/2)		
P1325a-54	30	0.4	16	一 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	M18に落ちる。	P1404a-54	26	23	17	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	柱穴を穿る。	
P1326a-54	41	37	28	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	赤土層 焼灰	P1405a-54	24	24	9	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	H17を穿る。	
P1327a-53	33	30	37	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	赤土層	P1406a-54	20	18	8	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H17、P1451を穿る。	
P1328a-56	26	19	10	円形	赤土層(10YR2/1)		P1407a-54	28	28	15	円形	赤土層(10YR2/1)	H17を穿る。	
P1329a-52	25	24	10	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1408	5-2	28	28	19	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P1330a-52	22	21	7	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1409	5-1						
P1331a-52	27	27	21	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1410a-54	23	20	19	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	M110を穿る。焼灰	
P1332a-53	23	19	10	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1411a-54	27	43	36	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	M140を穿る。	
P1333a-53	22	20	21	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1412a-54	39	36	25	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1353を穿る。H141Eを穿る。	
P1334a-53	29	29	10	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1413a-54	25	21	16	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		
P1335a-53	30	0.6	22	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	H147、P1335を穿る。	P1414a-54	26	24	19	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		
P1336a-53	30	0.6	22	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P1334a-54、H1147、P1336を穿る。	P1415a-54	26	16	30	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		
P1337a-53	41	29	28	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1332a-54を穿る。赤土層	P1416a-54	27	26	18	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H110Cを穿る。	
P1338a-53	29	23	27	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)	赤土層	P1417a-54	27	47	30	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H110Cを穿る。	
P1339a-53	26	28	26	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)	赤土層	P1418a-54	18	17	18	一 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	カケツを穿る。	
P1340a-53	45	41	18	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1340a-54を穿る。	P1419a-54	27	17	11	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H142を穿る。	
P1341a-53	42	38	31	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H141を穿る。	P1420a-54	20	19	18	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H145、P1422a-54を穿る。	
P1342a-53	19	10	10	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H141を穿る。	P1421a-54	19	19	11	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H145を穿る。	
P1343a-53	26	28	29	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	赤土層・硝子	P1422a-54	16	16	16	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H142Cを穿る。H145Eを穿る。	
P1344a-53	30	30	15	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1345を穿る。	P1423a-54	19	16	11	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H145を穿る。	
P1345a-53	34	0.9	17	一 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1346a-54、P1346Eを穿る。	P1424a-54	22	16	19	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H137Cを穿る。H145Eを穿る。	
P1346a-53	41	40	19	一 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1345a-54を穿る。	P1425a-54	18	18	9	円形	黒褐色土層(10YR2/1)	H137Cを穿る。H45Eを穿る。	
P1347a-53	15	14	11	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1426a-54	29	37	10	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H145を穿る。	
P1348a-53	21	20	11	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1427a-54	15	15	6	方形	黒褐色土層(10YR2/2)	H145を穿る。	
P1349a-52	32	27	27	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H145を穿る。	P1428a-54	23	22	22	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H145Cを穿る。	
P1350a-52	28	27	18	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H145を穿る。	P1429a-54	16	14	11	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H145Eを穿る。	
P1351a-53	17	17	10	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H141、D289を穿る。	P1430a-54	6	5	14	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	H145を穿る。	
P1352a-53	24	19	19	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H141を穿る。	P1431a-54	29	26	15	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H145を穿る。	
P1353a-53	21	21	23	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H141、P1128を穿る。	P1432a-54	29	28	18	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H145を穿る。	
P1354a-53	37	37	10	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	焼灰・硝子	P1433a-54	28	28	15	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H145Cを穿る。	
P1355a-53	37	37	10	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	焼灰・硝子	P1434a-54	0.8	0.8	15	8	一 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	H145Cを穿る。P1433Eを穿る。
P1356a-53	33	23	23	長方形	黒褐色土層(10YR2/2)	焼灰・硝子	P1435a-54	24	21	24	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1434Cを穿る。	
P1357a-54	28	19	19	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	焼灰・硝子	P1436a-54	23	22	6	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1434Cを穿る。	
P1358a-54	22	20	24	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1437a-54	27	22	16	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H147を穿る。赤土層	
P1359a-53	20	20	7	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1438a-54	25	24	13	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H147を穿る。	
P1360a-54	22	21	9	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1439a-54	40	40	13	一 角形	黒褐色土層(10YR2/3)	H111、D289に落ちる。H147を穿る。赤土層	
P1361a-54	22	20	14	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1440	5-1						
P1362a-54	30	18	19	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	D293を穿る。	P1441a-54	23	16	31	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	H111Cを穿る。H17を穿る。	
P1363a-54	16	16	19	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1442a-54	28	20	36	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	H111Cを穿る。H147を穿る。	
P1364a-54	21	21	26	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1443a-54	27	24	21	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		
P1365a-54	26	22	16	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1444a-54	18	14	15	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H147を穿る。	
P1366a-54	30	26	7	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1445a-54	18	14	15	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H147を穿る。	
P1367a-54	22	20	18	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1446a-54	33	30	13	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H147を穿る。	
P1368a-54	25	25	26	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1447a-54	33	28	24	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H147を穿る。	
P1369a-54	23	21	27	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1448a-54	25	22	11	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1406Cを穿る。H147を穿る。	
P1370a-54	30	28	38	一 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	M18に落ちる。	P1449a-54	23	18	8	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H147を穿る。	
P1371a-54	27	30	30	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	M18に落ちる。	P1450a-54	23	18	8	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H147を穿る。	
P1372a-54	30	30	16	一 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	M18に落ちる。	P1451a-54	25	22	11	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1406Cを穿る。H147を穿る。	
P1373a-54	25	20	11	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	M18に落ちる。	P1452a-54	25	22	11	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	P1406Cを穿る。H147を穿る。	
P1374a-54	28	21	17	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1453a-54	23	23	9	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H147を穿る。	
P1375a-54	40	38	41	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1454a-54	31	36	35	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H147を穿る。赤土層	
P1376a-54	25	21	26	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1455a-54	27	24	16	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H147を穿る。	
P1377a-54	22	17	9	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P1456a-54	29	26	22	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H142、D289に落ちる。	
P1378a-54	24	21	23	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1457a-54	17	15	18	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H148Cを穿る。	
P1379a-54	39	19	18	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1458a-54	16	0.2	20	一 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	H111-19C、P1458Cを穿る。	
P1380a-54	31	29	42	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1459a-54	17	11	13	一 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	H117-19Cを穿る。	
P1381a-54	33	30	7	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1460a-54	20	19	20	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		
P1382a-54	28	27	21	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1461a-54	26	22	19	円形	黒褐色土層(10YR2/2)	H112Cを穿る。	
P1383a-54	31	19	49	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1462a-54	0.9	0.9	19	23	一 角形	黒褐色土層(10YR2/2)	H130E-112Cを穿る。
P1384a-54	22	13	26	長方形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1463a-54	19	16	14	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		
P1385a-54	38	24	39	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1464a-54	26	22	29	方形	黒褐色土層(10YR2/2)		
P1386a-54	28	24	13	円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P1465a-54	31	26	11				

第21表 北一本柳道跡Ⅲ 単独ヒット一覧表(11)

(続) (推定)

連番	出土 位置	規模(m) 長横 縦横	平面形	墓主	備考	連番	出土 位置	規模(m) 長横 縦横	平面形	墓主	備考						
P1466	○19	19	9	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1509に切り入れ	P1535	○47	24	23	39	円形	褐色土層(10YR2/1)	P1496に切り入れ			
P1467	文						P1536	○45	24	13	58	楕円形	褐色土層(10YR2/1)	H54を切る			
P1468	○52	16	16	11	円形	1.黒褐色土層(10YR2/3) 2.褐色土層(10YR4/3)	H147を切る	P1537	○46	35	37	16	方形	1.黒褐色土層(10YR2/1) 2.褐色土層(10YR2/3)			
P1469	女						P1538	○46	78	15	17	円形	褐色土層(10YR2/1)				
P1470	○53	20	19	18	1	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1539	○48	25	21	22	円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H51を切る		
P1471	文						P1540	○48	24	20	18	方形	褐色土層(10YR2/1)	H51を切る			
P1472	文						P1541	○46	22	26	17	円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H51を切る			
P1473	○53	26	22	26	長方形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1542	○46	26	19	18	方形	褐色土層(10YR2/1)	H51, P1547を切る			
P1474	○53	27	25	16	長方形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1543	○45	23	17	3	楕円形	褐色土層(10YR2/1)	P1523に切り入れ			
P1475	○53	21	15	13	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1544	○45	28	28	3	方角	褐色土層(10YR2/3)	H51を切る			
P1476	○53	19	16	42	楕円形	褐色土層(10YR2/2)	P1545	○46	21	21	20	円形	褐色土層(10YR2/3)	H51を切る			
P1477	○53	22	22	38	円形	赤褐色土層(10YR2/3)	P1546	○46	34	28	18	楕円形	褐色土層(10YR2/1)	P1547を切り入れ			
P1478	○53	27	21	8	円形	褐色土層(10YR2/3)	P1547	○46	24	28	18	楕円形	褐色土層(10YR2/3)	H51を切る			
P1479	○54	26	21	14	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1548	○36	29	23	25	楕円形	褐色土層(10YR2/3)				
P1480	○54	24	23	20	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1549	○36	26	23	26	円形	褐色土層(10YR2/2)				
P1481	○55	25	21	34	長方形	赤褐色土層(10YR2/3)	P1550	○36	21	26	48	円形	赤褐色土層(10YR2/3)				
P1482	○55	25	20	24	長方形	赤褐色土層(10YR2/3)	D302を切る	P1551	○36	28	20	21	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1483	○55	23	28	22	方形	赤褐色土層(10YR2/3)	D301・D106を切る	P1552	○36	30	27	21	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1484	○55	○36	35	23	-	1.黒褐色土層(10YR2/1) 2.褐色土層(10YR4/4)	P1171に切り入れ, H131を切る	P1553	○36	20	18	16	円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1485	○55	37	1	60	大型	1.黒褐色土層(10YR2/1) 2.褐色土層(10YR4/4)	D302を切る	P1554	○36	80	26	35	不規則	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1486	○55	32	23	23	円形	赤褐色土層(10YR2/1)	D302を切る	P1555	○36	80	52	9	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1487	○55	18	16	22	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	M22を切る	P1557	○36	26	20	27	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1488	○56	36	30	37	楕円形	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.褐色土層(10YR3/3)	カタラシと切り入れ	P1558	○36	23	25	21	円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1489	○56	32	34	26	長方形	赤褐色土層(10YR2/1)	M22を切る	P1559	○36	23	23	11	円形	赤褐色土層(10YR2/3)			
P1490	○56	50	23	26	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H52を切る	P1560	○36	29	28	22	円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1491	○56	48	29	28	30	円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H52, D106, 赤土層	P1561	○36	24	23	17	円形	赤褐色土層(10YR2/1)	赤土層	
P1492	○57	21	25	21	円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H52を切る	P1562	○36	27	25	19	円形	赤褐色土層(10YR2/3)			
P1493	○57	25	23	23	円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H52を切る	P1564	○36	25	29	19	円形	赤褐色土層(10YR2/1)			
P1494	○58	26	18	28	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H52を切る	P1565	○36	24	23	20	円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1495	○57	23	21	28	円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H52を切る	P1566	○36	80	52	33	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1496	○57	25	20	48	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H52, P1535を切る	P1567	○36	43	38	11	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	赤土層		
P1497	○57	22	19	21	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H52を切る	P1568	○36	30	29	24	円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1498	○57	22	24	34	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H52, D106, P1499を切る	P1569	○36	28	25	19	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1499	○57	17	16	14	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1498に切り入れ, H52, D306を切る	P1570	○36	17	16	11	円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1500	○57	19	18	13	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H52を切る	P1571	○36	34	25	22	楕円形	赤褐色土層(10YR2/3)			
P1501	○57	28	19	19	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	D306を切る	P1572	○36	38	48	24	楕円形	赤褐色土層(10YR2/3)			
P1502	○57	28	18	9	円形	赤褐色土層(10YR2/3)	H52を切る	P1573	○36	23	21	20	円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1503	○57	27	20	28	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H52を切る	P1574	○36	23	29	31	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1504	○57	27	20	28	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H52を切る	P1575	文								
P1505	○58	27	20	31	長方形	赤褐色土層(10YR2/3)		P1576	○36	55	34	32	高円形	赤褐色土層(10YR3/3)			
P1506	○58	27	25	30	円形	1.黒褐色土層(10YR2/1) 2.褐色土層(10YR3/3)		P1577	○36	15	14	26	円形	赤褐色土層(10YR3/3)			
P1507	○58	28	28	31	円形	1.赤褐色土層(10YR2/1) 2.褐色土層(10YR3/3)		P1578	文								
P1508	○58	33	31	28	1	円形	1.赤褐色土層(10YR2/1) 2.褐色土層(10YR3/3)		P1580	○36	50	38	20	楕円形	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.褐色土層(10YR3/4)		
P1509	○58	18	18	24	3	楕円形	赤褐色土層(10YR2/3)	P1581	○36	52	42	30	楕円形	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR2/1)	赤土層		
P1510	○58	55	29	36	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		P1582	○36	64	41	20	楕円形	1.黒褐色土層(10YR2/1) 2.赤褐色土層(10YR2/1)			
P1511	○58	44	40	33	3	円形	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.赤褐色土層(10YR2/1) 3.褐色土層(10YR4/4)	P1583	○36	44	18	12	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1512	○58	48	38	31	12	楕円形	赤褐色土層(10YR2/3)	P1584	○36	18	20	19	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)			
P1513	○58	45	27	26	17	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	P1585	○36	34	20	21	不規則	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1514	○58	27	20	21	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H51を切る	P1586	○36	48	24	20	21	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)		
P1515	○58	21	20	17	円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H51を切る	P1587	○36	52	26	17	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)			
P1516	文						P1588	○36	38	31	18	楕円形	赤褐色土層(10YR2/3)				
P1517	○58	23	17	12	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H49を切る	P1589	○36	45	36	33	8	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)		
P1518	○58	19	17	17	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H49を切る	P1590	○36	23	23	17	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1519	○58	35	28	13	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H49を切る	P1591	○36	64	59	38	12	楕円形	1.赤褐色土層(10YR2/2) 2.黒褐色土層(10YR4/4)		
P1520	○58	22	20	22	円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H49を切る	P1592	○36	72	64	22	楕円形	赤褐色土層(10YR3/3)			
P1521	○58	24	23	35	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H49を切る	P1593	○36	80	42	22	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H52, P1497に切り入れ		
P1522	○58	47	33	9	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H131を切る, 赤土層	P1594	○36	25	18	11	-	赤褐色土層(10YR2/3)	H51を切る		
P1523	○58	42	38	13	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H51, P1543を切る, 赤土層	P1595	○36	34	20	23	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H51を切る		
P1524	○58	46	38	62	19	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H51, P1525を切る	P1596	○36	44	44	20	16	楕円形	赤褐色土層(10YR1/7)	赤褐色土層
P1525	○58	53	54	17	-	赤褐色土層(10YR2/2)	P132に切り入れ, H51を切る	P1597	○36	38	32	24	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)			
P1526	○58	48	25	20	3	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H51を切る	P1598	○36	26	19	12	長方形	赤褐色土層(10YR2/2)		
P1527	○58	23	22	33	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H51を切る	P1599	○36	19	19	22	方角	赤褐色土層(10YR2/1)			
P1528	○58	53	38	13	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H51を切る	P1600	○47	33	31	20	円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1529	○58	36	34	16	円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H51を切る, 赤土層	P1601	○47	39	34	30	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1530	○58	44	42	32	36	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	H51を切る, 赤土層, 赤褐色土層	P1602	○47	22	21	13	1	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	
P1531	○58	41	41	30	28	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	切欠・切欠, H51に切り入れ, 赤土層	P1603	○48	22	14	19	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)		
P1532	○57	31	25	-	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H52を切る	P1604	○46	29	18	21	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1533	○58	66	32	-	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H51を切る, 赤土層	P1605	○46	17	17	22	円形	赤褐色土層(10YR2/2)			
P1534	○58	36	29	16	楕円形	赤褐色土層(10YR2/1)	H51を切る	P1606	文								

第22表 北一木柳遺跡Ⅲ 単独ピット一覧表(12)

(残) (推定)

遺構名	出土 位置	規模(m)	平面形	遺土	備考	遺構名	出土 位置	規模(m)	平面形	遺土	備考			
長さ	幅	深さ				長さ	幅	深さ						
P1610	24R	25	21	16	横溝形 灰土層(10YR2/3)		P1690	51R	30	29	13	円形 灰褐色土層(10YR2/3)		
P1611	47R	29	27	21	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1691	51R	21	21	13	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1612	56R	31	28	10	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1692	51R	34	30	18	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1613	54	30	24	25	横溝形 灰褐色土層(10YR2/3)		P1693	51R	25	22	12	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1614	64R	33	33	23	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1694	51R	24	22	7	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1615	64R	35	32	19	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1695	51R	22	19	14	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1616	64R	40	37	16	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1696	62R	28	24	27	横溝形 灰褐色土層(10YR2/1)		
P1617	64R	40	37	16	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1697	527R	39	27	14	方形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1618	64R	43	23	11	方形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1698	527R	47	46	28	円形 灰褐色土層(10YR2/3)		
P1619	64R	48	18	17	方形 灰褐色土層(10YR2/1)		P1699	527R	27	23	17	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1620	43R	26	22	27	横溝形 灰褐色土層(10YR2/1)		P1700	527R	26	22	16	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1621	43R	29	24	16	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1701	528R	52	34	14	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1622	43R	26	21	17	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1702	528R	34	34	11	円形 灰褐色土層(10YR2/3)		
P1623	43R	26	21	9	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1703	62R	35	30	15	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1624	43R	29	27	18	10	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1704	62R	22	22	18	円形 灰褐色土層(10YR2/2)	
P1625	43R	35	30	6	11	灰褐色土層(10YR2/2)	P1626	62R	52	25	11	円形 灰褐色土層(10YR2/1)		
P1626	43R	35	30	6	12	灰褐色土層(10YR2/3)	P1625-50	32R	60R	6	10	円形 灰褐色土層(10YR2/1)		
P1627	43R	46	30	40	横溝形 灰褐色土層(10YR2/3)		P1707	63R	39	53	8	横溝形 灰褐色土層(10YR2/3)		
P1628	63R	37	33	11	円形 灰褐色土層(10YR2/3)		P1708	627R	31	28	19	方形 灰褐色土層(10YR2/3)		
P1629	63R	29	24	16	円形 灰褐色土層(10YR2/1)	M23に切り入れ。	P1709	627R	24	14	34	一 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1630	63R	29	22	17	横溝形 灰褐色土層(10YR2/1)		P1710	625R	30	17	12	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1631	63R	24	38	44	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1711	65R	15	15	36	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1632	63R	43	25	11	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1712	65R	20	20	26	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1633	63R	48	17	8	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1713	65R	25	21	40	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1634	63R	20	28	12	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1714	65R	20	17	37	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1635	63R	12	32	37	18	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1715	65R	28	27	34	円形 灰褐色土層(10YR2/2)	
P1636	63R	29	22	29	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1716	656R	27	25	26	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1637	63R	29	18	35	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1717	656R	41	31	25	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1638	63R	29	26	20	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1718	656R	31	21	39	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1639	63R	28	19	29	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1719	655R	37	31	33	横溝形 灰褐色土層(10YR2/1)		
P1640	63R	37	37	30	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)	P1641を切る。	P1720	655R	22	20	18	方形 横溝形(10YR2/1)		
P1641	63R	34	32	18	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1721	655R	27	25	47	方形 灰褐色土層(10YR2/1)		
P1642	63R	43	22	21	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)	水溝遺構	P1722	655R	24	28	27	横溝形 灰褐色土層(10YR2/1)		
P1643	63R	35	29	12	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1723	655R	27	25	30	水溝遺構 灰褐色土層(10YR2/1)		
P1644	63R	48	43	29	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1724	655R	21	20	43	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1645	63R	35	32	16	横溝形 灰褐色土層(10YR2/3)		P1725	656R	18	16	10	方形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1646	63R	27	25	16	横溝形 灰褐色土層(10YR2/1)		P1726	656R	30	29	23	方形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1647	63R	25	18	19	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1727	656R	20	16	18	一 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1648	63R	26	26	38	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1728	655R	21	21	16	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1649	63R	31	26	17	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1729	655R	21	22	14	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1650	63R	30	34	26	横溝形 灰褐色土層(10YR2/3)		P1730	660R	31	28	30	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1651	63R	26	24	1	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1731	661R	30	30	15	方形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1652	63R	22	21	14	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1732	655R	25	15	13	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1653	63R	22	21	14	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1733	657R	25	22	39	水溝遺構 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1654	63R	46	31	25	横溝形 灰褐色土層(10YR2/3)		P1734	657R	25	22	39	水溝遺構 灰褐色土層(10YR2/1)		
P1655	63R	40	31	25	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1735	657R	33	63	63	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1656	63R	17	18	14	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1736	657R	30	29	65	方形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1657	63R	33	28	17	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1736	658R	25	24	46	方形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1658	63R	26	15	17	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1737	646R	32	21	13	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1659	63R	34	28	28	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1738	646R	20	16	17	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1660	63R	34	21	7	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1739	646R	31	26	6	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1661	63R	39	18	34	帯状 円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1740	646R	34	25	11	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1662	63R	28	16	16	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)	M16を切る。	P1741	646R	27	21	20	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1663	63R	40	31	20	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1742	646R	29	26	28	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1664	63R	36	29	30	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1743	646R	29	26	28	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1665	63R	34	24	23	横溝形 灰褐色土層(10YR2/3)		P1744	648R	58	50	17	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1666	63R	29	21	28	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1745	648R	58	50	17	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1667	64R	70	42	21	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1746	648R	48	42	26	円形 横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1668	64R	55	35	16	円形 横溝形 灰褐色土層(10YR3/4)		P1746	648R	28	23	22	円形 横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1669	64R	34	32	39	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1747	648R	30	29	49	6	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)	
P1670	64R	34	32	39	円形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1748	648R	30	29	49	6	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)	
P1671	63R	38	34	28	横溝形 灰褐色土層(10YR2/3)	横溝遺構	P1749	648R	30	22	22	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1672	63R	38	34	28	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1750	648R	31	31	21	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1673	63R	38	34	28	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1751	648R	20	16	16	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		
P1674	63R	21	29	20	11	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1752	648R	29	23	23	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)	
P1675	63R	25	22	23	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1753	648R	35	22	11	円形 灰褐色土層(10YR2/1)		
P1676	63R	22	42	37	26	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1754	648R	41	34	11	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)	
P1677	63R	52	50	44	18	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1755	648R	44	22	21	円形 灰褐色土層(10YR2/2)	
P1678	63R	23	24	20	10	横溝形 灰褐色土層(10YR2/1)		P1756	648R	53	11	56	32	不整層 1 灰褐色土層(10YR3/2) 2 灰褐色土層(10YR2/2)
P1679	63R	23	16	17	18	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1757	661R	34	15	15	横溝形 灰褐色土層(10YR3/2)	
P1680	63R	23	16	11	19	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1758	644R	24	17	22	横溝形 灰褐色土層(10YR3/2)	
P1681	63R	23	16	11	19	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1759	644R	40	32	19	横溝形 灰褐色土層(10YR3/2)	
P1682	63R	23	16	11	19	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)	M6を含む。	P1760	665R	42	40	13	横溝形 灰褐色土層(10YR3/4) 2 灰褐色土層(10YR3/2)存在	
P1683	63R	23	16	11	19	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)	M6を含む。	P1761	665R	42	40	13	横溝形 灰褐色土層(10YR3/4) 2 灰褐色土層(10YR3/2)存在	
P1684	63R	23	16	11	19	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1762	665R	42	40	13	横溝形 灰褐色土層(10YR3/4) 2 灰褐色土層(10YR3/2)存在	
P1685	63R	23	16	11	19	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)		P1762	665R	42	40	13	横溝形 灰褐色土層(10YR3/4) 2 灰褐色土層(10YR3/2)存在	
P1686	63R	23	16	11	19	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)								
P1687	63R	23	16	11	19	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)								
P1688	63R	23	16	11	19	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)								
P1689	63R	23	16	11	19	横溝形 灰褐色土層(10YR2/2)								

第23表 北一本柳遺跡Ⅲ 単独ヒット一覧表(13)

(続) (推定)

遺跡名	出土位置	規模(m)		平面形	層土	備考	遺跡名	出土位置	規模(m)		平面形	層土	備考	
		長さ	幅						長さ	幅				
P1763	A.3	22	22	41	内堀	二宮遺跡(北10YR6/4) 黒褐色土(10YR3/2)を被る	P2077	83	23	19	17	方形	H43を被る。	
P1764	53	26	26	59	内堀	D313に切られる。	P2076	62	41	41	11	方形	H139-139Mに切られる。	
P2001	V.90	(38)	28	10	-		P2077	82	22	15	18	内堀	H10を被る。	
P2002	784	27	27	35	内堀	黒褐色土層(10YR2/1) H17を切る。相対的。	P2078	62	24	22	18	内堀	H10を被る。	
P2003	781	28	26	19	内堀	黒褐色土層(10YR2/1) H17を切る。相対的。	P2079	781	25	14	28	内堀	H5褐色土層(10YR2/2)	
P2004	780	30	20	16	内堀	黒褐色土層(10YR2/1) H17を切る。相対的。	P2080	<63	34	<24	50	内堀	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.黒褐色土層(10YR2/3)	
P2005	780	28	20	14	内堀	黒褐色土層(10YR2/3) H17を切る。	P2081	<78	76	61	19	内堀	H13-75、D129を切る。	
P2006	780	31	18	16	内堀	黒褐色土層(10YR2/2) H17を切る。	P2082	<77	68	61	19	内堀	H13-15を切る。	
P2007	780	32	20	7	内堀	黒褐色土層(10YR2/2) H17を切る。	P2083	83	33	27	21	-	-	1.土、D100-100Mに切られる。
P2008	780	17	18	18	方形	黒褐色土層(10YR2/3) H17を切る。	P2084	<63	(39)	65	15	-	-	黒褐色土層(10YR2/3)
P2009	<80	26	23	37	内堀	黒褐色土層(10YR2/3) H17を切る。	P2085	<62	36	34	22	内堀	D200を切る。	
P2010	<80	28	24	21	内堀	黒褐色土層(10YR2/3) H17を切る。	P2086	<61	28	24	37	内堀	D225を切る。	
P2011	<80	24	18	13	内堀	黒褐色土層(10YR2/3) H17を切る。	P2087	<63	(40)	(34)	41	-	-	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.黒褐色土層(10YR2/3)
P2012	<80	25	16	8	内堀	黒褐色土層(10YR2/3) H17を切る。	P2088	764	31	35	39	内堀	H12、D179に切られる。	
P2013	781	15	(13)	13	方形	黒褐色土層(10YR2/3) H17を切る。	P2089	463	21	(3)	9	-	-	D241を切る。
P2014	<77	26	20	20	内堀	黒褐色土層(10YR2/3) H16を切る。	P2090	267	14	(4)	9	-	-	P135-436に切られる。
P2015	774	23	17	20	内堀	黒褐色土層(10YR2/2) D119を切る。	P2091	285	24	22	30	内堀	H35を切る。	
P2016	774	19	17	13	内堀	D119を切る。	P2092	866	20	18	29	内堀	H35-36を切る。	
P2017	774	22	18	8	内堀	D119を切る。	P2093	648	12	39	52	内堀	H7-8を切る。	
P2018	<73	(4)	14	13	内堀	D115を切る。	P2094	<67	45	36	64	内堀	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.黒褐色土層(10YR2/3)	
P2019	778	23	19	8	内堀	D122に切られる。	P2095	<57	44	33	25	内堀	黒褐色土層(10YR2/1) H43を被る。	
P2020	777	25	20	34	方形	P164とD100に切れる。	P2096	<60	18	16	19	内堀	黒褐色土層(10YR3/3) H133を被る。	
P2021	779	32	26	27	内堀	D58を切る。	P2097	459	24	19	26	内堀	D301-410を切る。	
P2022	779	33	20	33	内堀	D58を切る。	P2098	458	17	(1)	20	-	-	P12021に切られる。
P2023	779	34	38	30	内堀	D58を切る。	P2099	660	31	15	11	内堀	黒褐色土層(10YR2/2) D271を切る。	
P2024	779	30	19	47	内堀	1.黒褐色土層(10YR2/3) 2.黒褐色土層(10YR3/3) D58を切る。相対的。	P2100	<57	38	31	29	内堀	黒褐色土層(10YR2/1) H45を切る。	
P2025	<78	36	35	21	内堀	H16、D200を切る。	P2101	<68	46	30	14	内堀	1.黒褐色土層(10YR2/1) 2.黒褐色土層(10YR2/3)	
P2026	<78	25	(20)	24	内堀	P162に切れる。D100を被る。	P2102	<68	36	29	11	内堀	黒褐色土層(10YR2/1) H45-137を切る。	
P2028	<79	20	20	24	内堀	H16を切る。D30とD100に切れる。	P2103	<68	36	32	51	内堀	黒褐色土層(10YR2/1) H45-137を被る。	
P2029	<79	16	15	13	内堀	H16、D200を切る。	P2104	<67	26	16	20	内堀	H36を切る。	
P2030	<79	28	25	37	内堀	H16、D200を切る。	P2105	<48	35	(1)	11	-	-	北堀溝(西岸) M164に切れる。
P2031	<79	33	19	23	内堀	H6を切る。D25とD100に切れる。	P2106	433	62	27	27	内堀	-	
P2032	<79	31	32	38	内堀	H6を切る。D25とD100に切れる。	P2106	433	62	27	27	内堀	-	
P2033	<76	24	24	37	内堀	H16を切る。								
P2034	<79	18	15	23	内堀	H16を切る。								
P2035	779	27	16	28	内堀	H16を切る。								
P2036	779	27	26	25	内堀	H16を切る。								
P2037	779	23	20	40	方形	H45を切る。								
P2038	779	38	26	15	内堀	H6を切る。D17とD100に切れる。								
P2039	779	30	28	66	内堀	H6を切る。D17とD100に切れる。								
P2040	779	28	18	26	内堀	H16を切る。								
P2041	779	31	27	54	内堀	H16を切る。								
P2042	778	36	24	58	内堀	H16を切る。								
P2043	778	32	29	65	内堀	H16を切る。								
P2044	778	20	37	60	内堀	H16を切る。								
P2045	778	33	24	66	内堀	H16を切る。								
P2046	778	18	16	63	内堀	H16-D17を切る。								
P2047	<79	14	12	23	内堀	H16を切る。								
P2048	<79	27	22	30	長方形	H16を切る。D125に切れる。								
P2049	778	42	20	39	内堀	D30、D35に切れる。H6、D53を切る。								
P2050	<78	43	20	39	内堀	H16、D53を切る。								
P2051	779	18	20	19	内堀	H16を切る。								
P2052	779	18	16	15	方形	H16を切る。								
P2053	778	27	26	48	内堀	H16を切る。								
P2054	<76	28	34	40	内堀	D99を切る。								
P2055	781	22	20	23	内堀	D117を切る。								
P2056	779	20	18	11	方形	H16を切る。								
P2057	676	25	24	27	内堀	H16を切る。								
P2058	676	28	24	45	内堀	H16を切る。								
P2059	676	36	30	17	内堀	H16を切る。								
P2060	673	32	30	64	内堀	H16を切る。								
P2061	673	33	33	95	内堀	H16を切る。								
P2062	675	25	20	24	内堀	H16を切る。								
P2063	675	28	26	11	内堀	H16を切る。								
P2064	673	28	26	37	内堀	H16を切る。								
P2065	673	34	30	60	内堀	H16を切る。								
P2066	673	27	23	21	内堀	H16を切る。								
P2067	673	26	20	10	内堀	H16を切る。								
P2068	673	22	20	36	内堀	H16を切る。								
P2069	677	38	33	10	内堀	D51を切る。								
P2070	676	33	24	15	内堀	D4を切る。								
P2071	676	36	29	29	内堀	D33を切る。								
P2072	660	33	(16)	28	-	T135、D14、D134、D100、D101								
P2073	673	10	(31)	20	-	M17を切る。								
P2074	650	50	40	18	内堀	D143、M16を切る。								

通称番号	通称	種	種	法	量 (cm)	西	漢	文	種	考	備	出
目	番号	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
1	53	赤生	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	54	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	55	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	56	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	57	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	58	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	59	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	60	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	61	赤生	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	62	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	63	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	64	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	65	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	66	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	67	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	68	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	69	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	70	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	71	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	72	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	73	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	74	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	75	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	76	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	77	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	78	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	79	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	80	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	81	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	82	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	83	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	84	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	85	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	86	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	87	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	88	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	89	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	90	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	91	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	92	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	93	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	94	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	95	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	96	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	97	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	98	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	99	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	100	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	101	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	102	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	103	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	104	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	105	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	106	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	107	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	108	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	109	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	110	赤大	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	111	赤中	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
	112	赤小	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿

第25表 H1(2)・H2(1) 遺物一覧表

演劇番号	種別	特徴	法	内	外	備	考	出土位置
?			口徑(長) 底径(幅) 高(深) (cm)					
11	3	弥生	4.1 (18.0)	3.8	3.9	彌生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
12	3	弥生	4.9	(4.9)	ヘラナナ 弥生土 赤色塗器	ヘラナナ 弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	
13	3	弥生	4.9	6.0	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	
14	3	弥生	13.0	4.0	3.5	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
15	3	弥生	(11.1)	—	(4.1)	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
16	3	弥生	(15.0)	(4.0)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
17	3	弥生	13.6	5.2	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
18	3	弥生	13.0	(2.0)	4.8	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
19	3	弥生	(15.2)	—	(1.7)	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
20	3	弥生	(6.6)	(2.4)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
21	3	弥生	—	4.7	3.3	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
22	3	弥生	—	—	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
23	3	弥生	(2.2)	—	(7.7)	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
24	3	弥生	—	(6.9)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
25	3	弥生	13.8	(11.0)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
26	3	弥生	(10.9)	(7.8)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
27	3	弥生	(7.0)	(5.1)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
28	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
29	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
30	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
31	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
32	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
33	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
34	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
35	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
36	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
37	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
38	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
39	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
40	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
41	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
42	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
43	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
44	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
45	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
46	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
47	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
48	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
49	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
50	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
51	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
52	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
53	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
54	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器
55	3	弥生	(17.4)	(3.7)	—	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器	弥生土 赤色塗器

第26表 112(2) 遺物一覧表

遺物番号	種類	詳細	法		西	語	文	標	備	考	出土位置
			口徑(㎝)	底径(㎝)							
H1 52	瓦本	環	22.41	5.41	3/4半		陶器灰文		須賀川		D1
H1 56	瓦片	瓦	278.80	19.80	3/4半		陶器灰文		須賀川		S2, S3
H1 57	赤土	瓦	210.00	10.10	3/4半		白→黄褐色(焼文)	朝下朝上ハ字1・5半半			
H1 58	赤土	瓦	168.00	4.10	3/4半		陶器灰文				
H1 59	赤土	瓦	165.80	7.20	3/4半		陶器灰文				
H1 60	赤土	瓦	194.20	5.60	3/4半		陶器灰文				
H1 61	赤土	瓦	194.20	3.00	3/4半		陶器灰文				
H1 62	赤土	瓦	122.20	12.20	3/4半		陶器灰文	口切面黄褐色(灰文)			
H1 63	赤土	瓦	114.40	19.00	3/4半		陶器灰文	朝下朝上ハ字1・5半半			
H1 64	赤土	瓦	114.40	19.00	3/4半		陶器灰文	口切面黄褐色(灰文)			
H1 65	赤土	瓦	111.00	4.70	3/4半		陶器灰文	朝下朝上ハ字1・5半半			S4
H1 66	赤土	瓦	5.70	11.90	3/4半		陶器灰文				
H1 67	赤土	瓦	13.00	3.70	3/4半		陶器灰文				
H1 68	赤土	瓦	174.80	3.20	3/4半		陶器灰文				
H1 69	赤土	瓦	3.80	3.80	朝下朝上ハ字1・5半半		陶器灰文				
H1 70	赤土	瓦	5.60	6.50	3/4半		陶器灰文				
H1 71	赤土	瓦	7.20	3.80	3/4半		陶器灰文				
H1 72	赤土	瓦	7.50	3.60	3/4半		陶器灰文				
H1 73	赤土	瓦	68.20	3.40	3/4半		陶器灰文				
H1 74	赤土	瓦	7.40	3.30	3/4半		陶器灰文				
H1 75	赤土	瓦	3.50	3.00	3/4半		陶器灰文				
H1 76	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 77	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 78	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 79	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 80	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 81	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 82	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 83	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 84	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 85	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 86	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 87	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 88	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 89	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 90	赤土	瓦	—	—	3/4半		陶器灰文				
H1 91	赤土	瓦	0.70	0.70	0.41	0.1	陶器灰文(焼印)				
H1 92	赤土	瓦	0.1	0.2	0.03		陶器灰文				
H1 93	赤土	瓦	6.50	6.00	0.60		3/4半 赤色(焼)				
H1 94	赤土	瓦	3.50	5.00	1.00		3/4半 赤色(焼)				
H1 95	赤土	瓦	6.00	3.00	0.60		3/4半 赤色(焼)				
H1 96	赤土	瓦	7.50	7.50	0.70		3/4半 赤色(焼)				
H1 97	赤土	瓦	3.30	12.00	0.70		3/4半 赤色(焼)				
H1 98	赤土	瓦	4.50	4.50	0.30		3/4半 赤色(焼)				
H1 99	赤土	瓦	4.50	4.50	0.30		3/4半 赤色(焼)				
H1 100	赤土	瓦	4.00	3.50	0.70		3/4半 赤色(焼)				
H1 101	瓦	瓦	4.00	4.00	23.50		3/4半 赤色(焼)				
H1 102	瓦	瓦	19.60	12.40	6.40	24.90	朝下朝上ハ字1・5半半				
H1 103	瓦	瓦	12.20	11.50	9.00	13.90	朝下朝上ハ字1・5半半				
H1 104	瓦	瓦	10.60	2.00	1.40	2.00	朝下朝上ハ字1・5半半				
H1 105	瓦	瓦	2.50	2.40	2.40	2.30	朝下朝上ハ字1・5半半				
H1 1	赤土	瓦	(19.50)	(2.60)			朝下朝上ハ字1・5半半				
H1 3	赤土	瓦	11.60	2.60	1.00		朝下朝上ハ字1・5半半				

第27表 H12(3)・H3(1) 遺物一覽表

通称番号	種類	材料	法	量 (cm)	量 (kg)	内	外	備	考	注位置
11	3	赤生	高坪	—	(4.3)	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	ミダキ 赤色砂岩			D1 №3
3	4	赤生	高坪	10.3	(3.2)	ミダキ 赤色砂岩	ミダキ 赤色の砂岩			D1 №3
5	5	赤生	子母岩	20.1	(27.7)	何處へナナ子母岩細粒方片	何處へナナ子母岩細粒方片			N1
6	5	赤生	此方片	(17.6)	(4.3)	ミダキ	ミダキ 赤色砂岩			D1
7	5	赤生	崖	(6.8)	(7.3)	ミダキ	ミダキ 赤色砂岩			N7
8	5	赤生	崖	(5.0)	(2.3)	ミダキ	ミダキ 赤色砂岩			D1
9	5	赤生	砂岩	(6.5)	(3.8)	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
10	5	赤生	崖	(15.1)	(4.4)	ミダキ	ミダキ 赤色砂岩			D1
11	5	赤生	崖	(20.2)	(7.7)	ミダキ	ミダキ 赤色砂岩			D1
12	5	赤生	崖	(23.1)	(3.1)	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			D1
13	5	赤生	崖	(17.0)	(11.2)	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			D1 №8
14	5	赤生	崖	(7.0)	(3.1)	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			風方
17	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩	何處より赤生 赤色砂岩			
18	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩	何處より赤生 赤色砂岩			
19	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩	何處より赤生 赤色砂岩			
20	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩	何處より赤生 赤色砂岩			
21	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩	何處より赤生 赤色砂岩			
22	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩	何處より赤生 赤色砂岩			
23	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩	何處より赤生 赤色砂岩			
24	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩	何處より赤生 赤色砂岩			
25	5	赤生	崖	(12.5)	(4.2)	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
26	5	赤生	崖	21.9	(29.0)	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N2
27	5	赤生	崖	19.2	(19.7)	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N4
28	5	赤生	崖	18.3	6.3	21.3	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			D1 №9
29	5	赤生	崖	14.7	5.5	19.0	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			
30	大	崖	崖	(13.7)	(14.5)	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			
31	5	赤生	崖	—	(5.8)	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
32	5	赤生	崖	—	(8.0)	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
33	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
34	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
35	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
36	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
37	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
38	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
39	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
40	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
41	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
42	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
43	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
44	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
45	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
46	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
47	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
48	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
49	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
50	5	赤生	崖	—	—	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			N7
51	5	赤生	1 割出層	6.2	0.7	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			D1
52	5	赤生	北東側	2.5	2.3	0.7	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			D1
53	5	赤生	1 割出層	5.0	4.3	0.8	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			D1
54	5	赤生	1 割出層	4.0	3.3	0.6	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			D1
55	5	赤生	北東側	4.0	3.5	0.8	何處より赤生 赤色砂岩 細粒方片			D1

第28表 H3(2) 遺物一覧表

通称番号	種別	時期	口置(表)	口置(裏)	口置(底)	口置(厚)	重量(g)	内	文	考	出土位置
11	3	赤生	17.00	6.60			6.60	ミナホ	赤色磁器	同記不明	陶出
12	3	赤生	10.40	6.30			6.30	ミナホ	赤色磁器	同記不明	陶出
13	3	赤生	10.60	6.10			6.10	ミナホ	赤色磁器	同記不明	陶出
4	6	赤生	10.60	3.40	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
5	6	赤生	10.60	3.30	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
6	6	赤生	10.60	3.20	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
7	6	赤生	10.60	3.10	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
8	6	赤生	10.60	3.00	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
9	6	赤生	10.60	2.90	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
10	6	赤生	10.60	2.80	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
11	6	赤生	10.60	2.70	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
12	6	赤生	10.60	2.60	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
13	6	赤生	10.60	2.50	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
14	6	赤生	10.60	2.40	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
15	6	赤生	10.60	2.30	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
16	6	赤生	10.60	2.20	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
17	6	赤生	10.60	2.10	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
18	6	赤生	10.60	2.00	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
19	6	赤生	10.60	1.90	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
20	6	赤生	10.60	1.80	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
21	6	赤生	10.60	1.70	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
22	6	赤生	10.60	1.60	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
23	6	赤生	10.60	1.50	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
24	6	赤生	10.60	1.40	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
25	6	赤生	10.60	1.30	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
26	6	赤生	10.60	1.20	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明
27	6	赤生	10.60	1.10	4.80	0.60	4.80	同記不明	赤色磁器	同記不明	同記不明

第35表 H28(2) ~ H30(1) 遺物一覧表

通称	学名	科	属	種	文	種	出	本
1	2	3	4	5	6	7	8	9
11	11 1 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
19	2 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
20	3 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
21	4 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
22	5 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
23	6 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
24	7 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
25	8 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
26	9 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
27	10 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
28	11 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
29	12 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
30	13 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
31	14 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
32	15 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
33	16 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
34	17 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
35	18 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
36	19 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
37	20 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
38	21 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
39	22 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
40	23 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌
41	24 赤芝	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌	担子菌

第11表 H49~H51(1) 遺物一覧表

通称番号	題名	種類	語種	漢	量(m)	語	文	外	備	考	出土位置
11	11	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
12	12	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
13	13	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
14	14	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
15	15	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
16	16	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
17	17	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
18	18	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
19	19	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
20	20	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
21	21	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
22	22	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
23	23	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
24	24	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
25	25	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
26	26	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
27	27	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
28	28	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区
29	29	65	土器片	口部(底)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	漢(漢)	1区

第48表 H66(2)・H68~H70(1) 遺物一覧表

通称番号	種類	種別	法	量 (cm)		語	文	種	備	考	出土位置
				口徑(底)	器高(口)						
D602	石椁	外内	4.0	3.8	2.0	23.62	文字	文字	刻文	石製石椁	出土位置
D70	2	内耳	--	--	--	--	文字	文字	刻文	石製石椁	出土位置
D1	1	土師器	6(45.7)	--	(6.6)	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D2	2	土師器	6(45.7)	--	(6.7)	12.8	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D3	3	土師器	6(45.7)	--	(8.4)	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
4	4	土師器	6(45.7)	--	(6.6)	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
5	5	土師器	6(45.7)	--	(7.2)	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
6	6	土師器	6(45.7)	--	(7.0)	3.6	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
7	7	土師器	6(45.7)	10.2	--	(1.4)	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
8	8	内耳	--	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
9	9	土師器	--	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
10	10	土師器	--	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
11	11	土師器	--	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
12	12	土師器	--	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
13	13	土師器	--	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
14	14	土師器	11.5	10.6	3.0	34.66	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
15	15	土師器	9.8	8.0	6.6	36.55	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
16	16	土師器	11.0	10.0	6.6	36.55	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
17	17	土師器	15.0	14.6	12.7	20.15	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
18	18	土師器	15.0	14.6	12.7	20.15	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D1	1	甕	--	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D2	2	甕	--	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D3	3	甕	12.4	6.0	5.8	5.34	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D4	4	甕	14.0	5.4	3.8	3.37	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D5	5	甕	12.0	8.0	2.9	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D6	6	甕	9.3	6.9	2.0	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D7	7	甕	1.4	0.9	0.9	0.2	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D8	8	甕	1.8	1.0	1.0	1.0	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D9	9	甕	1.8	1.0	1.0	1.0	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D10	10	甕	1.8	1.0	1.0	1.0	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D11	11	甕	1.8	1.0	1.0	1.0	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D12	12	甕	1.8	1.0	1.0	1.0	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D13	13	甕	1.8	1.0	1.0	1.0	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D14	14	甕	1.8	1.0	1.0	1.0	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D15	15	甕	1.8	1.0	1.0	1.0	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D16	16	甕	1.8	1.0	1.0	1.0	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
D17	17	甕	1.8	1.0	1.0	1.0	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
2865	2	甕	10.9	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
2866	2	甕	10.9	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
2867	2	甕	10.9	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
2868	2	甕	10.9	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
2869	2	甕	10.9	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
2870	2	甕	10.9	--	--	--	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M1	1	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M2	2	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M3	3	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M4	4	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M5	5	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M6	6	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M7	7	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M8	8	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M9	9	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M10	10	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M11	11	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M12	12	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M13	13	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M14	14	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M15	15	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M16	16	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置
M17	17	甕	13.0	4.3	--	130.38	口方口字	口方口字	刻文	石製石椁	出土位置

第57表 D269(2)・270・273・274・281・282・285・287・295・307, M1(1) 遺物一覽表

通稱	種 類	種 目	法		著 者	書 名	外 文	種 別	種 号	種 号
			頁数(冊)	價目(円)						
31	3	算 法	10	0.5	0.5	9.0			320	算 法
16	4	算 法	54.1	3.6	0.5	7.0			547	
	5	算 法	7.4	6.1	3.3	249.78			8415	
	7	算 法	11.2	10.0	4.3	837.77			650	
	8	算 法	11.2	3.9	4.1	418.51			546	
	9	算 法	11.2	3.3	1.1	60.87			546	
	10	算 法	20.0	4.2	3.6				546	
	11	算 法	418.60	4.2	0.40				546	
	12	算 法	16.4	4.5	0.80				546	
	13	算 法	14.4	0.60	16.0				546	
	14	算 法	14.4	0.71	7.1				546	
	15	算 法	15.8	4.0	5.6				546	
	16	算 法	16.4	0.41	0.81				546	
	17	算 法	16.2	4.3	7.2				546	
	18	算 法	16.2	3.2	0.58				546	
	19	算 法	116.91	4.1	0.2				546	
	20	算 法	16.2	4.2	0.3				546	
	21	算 法	16.2	4.2	0.3				546	
	22	算 法	76.0	4.2	10.00				546	
	23	算 法	67.60	—	12.60				546	
	24	算 法	420.00	—	0.00				546	
	25	算 法	99.00	—	8.25				546	
	26	算 法	27.20	—	0.00				546	
	27	算 法	54.6	—	12.1	0.30			546	
	28	算 法	—	—	12.01	0.30			546	
	29	算 法	—	—	10.60	0.36			546	
	30	算 法	—	—	10.6	0.30			546	
	31	算 法	—	—	10.60	0.30			546	
	32	算 法	—	—	10.2	0.30			546	
	33	算 法	—	—	13.2	0.30			546	
	34	算 法	—	—	13.3	0.20			546	
	35	算 法	36.6	17.9	—	0.00			546	
	36	算 法	32.20	—	0.5				546	
	37	算 法	25.00	—	6.43				546	
	38	算 法	—	—	0.50	0.00			546	
	39	算 法	—	—	15.40	0.68			546	
	40	算 法	—	—	0.20	0.00			546	
	41	算 法	—	—	1.80	0.00			546	
	42	算 法	62.00	18.4	22.5				546	
	43	算 法	21.5	18.20					546	
	44	算 法	65.40	0.40	0.40				546	
	45	算 法	4.7	0.20					546	
	46	算 法	41.00	—	0.30				546	
	47	算 法	0.50	—	0.10				546	
	48	算 法	23.00	—	0.00				546	
	49	算 法	24.6	—	0.25				546	
	50	算 法	—	—	—				546	
	51	算 法	—	—	—				546	
	52	算 法	—	—	—				546	
	53	算 法	—	—	—				546	
	54	算 法	—	—	—				546	

第61表 M16(2) 遺物一覧表

通稱(明)	種類	規格	法		重量 (kg)	規格 (mm)	用途	備 考	加工位置
			口徑 (mm)	底徑 (mm)					
M 53	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 56	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 57	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 58	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 59	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 60	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 61	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 62	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 63	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 64	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 65	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 66	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 67	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 68	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 69	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 70	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 71	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 72	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 73	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 74	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 75	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 76	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 77	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 78	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 79	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 80	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 81	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 82	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 83	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 84	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 85	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 86	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 87	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 88	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 89	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 90	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 91	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 92	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 93	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 94	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 95	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 96	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 97	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 98	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 99	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 100	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 101	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 102	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 103	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 104	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm
M 105	弁先	φ	—	—	—	—	鋼板	鋼板	247.20mm

第62表 M16(3) 遺物 一覧表

分類番号	種別	品目	注	量(㎏)	原産地	品名	備考	出来価格
M 105	米	米	18.59	83.8	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 106	米	米	16.01	7.35	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 107	米	米	16.01	5.2	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 108	米	米	13.20	5.2	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 109	米	米	10.60	6.2	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 110	米	米	18.2	8.26	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 111	米	米	11.10	7.11	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 112	米	米	10.60	8.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 113	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 114	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 115	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 116	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 117	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 118	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 119	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 120	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 121	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 122	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 123	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 124	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 125	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 126	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 127	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 128	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 129	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 130	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 131	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 132	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 133	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 134	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 135	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 136	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 137	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 138	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 139	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 140	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 141	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 142	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 143	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 144	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 145	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 146	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 147	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 148	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 149	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 150	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 151	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 152	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 153	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 154	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 155	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 156	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 157	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78
M 158	米	米	10.60	10.0	ミカド	極品米	547.78	547.78

第63表 M16(1) 遺物 一覧表

通稱	羅馬字	音節	漢	外	異	考	出典
M 19	容法	容	容	容	容	容	容
M 19	容法	容	容	容	容	容	容
91	容法	容	容	容	容	容	容
92	容法	容	容	容	容	容	容
93	容法	容	容	容	容	容	容
94	容法	容	容	容	容	容	容
95	容法	容	容	容	容	容	容
96	容法	容	容	容	容	容	容
97	容法	容	容	容	容	容	容
98	容法	容	容	容	容	容	容
99	容法	容	容	容	容	容	容
100	容法	容	容	容	容	容	容
101	容法	容	容	容	容	容	容
102	容法	容	容	容	容	容	容
103	容法	容	容	容	容	容	容
104	容法	容	容	容	容	容	容
105	容法	容	容	容	容	容	容
106	容法	容	容	容	容	容	容
107	容法	容	容	容	容	容	容
108	容法	容	容	容	容	容	容
109	容法	容	容	容	容	容	容
110	容法	容	容	容	容	容	容
111	容法	容	容	容	容	容	容
112	容法	容	容	容	容	容	容
113	容法	容	容	容	容	容	容
114	容法	容	容	容	容	容	容
115	容法	容	容	容	容	容	容
116	容法	容	容	容	容	容	容
117	容法	容	容	容	容	容	容
118	容法	容	容	容	容	容	容
119	容法	容	容	容	容	容	容
120	容法	容	容	容	容	容	容
121	容法	容	容	容	容	容	容
122	容法	容	容	容	容	容	容
123	容法	容	容	容	容	容	容
124	容法	容	容	容	容	容	容
125	容法	容	容	容	容	容	容
126	容法	容	容	容	容	容	容
127	容法	容	容	容	容	容	容
128	容法	容	容	容	容	容	容
129	容法	容	容	容	容	容	容
130	容法	容	容	容	容	容	容
131	容法	容	容	容	容	容	容
132	容法	容	容	容	容	容	容
133	容法	容	容	容	容	容	容
134	容法	容	容	容	容	容	容
135	容法	容	容	容	容	容	容
136	容法	容	容	容	容	容	容
137	容法	容	容	容	容	容	容
138	容法	容	容	容	容	容	容
139	容法	容	容	容	容	容	容
140	容法	容	容	容	容	容	容
141	容法	容	容	容	容	容	容
142	容法	容	容	容	容	容	容

第66表 M17(3) 遺物一覽表

遺物番号	種類	材質	口径(長径)底径(幅)	高さ(厚)	重さ(m)	内径	器	文	備	考	出土位置
23	土器	水鉢									3177
24	土器	水鉢									4181
25	土器	水鉢									4780
26	土器	水鉢									<80
27	土器	水鉢									381
28	土器	水鉢									4181
29	土器	水鉢									4181
30	土器	水鉢									4181
31	土器	水鉢									4181
32	土器	水鉢									4181
33	土器	水鉢									4181
34	土器	水鉢									4181
35	土器	水鉢									4181
36	土器	水鉢									4181
37	土器	水鉢									4181
38	土器	水鉢									4181
39	土器	水鉢									4181
40	土器	水鉢									4181
41	土器	水鉢									4181
42	土器	水鉢									4181
43	土器	水鉢									4181
44	土器	水鉢									4181
45	土器	水鉢									4181
46	土器	水鉢									4181
47	土器	水鉢									4181
48	土器	水鉢									4181
49	土器	水鉢									4181
50	土器	水鉢									4181
51	土器	水鉢									4181
52	土器	水鉢									4181
53	土器	水鉢									4181
54	土器	水鉢									4181
55	土器	水鉢									4181
56	土器	水鉢									4181
57	土器	水鉢									4181
58	土器	水鉢									4181
59	土器	水鉢									4181
60	土器	水鉢									4181
61	土器	水鉢									4181
62	土器	水鉢									4181
63	土器	水鉢									4181
64	土器	水鉢									4181
65	土器	水鉢									4181
66	土器	水鉢									4181
67	土器	水鉢									4181
68	土器	水鉢									4181
69	土器	水鉢									4181
70	土器	水鉢									4181
71	土器	水鉢									4181
72	土器	水鉢									4181
73	土器	水鉢									4181
74	土器	水鉢									4181
75	土器	水鉢									4181
76	土器	水鉢									4181
77	土器	水鉢									4181
78	土器	水鉢									4181
79	土器	水鉢									4181
80	土器	水鉢									4181
81	土器	水鉢									4181
82	土器	水鉢									4181
83	土器	水鉢									4181
84	土器	水鉢									4181
85	土器	水鉢									4181
86	土器	水鉢									4181
87	土器	水鉢									4181
88	土器	水鉢									4181
89	土器	水鉢									4181
90	土器	水鉢									4181
91	土器	水鉢									4181
92	土器	水鉢									4181
93	土器	水鉢									4181
94	土器	水鉢									4181
95	土器	水鉢									4181
96	土器	水鉢									4181
97	土器	水鉢									4181
98	土器	水鉢									4181
99	土器	水鉢									4181
100	土器	水鉢									4181

第72表 グリッド(2) 遺物一覧表

埋蔵物番号	種類	規格	数量(個)	重量(kg)	出土位置	出土物類	
76	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
77	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
78	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
79	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
80	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
81	陶器	陶器	(4.5)	(2.1)	灰子	—	
82	陶器	陶器	(5.4)	(2.1)	灰子	—	
83	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
84	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
85	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
86	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
87	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
88	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
89	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
90	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
91	陶器	陶器	(5.7)	(0.9)	灰子	—	
92	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
93	陶器	陶器	(8.0)	(2.1)	灰子	—	
94	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
95	陶器	陶器	(10.0)	(5.2)	灰子	—	
96	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
97	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
98	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
99	陶器	陶器	(0.2)	(3.0)	灰子	—	
100	陶器	陶器	(3.0)	(4.2)	灰子	—	
101	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
102	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
103	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
104	陶器	陶器	(5.3)	(1.6)	灰子	—	
105	陶器	陶器	(13.0)	(5.3)	灰子	—	
106	陶器	陶器	(1.8)	(0.9)	灰子	—	
107	陶器	陶器	(7.1)	(5.1)	灰子	—	
108	陶器	陶器	(8.8)	(7.1)	灰子	—	
109	陶器	陶器	(13.0)	(7.6)	灰子	—	
110	陶器	陶器	(14.0)	(8.3)	灰子	—	
111	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
112	陶器	陶器	(6.4)	(5.1)	灰子	—	
113	陶器	陶器	(10.0)	(6.7)	灰子	—	
114	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
115	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
116	陶器	陶器	7.5	2.4	灰子	—	
117	陶器	陶器	2.5	(1.7)	灰子	—	
118	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
119	陶器	陶器	2.3	2.3	灰子	—	
120	陶器	陶器	(2.1)	(2.0)	灰子	—	
121	陶器	陶器	(3.0)	0.5	3.0	—	
122	陶器	陶器	(5.3)	(3.1)	1.9	0.5	10.0
123	陶器	陶器	(2.8)	1.6	0.4	5.0	—
124	陶器	陶器	(2.2)	0.3	0.3	0.4	—
125	陶器	陶器	(5.3)	(1.2)	0.3	3.0	—
126	陶器	陶器	—	—	灰子	—	
127	陶器	陶器	(8.5)	(7.2)	—	—	
128	陶器	陶器	—	—	灰子	—	

第73表 グリッド(3) 遺物一覧表

通稱番号	通稱	料	口	速	量	内	外	種	考	品
力	子	石	石	石	(g)					
					(g)					
1270	上野山	3011	7(0)	8(2)	(5.8)					上野山
1300	上野山	8(2)	8(2)	8(2)						上野山
1311	石	318	3.7	3.0	165					石
1322	石	6(1)	9.4	4.3	3.4	190				石
1333	石	9.6	5.3	3.6	210					石
1344	石	7.0	4.9	3.2	140					石
1355	石	9.2	6.4	3.7	200					石
1366	石	7.0	0.1	2.3	25					石
1377	石	3.7	2.6	1.0	140					石
1388	石	4.9	4.2	3.2	70					石
1399	石	1.1	3.3	1.1	50					石
1411	石	7.2	3.7	3.0	110					石
1422	石	3.1	2.5	0.9	1.1	1.1				石
1443	石	10.7	5.7	4.3	3.0	190				石
1454	石	9.4	3.4	3.1	160					石
1465	石	10.5	5.9	1.3	110					石
1476	石	2.9	1.6	0.1	168					石
1487	石	3.1	2.5	31.05						石
1498	石	3.5	2.3	2.0	2.50					石
1509	石	3.0	0.5	0.5	2.9					石
1520	石									石
1531	石									石
1542	石									石
1553	石									石
1564	石									石
1575	石									石
1586	石									石
1597	石									石
1608	石									石
1619	石									石
1630	石									石
1641	石									石
1652	石									石
1663	石									石
1674	石									石
1685	石									石
1696	石									石
1707	石									石
1718	石									石
1729	石									石
1740	石									石
1751	石									石
1762	石									石
1773	石									石
1784	石									石
1795	石									石
1806	石									石
1817	石									石

第74表 グリッド(4) 運物 覧表

I K P Ⅲ

() 規 () 規定

標本番号	種類	目録	長さ (cm)	内 径	外 径	備 考	出土位置
182	内江	口徑(長)	—	—	—	—	—
183	大鉢	口徑(長)	—	—	—	—	—
184	大鉢	口徑(長)	—	—	—	—	—
185	大鉢	口徑(長)	—	—	—	—	—
186	大鉢	口徑(長)	—	—	—	—	—
187	大鉢	口徑(長)	—	—	—	—	—
188	大鉢	口徑(長)	—	—	—	—	—
189	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
190	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
191	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
192	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
193	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
194	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
195	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
196	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
197	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
198	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
199	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
200	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
201	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
202	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
203	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
204	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
205	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
206	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
207	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
208	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
209	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
210	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
211	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
212	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
213	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
214	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
215	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
216	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
217	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—
218	茶室	口徑(長)	—	—	—	—	—

第75表 グリッド(5) 遺物一覧表